

令和3年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

在宅生活継続にあたり通所介護・地域密着型通所介護・
認知症対応型通所介護が果たす役割に関する
調査研究事業

報告書

一般社団法人 全国介護事業者連盟
令和4年（2022年）3月

はじめに

令和3年度介護報酬改定は、新型コロナウイルス感染症の拡大により介護業界が危機に直面し、新たな生活様式下で感染拡大防止策を講じるとともに、利用者ニーズに応えるべく最大限努めている中での、介護保険制度の転換点ともなる見直しポイント多数の改定となりました。

今改定においては、「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」の5つの分野横断テーマごとの具体的な見直し項目には、時代環境に応じた目指すべき方向性と介護事業者の強みを再認識するための多くの指針が示されています。

デイサービス事業については多種多様な事業所の実践の成果により、住み慣れた地域での在宅生活の継続を希望する要介護高齢者とその家族にとっては、なくてはならないサービスとして進化と改革を遂げてきました。度重なる制度改正において、課題整理とともに評価すべき取組や、果たすべき機能と役割も見直されています。

本事業では、通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護が果たしている各機能と役割の実態を明らかにし、利用者像の比較によって各サービスの特徴や傾向を導き出すことを目的に、事業者と利用者及び家族介護者への量的・質的調査を行い、その成果を取りまとめました。

調査結果からは、通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護がそれぞれ取組んでいるサービスの多機能化が顕著であり、各事業者が地域包括ケアシステムの中のデイサービスの役割を認識し、要介護高齢者の在宅生活継続にあたり効果的かつ多面的な支援を積極的に展開していることが明らかになっています。

また、ケアマネジャーと事業所間の情報提供内容や頻度、利用者及び家族介護者への説明状況等の分析から、サービスの選択や利用の決定のプロセスが見えてくるとともに、デイサービスで把握された利用者及び家族介護者の情報が適切なケアマネジメントに活用されていることが読み取れます。

併せて、業務効率化の取組や福祉用具・介護ロボットの活用状況等、人材確保をはじめとした経営面の課題解決に向けた実態把握も行い、今後のさらなるICTやテクノロジー導入促進の参考資料として結果を示しました。

最後になりましたが、本事業の実施にあたりアンケート調査・ヒアリング調査にご協力いただきました事業所及びご利用者とそのご家族の皆様には感謝を申し上げますとともに、検討委員会の栃本一三郎委員長並びに委員各位に心から感謝申し上げます。

本報告書が、地域包括ケアシステムにおけるデイサービス事業のより一層の発展と関係各所との連携・協働の参考になりますことを心から期待いたします。

令和4年3月
一般社団法人全国介護事業者連盟
理事長 齊藤正行

目次

第1章 実施概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査研究対象範囲.....	1
3 調査内容と方法.....	1
(1) 事業者向けアンケート.....	1
(2) ヒアリング調査.....	3
4 実施体制.....	4
(1) 調査検討委員会.....	4
(2) 調査検討委員会等の開催実績.....	4
第2章 調査結果概要.....	6
第3章 事業所調査集計結果.....	24
I. 事業所の概要について.....	24
(1) 事業所のサービス種別・事業所規模区分.....	24
(2) 事業所の活動状況.....	24
(3) 事業所の所在地.....	25
(4) 事業所が立地する地域の種類.....	26
(5) 「中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算」算定の有無.....	26
(6) 同一建物内や同一敷地内の別の建物内にある事業所・施設等.....	27
(7) 所属する法人の形態.....	28
(8) 事業所の所要時間区分.....	28
(9) 営業日.....	29
(10) 営業時間.....	30
(11) 事業所が介護保険指定事業所の指定をうけた年月.....	30
II. 利用者の状況について.....	31
(12) 利用定員数・利用登録者数（令和3年12月31日時点）.....	31
(13) 要介護度別利用登録者数（令和3年12月31日時点の利用登録者について）.....	32
(14) 障害自立度別人数（令和3年12月31日時点の利用登録者について）.....	34
(15) 認知症自立度別人数（令和3年12月31日時点の利用登録者について）.....	36
(16) ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を終了した人.....	38
(17) 利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人.....	47
(18) 看護職員が対応している医療的ケア、対応が特に困難な医療的ケア.....	50
(19) 医療的ケアが困難であるとの理由で、事業所の利用を断ったことの有無.....	56
(20) 医療的ケアを行うことに対する考え方.....	58
(21) 介護職員等による喀痰吸引等業務.....	59
(22) 居宅内での介助.....	61
(23) 訪問によるサービス提供.....	70
III. 職員の状況について.....	76
(24) 事業所で雇用している職員（常勤兼務、非常勤、人材派遣は常勤換算数）.....	76
(25) 12月1日（水）に勤務した職員（職種別・雇用形態別人数、常勤換算数）.....	77
IV. 貴事業所のサービス提供状況について.....	78
1) 貴事業所で力を入れている機能について.....	78
(26) 各機能について、貴事業所での取組状況、関わっている職員、実施している場所.....	78
2) 新規利用者の着目（評価）が高まっているサービス内容について.....	86
(27) ここ半年の間（令和3年7月～12月）に、新たに貴事業所を利用することになった利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたこと、サービス内容に含めたこと.....	86
3) 食事提供・介助の実施について.....	88
(28) サービス提供時間中の食事の提供状況.....	88
(29) 延長サービス中の食事の提供状況.....	89

4)	機能訓練について	91
(30)	機能訓練により、改善を図ることとしている利用者の身体機能・生活課題	91
(31)	機能訓練について、工夫して実施していること	93
5)	福祉用具・介護ロボットの活用について	95
(32)	利用者の自立支援のために活用している福祉用具や自助具	95
(33)	利用者の自立支援のために活用している介護ロボット	97
6)	レクリエーション（アクティビティ）について	98
(34)	レクリエーション（アクティビティ）の実施状況	98
7)	家族介護者支援について	102
(35)	利用者と同居する家族等に対して、事業所が特に行っている相談支援	102
8)	介護保険外サービス・自費サービスについて	104
(36)	事業所で、保険外（自費）で実施しているサービス	104
(37)	法人が、通所介護事業所に今後新たに組み込みたいと考えている保険外（自費）サービス	105
9)	宿泊サービスについて	106
(38)	宿泊サービスの実施	106
10)	延長サービスについて	114
(39)	サービス提供時間の延長	114
11)	ケアマネジャーとの情報提供等の実態について	117
(40)	近隣の居宅介護支援事業所に対し、事業所が日頃行っている情報提供	117
(41)	利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーへの情報提供を行う頻度	120
(42)	利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容	121
V.	認知症への対応について	122
(43)	認知症状のある利用者へのサービス提供	122
(44)	認知症状のある利用者に対して、行っているアセスメント	122
(45)	認知症状のある利用者に対してアセスメントを行う際に参考としている評価指標	123
(46)	認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の聞き取りを行う対象者	124
(47)	認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の情報収集内容	125
(48)	認知症状のある利用者に対するケアについての配慮事項	126
(49)	認知症状のある利用者に対するアプローチ内容	127
(50)	若年性認知症利用者の受入	127
(51)	認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の聞き取りを行う対象者	129
(52)	認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の情報収集内容	130
(53)	認知症ケアに携わる職員の認知症介護実践研修受講状況	131
(54)	事業所の認知症ケア力向上の取組	132
(55)	新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、認知症状への対応が困難である等との理由で、貴事業所の利用を断ったことの有無	133
(56)	新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことの有無	134
(57)	貴事業所にて、認知症の人を地域で支援するために実施している取組	136
(58)	貴事業所にて、連携している認知症の人を支援する団体や事業	137
(59)	認知症状のある利用者の家族等介護者への支援の実施状況	138
VI.	業務効率化に向けた取組について	140
(60)	業務効率化の取組の実施状況	140
第4章	利用者・家族調査集計結果	144
I.	事業所の方（事業所回答票）	144
(1)	性別	144
(2)	年齢	144
(3)	世帯類型	145
(4)	住まい	145
(5)	事業所から住まいまでの片道の時間	146
(6)	要介護度	147

(7) 障害高齢者の日常生活自立度	151
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	152
(9) 日常的な家族・親族等の介護の有無	153
(10) 貴事業所の利用開始年月	153
(11) 通所介護サービスの利用開始時間、終了時間	154
(12) 通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度 (回/週) (令和 3 年 11 月実績)	155
(13) 延長サービスの利用状況	155
(14) 宿泊サービスの利用状況	156
(15) 貴事業所の利用前に利用していた介護保険サービス等	157
(16) 現在、貴事業所以外に利用している介護保険サービス	158
(17) 現在、利用している介護保険外のサービス	159
(18) 貴事業所の利用日以外の日のご過ごし方	160
(19) 加算の算定状況 (令和 3 年 12 月 31 日時点)	161
(20) 当該利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたこと、サービス内容に含めたこと	162
(21) 現在、利用者に必要な医療的ケア	163
(22) 現在、利用者を実施している機能訓練内容	164
II. 利用者の方 (利用者・家族回答票)	165
(1) デイサービスに通い始めたきっかけ	165
(2) 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けたか	165
(3) 現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由	167
(4) 現在、通っているデイサービスの事業所に通うにあたり、見学に行ったか	168
(5) デイサービスに通い始めて、以前より①食事、②入浴、③トイレが、自分でできるようになったか	168
(6) デイサービスに通い始めてからの、それまでかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化	170
(7) デイサービスに通い始めてからの、家族や地域の中での役割の変化	170
(8) デイサービスに通い始めてからの、気分や体調の変化	171
(9) デイサービスに通い始めてからの、家族との関係の変化	171
(10) デイサービスの利用は、あなた (利用者) の助けになっていたと思うか	172
III. ご家族の方 (利用者・家族回答票)	173
(11) あなた (家族介護者) の年齢	173
(12) あなた (家族介護者) の性別	173
(13) 子どもの有無	174
(14) 利用者との同居の有無	175
(15) 利用者との続柄	175
(16) 利用者に対するあなたの介護の役割	176
(17) 利用者以外に、介護が必要な家族・親族等の有無	176
(18) 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けたか	177
(19) 現在、利用者が通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由	178
(20) デイサービスの利用は、介護を担うあなた (家族介護者) 自身の助けになっていたと思うか	179
(21) デイサービスに通い始めて、あなた (家族介護者) の介護の負担は軽減されたか	179
(22) あなた (家族介護者) のお仕事について	180
(23) デイサービスに通い始めて、利用者は以前より①食事、②入浴、③トイレが自分で行えるようになったか	181
(24) デイサービスに通い始めてからの、それまで利用者がかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化	182
第 5 章 ヒアリング調査結果	183
資料編	192

第1章 実施概要

1 調査目的

介護保険制度における居宅サービスは制度の成熟に伴い多種多様化しており、利用者のより複雑なニーズへの対応が可能になる一方で、各サービスの本来果たすべき役割や機能について地域包括ケアシステムの中で、位置付け、役割を果たしていかなければならない。

通所介護事業については依然事業所数が増加しており、要介護者の在宅生活の継続において必要不可欠なサービスとして位置付けられているものの、他の通い機能を有する居宅介護サービスの整備が進む中で、サービス選択の明確な理由が捉えにくくなっていたのが現状である。

また、認知症対応型通所介護については、在宅における認知症ケアのニーズは高まっているにも関わらず事業所数は減少しており、通所介護・地域密着型通所介護との棲み分けや制度上の運営課題、利用者のニーズとの乖離の有無等について検証が必要と考えられる。

一方、コロナ禍での利用控えやサービス内容の制限が生じた通所介護等では、一部訪問や電話等での代替サービスによって利用者の在宅生活の維持に努めたものの、本来必要とするサービスをカバーすることは困難であったことから、改めて通所介護等の意義と特性を認識させられたところである。

本事業は、初めて共通の調査項目を用いて認知症対応型通所介護について調査を行い、そのサービス実態を明らかにするとともに、その通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護（以下「通所介護等」と略）の本来の役割と期待されている役割、実際に果たしている役割について実態調査を実施し、ケアの実施状況や各専門性を比較・分析するとともに、今後の通所介護等のサービス提供の在り方について方向性を示すこととした。

また、事業所への調査とともに利用者・家族介護者への調査も実施した。その際、ケアマネジャーの役割や、サービス利用にあたって通所介護等の事業者や利用者とのように関わっているのか、利用者の選好やサービス選択にあたっての役割、情報連携はどうなっているのかを明らかにした。

さらに、従来明らかにされていなかった通所介護等の業務効率化に向けた取組についても実情を把握した。

2 調査研究対象範囲

全国の通所介護事業所、地域密着型通所介護事業所及び認知症対応型通所介護事業所

3 調査内容と方法

(1) 事業者向けアンケート

①目的

次期介護報酬改定に向けた政策提言の基礎資料とするため、通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護のそれぞれ有する本来の役割、期待されている役割、実際に果たしている役割について実態を把握する。

②主な設問テーマ

1. 事業者向けアンケート

- (1) 事業所の概要
- (2) 利用者の状況について
 - ①看護職員が対応している医療的ケア
 - ②居宅内での介助の状況
 - ③訪問によるサービス提供の意向等
- (3) 職員の状況について
- (4) 貴事業所のサービス提供状況について
 - ①力を入れている機能
 - ②福祉用具・介護ロボットの活用について
 - ③家族介護者支援について

- ④介護保険外サービス・自費サービスについて
 - ⑤ケアマネジャーとの情報提供等の実施について
 - (5) 認知症への対応について
 - (6) 業務効率化に向けた取組について
2. 利用者・家族介護者向けアンケート
- (1) 利用者及び家族介護者の基本情報
 - (2) 加算算定状況
 - (3) 利用前に利用していた介護保険サービス等、現在利用している他の介護保険サービス等
 - (4) 必要な医療的ケア
 - (5) サービス利用のきっかけ、目標等
 - (6) サービス利用にあたってのケアマネジャーからの説明及び実際に受けたサービスとの違い
 - (7) デイサービスに通うことによる成果（利用者・家族介護者）

③調査対象の抽出方法

1) 対象事業所の抽出

各都道府県の介護サービス情報公表システムに記載されている情報から、各都道府県の事業所数に応じた層化無作為抽出法に基づいて抽出した。

2) 対象事業所における対象利用者の抽出

通常営業日を1日選び、その日の1コース（単位）分の利用者全員を対象とした。

④調査対象数

全国の通所介護事業所（6,000 事業所）、地域密着型通所介護事業所（5,000 事業所）及び認知症対応型通所介護事業所（1,000 事業所） 計 12,000 事業所

※「介護サービス情報公表システム」より指定事業所情報を収集し、全国の通所介護指定事業所名簿を作成して、本アンケート調査の対象事業所抽出の台帳とした

⑤調査実施方法

【事業所票】Web アンケート方式と郵送配布回収方式を併用実施。

【利用者・家族票】対象事業所向けに、事業所票の回答案内に同梱し郵送配布。事業所で回収した利用者・家族票を取りまとめて一括し郵送で返送。

⑥実施時期

○Web アンケート（事業所票のみ）

令和4年2月1日～令和4年2月18日（事業所票の入力期限：令和4年2月21日）

○郵送による配布・回収

令和4年2月1日～令和4年2月18日（利用者・家族票の回収期限：令和4年2月25日）

⑦回収状況

事業所票有効回収数：通所介護事業所	1,502 件	回収率：25.0%
地域密着型通所介護事業所	1,457 件	回収率：29.1%
認知症対応型通所介護事業所	250 件	回収率：25.0%
合計	3,209 件	回収率：26.7%

利用者・家族票有効回収数：通所介護事業所	5,286 件
地域密着型通所介護事業所	4,046 件
認知症対応型通所介護事業所	721 件
合計	10,053 件

- ・事業所回答票、利用者本人回答票、家族介護者回答票のいずれかに回答があった場合は分析の対象とした（無回答の回答票については集計対象から除外している）。

(2) ヒアリング調査

①目的

アンケート集計による量的調査によって明らかになった結果を、個別ヒアリングにより質的調査を実施し補完する。

②選定基準

通所介護事業所・地域密着型通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所のうち認知症対応型通所介護事業所を含む二種別以上を有する事業者・事業所

③選定事例

本調査検討委員会へ調査対象事業所を提案し、次の法人を選定した。

- ・株式会社日本ケアリンク（東京都港区）
- ・社会福祉法人一燈会（神奈川県中郡二宮町）

④調査方法

法人のエリアマネージャー、事業所の管理者を対象にオンラインによるヒアリングを実施した。

⑤主な調査テーマ・項目

- ・法人の全体事業における通所系サービス事業の当該圏域における参入経緯、狙い
- ・通所系サービス事業の想定対象利用者像、利用者ニーズ
- ・主なサービスの利用と提供実態
- ・利用者圏域内の他の通所系サービス事業所との機能・役割分担・ポジショニング戦略
- ・ケアマネージャーとの連携、情報共有実態
- ・今後の事業経営・運営方針、展望

4 実施体制

(1) 調査検討委員会

①委員構成 計9名

(五十音順、敬称略)

名前	役職
国府田 文則	国士舘大学 政経学部 非常勤講師
小林 功	社会福祉法人富士見町社会福祉協議会 事務局次長
斉藤 秀之	公益社団法人日本理学療法士協会 会長
斉藤 正行	一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長
酒井 宏和	一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会 理事
篠田 浩	大垣市健康福祉部社会福祉課 課長
鈴木 靖	一般社団法人日本在宅介護協会 通所介護部会 委員 セントケア・ホールディング株式会社 事業支援本部 施設支援部 次長
竹中 佐江子	一般社団法人日本作業療法士協会 理事 株式会社東京リハビリテーションサービス 取締役
◎栃本 一三郎	上智大学 総合人間科学部 教授

②厚生労働省オブザーバー

名前	役職
平井 智章	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 課長補佐
石松 香絵	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 基準第二係長
元木 大地	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 基準第二係

③事務局体制

事務局：一般社団法人全国介護事業者連盟

調査協力：

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	シニアマネージャー	足立 圭司
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	マネージャー	大塚 恒治
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	シニアコンサルタント	池永 藍

(2) 調査検討委員会等の開催実績

①調査検討委員会

回	日程	検討事項
第1回	令和3年11月26日(金)	全体事業実施計画案 アンケート票の設問体系案
第2回	令和3年12月20日(月)	アンケート票案の報告と検討 ヒアリング調査実施計画素案
第3回	令和4年3月9日(水)	アンケート回収票の中間集計結果報告 報告書の構成案
第4回	令和4年3月28日(月)	ヒアリング調査報告 事業報告書案とりまとめ

②作業部会

回	日程	検討事項
第1回	令和3年12月14日(火)	調査票(アンケート調査、ヒアリング調査)の全体構成案の検討
第2回	令和4年1月7日(金)	調査票(アンケート調査、ヒアリング調査)の調査項目案の検討
第3回	令和4年3月4日(金)	アンケート調査中間とりまとめ作業、ヒアリング先の検討
第4回	令和4年3月18日(金)	アンケート調査、ヒアリング調査とりまとめ作業

第2章 調査結果概要

本調査研究事業を実施した結果により把握できた全国の通所介護等事業所の運営状況の実態から、今年度事業の主なテーマに則して特に明らかにすることができた事項について以下に概説する（※図表番号は報告書本文第3章及び第4章中の掲載番号を指す）。

1. 取組んでいるサービス機能一多機能化の方向

- ・本調査では、通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護に対し、共通の調査項目を用いて事業所の概要、利用者や職員の状況、取組の実態等を明らかにしたところ、三種別がそれぞれ機能と役割に特徴を有していることが分かった。

全体	力を入れているのは、「心身機能の維持向上」が最も多く9割以上、次いで「生活行為力の向上」が8割弱、「認知症対応」が6割弱、「家族介護者支援」が5割弱となっている。（図表73）
通所介護	上記（全体）に加えて「重度者対応」への取組に3割強の事業所が力を入れており、他の種別に比べて割合が高い。（図表73） なお、4時間未満の所要時間区分の事業所のうち98.1%が「心身機能の維持向上」について力を入れている。（図表74）
地域密着型通所介護	上記（全体）に加えて34.7%の事業所が「地域支援・交流拠点」への取組に力を入れており、他の種別に比べて割合が高い。（図表73） 「重度者対応」については2割弱となっており、他の種別に比べて低くなっている。（図表73） なお、4時間未満の所要時間区分の事業所のうち96.1%が「心身機能の維持向上」について力を入れている。（図表74）
認知症対応型通所介護	当然のことながら「認知症対応」に94.7%、「心身機能の維持向上」に76.3%、次いで「家族介護者支援」に65.1%の事業所が力を入れている。（図表73） 「心身機能の維持向上」、「社会参加支援」については、他の種別に比べて低くなっている。（図表74）

図表73 Q26c1 貴事業所での取組状況（力を入れているもの） [単位: (上段)実数, (下段)%]

	全体	心身機能の維持向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流拠点	家族介護者支援	累計 (n) %	1事業所当たりの回答機能数
全体	2288 100.0	2061 90.1	1789 78.2	956 41.8	1348 58.9	556 24.3	693 30.3	1110 48.5	8513 372.1	3.7
通所介護	1030 100.0	945 91.7	803 78.0	424 41.2	586 56.9	317 30.8	262 25.4	474 46.0	3811 370.0	3.7
地域密着型通所介護	1089 100.0	987 90.6	866 79.5	477 43.8	602 55.3	201 18.5	378 34.7	526 48.3	4037 370.7	3.7
認知症対応型通所介護	169 100.0	129 76.3	120 71.0	55 32.5	160 94.7	38 22.5	53 31.4	110 65.1	665 393.5	3.9

図表 74 Q26c1 貴事業所での取組状況（力を入れているもの） [単位: (上段)実数, (下段)%]

	全体	心身機能の維持向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流拠点	家族介護者支援	累計 (n) %
全体	2279 100.0	2052 90.0	1782 78.2	955 41.9	1345 59.0	555 24.4	692 30.4	1109 48.7	8490 372.5
通所介護	1028 100.0	943 91.7	802 78.0	424 41.2	586 57.0	317 30.8	262 25.5	474 46.1	3808 370.4
4時間未満	103 100.0	101 98.1	90 87.4	55 53.4	38 36.9	8 7.8	27 26.2	27 26.2	346 335.9
4時間以上	925 100.0	842 91.0	712 77.0	369 39.9	548 59.2	309 33.4	235 25.4	447 48.3	3462 374.3
地域密着型通所介護	1084 100.0	982 90.6	862 79.5	477 44.0	600 55.4	201 18.5	378 34.9	526 48.5	4026 371.4
4時間未満	336 100.0	323 96.1	287 85.4	182 54.2	135 40.2	32 9.5	123 36.6	96 28.6	1178 350.6
4時間以上	748 100.0	659 88.1	575 76.9	295 39.4	465 62.2	169 22.6	255 34.1	430 57.5	2848 380.7
認知症対応型通所介護	167 100.0	127 76.0	118 70.7	54 32.3	159 95.2	37 22.2	52 31.1	109 65.3	656 392.8
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	167 100.0	127 76.0	118 70.7	54 32.3	159 95.2	37 22.2	52 31.1	109 65.3	656 392.8

- ・2016年度以降の老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業で実施されてきた通所介護の実態調査研究で明らかにしている結果を援用し、直近6年間（2016年度～2021年度）の通所介護事業所が「力を入れて取組んでいる機能」の推移をみると、事業所あたりの力を入れている機能は多種類にわたる傾向を読み取ることができ、通所介護等がともに地域包括ケアシステムの中のデイサービスの役割を認識し、多機能化に向けて事業者が取組んでいることが分かる。

【参考】「通所介護が重視して取組んでいる機能」の過去調査からの回答率推移・変遷について

2016年度～2021年度の6年間に3回、同一選択肢で設問を設けており、その推移は以下の通り。

一つ目は国の重点目標に沿って回答が推移していること（特に「心身機能維持向上」、「生活行為力向上」、「社会参加支援」、「認知症対応」等）が分かる。特に「心身機能維持向上」、「生活行為力向上」の増加幅が顕著である。二つ目は、事業所回答機能数が漸増しており、通所介護事業所の「多機能化」が見て取れる。

調査研究 実施年度	心身機能維持 向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流 拠点	家族介護者支援	1事業所あたり の回答機能数
2016年度	59.0	54.4	21.7	39.9	17.8	15.6※	31.6	2.4
2019年度	85.4	74.0	38.2	56.2	35.7	19.5	37.7	3.4
2021年度	91.7	78.0	41.2	56.9	30.8	25.4	46.0	3.7

※2016年は「地域連携拠点」の選択肢名で実施しており、他年度と同一選択肢ではない点に注意。

- ・次に、利用者の心身機能について今回の調査では要介護度のみならず、障害高齢者の日常生活自立度と認知症高齢者の日常生活自立度を用いて分析した。医療的ケアについては事業所票の看護職員が対応している医療的ケアの必要な利用者について実施している内容（26項目）のデータを分析した。
- ・その結果、通所介護等についてそれぞれ心身機能・利用者像及び医療的ケアの対応を見ていくことにより、次のことが言える。

通所介護と地域密着型通所介護は心身機能の状態像が類似している
 認知症対応型通所介護は、通所介護と地域密着型通所介護に比べて重度の利用者が多い
 医療的ケアを必要とする利用者は通所介護が多い
 地域密着型通所介護と認知症対応型通所介護は、医療的ケアを必要とする利用者は現時点では少ない

- このことから、現状では認知症ケアを必要としない在宅の要介護者のうち、医療的ケアを必要とする場合には通所介護、医療的ケアを必要としない場合には地域密着型通所介護、認知症ケアを必要とする要介護者のうち医療的ケアを必要としない場合には認知症対応型通所介護というマッピングが行える。

※本事業の分析用に集計（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上）

	心身機能			医療的ケア (Q18「看護職員 が対応している 医療的ケア実 施」の割合)
	要介護度 (Q13「要介護 度別利用登録者 数」の要介護3 ～5の割合)	障害高齢者の日 常生活自立度 (Q14「障害自 立度別人数」B1 ～C2の割合)	認知症高齢者の 日常生活自立度 (Q15「認知症 自立度別人数」 Ⅱ～Mの割合)	
通所介護	32.7%	18.5%	48.6%	90.4%
地域密着型通所介護	29.0%	13.6%	43.1%	58.6%
認知症対応型通所介護	41.6%	26.7%	84.8%	67.0%

【参考】

※厚生労働省が定義する「中重度」の基準に沿って集計（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上）

	心身機能			医療的ケア (Q18「看護職員 が対応している 医療的ケア実 施」の割合)
	要介護度 (Q13「要介護 度別利用登録者 数」の要介護3 ～5の割合)	障害高齢者の日 常生活自立度 (Q14「障害自 立度別人数」B1 ～C2の割合)	認知症高齢者の 日常生活自立度 (Q15「認知症 自立度別人数」 Ⅲ～Mの割合)	
通所介護	32.7%	18.5%	22.2%	90.4%
地域密着型通所介護	29.0%	13.6%	18.1%	58.6%
認知症対応型通所介護	41.6%	26.7%	49.6%	67.0%

- 今回の調査結果では、通所介護等のうち4割の事業所で訪問によるサービス提供について「介護報酬の算定対象になるなら提供してみたい」と回答しており、特に「認知症対応型通所介護」では、5割の事業所が実施について前向きに回答している。この点からも、通所介護等が更なる多機能化の事業意欲を有していることが分かる。（図表 62）

図表 62 Q23 訪問によるサービス提供に対する考え方 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい	介護報酬の算定対象とならなくても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となったとしても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない
全体	3133 100.0	1391 44.4	211 6.7	93 3.0	1438 45.9
通所介護	1479 100.0	626 42.3	95 6.4	39 2.6	719 48.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	660 46.0	109 7.6	46 3.2	621 43.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	105 48.2	7 3.2	8 3.7	98 45.0

2. サービスの実践状況について

- 通所介護等の取組んでいるサービスの多機能化とともに、利用者及び利用者家族の期待やニーズも多様化している。通所介護等が基準省令上の基本方針に定められている機能と利用者及び利用者家族の選択理由が概ね一致していることが分かった。

通所介護（デイサービス）の厚生労働省が定める指定基準 | 人員・設備・運営について

【第九十二条】

指定居宅サービスに該当する通所介護（以下「指定通所介護」という。）の事業は、要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。

- 利用者本人が通っている通所介護等を選んだ理由について、「事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから」が67.4%、「お風呂に入ることができるから」が64.1%、「元気になると思ったから」が47.4%、「家族が安心するから」が47.1%、「機能訓練（体操や歩行練習など）が充実しているから」が42.7%となっている。（図表 219）
- また、利用者家族が利用者の通っている通所介護等を選んだ理由について、「事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから」が72.6%、「お風呂に入れてもらうことができるから」が68.5%、「本人が元気になると思ったから」が52.4%、「他の利用者や職員とのコミュニケーションを楽しんでもらえそうだったから」が49.9%、「自宅の近くに事業所があったから」が43.7%、「機能訓練（体操や歩行練習など）が充実しているから」が42.4%となっている。（図表 240）

全体	サービス提供時間中の食事の提供状況については、4時間未満の所要時間区分の事業所を除きほぼ全ての事業所で行っている。（図表 95） 機能訓練では、改善を図る課題について「歩行・移動」「生活意欲の向上」、「筋力」が8割以上、「体力」、「運動機能」、「入浴」等が次いで多く、「食事」、「排泄」等を上回っている。（図表 100） レクリエーション（アクティビティ）については、4時間未満の所要時間区分の事業所を除くとほぼ9割以上の事業所で行っている。（図表 109） 保険外サービスについては、4割弱の事業所が実施しており、内容は「利用者の理美容サービス」が2割弱、「利用者の衣類の洗濯」が次いで1割強となっている。（図表 115）
----	---

通所介護	機能訓練について工夫していることとして「理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を活用している」が三種別で最も割合が高くなっており、事業所規模や職員配置基準の強みを活かしている。(図表 102)
地域密着型通所介護	レクリエーション(アクティビティ)を行う上で工夫していることとして、「事業所周辺での散歩等、地域との交流を意識したプログラムを提供している」が通所介護に比較して割合が高くなっており、地域密着の特性が表れている。(図表 111)
認知症対応型通所介護	機能訓練で改善を図る課題について「入浴」、「コミュニケーション」、「排泄」、「食事」が他の種別に比較して高くなっており、生活全般での動作場面を想定していることが分かった。(図表 100) レクリエーション(アクティビティ)を行う上で工夫していることとして、「事業所周辺での散歩等、地域との交流を意識したプログラムを提供している」が三種別で最も多くなっていることに加え、「料理等、楽しんで生活機能を向上させることができるようなプログラムを提供している」が多いことから、より地域や生活を意識したサービス提供を行っていることがうかがえる。(図表 111)

図表 102 Q31 機能訓練について、工夫して実施していること [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	積極的に機能訓練に参加するよう、開始前に利用者に声かけを行っている	曜日ごと、時間帯ごとに異なる機能訓練項目を提供している	同一時間帯に複数の種類の機能訓練項目を提供している	個々の利用者の身体機能を把握し、それに応じた機能訓練を実施している	個々の利用者の生活課題を把握し、それに応じた機能訓練を実施している	個々の利用者の身体機能や生活課題を把握するために、利用者の居室を訪問している	利用者ごとに機能訓練計画を作成している
全体	3133 100.0	2315 73.9	712 22.7	1221 39.0	2268 72.4	1795 57.3	1214 38.7	1763 56.3
通所介護	1479 100.0	1118 75.6	351 23.7	587 39.7	1097 74.2	873 59.0	638 43.1	922 62.3
地域密着型通所介護	1436 100.0	1052 73.3	319 22.2	579 40.3	1024 71.3	807 56.2	532 37.0	756 52.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	145 66.5	42 19.3	55 25.2	147 67.4	115 52.8	44 20.2	85 39.0
	利用者ごとに機能訓練の実施状況や効果の評価を行っている	利用者ごとの機能訓練の実施状況や効果をふまえ、機能訓練項目の変更等を行っている	利用者が自宅でも自身で訓練を行うよう促している	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を活用している	集団訓練を取り入れている	その他	工夫していません	累計 (n) %
全体	1712 54.6	1445 46.1	1449 46.2	739 23.6	1926 61.5	60 1.9	60 1.9	18679 596.2
通所介護	894 60.4	748 50.6	735 49.7	458 31.0	961 65.0	21 1.4	25 1.7	9428 637.5
地域密着型通所介護	734 51.1	626 43.6	680 47.4	243 16.9	835 58.1	31 2.2	28 1.9	8246 574.2
認知症対応型通所介護	84 38.5	71 32.6	34 15.6	38 17.4	130 59.6	8 3.7	7 3.2	1005 461.0

図表 111 Q34-1 (Q34s2) レクリエーション (アクティビティ) を行う上で工夫していること
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	積極的にレクリエーション(アクティビティ)に参加するよう、開始前に利用者に声かけを行っている	曜日ごと、時間帯ごとに異なるプログラムを提供している	同一時間帯に複数の種類のプログラムを提供している	体操や合唱等、楽しんで身体機能を向上させることができるようなプログラムを提供している	料理等、楽しんで生活向上させることができるようなプログラムを提供している	事業所周辺での散歩等、地域との交流を意識したプログラムを提供している
全体	2793 100.0	2362 84.6	1367 48.9	865 31.0	2314 82.8	866 31.0	829 29.7
通所介護	1380 100.0	1212 87.8	740 53.6	430 31.2	1161 84.1	376 27.2	320 23.2
地域密着型通所介護	1198 100.0	964 80.5	541 45.2	368 30.7	960 80.1	377 31.5	414 34.6
認知症対応型通所介護	215 100.0	186 86.5	86 40.0	67 31.2	193 89.8	113 52.6	95 44.2
	レクリエーション(アクティビティ)で作った作品を事業所内に展示している	利用者自身に参加するプログラムを選んでいただいている	仲のよい利用者同士を近くの席にする等、実施時の配席を工夫している	その他	工夫していない	累計 (n) %	
全体	1976 70.7	810 29.0	1833 65.6	40 1.4	15 0.5	13277 475.4	
通所介護	1007 73.0	436 31.6	947 68.6	15 1.1	4 0.3	6648 481.7	
地域密着型通所介護	811 67.7	314 26.2	739 61.7	24 2.0	11 0.9	5523 461.0	
認知症対応型通所介護	158 73.5	60 27.9	147 68.4	1 0.5	0 0.0	1106 514.4	

3. 医療的ケアに対する対応状況について

- 通所介護等全体で見ると、新たに利用を希望した利用者を医療的ケアが困難であることを理由に「利用を断ったことはない」と回答した事業所が、回答のあった3,133事業所のうち87.5%の2,742事業所となっていることから、現状限られた医療資源の中で一定の医療ニーズに対して対応できていることが分かった。(図表 42)

全体	看護職員が対応している医療的ケアの上位は「服薬管理」、「褥瘡の処置」、「創傷の処置」、「摘便」等となっている。(図表 36)
通所介護	上記(全体)に加えて「インスリン注射」、「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理」、「たんの吸引」、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」、「口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理)」、「カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理」等への対応が多い。(図表 36)

- 通所介護等における看護職員の医療的ケアへの対応は、通所介護が最も多く地域密着型通所介護及び認知症対応型通所介護では少ない傾向にあるが、看護職員の人員配置基準の違いが大きいと考えられる。(図表 36)
- また、通所介護、地域密着型通所介護ともに4時間未満の所要時間区分では看護職員が対応している医療的ケアはないと回答する割合が高くなっている。(図表 37)

4時間未満の所要時間区分では、要介護1の割合が5割強を占めており、障害自立度Jが通所介護で4割、地域密着型通所介護で3割程度と最も多く、利用者の状態像が軽度であることが理由とみられる。(図表17)(図表20)

図表37 Q18 医療的ケアの必要な利用者について、医師の指示のもと実施しているものも含め、看護職員が対応している医療的ケア [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	看取り期のケア	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル(ロドール、留置カテーテル等)の管理	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	たんの吸引	ネブライザー	酸素療法(酸素吸入)	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	注射・点滴	簡易血糖測定	
全体	3119 100.0	143 4.6	524 16.8	148 4.7	19 0.6	482 15.5	683 21.9	573 18.4	57 1.8	484 15.5	77 2.5	23 0.7	81 2.6	368 11.8	
通所介護	1477 100.0	90 6.1	410 27.8	114 7.7	12 0.8	355 24.0	508 34.4	424 28.7	44 3.0	363 24.6	56 3.8	13 0.9	48 3.2	267 18.1	
4時間未満	144 100.0	1 0.7	4 2.8	2 1.4	2 1.4	5 3.5	16 11.1	5 3.5	1 0.7	13 9.0	1 0.7	0 0.0	2 1.4	6 4.2	
4時間以上	1333 100.0	89 6.7	406 30.5	112 8.4	10 0.8	350 26.3	492 36.9	419 31.4	43 3.2	350 26.3	55 4.1	13 1.0	46 3.5	261 19.6	
地域密着型通所介護	1428 100.0	47 3.3	94 6.6	30 2.1	7 0.5	108 7.6	151 10.6	124 8.7	12 0.8	108 7.6	19 1.3	10 0.7	30 2.1	90 6.3	
4時間未満	440 100.0	0 0.7	4 0.9	0 0.0	0 0.0	10 2.3	20 4.5	6 1.4	0 0.0	13 3.0	2 0.5	0 0.2	3 0.7	9 2.0	
4時間以上	988 100.0	44 4.5	90 9.1	30 3.0	7 0.7	98 9.9	131 13.3	118 11.9	12 1.2	95 9.6	17 1.7	9 0.9	27 2.7	81 8.2	
認知症対応型通所介護	214 100.0	6 2.8	20 9.3	4 1.9	0 0.0	19 8.9	24 11.2	25 11.7	1 0.5	13 6.1	2 0.9	0 0.0	3 1.4	11 5.1	
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	214 100.0	6 2.8	20 9.3	4 1.9	0 0.0	19 8.9	24 11.2	25 11.7	1 0.5	13 6.1	2 0.9	0 0.0	3 1.4	11 5.1	
		インスリン注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析(在宅自己腹膜灌流含む)	導尿	疼痛の看護	洗腸	排便	リハビリテーション	口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理)	その他	看護職員が対応している医療的ケアはない	累計(n) %
全体	776 24.9	1090 34.9	1197 38.4	1778 57.0	43 1.4	228 7.3	224 7.2	651 20.9	881 28.2	564 18.1	683 21.9	81 2.6	800 25.6	12658 405.8	
通所介護	568 38.5	699 47.3	796 53.9	1072 72.6	33 2.2	167 11.3	147 10.0	439 29.7	562 38.1	332 22.5	390 26.4	36 2.4	142 9.6	8087 547.5	
4時間未満	12 8.3	29 20.1	15 10.4	40 27.8	3 2.1	4 2.8	8 5.6	4 2.8	3 2.1	27 18.8	26 18.1	10 6.9	63 43.8	302 209.7	
4時間以上	556 41.7	670 50.3	781 58.6	1032 77.4	30 2.3	163 12.2	139 10.4	435 32.6	559 41.9	305 22.9	364 27.3	26 2.0	79 5.9	7785 584.0	
地域密着型通所介護	182 12.7	327 22.9	331 23.2	597 41.8	10 0.7	56 3.9	68 4.8	173 12.1	261 18.3	204 14.3	256 17.9	39 2.7	588 41.2	3922 274.6	
4時間未満	17 3.9	44 10.0	19 4.3	67 15.2	2 0.5	5 1.1	10 2.3	5 1.1	7 1.6	52 11.8	64 14.5	17 3.9	276 62.7	656 149.1	
4時間以上	165 16.7	283 28.6	312 31.6	530 53.6	8 0.8	51 5.2	58 5.9	168 17.0	254 25.7	152 15.4	192 19.4	22 2.2	312 31.6	3266 330.6	
認知症対応型通所介護	26 12.1	64 29.9	70 32.7	109 50.9	0 0.0	5 2.3	9 4.2	39 18.2	58 27.1	28 13.1	37 17.3	6 2.8	70 32.7	649 303.3	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	26 12.1	64 29.9	70 32.7	109 50.9	0 0.0	5 2.3	9 4.2	39 18.2	58 27.1	28 13.1	37 17.3	6 2.8	70 32.7	649 303.3	

・法人形態別で見ると、社会福祉法人及び医療法人が運営している通所介護で「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」及び「たんの吸引」等の実施割合が高く、介護職員等による喀痰吸引等事業者の登録状況と傾向が同じであることから、医療的ケアに対する体制を整えている法人形態の対応力が高いと考えられる。(図表38)(図表47)

・一方、特に対処が困難な医療的ケアについて、その理由として「時間を要するケアであり、これを行っている時間帯は人手が不足するから」が全体平均で約7割を占めていることから、人的対応力の不足が共通して挙げられている。(図表41)

4. 利用者の利用開始前及び利用中止後の居場所の状況について

(1) 利用開始前の居場所

・通所介護等の利用者の利用前の主な居場所は、回答のあった12,602人のうち「利用していなかった(現在の通所介護等が初めての利用)」が4,276人で33.9%を占めており、新規利用者の3人に1人は初めて利用する介護保険サービスが通所介護等であることが明らかになった。

このことから、通所介護等は要介護高齢者が介護保険制度に関わる入り口として重要な位置付けにあり、地域包括ケアシステムにおける適切な介護サービス利用の起点となる役割を有していると考えられる。（図表 35）

- また、「病院等の医療機関に入院」の回答が 2,386 人で 18.9%と次いで多く、通所介護等の利用者には入院加療後の回復期を経て居宅復帰後、最初に利用開始する介護保険サービスとして通所介護等を選択している利用者が一定程度いることが分かる。（図表 35）

(2) 利用終了後の居場所

- 直近半年間で通所介護等の利用終了後の居場所について、全体では病院等の医療機関に入院した割合がもっとも高いが、各種別において居住系サービスの利用開始までの在宅生活を継続するための役割をそれぞれ担っていることが分かった。（図表 29）

全体	「病院等の医療機関に入院した」の次に「亡くなった（在宅以外）」となっており、「老人保健施設、介護療養型施設に入所した」「特別養護老人ホームに入所した」、「亡くなった（在宅で看取り）」の順となっており、在宅生活の限界までを通所介護等が支えていると言える。（図表 29）
通所介護	上記（全体）に加えて「重度化し通えなくなった」、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居した」、「本人が通うことを拒否したため利用をやめた」、「グループホームに入居した」等が多く、通所介護の利用終了後の介護保険サービスの選択肢が多様であることがうかがえる。（図表 29） 法人形態別で見ると社会福祉法人が運営している通所介護で「特別養護老人ホームに入所した」が多く見られる傾向から、運営法人内の通所介護を利用し、その後特別養護老人ホームへの入所へ至るサービス利用が行われていると考えられる。（図表 31） なお、4 時間未満の所要時間区分の事業所では「重度化し通えなくなった」及び「他の通所介護事業所の利用に切り替えた」が多い。（図表 30）
地域密着型通所介護	4 時間未満の所要時間区分の事業所では、「重度化し通えなくなった」及び「他の通所介護事業所の利用に切り替えた」が多いことから、状態像の変化に伴い通所介護等の中でもサービス利用の切り替えが起こっている。（図表 30）
認知症対応型通所介護	上記（全体）に加えて「グループホームに入居した」、「重度化し通えなくなった」、「小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた」が多いことから、地域における認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）のひとつとして機能していることが分かった。（図表 29）

図表 30 Q16-1 (Q16s3) 利用を終了した理由別の人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院した	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した	3. 特別養護老人ホームに入所した	4. グループホームに入居した	5. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居した	6. 訪問介護の利用に切り替えた	7. 訪問看護の利用に切り替えた	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	10. 看護小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	11. 訪問リハビリテーションの利用に切り替えた
全体	13024 100.0	3003 23.1	1492 11.5	1432 11.0	587 4.5	663 5.1	64 0.5	44 0.3	2 0.0	162 1.2	19 0.1	24 0.2
通所介護	7774 100.0	1806 23.2	888 11.4	960 12.3	330 4.2	390 5.0	32 0.4	19 0.2	2 0.0	92 1.2	11 0.1	9 0.1
4時間未満	832 100.0	235 28.2	64 7.7	43 5.2	9 1.1	24 2.9	4 0.5	4 0.5	0 0.0	10 1.2	0 0.0	6 0.7
4時間以上	6942 100.0	1571 22.6	824 11.9	917 13.2	321 4.6	366 5.3	28 0.4	15 0.2	2 0.0	82 1.2	11 0.2	3 0.0
地域密着型通所介護	4607 100.0	1044 22.7	500 10.9	402 8.7	196 4.3	241 5.2	27 0.6	22 0.5	0 0.0	54 1.2	7 0.2	14 0.3
4時間未満	1850 100.0	421 22.8	152 8.2	112 6.1	44 2.4	78 4.2	10 0.5	13 0.7	0 0.0	15 0.8	2 0.1	13 0.7
4時間以上	2740 100.0	617 22.5	347 12.7	289 10.5	151 5.5	162 5.9	17 0.6	9 0.3	0 0.0	39 1.4	5 0.2	1 0.0
認知症対応型通所介護	643 100.0	153 23.8	104 16.2	70 10.9	61 9.5	32 5.0	5 0.8	3 0.5	0 0.0	16 2.5	1 0.2	1 0.2
4時間未満	0.0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	633 100.0	149 23.5	102 16.1	70 11.1	61 9.6	32 5.1	5 0.8	3 0.5	0 0.0	16 2.5	1 0.2	1 0.2
		12. 通所リハビリテーションの利用に切り替えた	13. 通所介護事業所の利用に切り替えた ※通所介護事業所が回答する場合のみ、他の通所介護事業所の利用に切り替えた	14. 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた ※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた	15. 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた ※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた	16. 重度化し通えなくなった	17. 生活機能が改善し、通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）を利用する必要がなくなった	18. 本人が通うことを拒否したため利用をやめた	19. 亡くなった（在宅で看取り）	20. 亡くなった（19以外）	21. その他の理由	22. わからない、把握していない
全体	131 1.0	538 4.1	103 0.8	34 0.3	747 5.7	103 0.8	625 4.8	987 7.6	1883 14.5	282 2.2	99 0.8	
通所介護	72 0.9	322 4.1	12 0.2	22 0.3	392 5.0	55 0.7	361 4.6	600 7.7	1215 15.6	145 1.9	39 0.5	
4時間未満	13 1.6	93 11.2	4 0.5	2 0.2	105 12.6	28 3.4	60 7.2	38 4.6	52 6.3	35 4.2	3 0.4	
4時間以上	59 0.8	229 3.3	8 0.1	20 0.3	287 4.1	27 0.4	301 4.3	562 8.1	1163 16.8	110 1.6	36 0.5	
地域密着型通所介護	57 1.2	207 4.5	90 2.0	11 0.2	330 7.2	45 1.0	248 5.4	350 7.6	585 12.7	124 2.7	53 1.2	
4時間未満	31 1.7	138 7.5	61 3.3	7 0.4	235 12.7	30 1.6	143 7.7	105 5.7	151 8.2	60 3.2	29 1.6	
4時間以上	26 0.9	69 2.5	28 1.0	4 0.1	94 3.4	15 0.5	103 3.8	243 8.9	433 15.8	64 2.3	24 0.9	
認知症対応型通所介護	2 0.3	9 1.4	1 0.2	1 0.2	25 3.9	3 0.5	16 2.5	37 5.8	83 12.9	13 2.0	7 1.1	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	2 0.3	9 1.4	1 0.2	1 0.2	25 3.9	3 0.5	16 2.5	35 5.5	83 13.1	11 1.7	7 1.1	

5. 認知症状のある利用者へのアセスメント及びモニタリング、ソーシャルワーク実践状況について

・通所介護等全体で見ると、認知症状のある利用者へのサービス提供は9割以上（認知症対応型通所介護は100%）行われている。（図表 149）

さらに、新たに利用を希望した利用者を認知症への対応が困難である等の理由で断ったことがある事業所は5.0%以下であることから、地域における認知症ケアの社会資源として機能していることがうかがえる。（図表 165）

全体	認知症状のある利用者に対するアセスメント時の対象者は、家族及びケアマネジャーが9割以上となっており、本人以外から得られる情報を重視していることが分かった。(図表 153) アセスメントの内容については、「自宅での利用者の生活の様子や、生活課題について」、「家族等が対応に苦慮している症状や、家族の生活状況について」、「自宅での利用者の様子や家族等の対応について」が高い割合となっており、家族の介護力も含めた在宅生活の実態を重点的に把握していることがうかがえる。(図表 154)
認知症対応型通所介護	上記(全体)に加えて、アセスメント時の対象者は他の介護保険サービス事業所、かかりつけ医も2割以上であることから、他機関への聞き取りも並行して行っていることが特徴的であり、モニタリングについても同様の傾向が見られる。(図表 153)

図表 153 Q46 認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の聞き取りを行う対象者
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	本人	家族	ケアマネ ジャー	他の介護保 険サービス 事業所	かかりつけ 医	医療機関 (かかりつ け医以外)	その他	特に聞き取 りは行って いない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	2125 73.6	2652 91.9	2627 91.0	523 18.1	472 16.3	68 2.4	17 0.6	95 3.3	8579 297.2
通所介護	1377 100.0	1001 72.7	1269 92.2	1259 91.4	263 19.1	225 16.3	41 3.0	9 0.7	44 3.2	4111 298.5
地域密着型通所介護	1292 100.0	940 72.8	1172 90.7	1161 89.9	204 15.8	203 15.7	21 1.6	4 0.3	50 3.9	3755 290.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	184 84.4	211 96.8	207 95.0	56 25.7	44 20.2	6 2.8	4 1.8	1 0.5	713 327.1

- ・ 認知症対応型通所介護では、若年性認知症の利用者へのサポートを含め、地域における取組内容及び連携先が認知症カフェ、認知症サポーター養成等を積極的に行い、家族向けの相談機能やサポート、専門機関や社会資源の紹介等の割合が他に比べて高いことから、ソーシャルワークの機能を発揮していることが明らかになった。(図表 159) (図表 171)

図表 159 Q50-1(Q50s2) 若年性認知症の利用者へのサポート内容 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	他の利用者 とは異なる ケアや活動 プログラム を準備して いる	利用者本人 の社会参加 の機会を提 供している	若年性認知 症利用者に 特化した家 族へのサ ポートを 行っている	認知症地域 支援推進員 と連携して いる	若年性認知 症コーディネ ーターと 連携してい る	専門医療、 相談機関へ の紹介を 行っている	地域の社会 資源の紹 介、情報提 供を行って いる	その他	特にサポー トして いない	累計 (n) %
全体	301 100.0	123 40.9	136 45.2	54 17.9	11 3.7	11 3.7	28 9.3	26 8.6	14 4.7	73 24.3	476 158.1
通所介護	132 100.0	45 34.1	60 45.5	20 15.2	3 2.3	1 0.8	7 5.3	5 3.8	2 1.5	41 31.1	184 139.4
地域密着型通所介護	123 100.0	52 42.3	56 45.5	20 16.3	6 4.9	6 4.9	9 7.3	9 7.3	8 6.5	26 21.1	192 156.1
認知症対応型通所介護	46 100.0	26 56.5	20 43.5	14 30.4	2 4.3	4 8.7	12 26.1	12 26.1	4 8.7	6 13.0	146 317.4

図表 171 Q57 貴事業所にて、認知症の人を地域で支援するために実施している取組
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	認知症力 フェの開設	認知症の人 やその家族 向けの相談 窓口の設置	認知症サ ポーター養 成講座の開 催	認知症サ ポーター養 成講座以外 の、地域住 民向けの認 知症対応講 習会等の実 施	認知症の人 の見守り ネットワー クの構築	認知症の人 を支援する ボランティア 団体の構築	その他	実施してい る取組はな い	累計 (n) %
全体	2887 100.0	163 5.6	390 13.5	185 6.4	85 2.9	147 5.1	33 1.1	95 3.3	2111 73.1	3209 111.2
通所介護	1377 100.0	67 4.9	141 10.2	99 7.2	35 2.5	60 4.4	13 0.9	33 2.4	1053 76.5	1501 109.0
地域密着型通所介護	1292 100.0	51 3.9	172 13.3	54 4.2	29 2.2	70 5.4	14 1.1	46 3.6	966 74.8	1402 108.5
認知症対応型通所介護	218 100.0	45 20.6	77 35.3	32 14.7	21 9.6	17 7.8	6 2.8	16 7.3	92 42.2	306 140.4

6. 居宅内での介助について

- ・居宅内での介助については、4時間未満の所要時間区分以外は6割以上の事業所が提供しており、介護福祉士の有資格者によるサービス提供が9割を超えていることから専門性を有した職員によるサービス提供が定着していることが分かる。(図表 50) (図表 52)
- ・地域密着型通所介護の4時間以上のサービス提供区分の場合は67.2%であるが、4時間未満のサービス提供区分の実施割合は31.6%にとどまっていることから、利用者の状態像やニーズによって介助の実施割合が大きく異なっていることがうかがえる。(図表 50)

図表 50 Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	居宅内での 介助を行っ ている	居宅内での 介助は行っ ていない
全体	3119 100.0	1953 62.6	1166 37.4
通所介護	1477 100.0	1011 68.4	466 31.6
4時間未満	144 100.0	46 31.9	98 68.1
4時間以上	1333 100.0	965 72.4	368 27.6
地域密着型通所介護	1428 100.0	803 56.2	625 43.8
4時間未満	440 100.0	139 31.6	301 68.4
4時間以上	988 100.0	664 67.2	324 32.8
認知症対応型通所介護	214 100.0	139 65.0	75 35.0
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	139 65.0	75 35.0

- ・法人形態別では、社会福祉協議会、社会福祉法人が居宅内での介助を行っている割合が高い傾向にあるが、居宅内での介助を行っていない理由については、営利法人(会社)が「居宅内での介助を行うことができる有資格者を、送迎時間帯に確保することができないため」と回答している割合が高く、人員体制の課題が大きいと考えられる。(図表 51) (図表 61)

図表 51 Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	居宅内での 介助を行っ ている	居宅内での 介助は行っ ていない
全体	3133 100.0	1958 62.5	1175 37.5
通所介護	1479 100.0	1012 68.4	467 31.6
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	378 100.0	283 74.9	95 25.1
医療法人	112 100.0	78 69.6	34 30.4
営利法人（会社）	802 100.0	511 63.7	291 36.3
特定非営利活動法人（NPO法人）	22 100.0	13 59.1	9 40.9
社会福祉協議会	72 100.0	61 84.7	11 15.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	4 80.0	1 20.0
その他	88 100.0	62 70.5	26 29.5
地域密着型通所介護	1436 100.0	806 56.1	630 43.9
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	130 100.0	92 70.8	38 29.2
医療法人	51 100.0	29 56.9	22 43.1
営利法人（会社）	1053 100.0	551 52.3	502 47.7
特定非営利活動法人（NPO法人）	94 100.0	63 67.0	31 33.0
社会福祉協議会	21 100.0	15 71.4	6 28.6
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	1 25.0	3 75.0
その他	83 100.0	55 66.3	28 33.7
認知症対応型通所介護	218 100.0	140 64.2	78 35.8
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	47 61.0	30 39.0
医療法人	26 100.0	18 69.2	8 30.8
営利法人（会社）	83 100.0	56 67.5	27 32.5
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	4 44.4	5 55.6
社会福祉協議会	7 100.0	6 85.7	1 14.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	1 100.0
その他	15 100.0	9 60.0	6 40.0

7. 事業所と地域のケアマネジャー間の情報提供・活用

- ・本調査では、事業所及び利用者・利用者家族に対し、近隣の居宅介護支援事業所や利用者を担当するケアマネジャー間との情報提供内容やその頻度等について把握した。
近隣の居宅介護支援事業所に対し通所介護等が行っている情報提供は、事業所の基本情報の他に通所介護等がそれぞれアピールすべき機能に沿った特徴を有していることが分かった。

全体	「営業日・営業時間」、「利用定員」は8割以上、「加算・減算（入浴介助加算、延長加算、送迎減算等）の取得状況」、「利用料」、「通常の事業の実施地域」等は7割以上となっている。（図表 142）
通所介護	「医療的ケアの実施状況」が25.3%で他に比べて多く、重度者対応に力を入れていることを発信している。（図表 142） なお、4時間未満のサービス提供区分では、「機能訓練内容・1営業日当たり提供回数」が61.8%、「自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的事例」が20.1%の回答割合となっており、機能訓練にフォーカスした情報提供がなされている。（図表 143）
地域密着型通所介護	「地域等との交流状況」が20.3%で通所介護に比べて多く、地域密着型の特性が表れていると考えられる。（図表 142） なお、4時間未満のサービス提供区分では、「機能訓練内容・1営業日当たり提供回数」が61.8%、「自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的事例」が23.0%の回答割合となっており、機能訓練にフォーカスした情報提供がなされている。（図表 143）
認知症対応型通所介護	「認知症への対応状況」が7割以上、「地域等との交流状況」が2割強で三種別のうち最も多く、特性を強く表している。（図表 142）

図表 143 Q40 近隣の居宅介護支援事業所に対し、貴事業所が日頃行っている情報提供の内容
 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	営業日・営業時間	通常の事業の実施地域	利用定員	利用料	サービス提供にあたっての理念	加算・減算(入浴介助加算、延長加算、送迎減算等)の取得状況	職員配置	食事内容・1営業日あたり提供回数	機能訓練内容・1営業日あたり提供回数	レクリエーション(アクティビティ)内容・1営業日あたり提供回数	
全体	3119 100.0	2706 86.8	2204 70.7	2517 80.7	2285 73.3	1571 50.4	2348 75.3	1228 39.4	1195 38.3	1458 46.7	1434 46.0	
通所介護	1477 100.0	1302 88.2	1059 71.7	1176 79.6	1094 74.1	700 47.4	1155 78.2	552 37.4	632 42.8	730 49.4	740 50.1	
4時間未満	144 100.0	129 89.6	110 76.4	113 78.5	108 75.0	84 58.3	106 73.6	61 42.4	12 8.3	89 61.8	25 17.4	
4時間以上	1333 100.0	1173 88.0	949 71.2	1063 79.7	986 74.0	616 46.2	1049 78.7	491 36.8	620 46.5	641 48.1	715 53.6	
地域密着型通所介護	1428 100.0	1220 85.4	997 69.8	1159 81.2	1023 71.6	759 53.2	1031 72.2	585 41.0	462 32.4	652 45.7	581 40.7	
4時間未満	440 100.0	396 90.0	337 76.6	384 87.3	332 75.5	258 58.6	319 72.5	201 45.7	33 7.5	272 61.8	97 22.0	
4時間以上	988 100.0	824 83.4	660 66.8	775 78.4	691 69.9	501 50.7	712 72.1	384 38.9	429 43.4	380 38.5	484 49.0	
認知症対応型通所介護	214 100.0	184 86.0	148 69.2	182 85.0	168 78.5	112 52.3	162 75.7	91 42.5	101 47.2	76 35.5	113 52.8	
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	214 100.0	184 86.0	148 69.2	182 85.0	168 78.5	112 52.3	162 75.7	91 42.5	101 47.2	76 35.5	113 52.8	
		自助具・福祉用具・介護ロボットの活用状況	医療的ケアの実施状況	認知症への対応状況	自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的事例	地域等との交流状況	緊急時等における対応方法	非常災害対策	保険外サービスの提供状況	その他	積極的な情報提供は行っていない	累計(n)%
全体	185 5.9	621 19.9	1072 34.4	393 12.6	521 16.7	785 25.2	485 15.5	353 11.3	41 1.3	196 6.3	23598 756.6	
通所介護	100 6.8	374 25.3	479 32.4	168 11.4	180 12.2	379 25.7	206 13.9	159 10.8	15 1.0	79 5.3	11279 763.6	
4時間未満	6 4.2	11 7.6	25 17.4	29 20.1	14 9.7	33 22.9	19 13.2	9 6.3	0 0.0	10 6.9	993 689.6	
4時間以上	94 7.1	363 27.2	454 34.1	139 10.4	166 12.5	346 26.0	187 14.0	150 11.3	15 1.1	69 5.2	10286 771.6	
地域密着型通所介護	73 5.1	211 14.8	438 30.7	192 13.4	290 20.3	356 24.9	244 17.1	170 11.9	19 1.3	108 7.6	10570 740.2	
4時間未満	17 3.9	23 5.2	106 24.1	101 23.0	74 16.8	110 25.0	83 18.9	39 8.9	4 0.9	20 4.5	3206 728.6	
4時間以上	56 5.7	188 19.0	332 33.6	91 9.2	216 21.9	246 24.9	161 16.3	131 13.3	15 1.5	88 8.9	7364 745.3	
認知症対応型通所介護	12 5.6	36 16.8	155 72.4	33 15.4	51 23.8	50 23.4	35 16.4	24 11.2	7 3.3	9 4.2	1749 817.3	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	12 5.6	36 16.8	155 72.4	33 15.4	51 23.8	50 23.4	35 16.4	24 11.2	7 3.3	9 4.2	1749 817.3	

・通所介護等の近隣の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが事業所のサービス内容等を理解した上で要介護者に伝えてくれているかの問いには、回答のあった3,133事業所のうち75.0%の2,350事業所が「理解して、要介護者に伝えてくれていると思う」と回答しており、事業所所在の圏域内におけるケアマネジャーとの信頼関係は総じて構築できていると考えられる。(図表 144)

・利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーに情報提供を行う内容については、回答のあった3,106事業所のうち「通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所での様子」が95.5%で2,966事業所、身体状況の変化が90.2%で2,802事業所と多い。通所介護等では、送迎時やサービス利用時間帯の様子を通して利用者の状態像の変化を迅速かつ詳細に把握できることから、得られた情報を担当ケアマネジャーへ提供することによって、より適切なケアマネジメントの実施に寄与していると考えられる。(図表 147)

・認知症対応型通所介護では「家族介護者の状況の変化」が67.4%と他の種別に比べて高い傾向にあることから、利用者本人の情報に加えて家族介護者に関する情報を重視していることが分かる。(図表 147)

・また、利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容については、回答のあった3,133事業所のうち「身体状況の変化」が83.4%で2,612事業所と最も多いが、次いで「家族介護者の状況の変化」が70.5%で2,209事業所となっており、ケアマネジャーも家族介護者に関する情報の優先順位が高いことがうかがえる。（図表148）

「家族介護者の状況の変化」は三種別で認知症対応型通所介護が80.3%ともっとも高く、認知症高齢者の在宅生活継続には家族介護者の状況が重要であることを示している。（図表148）

図表147 Q41-1(Q41s2)利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーに情報提供を行う内容 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	通所介護 (地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所での様子	生活意欲の変化	身体状況の変化	生活課題の変化	家族介護者の状況の変化	当該利用者にとって有効と考えられるサービスプログラム(機能訓練・レクリエーションメニュー等)	その他	累計(n) %
全体	3106 100.0	2966 95.5	2001 64.4	2802 90.2	1765 56.8	1672 53.8	977 31.5	37 1.2	12220 393.4
通所介護	1465 100.0	1403 95.8	952 65.0	1325 90.4	826 56.4	800 54.6	487 33.2	9 0.6	5802 396.0
地域密着型通所介護	1423 100.0	1354 95.2	911 64.0	1284 90.2	814 57.2	725 50.9	426 29.9	23 1.6	5537 389.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	209 95.9	138 63.3	193 88.5	125 57.3	147 67.4	64 29.4	5 2.3	881 404.1

図表148 Q42 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	他サービスの利用状況	生活意欲の変化	身体状況の変化	生活課題の変化	家族介護者の状況の変化	当該利用者にとって有効と考えられるサービスプログラム(機能訓練・レクリエーションメニュー等)	貴事業所を利用することにより得られたと思われる効果	その他	累計(n) %
全体	3133 100.0	1984 63.3	2021 64.5	2612 83.4	2040 65.1	2209 70.5	757 24.2	1366 43.6	36 1.1	13025 415.7
通所介護	1479 100.0	948 64.1	969 65.5	1254 84.8	986 66.7	1079 73.0	392 26.5	613 41.4	13 0.9	6254 422.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	884 61.6	910 63.4	1181 82.2	908 63.2	955 66.5	313 21.8	657 45.8	18 1.3	5826 405.7
認知症対応型通所介護	218 100.0	152 69.7	142 65.1	177 81.2	146 67.0	175 80.3	52 23.9	96 44.0	5 2.3	945 433.5

・利用者本人の回答としては、回答のあった利用者9,325人のうち約9割が現在通っている通所介護等を利用前にケアマネジャーから事業所の特色について説明を受けたと答えていることに加え、5割強が見学に行ったと回答しており、利用者自身の意思でサービスを選ぶプロセスが定着しつつあることがうかがえる。（図表217）（図表220）

図表 217 Q2 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について説明を受けたか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	説明を受けた	説明を受けていない	無回答
全体	9325 100.0	8371 89.8	812 8.7	142 1.5
通所介護	4958 100.0	4414 89.0	475 9.6	69 1.4
地域密着型通所介護	3712 100.0	3370 90.8	298 8.0	44 1.2
認知症対応型通所介護	655 100.0	587 89.6	39 6.0	29 4.4

図表 220 Q4 現在、通っているデイサービスの事業所に通うにあたり、見学に行ったか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	見学に行った	見学に行かなかった	無回答
全体	9325 100.0	4820 51.7	4185 44.9	320 3.4
通所介護	4958 100.0	2271 45.8	2505 50.5	182 3.7
地域密着型通所介護	3712 100.0	2227 60.0	1372 37.0	113 3.0
認知症対応型通所介護	655 100.0	322 49.2	308 47.0	25 3.8

- ・利用者本人が実際にデイサービス事業所に通っている中でケアマネジャーからの事前の説明（事業所の特色について）と異なると思うことがあったかとの問いには、回答のあった利用者及び家族介護者のうち、「あまりなかった」と「ほとんどなかった」が合わせて7,025人で83.9%、家族介護者については「あまりなかった」と「ほとんどなかった」を合わせて6,374人で86.3%であることからいずれも事前のケアマネジャーの説明によってサービスの選択ができていることがうかがえる。（図表 218）（図表 239）

8. 業務効率化に向けた取組について

- ・通所介護等の業務効率化の取組状況については、回答のあった3,133事業所のうち約65%の2,061事業所が具体的に取組んでいると回答している。（図表 178）
1事業所あたり概ね4つの取組を行っており、実際に取組んでいる内容は「職場環境の整備（事業所内の整理整頓、物品管理のルール作成等）」が83.9%、「業務の明確化と役割分担（サービス提供の流れや配置される職種に応じたシフト管理等）」が76.3%、「記録・報告様式の工夫（記録の目的の明確化、情報伝達の手段やルールの統一化等）」が69.3%と高い割合を示している。（図表 181）
- ・また、認知症対応型通所介護では、「情報共有の工夫（業務の引継、他事業所との連携の効率化）」、「理念・行動方針の徹底（職員への法人理念やケアの目標の伝達等）」の取組が三種別でもっとも高く、情報や理念の共有を重視していることがうかがえる。（図表 181）
- ・業務効率化のために導入したツールについては、パソコン、タブレット型端末が多くみられる。（図表 182）

図表 181 Q60-3(Q60s4)業務効率化の具体的な取組として行ったもの
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	職場環境の整備(事業所内の整理整頓、物品管理のルール作成等)	業務の明確化と役割分担(サービス提供の流れや配置される職種に応じたシフト管理等)	手順書の作成(サービス提供の質の標準化等)	記録・報告様式の工夫(記録の目的の明確化、情報伝達の手段やルールの一化等)	情報共有の工夫(業務の引継、他事業所との連携の効率化等)	OJTの仕組み作り(キャリアパスの具体化、他職種の業務理解促進等)	理念・行動方針の徹底(職員への法人理念やケアの目標の伝達等)	その他	累計(n) %
全体	2061 100.0	1729 83.9	1572 76.3	920 44.6	1429 69.3	989 48.0	545 26.4	738 35.8	24 1.2	7946 385.5
通所介護	1066 100.0	895 84.0	828 77.7	468 43.9	751 70.5	507 47.6	310 29.1	363 34.1	16 1.5	4138 388.2
地域密着型通所介護	845 100.0	698 82.6	625 74.0	382 45.2	569 67.3	401 47.5	197 23.3	301 35.6	8 0.9	3181 376.4
認知症対応型通所介護	150 100.0	136 90.7	119 79.3	70 46.7	109 72.7	81 54.0	38 25.3	74 49.3	0 0.0	627 418.0

図表 182 Q60-4(Q60s5)業務効率化のために新たに導入したツール [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	パソコン	スマートフォン	タブレット型端末	インカム	音声入力用マイク	棚、机、椅子等の備品	大容量記録装置(HDD、クラウド契約等)	累計(n) %
全体	2061 100.0	1224 59.4	380 18.4	1007 48.9	155 7.5	68 3.3	480 23.3	203 9.8	
通所介護	1066 100.0	639 59.9	185 17.4	567 53.2	114 10.7	45 4.2	241 22.6	109 10.2	
地域密着型通所介護	845 100.0	506 59.9	158 18.7	370 43.8	33 3.9	19 2.2	208 24.6	82 9.7	
認知症対応型通所介護	150 100.0	79 52.7	37 24.7	70 46.7	8 5.3	4 2.7	31 20.7	12 8.0	
	勤務管理表作成支援ソフト	通所介護計画書作成支援ソフト	個別機能訓練計画書作成支援ソフト	送迎ルート作成支援ソフト	チャットソフト	その他	業務効率化のために新たに導入したツールはない	累計(n) %	
全体	130 6.3	421 20.4	298 14.5	91 4.4	95 4.6	54 2.6	370 18.0	4976 241.4	
通所介護	67 6.3	234 22.0	171 16.0	77 7.2	46 4.3	33 3.1	186 17.4	2714 254.6	
地域密着型通所介護	52 6.2	170 20.1	120 14.2	12 1.4	47 5.6	17 2.0	150 17.8	1944 230.1	
認知症対応型通所介護	11 7.3	17 11.3	7 4.7	2 1.3	2 1.3	4 2.7	34 22.7	318 212.0	

- ・介護ロボットの活用はほとんどされていないことから今後の課題として挙げられる一方、福祉用具や自助具については全体平均で95.0%の事業所で活用している。(図表 104) (図表 106)

図表 106 Q33 貴事業所において、利用者の自立支援のために活用している介護ロボットについて
 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	屋外での移動を支援する介護ロボット	屋内での移動を支援する介護ロボット	利用者の身体に装着して移動を支援する介護ロボット	トイレ誘導を行う介護ロボット	衣類の着脱等、トイレ内での動作を支援する介護ロボット	コミュニケーションを支援する介護ロボット	浴槽の出入り等、浴室内での動作を支援するロボット	その他	活用している介護ロボットはない	累計 (n) %
全体	3133 100.0	14 0.4	33 1.1	9 0.3	8 0.3	8 0.3	36 1.1	52 1.7	19 0.6	3001 95.8	3180 101.5
通所介護	1479 100.0	8 0.5	20 1.4	4 0.3	4 0.3	5 0.3	19 1.3	31 2.1	9 0.6	1403 94.9	1503 101.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	4 0.3	10 0.7	4 0.3	4 0.3	3 0.2	16 1.1	15 1.0	7 0.5	1391 96.9	1454 101.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	2 0.9	3 1.4	1 0.5	0 0.0	0 0.0	1 0.5	6 2.8	3 1.4	207 95.0	223 102.3

第3章 事業所調査集計結果

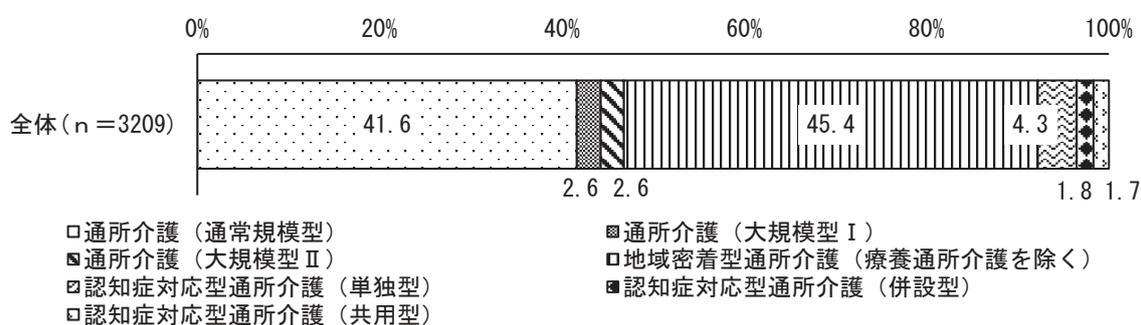
I. 事業所の概要について

(1) 事業所のサービス種別・事業所規模区分

Q1 貴事業所のサービス種別・事業所規模区分について（単数回答）

全体の事業所のサービス種別・事業所規模区分をみると、「地域密着型通所介護（療養通所介護を除く）」が45.4%でもっとも割合が高く、次いで「通所介護（通常規模型）」が41.6%、「認知症対応型通所介護（単独型）」が4.3%となっていた。

図表 1 Q1 貴事業所のサービス種別・事業所規模区分



(2) 事業所の活動状況

Q2 貴事業所の活動状況について（単数回答）

全体の活動状況をみると、「活動中」が97.6%でもっとも割合が高く、次いで「休業中」が1.2%となっていた。

図表 2 Q2 貴事業所の活動状況 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	活動中	一部休業中	休業中	廃止
全体	3209	3133	17	39	20
	100.0	97.6	0.5	1.2	0.6
通所介護	1502	1479	8	9	6
	100.0	98.5	0.5	0.6	0.4
地域密着型通所介護	1457	1436	3	9	9
	100.0	98.6	0.2	0.6	0.6
認知症対応型通所介護	250	218	6	21	5
	100.0	87.2	2.4	8.4	2.0

(3) 事業所の所在地

Q3 貴事業所の所在地（単数回答）

全体の事業所所在地をみると、「大阪府」が8.3%でもっとも割合が高く、次いで「東京都」8.0%となっていた。

図表 3 Q3 貴事業所の所在地 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
全体	3133 100.0	113 3.6	43 1.4	46 1.5	74 2.4	25 0.8	27 0.9	58 1.9	43 1.4	34 1.1
通所介護	1479 100.0	45 3.0	25 1.7	20 1.4	36 2.4	9 0.6	16 1.1	30 2.0	23 1.6	22 1.5
地域密着型通所介護	1436 100.0	55 3.8	15 1.0	24 1.7	33 2.3	13 0.9	6 0.4	21 1.5	17 1.2	7 0.5
認知症対応型通所介護	218 100.0	13 6.0	3 1.4	2 0.9	5 2.3	3 1.4	5 2.3	7 3.2	3 1.4	5 2.3
	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県
全体	62 2.0	136 4.3	119 3.8	252 8.0	169 5.4	47 1.5	40 1.3	27 0.9	16 0.5	26 0.8
通所介護	33 2.2	73 4.9	45 3.0	105 7.1	68 4.6	29 2.0	17 1.1	14 0.9	10 0.7	7 0.5
地域密着型通所介護	21 1.5	58 4.0	65 4.5	133 9.3	92 6.4	13 0.9	19 1.3	11 0.8	4 0.3	17 1.2
認知症対応型通所介護	8 3.7	5 2.3	9 4.1	14 6.4	9 4.1	5 2.3	4 1.8	2 0.9	2 0.9	2 0.9
	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
全体	71 2.3	59 1.9	111 3.5	132 4.2	48 1.5	40 1.3	41 1.3	260 8.3	134 4.3	39 1.2
通所介護	30 2.0	34 2.3	59 4.0	51 3.4	28 1.9	17 1.1	18 1.2	100 6.8	55 3.7	21 1.4
地域密着型通所介護	38 2.6	19 1.3	46 3.2	72 5.0	18 1.3	18 1.3	21 1.5	143 10.0	72 5.0	18 1.3
認知症対応型通所介護	3 1.4	6 2.8	6 2.8	9 4.1	2 0.9	5 2.3	2 0.9	17 7.8	7 3.2	0 0.0
	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
全体	30 1.0	15 0.5	29 0.9	62 2.0	82 2.6	39 1.2	21 0.7	19 0.6	44 1.4	18 0.6
通所介護	16 1.1	10 0.7	8 0.5	36 2.4	45 3.0	20 1.4	11 0.7	6 0.4	27 1.8	9 0.6
地域密着型通所介護	14 1.0	4 0.3	18 1.3	22 1.5	32 2.2	17 1.2	10 0.7	11 0.8	16 1.1	6 0.4
認知症対応型通所介護	0 0.0	1 0.5	3 1.4	4 1.8	5 2.3	2 0.9	0 0.0	2 0.9	1 0.5	3 1.4
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		
全体	138 4.4	33 1.1	47 1.5	77 2.5	33 1.1	46 1.5	57 1.8	51 1.6		
通所介護	69 4.7	18 1.2	22 1.5	37 2.5	21 1.4	26 1.8	23 1.6	35 2.4		
地域密着型通所介護	63 4.4	14 1.0	23 1.6	28 1.9	8 0.6	19 1.3	29 2.0	13 0.9		
認知症対応型通所介護	6 2.8	1 0.5	2 0.9	12 5.5	4 1.8	1 0.5	5 2.3	3 1.4		

(4) 事業所が立地する地域の種類

Q4 貴事業所が立地する地域の種類（単数回答）

全体の事業所が立地する地域の種類をみると、「その他の都市・農村地域」が91.6%でもっとも割合が高く、次いで「中山間地域、山間地域」が7.6%となっていた。

図表 4 Q4 貴事業所が立地する地域の種類 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	中山間地 域、山間地 域	離島	その他の都 市・農村地 域
全体	3133 100.0	238 7.6	25 0.8	2870 91.6
通所介護	1479 100.0	124 8.4	12 0.8	1343 90.8
地域密着型通所介護	1436 100.0	100 7.0	13 0.9	1323 92.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	14 6.4	0 0.0	204 93.6

(5) 「中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算」算定の有無

Q5 「中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算」算定の有無（単数回答）

全体の「中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算」算定の有無をみると、「算定していない」が96.8%でもっとも割合が高く、次いで「算定している」が3.2%となっていた。

図表 5 Q5 「中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算」算定の有無
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	算定してい る	算定してい ない
全体	3133 100.0	100 3.2	3033 96.8
通所介護	1479 100.0	48 3.2	1431 96.8
地域密着型通所介護	1436 100.0	49 3.4	1387 96.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	3 1.4	215 98.6

(6) 同一建物内や同一敷地内の別の建物内にある事業所・施設等

Q6 同一建物内や同一敷地内の別の建物内にある事業所・施設等について（複数回答）

全体の同一建物内や同一敷地内の別の建物内にある事業所・施設等の割合をみると、「貴事業所以外の事業所・施設等はない」が34.9%と最も割合が高くなっていました。事業所のサービス種別ごとにみると、通所介護では「居宅介護支援」が最も割合が高く、次いで「貴事業所以外の事業所・施設等はない」、「訪問介護」となっていた。地域密着型通所介護では、「貴事業所以外の事業所・施設等はない」が最も割合が高く、次いで「居宅介護支援」、「介護予防・日常生活支援総合事業」となっていた。認知症対応型通所介護では「認知症対応型共同生活介護」が最も割合が高く、次いで「居宅介護支援」、「貴事業所以外の事業所・施設等はない」となっていた。

図表 6 Q6 同一建物内や同一敷地内の別の建物内にある事業所・施設等
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	貴事業所以外の通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護
全体	3133 100.0	600 19.2	30 1.0	163 5.2	50 1.6	31 1.0	144 4.6	60 1.9	337 10.8	15 0.5
通所介護	1479 100.0	362 24.5	22 1.5	110 7.4	32 2.2	18 1.2	62 4.2	36 2.4	240 16.2	13 0.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	201 14.0	5 0.3	40 2.8	11 0.8	12 0.8	51 3.6	16 1.1	62 4.3	1 0.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	37 17.0	3 1.4	13 6.0	7 3.2	1 0.5	31 14.2	8 3.7	35 16.1	1 0.5
	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	住宅改修	居宅介護支援	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	貴事業所以外の地域密着型通所介護	貴事業所以外の認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護
全体	50 1.6	25 0.8	10 0.3	820 26.2	34 1.1	4 0.1	69 2.2	40 1.3	66 2.1	228 7.3
通所介護	30 2.0	19 1.3	8 0.5	514 34.8	25 1.7	2 0.1	16 1.1	31 2.1	37 2.5	112 7.6
地域密着型通所介護	17 1.2	5 0.3	2 0.1	239 16.6	6 0.4	0 0.0	43 3.0	6 0.4	18 1.3	45 3.1
認知症対応型通所介護	3 1.4	1 0.5	0 0.0	67 30.7	3 1.4	2 0.9	10 4.6	3 1.4	11 5.0	71 32.6
	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	養護老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム
全体	14 0.4	38 1.2	8 0.3	243 7.8	27 0.9	1 0.0	1 0.0	51 1.6	182 5.8	300 9.6
通所介護	6 0.4	21 1.4	2 0.1	178 12.0	19 1.3	0 0.0	1 0.1	39 2.6	115 7.8	173 11.7
地域密着型通所介護	6 0.4	8 0.6	2 0.1	37 2.6	6 0.4	1 0.1	0 0.0	6 0.4	59 4.1	113 7.9
認知症対応型通所介護	2 0.9	9 4.1	4 1.8	28 12.8	2 0.9	0 0.0	0 0.0	6 2.8	8 3.7	14 6.4
	その他の介護関係施設・住宅	介護予防・日常生活支援総合事業	障害者に対する支援やサービス	子どもに対する支援やサービス	生活困窮者に対する支援やサービス	貴事業所以外の事業所・施設等はない	累計 (n) %			
全体	109 3.5	480 15.3	114 3.6	72 2.3	21 0.7	1094 34.9	5531 176.5			
通所介護	72 4.9	238 16.1	68 4.6	29 2.0	17 1.1	377 25.5	3044 205.8			
地域密着型通所介護	31 2.2	229 15.9	41 2.9	35 2.4	3 0.2	668 46.5	2025 141.0			
認知症対応型通所介護	6 2.8	13 6.0	5 2.3	8 3.7	1 0.5	49 22.5	462 211.9			

(7) 所属する法人の形態

Q7 所属する法人の形態（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、所属する法人の形態の割合をみると、いずれも「営利法人（会社）」がもっとも割合が高く、次いで「社会福祉法人」となっていた。特に地域密着通所介護では「営利法人（会社）」が全体の7割以上であった。

図表 7 Q7 所属する法人の形態 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	社会福祉法人 (社会福祉協議会を 除く)	医療法人	営利法人 (会社)	特定非営利 活動法人 (NPO法人)	社会福祉協 議会	都道府県、 市区町村、 広域連合・ 一部事務組 合	その他
全体	3133 100.0	585 18.7	189 6.0	1938 61.9	125 4.0	100 3.2	10 0.3	186 5.9
通所介護	1479 100.0	378 25.6	112 7.6	802 54.2	22 1.5	72 4.9	5 0.3	88 5.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	130 9.1	51 3.6	1053 73.3	94 6.5	21 1.5	4 0.3	83 5.8
認知症対応型通所介護	218 100.0	77 35.3	26 11.9	83 38.1	9 4.1	7 3.2	1 0.5	15 6.9

(8) 事業所の所要時間区分

Q8 貴事業所の所要時間区分について（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、事業所の所要時間区分の割合をみると、いずれも「7時間以上8時間未満」がもっとも割合が高くなっていった。また、地域密着型通所介護では、「3時間以上4時間未満」が30.6%となっており、短時間の所要時間区分の割合も他のサービス種別に比べ高くなっていった。

図表 8 Q8 貴事業所の所要時間区分について [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上 6時間未満	6時間以上 7時間未満	7時間以上 8時間未満	8時間以上 9時間未満	その他
全体	3133 100.0	584 18.6	29 0.9	239 7.6	625 19.9	1554 49.6	88 2.8	14 0.4
通所介護	1479 100.0	144 9.7	11 0.7	97 6.6	323 21.8	859 58.1	43 2.9	2 0.1
地域密着型通所介護	1436 100.0	440 30.6	17 1.2	120 8.4	229 15.9	581 40.5	41 2.9	8 0.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	0 0.0	1 0.5	22 10.1	73 33.5	114 52.3	4 1.8	4 1.8

(9) 営業日

Q9 営業日（複数回答）

全体の事業所の営業日の割合をみると、「平日」では約10割ともしっかり割合が高くなっていた。一方で、「日」は約2割前後ともしっかり割合が低かった。また、事業所のサービス種別ごとにみると、通所介護、認知症対応型通所介護では「土日祝日」の割合が地域密着型通所介護に比べやや高くなっていた。

図表 9 Q9 営業日 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	月	火	水	木	金	土	日	祝日	累計 (n) %
全体	3133 100.0	3107 99.2	3110 99.3	3069 98.0	3084 98.4	3111 99.3	2262 72.2	498 15.9	2647 84.5	20888 666.7
通所介護	1479 100.0	1473 99.6	1475 99.7	1465 99.1	1467 99.2	1476 99.8	1225 82.8	266 18.0	1302 88.0	10149 686.2
地域密着型通所介護	1436 100.0	1419 98.8	1420 98.9	1394 97.1	1403 97.7	1423 99.1	866 60.3	180 12.5	1158 80.6	9263 645.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	215 98.6	215 98.6	210 96.3	214 98.2	212 97.2	171 78.4	52 23.9	187 85.8	1476 677.1

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別に事業所の営業日の割合をみると、いずれも所要時間区分が4時間未満の事業所にて特に「土日」の割合が4時間以上の事業所に比べ低くなっていた。

図表 10 Q9 営業日 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	月	火	水	木	金	土	日	祝日	累計 (n) %
全体	3119 100.0	3093 99.2	3096 99.3	3055 97.9	3071 98.5	3097 99.3	2254 72.3	497 15.9	2635 84.5	20798 666.8
通所介護	1477 100.0	1471 99.6	1473 99.7	1463 99.1	1465 99.2	1474 99.8	1224 82.9	266 18.0	1300 88.0	10136 686.3
4時間未満	144 100.0	144 100.0	142 98.6	144 100.0	143 99.3	143 99.3	65 45.1	1 0.7	104 72.2	886 615.3
4時間以上	1333 100.0	1327 99.5	1331 99.8	1319 98.9	1322 99.2	1331 99.8	1159 86.9	265 19.9	1196 89.7	9250 693.9
地域密着型通所介護	1428 100.0	1411 98.8	1412 98.9	1386 97.1	1396 97.8	1415 99.1	862 60.4	180 12.6	1152 80.7	9214 645.2
4時間未満	440 100.0	439 99.8	436 99.1	433 98.4	437 99.3	438 99.5	152 34.5	9 2.0	326 74.1	2670 606.8
4時間以上	988 100.0	972 98.4	976 98.8	953 96.5	959 97.1	977 98.9	710 71.9	171 17.3	826 83.6	6544 662.3
認知症対応型通所介護	214 100.0	211 98.6	211 98.6	206 96.3	210 98.1	208 97.2	168 78.5	51 23.8	183 85.5	1448 676.6
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0
4時間以上	214 100.0	211 98.6	211 98.6	206 96.3	210 98.1	208 97.2	168 78.5	51 23.8	183 85.5	1448 676.6

(10) 営業時間

Q10-1 営業時間 (数値回答)

事業所のサービス種別ごとに営業時間数の割合をみると、いずれも「9時間以上10時間未満」がもっとも割合が高く、次いで「7時間以上8時間未満」となっていた。

図表 11 Q10-1 営業時間 [単位:(上段)実数, (下段)%]

平均 8.1 時間 (n=2965)

	全体	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上9時間未満	9時間以上10時間未満	10時間以上
全体	2965 100.0	62 2.1	5 0.2	50 1.7	173 5.8	848 28.6	497 16.8	1216 41.0	114 3.8
通所介護	1414 100.0	14 1.0	3 0.2	16 1.1	92 6.5	461 32.6	232 16.4	542 38.3	54 3.8
地域密着型通所介護	1344 100.0	48 3.6	2 0.1	31 2.3	61 4.5	324 24.1	228 17.0	597 44.4	53 3.9
認知症対応型通所介護	207 100.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4	20 9.7	63 30.4	37 17.9	77 37.2	7 3.4

(11) 事業所が介護保険指定事業所の指定を受けた年月

Q11 貴事業所が介護保険指定事業所の指定を受けた年月 (数値回答)

事業所のサービス種別ごとの介護保険指定事業所の指定を受けた年月をみると、全体では「2011年4月～2016年3月」がもっとも割合が高く、次いで「2016年4月～」、「2006年4月～2011年3月」となっていた。

図表 12 Q11 事業所が介護保険指定事業所の指定を受けた年月 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	～2001年3月	2001年4月～2006年3月	2006年4月～2011年3月	2011年4月～2016年3月	2016年4月～
全体	2707 100.0	263 9.7	363 13.4	433 16.0	886 32.7	762 28.1
通所介護	1254 100.0	211 16.8	230 18.3	188 15.0	288 23.0	337 26.9
地域密着型通所介護	1261 100.0	39 3.1	114 9.0	190 15.1	529 42.0	389 30.8
認知症対応型通所介護	192 100.0	13 6.8	19 9.9	55 28.6	69 35.9	36 18.8

II. 利用者の状況について

(12) 利用定員数・利用登録者数（令和3年12月31日時点）

Q12-① 利用定員数（令和3年12月31日時点）（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの利用定員数の平均値は以下の通り。

図表 13 Q12-①利用定員数（平均値）

	全体	利用定員数（人）
全体	2352	17.9
通所介護	955	30.0
地域密着型通所介護	1216	13.5
認知症対応型通所介護	181	10.3

Q12-② 利用登録者数（令和3年12月31日時点）（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの利用登録者数の平均値は以下の通り。

図表 14 Q12-②利用登録者数（平均値）

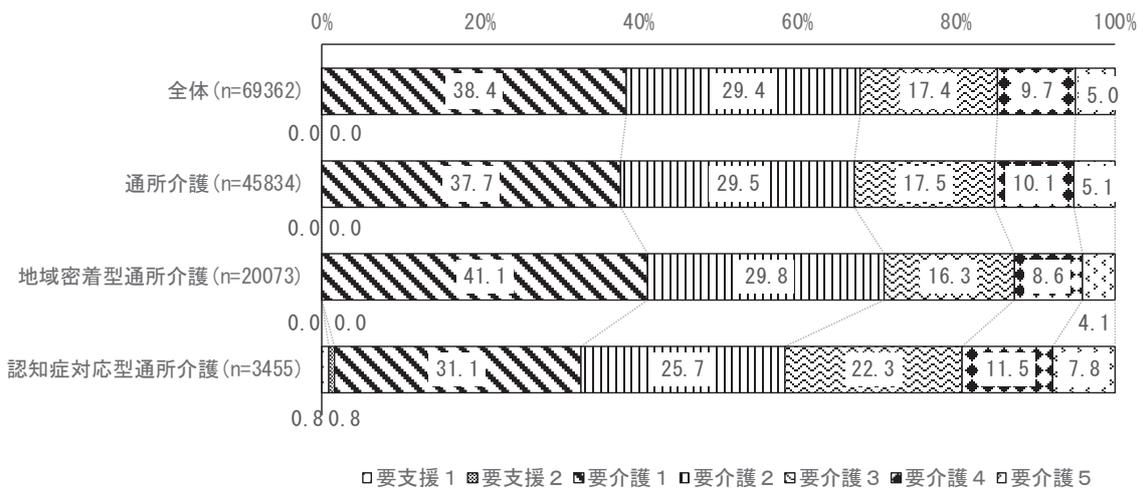
	全体	利用登録者数（人）
全体	2273	35.1
通所介護	921	56.6
地域密着型通所介護	1178	31.0
認知症対応型通所介護	174	17.6

(13) 要介護度別利用登録者数（令和3年12月31日時点の利用登録者について）

Q13 要介護度別利用登録者数（令和3年12月31日時点の利用登録者について）（数値回答）

事業所のサービス種別ごとに要介護度別利用登録者数の割合をみると、いずれも「要介護1」がもっとも割合が高く、次いで「要介護2」となっていた。また、要介護3以上について、通所介護では約33%、地域密着型通所介護では29%、認知症対応型通所介護では約42%の割合となっていた。このことから、認知症対応型通所介護、通所介護、地域密着型通所介護の順に要介護度の高い利用者の割合が多いことがうかがえる。

図表 15 Q13 要介護度別利用登録者数



図表 16 Q13 要介護度別利用登録者数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	69362	29	26	26630	20397	12076	6750	3454
	100.0	0.0	0.0	38.4	29.4	17.4	9.7	5.0
通所介護	45834	0	0	17298	13522	8035	4619	2360
	100.0	0.0	0.0	37.7	29.5	17.5	10.1	5.1
地域密着型通所介護	20073	0	0	8259	5988	3269	1732	825
	100.0	0.0	0.0	41.1	29.8	16.3	8.6	4.1
認知症対応型通所介護	3455	29	26	1073	887	772	399	269
	100.0	0.8	0.8	31.1	25.7	22.3	11.5	7.8

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、要介護3以上の割合が4時間未満の事業所に比べ高くなっていた。

図表 17 Q13 要介護度別利用登録者数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

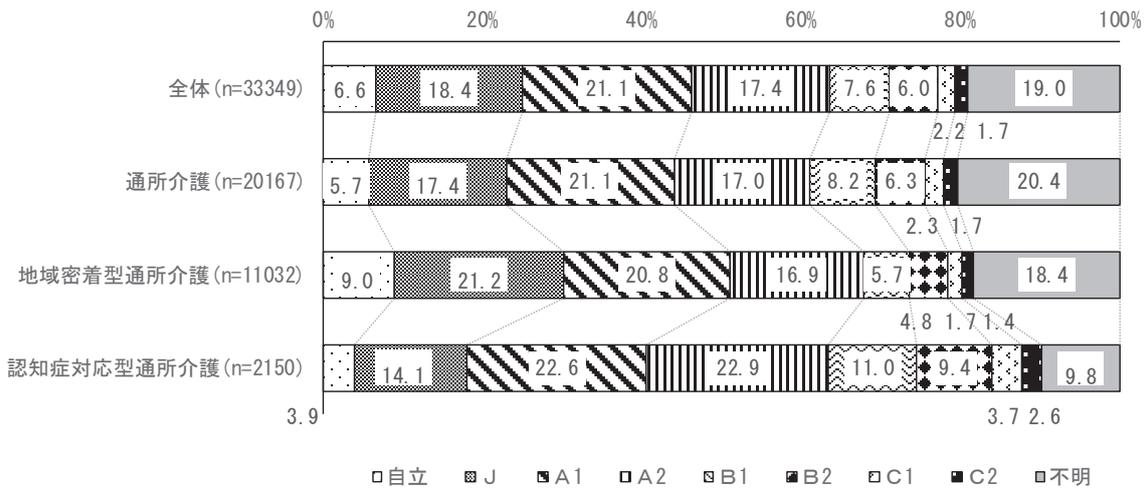
	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	69091 100.0	29 0.0	25 0.0	26523 38.4	20326 29.4	12028 17.4	6720 9.7	3440 5.0
通所介護	45712 100.0	0 0.0	0 0.0	17246 37.7	13491 29.5	8017 17.5	4604 10.1	2354 5.1
4時間未満	4398 100.0	0 0.0	0 0.0	2280 51.8	1361 30.9	512 11.6	188 4.3	57 1.3
4時間以上	41314 100.0	0 0.0	0 0.0	14966 36.2	12130 29.4	7505 18.2	4416 10.7	2297 5.6
地域密着型通所介護	19960 100.0	0 0.0	0 0.0	8217 41.2	5954 29.8	3244 16.3	1724 8.6	821 4.1
4時間未満	7887 100.0	0 0.0	0 0.0	4112 52.1	2505 31.8	837 10.6	346 4.4	87 1.1
4時間以上	12073 100.0	0 0.0	0 0.0	4105 34.0	3449 28.6	2407 19.9	1378 11.4	734 6.1
認知症対応型通所介護	3419 100.0	29 0.8	25 0.7	1060 31.0	881 25.8	767 22.4	392 11.5	265 7.8
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	3419 100.0	29 0.8	25 0.7	1060 31.0	881 25.8	767 22.4	392 11.5	265 7.8

(14) 障害自立度別人数 (令和3年12月31日時点の利用登録者について)

Q14 障害自立度別人数 (令和3年12月31日時点の利用登録者について) (数値回答)

事業所のサービス種別ごとに障害高齢者の日常生活自立度別人数の割合をみると、通所介護と地域密着通所介護では「A」がもっとも割合が高く、次いで「J」、「B」となっていたが、認知症対応型通所介護では「A」がもっとも割合が高く、次いで「B」、「J」となっていた。このことから、認知症対応型通所介護、通所介護、地域密着型通所介護に比べて障害自立度の高い利用者の割合が多いことがうかがえる。

図表 18 Q14 障害自立度別人数



図表 19 Q14 障害自立度別人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	合計	自立	J	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明
全体	33349	2216	6149	7040	5789	2518	1999	736	553	6349
	100.0	6.6	18.4	21.1	17.4	7.6	6.0	2.2	1.7	19.0
通所介護	20167	1141	3503	4254	3438	1654	1261	464	345	4107
	100.0	5.7	17.4	21.1	17.0	8.2	6.3	2.3	1.7	20.4
地域密着型通所介護	11032	992	2342	2300	1859	627	535	193	152	2032
	100.0	9.0	21.2	20.8	16.9	5.7	4.8	1.7	1.4	18.4
認知症対応型通所介護	2150	83	304	486	492	237	203	79	56	210
	100.0	3.9	14.1	22.6	22.9	11.0	9.4	3.7	2.6	9.8

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において4時間未満の事業所では、「自立」、「J」の割合が4時間以上の事業所に比べ高くなっていた。

図表 20 Q14 障害自立度別人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

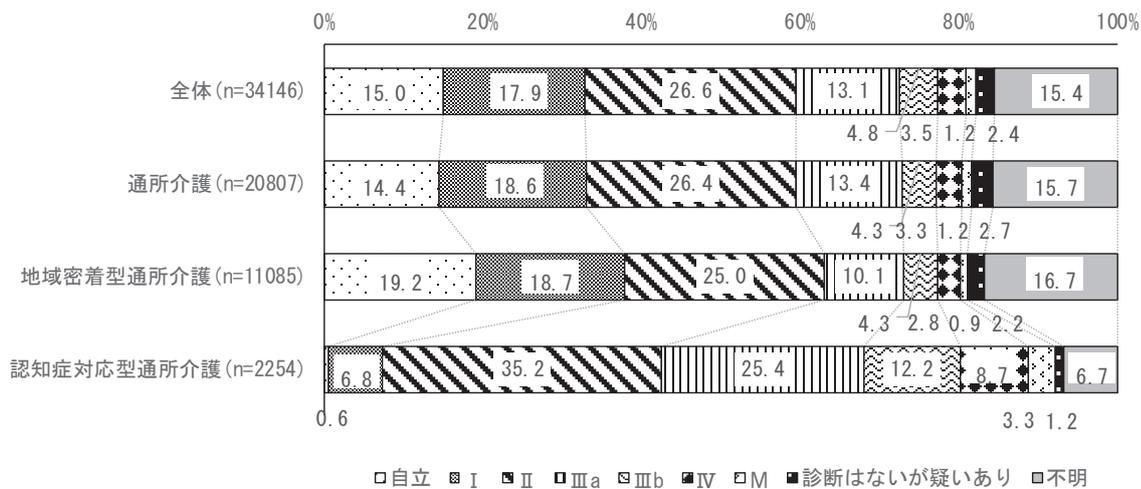
	合計	自立	J	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明
全体	33314 100.0	2216 6.7	6149 18.5	7040 21.1	5788 17.4	2518 7.6	1999 6.0	736 2.2	553 1.7	6315 19.0
通所介護	20167 100.0	1141 5.7	3503 17.4	4254 21.1	3438 17.0	1654 8.2	1261 6.3	464 2.3	345 1.7	4107 20.4
4時間未満	2081 100.0	274 13.2	833 40.0	388 18.6	278 13.4	82 3.9	21 1.0	9 0.4	6 0.3	190 9.1
4時間以上	18086 100.0	867 4.8	2670 14.8	3866 21.4	3160 17.5	1572 8.7	1240 6.9	455 2.5	339 1.9	3917 21.7
地域密着型通所介護	10997 100.0	992 9.0	2342 21.3	2300 20.9	1858 16.9	627 5.7	535 4.9	193 1.8	152 1.4	1998 18.2
4時間未満	4047 100.0	636 15.7	1230 30.4	908 22.4	542 13.4	116 2.9	65 1.6	20 0.5	4 0.1	526 13.0
4時間以上	6950 100.0	356 5.1	1112 16.0	1392 20.0	1316 18.9	511 7.4	470 6.8	173 2.5	148 2.1	1472 21.2
認知症対応型通所介護	2150 100.0	83 3.9	304 14.1	486 22.6	492 22.9	237 11.0	203 9.4	79 3.7	56 2.6	210 9.8
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	2150 100.0	83 3.9	304 14.1	486 22.6	492 22.9	237 11.0	203 9.4	79 3.7	56 2.6	210 9.8

(15) 認知症自立度別人数 (令和3年12月31日時点の利用登録者について)

Q15 認知症自立度別人数 (令和3年12月31日時点の利用登録者について) (数値回答)

事業所のサービス種別ごとに認知症自立度別人数の割合をみると、通所介護では「Ⅱ」がもっとも割合が高く、次いで「Ⅰ」、「Ⅲ」となっていた。地域密着型通所介護では「Ⅱ」がもっとも割合が高く、次いで「自立」、「Ⅰ」となっていた。認知症対応型通所介護では「Ⅲ」がもっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」、「Ⅳ」となっていた。このことから、認知症対応型通所介護、通所介護、地域密着型通所介護の順に認知症自立度の低い利用者の割合が多いことがうかがえる。

図表 21 Q15 認知症自立度別人数



図表 22 Q15 認知症自立度別人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	合計	自立	I	II	III a	III b	IV	M	診断はないが疑いあり	不明
全体	34146	5135	6103	9068	4476	1646	1190	421	836	5271
	100.0	15.0	17.9	26.6	13.1	4.8	3.5	1.2	2.4	15.4
通所介護	20807	2993	3872	5501	2782	893	688	246	564	3268
	100.0	14.4	18.6	26.4	13.4	4.3	3.3	1.2	2.7	15.7
地域密着型通所介護	11085	2128	2078	2774	1122	479	306	100	246	1852
	100.0	19.2	18.7	25.0	10.1	4.3	2.8	0.9	2.2	16.7
認知症対応型通所介護	2254	14	153	793	572	274	196	75	26	151
	100.0	0.6	6.8	35.2	25.4	12.2	8.7	3.3	1.2	6.7

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において4時間未満の事業所では、「自立」「I」の割合が4時間以上の事業所に比べ高くなっていた。

図表 23 Q15 認知症自立度別人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	合計	自立	I	II	IIIa	IIIb	IV	M	診断はないが 疑いあり	不明
全体	34072 100.0	5135 15.1	6103 17.9	9068 26.6	4476 13.1	1645 4.8	1190 3.5	421 1.2	836 2.5	5198 15.3
通所介護	20807 100.0	2993 14.4	3872 18.6	5501 26.4	2782 13.4	893 4.3	688 3.3	246 1.2	564 2.7	3268 15.7
4時間未満	2075 100.0	867 41.8	541 26.1	334 16.1	92 4.4	30 1.4	13 0.6	0 0.0	4 0.2	194 9.3
4時間以上	18732 100.0	2126 11.3	3331 17.8	5167 27.6	2690 14.4	863 4.6	675 3.6	246 1.3	560 3.0	3074 16.4
地域密着型通所介護	11011 100.0	2128 19.3	2078 18.9	2774 25.2	1122 10.2	478 4.3	306 2.8	100 0.9	246 2.2	1779 16.2
4時間未満	4030 100.0	1464 36.3	962 23.9	789 19.6	177 4.4	50 1.2	18 0.4	1 0.0	82 2.0	487 12.1
4時間以上	6981 100.0	664 9.5	1116 16.0	1985 28.4	945 13.5	428 6.1	288 4.1	99 1.4	164 2.3	1292 18.5
認知症対応型通所介護	2254 100.0	14 0.6	153 6.8	793 35.2	572 25.4	274 12.2	196 8.7	75 3.3	26 1.2	151 6.7
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	2254 100.0	14 0.6	153 6.8	793 35.2	572 25.4	274 12.2	196 8.7	75 3.3	26 1.2	151 6.7

(16) ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を終了した人

Q16 ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を終了した人は何人ですか。（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの令和3年7月～12月に、利用を終了した人の割合は以下の通り。

図表 24 Q16 ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を終了した人
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全 体	0 人	1～2 人	3～5 人	6～10人	11～15人	16人以上
全 体	2167 100.0	111 5.1	351 16.2	666 30.7	571 26.3	243 11.2	225 10.4
通所介護	960 100.0	15 1.6	58 6.0	229 23.9	301 31.4	173 18.0	184 19.2
地域密着型通所介護	1033 100.0	74 7.2	249 24.1	373 36.1	234 22.7	63 6.1	40 3.9
認知症対応型通所介護	174 100.0	22 12.6	44 25.3	64 36.8	36 20.7	7 4.0	1 0.6

事業所のサービス種別ごとの令和3年7月～12月に、利用を終了した人の平均値は以下の通り。

図表 25 Q16 ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を終了した人（平均値）

	全 体	利用終了人数（人）
全 体	2167	11.6
通所介護	960	16.5
地域密着型通所介護	1033	8.4
認知症対応型通所介護	174	3.8

Q16-1 (Q16s2) 【Q16で1人以上の場合(ここ半年間で利用を終了された人がいる場合)】ここ半年間(令和3年7月～12月)に、利用を終了した人について、利用を終了した理由はどのようなものですか。(複数回答)

各サービスの出口における役割として、事業所のサービス種別ごとにここ半年間(令和3年7月～12月)に、利用を終了した人について、利用を終了した理由の割合をみると、通所介護では「1. 病院等の医療機関に入院した」が74.7%ともっとも割合が高く、次いで「20. 亡くなった(19以外)」が58.7%、「3. 特別養護老人ホームに入所した」が50.7%となっていた。地域密着型通所介護では「1. 病院等の医療機関に入院した」が56.4%ともっとも割合が高く、次いで「20. 亡くなった(19以外)」が39.2%、「2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した」が33.7%となっていた。認知症対応型通所介護では「1. 病院等の医療機関に入院した」が59.9%ともっとも割合が高く、次いで「2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した」が40.8%、「20. 亡くなった(19以外)」が36.8%、「3. 特別養護老人ホームに入所した」「4. グループホームに入居した」が30.3%の割合となっていた。

図表 26 Q16-1 (Q16s2) ここ半年間(令和3年7月～12月)に、利用を終了した人について、利用を終了した理由 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院した	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した	3. 特別養護老人ホームに入所した	4. グループホームに入居した	5. 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅に入居した	6. 訪問介護の利用に切り替えた	7. 訪問看護の利用に切り替えた	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	
全体	2056 100.0	1338 65.1	826 40.2	802 39.0	504 24.5	454 22.1	61 3.0	49 2.4	2 0.1	134 6.5	
通所介護	945 100.0	706 74.7	441 46.7	479 50.7	280 29.6	260 27.5	33 3.5	26 2.8	2 0.2	80 8.5	
地域密着型通所介護	959 100.0	541 56.4	323 33.7	277 28.9	178 18.6	170 17.7	23 2.4	21 2.2	0 0.0	40 4.2	
認知症対応型通所介護	152 100.0	91 59.9	62 40.8	46 30.3	46 30.3	24 15.8	5 3.3	2 1.3	0 0.0	14 9.2	
		10. 看護小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	11. 訪問リハビリテーションの利用に切り替えた	12. 通所リハビリテーションの利用に切り替えた	13. 通所介護事業所の利用に切り替えた ※通所介護事業所が回答するのみ、他の通所介護事業所の利用に切り替えた	14. 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた ※地域密着型通所介護事業所が回答するのみ、他の地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた	15. 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた※ 認知症対応型通所介護事業所が回答するのみ、他の認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた	16. 重度化し通えなくなった	17. 生活機能が改善し、通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)を利用する必要がなくなった	18. 本人が通うことを拒否したため利用をやめた	19. 亡くなった(在宅で看取り)
全体	20 1.0	21 1.0	101 4.9	324 15.8	66 3.2	36 1.8	421 20.5	89 4.3	400 19.5	623 30.3	
通所介護	12 1.3	10 1.1	63 6.7	189 20.0	10 1.1	23 2.4	208 22.0	43 4.6	224 23.7	349 36.9	
地域密着型通所介護	7 0.7	10 1.0	36 3.8	127 13.2	55 5.7	11 1.1	194 20.2	44 4.6	163 17.0	246 25.7	
認知症対応型通所介護	1 0.7	1 0.7	2 1.3	8 5.3	1 0.7	2 1.3	19 12.5	2 1.3	13 8.6	28 18.4	
		20. 亡くなった(19以外)	21. その他の理由	22. わからない、把握していない	累計(n) %						
全体	987 48.0	172 8.4	54 2.6	7484 364.0							
通所介護	555 58.7	82 8.7	25 2.6	4100 433.9							
地域密着型通所介護	376 39.2	82 8.6	25 2.6	2949 307.5							
認知症対応型通所介護	56 36.8	8 5.3	4 2.6	435 286.2							

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では、「16. 重度化し通えなくなった」、「13. 通所介護事業所（または他の通所介護事業所）の利用に切り替えた」、「17. 生活機能が改善し、通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）を利用する必要がなくなった」の割合が4時間以上の事業所に比べ特に高くなっており、重度化する方と生活機能が改善する方が混在していることがうかがえる。

図表 27 Q16-1 (Q16s2) ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を終了した人について、利用を終了した理由 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院した	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した	3. 特別養護老人ホームに入所した	4. グループホームに入居した	5. 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅に入居した	6. 訪問介護の利用に切り替えた	7. 訪問看護の利用に切り替えた	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	10. 看護小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	11. 訪問リハビリテーションの利用に切り替えた	
全体	2050 100.0	1333 65.0	823 40.1	801 39.1	501 24.4	453 22.1	61 3.0	49 2.4	2 0.1	134 6.5	20 1.0	21 1.0	
通所介護	943 100.0	704 74.7	441 46.8	479 50.8	279 29.6	260 27.6	33 3.5	26 2.8	2 0.2	80 8.5	12 1.3	10 1.1	
4時間未満	86 100.0	63 73.3	30 34.9	23 26.7	10 11.6	20 23.3	6 7.0	8 9.3	0 0.0	6 7.0	0 0.0	6 7.0	
4時間以上	857 100.0	641 74.8	411 48.0	456 53.2	269 31.4	240 28.0	27 3.2	18 2.1	2 0.2	74 8.6	12 1.4	4 0.5	
地域密着型通所介護	957 100.0	540 56.4	322 33.6	276 28.8	177 18.5	169 17.7	23 2.4	21 2.2	0 0.0	40 4.2	7 0.7	10 1.0	
4時間未満	264 100.0	175 66.3	87 33.0	63 23.9	44 16.7	49 18.6	6 2.3	11 4.2	0 0.0	10 3.8	2 0.8	9 3.4	
4時間以上	693 100.0	365 52.7	235 33.9	213 30.7	133 19.2	120 17.3	17 2.5	10 1.4	0 0.0	30 4.3	5 0.7	1 0.1	
認知症対応型通所介護	150 100.0	89 59.3	60 40.0	46 30.7	45 30.0	24 16.0	5 3.3	2 1.3	0 0.0	14 9.3	1 0.7	1 0.7	
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	150 100.0	89 59.3	60 40.0	46 30.7	45 30.0	24 16.0	5 3.3	2 1.3	0 0.0	14 9.3	1 0.7	1 0.7	
		12. 通所リハビリテーションの利用に切り替えた	13. 通所介護事業所の利用に切り替えた※通所介護事業所が回答する場合のみ、他の通所介護事業所の利用に切り替えた	14. 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた	15. 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた	16. 重度化し通えなくなった	17. 生活機能が改善し、通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）を利用する必要がなくなった	18. 本人が通うことを拒否したため利用をやめた	19. 亡くなった（在宅で看取り）※	20. 亡くなった（19以外）	21. その他	22. わからない、把握していない	累計 (n) %
全体	101 4.9	323 15.8	65 3.2	36 1.8	419 20.4	89 4.3	398 19.4	618 30.1	984 48.0	171 8.3	54 2.6	7456 363.7	
通所介護	63 6.7	188 19.9	10 1.1	23 2.4	207 22.0	43 4.6	224 23.8	348 36.9	553 58.6	82 8.7	25 2.7	4092 433.9	
4時間未満	9 10.5	37 43.0	3 3.5	2 2.3	38 44.2	19 22.1	31 36.0	33 38.4	35 40.7	16 18.6	3 3.5	398 462.8	
4時間以上	54 6.3	151 17.6	7 0.8	21 2.5	169 19.7	24 2.8	193 22.5	315 36.8	518 60.4	66 7.7	22 2.6	3694 431.0	
地域密着型通所介護	36 3.8	127 13.3	54 5.6	11 1.1	193 20.2	44 4.6	162 16.9	244 25.5	375 39.2	82 8.6	25 2.6	2938 307.0	
4時間未満	16 6.1	78 29.5	31 11.7	5 1.9	121 45.8	29 11.0	77 29.2	69 26.1	102 38.6	34 12.9	8 3.0	1026 388.6	
4時間以上	20 2.9	49 7.1	23 3.3	6 0.9	72 10.4	15 2.2	85 12.3	175 25.3	273 39.4	48 6.9	17 2.5	1912 275.9	
認知症対応型通所介護	2 1.3	8 5.3	1 0.7	2 1.3	19 12.7	2 1.3	12 8.0	26 17.3	56 37.3	7 4.7	4 2.7	426 284.0	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	2 1.3	8 5.3	1 0.7	2 1.3	19 12.7	2 1.3	12 8.0	26 17.3	56 37.3	7 4.7	4 2.7	426 284.0	

<法人形態別>

さらに、法人形態別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、社会福祉法人では、「3. 特別養護老人ホームに入所した」、「4. グループホームに入居した」の割合が他に比べ高くなっている。これは、社会福祉法人では同一建物内や同一敷地内にこれらの事業所が併設されていることが多いことが影響していると考えられる。

図表 28 Q16-1 (Q16s2) ここ半年間 (令和3年7月～12月) に、利用を終了した人について、利用を終了した理由 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の 医療機関に 入院した	2. 老人保健 施設、介護 医療院、介 護療養型医 療施設に入 所した	3. 特別養護 老人ホーム に入所した	4. グループ ホームに入 居した	5. 有料老人 ホームや サービス付 高齢者向け 住宅に入居 した	6. 訪問介護 の利用に切 り替えた	7. 訪問看護 の利用に切 り替えた	8. 定期巡 回・随時対 応型訪問介 護看護に切 り替えた	9. 小規模多 機能型居宅 介護の利用 に切り替え た	10. 看護小 規模多機能 型居宅介護 の利用に切 り替えた	11. 訪問リ ハビリテー ションの利 用に切り替 えた
全体	2056 100.0	1338 65.1	826 40.2	802 39.0	504 24.5	454 22.1	61 3.0	49 2.4	2 0.1	134 6.5	20 1.0	21 1.0
通所介護	945 100.0	706 74.7	441 46.7	479 50.7	280 29.6	260 27.5	33 3.5	26 2.8	2 0.2	80 8.5	12 1.3	10 1.1
社会福祉法人 (社会福祉協議会を除く)	251 100.0	201 80.1	130 51.8	171 68.1	95 37.8	82 32.7	9 3.6	8 3.2	0 0.0	25 10.0	5 2.0	2 0.8
医療法人	78 100.0	62 79.5	43 55.1	26 33.3	20 25.6	22 28.2	1 1.3	3 3.8	0 0.0	11 14.1	1 1.3	2 2.6
営利法人 (会社)	488 100.0	357 73.2	210 43.0	220 45.1	134 27.5	131 26.8	16 3.3	11 2.3	2 0.4	30 6.1	5 1.0	4 0.8
特定非営利活動法人 (NPO法人)	16 100.0	10 62.5	5 31.3	7 43.8	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	52 100.0	37 71.2	30 57.7	27 51.9	14 26.9	9 17.3	5 9.6	3 5.8	0 0.0	6 11.5	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	3 100.0	2 66.7	0 0.0	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	57 100.0	37 64.9	23 40.4	25 43.9	16 28.1	14 24.6	2 3.5	1 1.8	0 0.0	8 14.0	1 1.8	2 3.5
地域密着型通所介護	959 100.0	541 56.4	323 33.7	277 28.9	178 18.6	170 17.7	23 2.4	21 2.2	0 0.0	40 4.2	7 0.7	10 1.0
社会福祉法人 (社会福祉協議会を除く)	93 100.0	50 53.8	37 39.8	41 44.1	26 28.0	20 21.5	1 1.1	0 0.0	0 0.0	5 5.4	0 0.0	0 0.0
医療法人	38 100.0	20 52.6	15 39.5	7 18.4	7 18.4	6 15.8	2 5.3	1 2.6	0 0.0	2 5.3	0 0.0	0 0.0
営利法人 (会社)	688 100.0	405 58.9	242 35.2	190 27.6	120 17.4	120 17.4	18 2.6	19 2.8	0 0.0	26 3.8	6 0.9	10 1.5
特定非営利活動法人 (NPO法人)	68 100.0	33 48.5	19 27.9	15 22.1	10 14.7	9 13.2	2 2.9	1 1.5	0 0.0	4 5.9	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	13 100.0	2 15.4	2 15.4	3 23.1	4 30.8	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	56 100.0	29 51.8	7 12.5	18 32.1	9 16.1	13 23.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.4	1 1.8	0 0.0
認知症対応型通所介護	152 100.0	91 59.9	62 40.8	46 30.3	46 30.3	24 15.8	5 3.3	2 1.3	0 0.0	14 9.2	1 0.7	1 0.7
社会福祉法人 (社会福祉協議会を除く)	52 100.0	38 73.1	22 42.3	21 40.4	13 25.0	10 19.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 13.5	0 0.0	1 1.9
医療法人	22 100.0	13 59.1	9 40.9	11 50.0	6 27.3	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 18.2	1 4.5	0 0.0
営利法人 (会社)	57 100.0	30 52.6	22 38.6	11 19.3	14 24.6	7 12.3	4 7.0	2 3.5	0 0.0	2 3.5	0 0.0	0 0.0
特定非営利活動法人 (NPO法人)	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	7 100.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
その他	10 100.0	6 60.0	5 50.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(次ページに続く)

	12. 通所リハビリテーションの利用率に切り替えた	13. 通所介護事業の利用率に切り替えた ※通所介護事業の利用率に切り替えた	14. 地域密着型通所介護事業の利用率に切り替えた ※地域密着型通所介護事業の利用率に切り替えた	15. 認知症対応型通所介護事業の利用率に切り替えた ※認知症対応型通所介護事業の利用率に切り替えた	16. 重度化し通えなくなった	17. 生活機能が改善し、通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）を利用しなくなった	18. 本人が通うことを拒否し利用を止められた	19. 亡くなった（在宅で看取り）※	20. 亡くなった（19以外）	21. その他理由	22. わからない、把握していない	累計（n） %
全体	101 4.9	324 15.8	66 3.2	36 1.8	421 20.5	89 4.3	400 19.5	623 30.3	987 48.0	172 8.4	54 2.6	7484 364.0
通所介護	63 6.7	189 20.0	10 1.1	23 2.4	208 22.0	43 4.6	224 23.7	349 36.9	555 58.7	82 8.7	25 2.6	4100 433.9
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	22 8.8	47 18.7	1 0.4	11 4.4	61 24.3	6 2.4	66 26.3	98 39.0	164 65.3	28 11.2	12 4.8	1244 495.6
医療法人	8 10.3	23 29.5	0 0.0	0 0.0	15 19.2	2 2.6	20 25.6	35 44.9	39 50.0	15 19.2	1 1.3	349 447.4
営利法人（会社）	25 5.1	97 19.9	9 1.8	9 1.8	107 21.9	29 5.9	109 22.3	171 35.0	280 57.4	32 6.6	11 2.3	1999 409.6
特定非営利活動法人（NPO法人）	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3	2 12.5	9 56.3	0 0.0	0 0.0	41 256.3
社会福祉協議会	5 9.6	5 9.6	0 0.0	1 1.9	10 19.2	3 5.8	13 25.0	17 32.7	33 63.5	5 9.6	1 1.9	224 430.8
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 33.3	1 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	9 300.0
その他	3 5.3	15 26.3	0 0.0	1 1.8	12 21.1	3 5.3	15 26.3	26 45.6	28 49.1	2 3.5	0 0.0	234 410.5
地域密着型通所介護	36 3.8	127 13.2	55 5.7	11 1.1	194 20.2	44 4.6	163 17.0	246 25.7	376 39.2	82 8.6	25 2.6	2949 307.5
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	3 3.2	10 10.8	3 3.2	2 2.2	12 12.9	3 3.2	16 17.2	19 20.4	43 46.2	10 10.8	3 3.2	304 326.9
医療法人	3 7.9	6 15.8	2 5.3	0 0.0	8 21.1	3 7.9	8 21.1	11 28.9	18 47.4	2 5.3	0 0.0	121 318.4
営利法人（会社）	28 4.1	94 13.7	45 6.5	6 0.9	158 23.0	33 4.8	128 18.6	182 26.5	262 38.1	60 8.7	19 2.8	2171 315.6
特定非営利活動法人（NPO法人）	1 1.5	11 16.2	3 4.4	2 2.9	8 11.8	3 4.4	4 5.9	21 30.9	22 32.4	4 5.9	3 4.4	175 257.4
社会福祉協議会	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	3 23.1	4 30.8	0 0.0	0 0.0	26 200.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 33.3	1 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	11 366.7
その他	0 0.0	4 7.1	2 3.6	1 1.8	6 10.7	1 1.8	6 10.7	10 17.9	25 44.6	6 10.7	0 0.0	141 251.8
認知症対応型通所介護	2 1.3	8 5.3	1 0.7	2 1.3	19 12.5	2 1.3	13 8.6	28 18.4	56 36.8	8 5.3	4 2.6	435 286.2
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	1 1.9	3 5.8	0 0.0	0 0.0	9 17.3	1 1.9	2 3.8	12 23.1	22 42.3	4 7.7	0 0.0	166 319.2
医療法人	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	2 9.1	0 0.0	1 4.5	5 22.7	10 45.5	0 0.0	0 0.0	68 309.1
営利法人（会社）	1 1.8	1 1.8	1 1.8	1 1.8	6 10.5	1 1.8	8 14.0	8 14.0	19 33.3	4 7.0	4 7.0	146 256.1
特定非営利活動法人（NPO法人）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 133.3
社会福祉協議会	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 42.9	3 0.0	0 0.0	0 0.0	15 214.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 400.0
その他	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	32 320.0

Q16-1 (Q16s3) <Q16s2 で、利用を終了した理由について回答いただいた方> その理由で利用を終了した人数 (数値回答)

事業所のサービス種別ごとにここ半年間 (令和3年7月～12月) に、利用を終了した人について、利用を終了した理由別人数の割合をみると、いずれも「1. 病院等の医療機関に入院した」が23.1%と最も割合が高く、通所介護では、次いで「20. 亡くなった (19以外)」が15.6%、「3. 特別養護老人ホームに入所した」が12.3%となっていた。地域密着型通所介護では、次いで「20. 亡くなった (19以外)」が12.7%、「2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した」が10.9%となっていた。認知症対応型通所介護では、次いで「2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した」が16.2%、「20. 亡くなった (19以外)」が12.9%の割合となっていた。

図表 29 Q16-1 (Q16s3) 利用を終了した理由別の人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院した	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した	3. 特別養護老人ホームに入所した	4. グループホームに入居した	5. 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅に入居した	6. 訪問介護の利用に切り替えた	7. 訪問看護の利用に切り替えた	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた
全体	13024 100.0	3003 23.1	1492 11.5	1432 11.0	587 4.5	663 5.1	64 0.5	44 0.3	2 0.0	162 1.2
通所介護	7774 100.0	1806 23.2	888 11.4	960 12.3	330 4.2	390 5.0	32 0.4	19 0.2	2 0.0	92 1.2
地域密着型通所介護	4607 100.0	1044 22.7	500 10.9	402 8.7	196 4.3	241 5.2	27 0.6	22 0.5	0 0.0	54 1.2
認知症対応型通所介護	643 100.0	153 23.8	104 16.2	70 10.9	61 9.5	32 5.0	5 0.8	3 0.5	0 0.0	16 2.5
				13. 通所介護事業所の利用に切り替えた ※通所介護事業所が回答する場合のみ、他の通所介護事業所の利用に切り替えた	14. 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた ※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた	15. 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた※ 認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた	16. 重度化し通えなくなった	17. 生活機能が改善し、通所介護 (地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護) を利用する必要がなくなった	18. 本人が通うことを拒否したため利用をやめた	19. 亡くなった (在宅で看取り)
全体	19 0.1	24 0.2	131 1.0	538 4.1	103 0.8	34 0.3	747 5.7	103 0.8	625 4.8	987 7.6
通所介護	11 0.1	9 0.1	72 0.9	322 4.1	12 0.2	22 0.3	392 5.0	55 0.7	361 4.6	600 7.7
地域密着型通所介護	7 0.2	14 0.3	57 1.2	207 4.5	90 2.0	11 0.2	330 7.2	45 1.0	248 5.4	350 7.6
認知症対応型通所介護	1 0.2	1 0.2	2 0.3	9 1.4	1 0.2	1 0.2	25 3.9	3 0.5	16 2.5	37 5.8
	20. 亡くなった (19以外)	21. その他理由	22. わからない、把握していない							
全体	1883 14.5	282 2.2	99 0.8							
通所介護	1215 15.6	145 1.9	39 0.5							
地域密着型通所介護	585 12.7	124 2.7	53 1.2							
認知症対応型通所介護	83 12.9	13 2.0	7 1.1							

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では、「16. 重度化し通えなくなった」の割合が4時間以上の事業所に比べ特に高くなっていた。

図表 30 Q16-1 (Q16s3) 利用を終了した理由別の人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院した	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した	3. 特別養護老人ホームに入所した	4. グループホームに入居した	5. 有料老人ホームやサービステキ付高齢者向け住宅に入居した	6. 訪問介護の利用に切り替えた	7. 訪問看護の利用に切り替えた	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	10. 看護小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	11. 訪問リハビリテーションの利用に切り替えた
全体	13024 100.0	3003 23.1	1492 11.5	1432 11.0	587 4.5	663 5.1	64 0.5	44 0.3	2 0.0	162 1.2	19 0.1	24 0.2
通所介護	7774 100.0	1806 23.2	888 11.4	960 12.3	330 4.2	390 5.0	32 0.4	19 0.2	2 0.0	92 1.2	11 0.1	9 0.1
4時間未満	832 100.0	235 28.2	64 7.7	43 5.2	9 1.1	24 2.9	4 0.5	4 0.5	0 0.0	10 1.2	0 0.0	6 0.7
4時間以上	6942 100.0	1571 22.6	824 11.9	917 13.2	321 4.6	366 5.3	28 0.4	15 0.2	2 0.0	82 1.2	11 0.2	3 0.0
地域密着型通所介護	4607 100.0	1044 22.7	500 10.9	402 8.7	196 4.3	241 5.2	27 0.6	22 0.5	0 0.0	54 1.2	7 0.2	14 0.3
4時間未満	1850 100.0	421 22.8	152 8.2	112 6.1	44 2.4	78 4.2	10 0.5	13 0.7	0 0.0	15 0.8	2 0.1	13 0.7
4時間以上	2740 100.0	617 22.5	347 12.7	289 10.5	151 5.5	162 5.9	17 0.6	9 0.3	0 0.0	39 1.4	5 0.2	1 0.0
認知症対応型通所介護	643 100.0	153 23.8	104 16.2	70 10.9	61 9.5	32 5.0	5 0.8	3 0.5	0 0.0	16 2.5	1 0.2	1 0.2
4時間未満	0.0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	633 100.0	149 23.5	102 16.1	70 11.1	61 9.6	32 5.1	5 0.8	3 0.5	0 0.0	16 2.5	1 0.2	1 0.2
		12. 通所リハビリテーションの利用に切り替えた	13. 通所介護事業所の利用に切り替えた ※通所介護事業所が回答する場合のみ、他の通所介護事業所の利用に切り替えた	14. 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた ※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた	15. 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた ※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた	16. 重度化し通えなくなった	17. 生活機能が改善し、通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）を利用する必要がなくなった	18. 本人が通うことを拒否したため利用をやめた	19. 亡くなった（在宅で看取り）	20. 亡くなった（19以外）	21. その他理由	22. わからない、把握していない
全体	131 1.0	538 4.1	103 0.8	34 0.3	747 5.7	103 0.8	625 4.8	987 7.6	1883 14.5	282 2.2	99 0.8	
通所介護	72 100.0	322 4.1	12 0.2	22 0.3	392 5.0	55 0.7	361 4.6	600 7.7	1215 15.6	145 1.9	39 0.5	
4時間未満	13 100.0	93 11.2	4 0.5	2 0.2	105 12.6	28 3.4	60 7.2	38 4.6	52 6.3	35 4.2	3 0.4	
4時間以上	59 100.0	229 3.3	8 0.1	20 0.3	287 4.1	27 0.4	301 4.3	562 8.1	1163 16.8	110 1.6	36 0.5	
地域密着型通所介護	57 100.0	207 4.5	90 2.0	11 0.2	330 7.2	45 1.0	248 5.4	350 7.6	585 12.7	124 2.7	53 1.2	
4時間未満	31 100.0	138 7.5	61 3.3	7 0.4	235 12.7	30 1.6	143 7.7	105 5.7	151 8.2	60 3.2	29 1.6	
4時間以上	26 100.0	69 2.5	28 1.0	4 0.1	94 3.4	15 0.5	103 3.8	243 8.9	433 15.8	64 2.3	24 0.9	
認知症対応型通所介護	2 100.0	9 1.4	1 0.2	1 0.2	25 3.9	3 0.5	16 2.5	37 5.8	83 12.9	13 2.0	7 1.1	
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	2 100.0	9 1.4	1 0.2	1 0.2	25 3.9	3 0.5	16 2.5	35 5.5	83 13.1	11 1.7	7 1.1	

<法人形態別>

さらに、法人形態別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、社会福祉法人では、「3. 特別養護老人ホームに入所した」の割合が他に比べ高くなっていた。これは、社会福祉法人では同一建物内や同一敷地内にこれらの事業所が併設されていることが多いことが影響していると考えられる。

図表 31 Q16-1 (Q16s3) 利用を終了した理由別の人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院した	2. 老人保健施設、介護施設、医療型介護施設、介護型医療施設に入所した	3. 特別養護老人ホームに入所した	4. グループホームに入居した	5. 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅に入居した	6. 訪問介護の利用に切り替えた	7. 訪問看護の利用に切り替えた	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	10. 看護小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	11. 訪問リハビリテーションの利用に切り替えた
全体	13024 57.2	3003 23.1	1492 11.5	1432 11.0	587 4.5	663 5.1	64 0.5	44 0.3	2 0.0	162 1.2	19 0.1	24 0.2
通所介護	7774 58.1	1806 23.2	888 11.4	960 12.3	330 4.2	390 5.0	32 0.4	19 0.2	2 0.0	92 1.2	11 0.1	9 0.1
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	2379 59.6	495 20.8	267 11.2	393 16.5	109 4.6	114 4.8	7 0.3	5 0.2	0 0.0	27 1.1	5 0.2	2 0.1
医療法人	663 57.3	171 25.8	96 14.5	38 5.7	27 4.1	33 5.0	1 0.2	2 0.3	0 0.0	12 1.8	1 0.2	3 0.5
営利法人(会社)	3729 57.8	940 25.2	389 10.4	418 11.2	153 4.1	198 5.3	15 0.4	7 0.2	2 0.1	33 0.9	4 0.1	2 0.1
特定非営利活動法人(NPO法人)	96 58.3	30 31.3	7 7.3	17 17.7	0 0.0	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	500 60.8	97 19.4	84 16.8	55 11.0	27 5.4	16 3.2	8 1.6	5 1.0	0 0.0	12 2.4	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	17 64.7	3 17.6	0 0.0	8 47.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	390 50.3	70 17.9	45 11.5	31 7.9	14 3.6	27 6.9	1 0.3	0 0.0	0 0.0	8 2.1	1 0.3	2 0.5
地域密着型通所介護	4607 54.0	1044 22.7	500 10.9	402 8.7	196 4.3	241 5.2	27 0.6	22 0.5	0 0.0	54 1.2	7 0.2	14 0.3
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	479 62.4	107 22.3	63 13.2	57 11.9	33 6.9	26 5.4	1 0.2	0 0.0	0 0.0	12 2.5	0 0.0	0 0.0
医療法人	187 58.3	54 28.9	27 14.4	9 4.8	8 4.3	6 3.2	2 1.1	1 0.5	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0
営利法人(会社)	3398 52.1	756 22.2	365 10.7	279 8.2	123 3.6	175 5.2	22 0.6	20 0.6	0 0.0	29 0.9	6 0.2	14 0.4
特定非営利活動法人(NPO法人)	233 55.8	56 24.0	24 10.3	19 8.2	12 5.2	10 4.3	2 0.9	1 0.4	0 0.0	6 2.6	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	40 47.5	4 10.0	2 5.0	5 12.5	6 15.0	2 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	9 77.8	4 44.4	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	261 58.6	63 24.1	19 7.3	31 11.9	13 5.0	22 8.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 1.9	1 0.4	0 0.0
認知症対応型通所介護	643 69.1	153 23.8	104 16.2	70 10.9	61 9.5	32 5.0	5 0.8	3 0.5	0 0.0	16 2.5	1 0.2	1 0.2
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	237 67.5	68 28.7	30 12.7	32 13.5	12 5.1	11 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 3.0	0 0.0	1 0.4
医療法人	91 73.6	14 15.4	17 18.7	21 23.1	6 6.6	4 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 5.5	1 1.1	0 0.0
営利法人(会社)	219 66.7	49 22.4	44 20.1	13 5.9	19 8.7	11 5.0	4 1.8	3 1.4	0 0.0	3 1.4	0 0.0	0 0.0
特定非営利活動法人(NPO法人)	8 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 75.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	26 80.8	5 19.2	6 23.1	0 0.0	10 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
その他	57 66.7	17 29.8	6 10.5	2 3.5	7 12.3	5 8.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(次ページに続く)

	12. 通所 リハビリ テーション の利用に 切り替 えた	13. 通所 介護事業 所の利用 に切り替 えた ※通所介 護事業所 が回答す る場合の み、他の 通所介護 事業所の 利用に切 り替えた	14. 地域 密着型通 所介護事 業所の利 用に切り 替えた ※地域密 着型通所 介護事業 所が回答 する場合 のみ、他 の地域密 着型通所 介護事業 所の利用 に切り替 えた	15. 認知 症対応型 通所介護 事業所の 利用に切 り替えた ※認知症 対応型通 所介護事 業所が回 答する場 合のみ、 他の認知 症対応型 通所介護 事業所の 利用に切 り替えた	16. 重度 化し通え なくなっ た	17. 生活 機能が改 善し、通 所介護 （地域密 着型通所 介護・認 知症対応 型通所介 護）を利 用する必 要なくな った	18. 本人 が通うこ とを拒否 したため 利用をや めた	19. 亡く なった （在宅で 看取り）	20. 亡く なった （19以 外）	21. その 他の理由	22. わか らない、 把握して いない
全体	131 1.0	538 4.1	103 0.8	34 0.3	747 5.7	103 0.8	625 4.8	987 7.6	1883 14.5	282 2.2	99 0.8
通所介護	72 0.9	322 4.1	12 0.2	22 0.3	392 5.0	55 0.7	361 4.6	600 7.7	1215 15.6	145 1.9	39 0.5
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	22 0.9	66 2.8	2 0.1	10 0.4	101 4.2	8 0.3	119 5.0	150 6.3	403 16.9	51 2.1	23 1.0
医療法人	14 2.1	56 8.4	0 0.0	0 0.0	25 3.8	5 0.8	35 5.3	53 8.0	71 10.7	18 2.7	2 0.3
営利法人（会社）	29 0.8	168 4.5	10 0.3	8 0.2	198 5.3	35 0.9	175 4.7	293 7.9	575 15.4	64 1.7	13 0.3
特定非営利活動法人（NPO法人）	0 0.0	5 5.2	0 0.0	3 3.1	3 3.1	0 0.0	3 3.1	5 5.2	21 21.9	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	5 1.0	8 1.6	0 0.0	1 0.2	16 3.2	5 1.0	14 2.8	52 10.4	85 17.0	9 1.8	1 0.2
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 35.3	0 0.0	0 0.0
その他	2 0.5	19 4.9	0 0.0	0 0.0	49 12.6	2 0.5	15 3.8	47 12.1	54 13.8	3 0.8	0 0.0
地域密着型通所介護	57 1.2	207 4.5	90 2.0	11 0.2	330 7.2	45 1.0	248 5.4	350 7.6	585 12.7	124 2.7	53 1.2
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	3 0.6	13 2.7	6 1.3	1 0.2	18 3.8	2 0.4	19 4.0	24 5.0	73 15.2	15 3.1	6 1.3
医療法人	5 2.7	11 5.9	4 2.1	0 0.0	13 7.0	2 1.1	10 5.3	11 5.9	20 10.7	2 1.1	0 0.0
営利法人（会社）	47 1.4	162 4.8	76 2.2	7 0.2	272 8.0	35 1.0	207 6.1	265 7.8	403 11.9	92 2.7	43 1.3
特定非営利活動法人（NPO法人）	1 0.4	12 5.2	2 0.9	2 0.9	12 5.2	4 1.7	4 1.7	30 12.9	27 11.6	5 2.1	4 1.7
社会福祉協議会	1 2.5	2 5.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	1 2.5	1 2.5	3 7.5	12 30.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	7 2.7	2 0.8	1 0.4	13 5.0	1 0.4	7 2.7	17 6.5	49 18.8	10 3.8	0 0.0
認知症対応型通所介護	2 0.3	9 1.4	1 0.2	1 0.2	25 3.9	3 0.5	16 2.5	37 5.8	83 12.9	13 2.0	7 1.1
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	1 0.4	3 1.3	0 0.0	0 0.0	9 3.8	2 0.8	4 1.7	17 7.2	33 13.9	7 3.0	0 0.0
医療法人	0 0.0	2 2.2	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1	6 6.6	13 14.3	0 0.0	0 0.0
営利法人（会社）	1 0.5	1 0.5	1 0.5	1 0.5	8 3.7	1 0.5	10 4.6	10 12.3	27 12.3	6 2.7	7 3.2
特定非営利活動法人（NPO法人）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉協議会	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 19.2	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	3 5.3	0 0.0	0 0.0	7 12.3	0 0.0	1 1.8	3 5.3	5 8.8	0 0.0	0 0.0

(17) 利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人

Q17 利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人は何人ですか。
 (数値回答)

事業所のサービス種別ごとの、利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人数の割合は以下の通り。

図表 32 Q17 利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人数
 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全 体	0 人	1～2 人	3～5 人	6～10人	11～15人	16人以上
全 体	2093 100.0	151 7.2	360 17.2	566 27.0	510 24.4	217 10.4	289 13.8
通所介護	921 100.0	21 2.3	85 9.2	179 19.4	264 28.7	151 16.4	221 24.0
地域密着型通所介護	1002 100.0	104 10.4	228 22.8	339 33.8	205 20.5	61 6.1	65 6.5
認知症対応型通所介護	170 100.0	26 15.3	47 27.6	48 28.2	41 24.1	5 2.9	3 1.8

事業所のサービス種別ごとの、利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人数の平均値は以下の通り。

図表 33 Q17 利用登録者のうち、ここ半年間（令和3年7月～12月）に、利用を開始した人数
 (平均値)

	全 体	利用開始人数 (人)
全 体	2093	7.9
通所介護	921	11.2
地域密着型通所介護	1002	5.5
認知症対応型通所介護	170	4.0

Q17-1 (Q17s2) 【Q17で1人以上の場合(ここ半年間で利用を開始した人がいる場合)】貴事業所の利用を開始する前に、利用していた介護保険サービス等がありますか。(複数回答)

各サービスの入口における役割として、事業所のサービス種別ごとに事業所の利用を開始する前に、利用していた介護保険サービス等の割合をみると、いずれも「16. 介護保険サービスは利用していなかった」との割合がもっとも高くなっていた。通所介護では、次いで「1. 病院等の医療機関に入院」が60.4%、「12. 他の通所介護事業所」が45.4%となっていた。地域密着型通所介護では、次いで「1. 病院等の医療機関に入院」が43.4%、「12. 通所介護事業所」が29.1%となっていた。認知症対応型通所介護では、次いで「12. 通所介護事業所」が52.1%、「5. 訪問介護」が23.6%となっていた。

図表 34 Q17-1 (Q17s2) 貴事業所の利用を開始する前に、利用していた介護保険サービス等
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所	3. 特別養護老人ホームに入所	4. グループホームに入居	5. 訪問介護	6. 訪問看護	7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8. 小規模多機能型居宅介護	9. 看護小規模多機能型居宅介護
全体	1942 100.0	966 49.7	145 7.5	13 0.7	24 1.2	582 30.0	276 14.2	13 0.7	19 1.0	1 0.1
通所介護	900 100.0	544 60.4	100 11.1	4 0.4	13 1.4	306 34.0	160 17.8	7 0.8	11 1.2	0 0.0
地域密着型通所介護	898 100.0	390 43.4	40 4.5	7 0.8	8 0.9	242 26.9	92 10.2	4 0.4	5 0.6	0 0.0
認知症対応型通所介護	144 100.0	32 22.2	5 3.5	2 1.4	3 2.1	34 23.6	24 16.7	2 1.4	3 2.1	1 0.7
	10. 訪問リハビリテーション	11. 通所リハビリテーション	12. 通所介護事業所※通所介護事業所が回答する場合のみ、他の通所介護事業所	13. 地域密着型通所介護事業所※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の地域密着型通所介護事業所	14. 認知症対応型通所介護事業所※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の認知症対応型通所介護事業所	15. 2~14以外の介護保険サービス	16. 介護保険サービスは利用していなかった	17. 介護予防・日常生活支援総合事業	18. わからない、把握していない	累計 (n) %
全体	96 4.9	289 14.9	745 38.4	186 9.6	16 0.8	125 6.4	1179 60.7	291 15.0	237 12.2	5203 267.9
通所介護	50 5.6	144 16.0	409 45.4	27 3.0	3 0.3	61 6.8	586 65.1	190 21.1	132 14.7	2747 305.2
地域密着型通所介護	41 4.6	120 13.4	261 29.1	152 16.9	9 1.0	58 6.5	502 55.9	98 10.9	98 10.9	2127 236.9
認知症対応型通所介護	5 3.5	25 17.4	75 52.1	7 4.9	4 2.8	6 4.2	91 63.2	3 2.1	7 4.9	329 228.5

Q17-1 (Q17s3) <Q17s2 で回答いただいた方> (Q17s2) でご回答いただきました利用していた介護保険サービス等について、その介護保険サービス等を利用していた人数。複数の理由がある場合、それぞれカウントしてください。(数値回答)

事業所のサービス種別ごとに、事業所の利用を開始する前に利用していた介護保険サービス等について、その介護保険サービス等を利用していた人数の割合をみると、いずれも「16. 介護保険サービスは利用していなかった」との割合がもっとも高くなっていた。通所介護では、次いで「1. 病院等の医療機関に入院」が 21.5%、「12. 他の通所介護事業所」が 12.2%となっていた。地域密着型通所介護では、次いで「1. 病院等の医療機関に入院」が 16.5%、「5. 訪問介護」が 11.1%となっていた。認知症対応型通所介護では、次いで「12. 通所介護事業所」が 19.5%、「5. 訪問介護」が 11.0%となっていた。

図表 35 Q17-1 (Q17s3)Q17s2 で、貴事業所の利用を開始する前に利用していた介護保険サービス等について、その介護保険サービス等を利用していた人数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 病院等の医療機関に入院	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所	3. 特別養護老人ホームに入所	4. グループホームに同居	5. 訪問介護	6. 訪問看護	7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8. 小規模多機能型居宅介護	9. 看護小規模多機能型居宅介護
全体	12602 100.0	2386 18.9	214 1.7	15 0.1	25 0.2	1169 9.3	415 3.3	16 0.1	19 0.2	1 0.0
通所介護	7282 100.0	1567 21.5	162 2.2	2 0.0	15 0.2	580 8.0	214 2.9	9 0.1	9 0.1	0 0.0
地域密着型通所介護	4675 100.0	772 16.5	48 1.0	7 0.1	7 0.1	518 11.1	168 3.6	4 0.1	4 0.1	0 0.0
認知症対応型通所介護	645 100.0	47 7.3	4 0.6	6 0.9	3 0.5	71 11.0	33 5.1	3 0.5	6 0.9	1 0.2
	10. 訪問リハビリテーション	11. 通所リハビリテーション	12. 通所介護事業所※通所介護事業所が回答する場合のみ、他の通所介護事業所	13. 地域密着型通所介護事業所※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の地域密着型通所介護事業所	14. 認知症対応型通所介護事業所※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、他の認知症対応型通所介護事業所	15. 2～14以外の介護保険サービス	16. 介護保険サービスは利用していなかった	17. 介護予防・日常生活支援総合事業	18. わからない、把握していない	
全体	124 1.0	403 3.2	1439 11.4	360 2.9	27 0.2	262 2.1	4276 33.9	529 4.2	922 7.3	
通所介護	65 0.9	200 2.7	889 12.2	28 0.4	5 0.1	140 1.9	2433 33.4	339 4.7	625 8.6	
地域密着型通所介護	54 1.2	156 3.3	424 9.1	324 6.9	9 0.2	112 2.4	1599 34.2	184 3.9	285 6.1	
認知症対応型通所介護	5 0.8	47 7.3	126 19.5	8 1.2	13 2.0	10 1.6	244 37.8	6 0.9	12 1.9	

(18) 看護職員が対応している医療的ケア、対応が特に困難な医療的ケア

Q18 医療的ケアの必要な利用者について、医師の指示のもと実施しているものも含め、看護職員が対応している医療的ケアはありますか。また、対応が特に困難なケアについてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとにみると、「看護職員が対応している医療的ケアはない」と回答した事業所は、地域密着型通所介護が41.4%ともっとも高く、次いで、認知症対応型通所介護が33.0%、通所介護が9.6%であり、通所介護では特に看護職員が対応する医療的ケアの割合が他に比べ高くなっていた。

また、1施設当たりの平均回答数を見ると、通所介護が5.5件、地域密着型通所介護が2.7件、認知症対応型通所介護が3.0件となっており、通所介護にて対応する医療的ケアの件数が他に比べて高くなっていた。

図表 36 Q18 医療的ケアの必要な利用者について、医師の指示のもと実施しているものも含め、看護職員が対応している医療的ケア [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	看取り期のケア	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	たんの吸引	ネブライザー	酸素療法(酸素吸入)
全体	3133 100.0	143 4.6	524 16.7	148 4.7	19 0.6	482 15.4	683 21.8	573 18.3	57 1.8	484 15.4
通所介護	1479 100.0	90 6.1	410 27.7	114 7.7	12 0.8	355 24.0	508 34.3	424 28.7	44 3.0	363 24.5
地域密着型通所介護	1436 100.0	47 3.3	94 6.5	30 2.1	7 0.5	108 7.5	151 10.5	124 8.6	12 0.8	108 7.5
認知症対応型通所介護	218 100.0	6 2.8	20 9.2	4 1.8	0 0.0	19 8.7	24 11.0	25 11.5	1 0.5	13 6.0
	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	注射・点滴	簡易血糖測定	インスリン注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析(在宅自己腹膜灌流含む)	導尿
全体	77 2.5	23 0.7	81 2.6	369 11.8	776 24.8	1091 34.8	1198 38.2	1780 56.8	43 1.4	228 7.3
通所介護	56 3.8	13 0.9	48 3.2	268 18.1	568 38.4	699 47.3	796 53.8	1073 72.5	33 2.2	167 11.3
地域密着型通所介護	19 1.3	10 0.7	30 2.1	90 6.3	182 12.7	327 22.8	331 23.1	597 41.6	10 0.7	56 3.9
認知症対応型通所介護	2 0.9	0 0.0	3 1.4	11 5.0	26 11.9	65 29.8	71 32.6	110 50.5	0 0.0	5 2.3
	疼痛の看護	浣腸	排便	リハビリテーション	口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理)	その他	看護職員が対応している医療的ケアはない	累計(n)%	1施設当たりの平均回答数(件)	
全体	226 7.2	651 20.8	882 28.2	569 18.2	684 21.8	81 2.6	808 25.8	12680 404.7	4.0	
通所介護	149 10.1	439 29.7	563 38.1	333 22.5	391 26.4	36 2.4	142 9.6	8094 547.3	5.5	
地域密着型通所介護	68 4.7	173 12.0	261 18.2	206 14.3	256 17.8	39 2.7	594 41.4	3930 273.7	2.7	
認知症対応型通所介護	9 4.1	39 17.9	58 26.6	30 13.8	37 17.0	6 2.8	72 33.0	656 300.9	3.0	

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、看護職員が対応している医療的ケアの割合が4時間未満の事業所に比べ特に高く、より重症度の高い方に対応していることがうかがえる。

図表 37 Q18 医療的ケアの必要な利用者について、医師の指示のもと実施しているものも含め、看護職員が対応している医療的ケア [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	看取り期のケア	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル(コト-ル-カ-リ-ル-留置カ-テ-ル-等)の管理	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	たんの吸引	ネブライザー	酸素療法(酸素吸入)	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	注射・点滴	簡易血糖測定	
全体	3119 100.0	143 4.6	524 16.8	148 4.7	19 0.6	482 15.5	683 21.9	573 18.4	57 1.8	484 15.5	77 2.5	23 0.7	81 2.6	368 11.8	
通所介護	1477 100.0	90 6.1	410 27.8	114 7.7	12 0.8	355 24.0	508 34.4	424 28.7	44 3.0	363 24.6	56 3.8	13 0.9	48 3.2	267 18.1	
4時間未満	144 100.0	1 0.7	4 2.8	2 1.4	2 1.4	5 3.5	16 11.1	5 3.5	1 0.7	13 9.0	1 0.7	0 0.0	2 1.4	6 4.2	
4時間以上	1333 100.0	89 6.7	406 30.5	112 8.4	10 0.8	350 26.3	492 36.9	419 31.4	43 3.2	350 26.3	55 4.1	13 1.0	46 3.5	261 19.6	
地域密着型通所介護	1426 100.0	47 3.3	94 6.6	30 2.1	7 0.5	108 7.6	151 10.6	124 8.7	12 0.8	108 7.6	19 1.3	10 0.7	30 2.1	90 6.3	
4時間未満	440 100.0	0 0.0	4 0.9	0 0.0	0 0.0	10 2.3	20 4.5	6 1.4	0 0.0	13 3.0	2 0.5	1 0.2	3 0.7	9 2.0	
4時間以上	986 100.0	47 4.5	90 9.1	30 3.0	7 0.7	98 9.9	131 13.3	118 11.9	12 1.2	95 9.6	17 1.7	9 0.9	27 2.7	81 8.2	
認知症対応型通所介護	214 100.0	6 2.8	20 9.3	4 1.9	0 0.0	19 8.9	24 11.2	25 11.7	1 0.5	13 6.1	2 0.9	0 0.0	3 1.4	11 5.1	
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	214 100.0	6 2.8	20 9.3	4 1.9	0 0.0	19 8.9	24 11.2	25 11.7	1 0.5	13 6.1	2 0.9	0 0.0	3 1.4	11 5.1	
		インスリン注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析(在宅自己腹膜灌流含む)	導尿	疼痛の看護	浣腸	排便	リハビリテーション	口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理)	その他	看護職員が対応している医療的ケアはない	累計(n) %
全体	776 24.9	1090 34.9	1197 38.4	1778 57.0	43 1.4	228 7.3	224 7.2	651 20.9	881 28.2	564 18.1	683 21.9	81 2.6	800 25.6	12658 405.8	
通所介護	568 38.5	699 47.3	796 53.9	1072 72.6	33 2.2	167 11.3	147 10.0	439 29.7	562 38.1	332 22.5	390 26.4	36 2.4	142 9.6	8087 547.5	
4時間未満	12 8.3	29 20.1	15 10.4	40 27.8	3 2.1	4 2.8	8 5.6	4 2.8	3 2.1	27 18.8	26 18.1	10 6.9	63 43.8	302 209.7	
4時間以上	556 41.7	670 50.3	781 58.6	1032 77.4	30 2.3	163 12.2	139 10.4	435 32.6	559 41.9	305 22.9	364 27.3	26 2.0	79 5.9	7785 584.0	
地域密着型通所介護	182 12.7	327 22.9	331 23.2	597 41.8	10 0.7	56 3.9	68 4.8	173 12.1	261 18.3	204 14.3	256 17.9	39 2.7	588 41.2	3922 274.6	
4時間未満	17 3.9	44 10.0	19 4.3	67 15.2	2 0.5	5 1.1	10 2.3	5 1.1	7 1.6	52 11.8	64 14.5	17 3.9	276 62.7	656 149.1	
4時間以上	165 16.7	283 28.6	312 31.6	530 53.6	8 0.8	51 5.2	58 5.9	168 17.0	254 25.7	152 15.4	192 19.4	22 2.2	312 31.6	3266 330.6	
認知症対応型通所介護	26 12.1	64 29.9	70 32.7	109 50.9	0 0.0	5 2.3	9 4.2	39 18.2	58 27.1	28 13.1	37 17.3	6 2.8	70 32.7	649 303.3	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	26 12.1	64 29.9	70 32.7	109 50.9	0 0.0	5 2.3	9 4.2	39 18.2	58 27.1	28 13.1	37 17.3	6 2.8	70 32.7	649 303.3	

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、医療法人では、対応可能な医療的ケアの割合が他に比べ高い項目が多い。また、通所介護、地域密着型通所介護において、社会福祉法人では「たんの吸引」「胃ろう、腸ろうによる栄養管理（通所介護のみ）」等の割合が他に比べ高くなっていて、また、後述のQ21では、社会福祉法人では、喀痰吸引等事業者の登録を行っている割合が他に比べ高くなっていて、このことから、社会福祉法人では一定の医療的ケアへの対応力が他に比べ高いと考えられる。

図表 38 Q18 医療的ケアの必要な利用者について、医師の指示のもと実施しているものも含め、看護職員が対応している医療的ケア [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	看取り期の ケア	胃ろう、腸 ろうによる 栄養管理	経鼻経管栄 養	中心静脈栄 養の管理	カテーテル (コドームカテー テル、留置針等 等)の管理	ストーマ (人工肛 門・人工膀胱) の管理	たんの吸引	ネブライ ザー	酸素療法 (酸素吸 入)	気管切開の ケア	人工呼吸器 の管理	注射・点滴	簡易血糖測 定
全体	3133 100.0	143 4.6	524 16.7	148 4.7	19 0.6	482 15.4	683 21.8	573 18.3	57 1.8	484 15.4	77 2.5	23 0.7	81 2.6	369 11.8
通所介護	1479 100.0	90 6.1	410 27.7	114 7.7	12 0.8	246 16.6	508 34.3	424 28.7	44 3.0	363 24.5	56 3.8	13 0.9	48 3.2	268 18.1
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	378 100.0	20 5.3	116 30.7	28 7.4	0 0.0	96 25.4	143 37.8	119 31.5	12 3.2	95 25.1	14 3.7	2 0.5	5 1.3	61 16.1
医療法人	112 100.0	10 8.9	29 25.9	7 6.3	2 1.8	29 25.9	37 33.0	32 28.6	6 5.4	43 38.4	7 6.3	1 0.9	8 7.1	27 24.1
営利法人（会社）	802 100.0	46 6.0	217 27.1	68 8.5	7 0.9	175 21.8	265 33.0	214 26.7	19 2.4	174 21.7	26 3.2	9 1.1	27 3.4	144 18.0
特定非営利活動法人（NPO法人）	22 100.0	3 13.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5	4 18.2	2 9.1	8 36.4	1 4.5	6 27.3	1 4.5	1 4.5	3 13.6	5 22.7
社会福祉協議会	72 100.0	3 4.2	22 30.6	4 5.6	0 0.0	22 30.6	26 36.1	22 30.6	2 2.8	23 31.9	2 2.8	0 0.0	1 1.4	10 13.9
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
その他	88 100.0	6 6.8	22 25.0	5 5.7	2 2.3	28 31.8	35 39.8	27 30.7	4 4.5	21 23.9	6 6.8	0 0.0	3 3.4	20 22.7
地域密着型通所介護	1436 100.0	47 3.3	94 6.5	30 2.1	7 0.5	108 7.5	151 10.5	124 8.6	12 0.8	108 7.5	19 1.3	10 0.7	30 2.1	90 6.3
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	130 100.0	2 1.5	11 8.5	4 3.1	0 0.0	18 13.8	11 8.5	19 14.6	1 0.8	18 13.8	1 0.8	0 0.0	3 2.3	9 6.9
医療法人	51 100.0	5 9.8	5 9.8	4 7.8	1 2.0	6 11.8	11 21.6	8 15.7	1 2.0	4 7.8	2 3.9	0 0.0	3 5.9	6 11.8
営利法人（会社）	1053 100.0	26 2.5	55 5.2	15 1.4	4 0.4	67 6.4	101 9.6	70 6.6	7 0.7	67 6.4	11 1.0	8 0.8	18 1.7	56 5.3
特定非営利活動法人（NPO法人）	94 100.0	6 6.4	11 11.7	4 4.3	1 1.1	6 6.4	10 10.6	13 13.8	1 1.1	12 12.8	2 2.1	1 1.1	3 3.2	9 9.6
社会福祉協議会	21 100.0	0 0.0	2 9.5	1 4.8	0 0.0	2 9.5	4 19.0	2 9.5	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	3 14.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	83 100.0	7 8.4	10 12.0	2 2.4	1 1.2	9 10.8	13 15.7	12 14.5	2 2.4	6 7.2	2 2.4	1 1.2	3 3.6	7 8.4
認知症対応型通所介護	218 100.0	6 2.8	20 9.2	4 1.8	0 0.0	19 8.7	24 11.0	25 11.5	1 0.5	13 6.0	2 0.9	0 0.0	3 1.4	11 5.0
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	3 3.9	10 13.0	2 2.6	0 0.0	9 11.7	13 16.9	9 11.7	0 0.0	5 6.5	1 1.3	0 0.0	0 0.0	3 3.9
医療法人	26 100.0	1 3.8	3 11.5	0 0.0	0 0.0	1 3.8	2 7.7	4 15.4	0 0.0	2 7.7	0 0.0	0 0.0	1 3.8	2 7.7
営利法人（会社）	83 100.0	2 2.4	6 7.2	2 2.4	0 0.0	7 8.4	7 8.4	11 13.3	1 1.2	2 2.4	2 2.4	1 1.2	1 1.2	6 7.2
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
社会福祉協議会	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(次ページに続く)

	インスリン 注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析（在宅 自己腹膜灌 流含む）	導尿	疼痛の看護	洗滌	排便	リハビリ テーション	口腔の健康 管理（口腔 衛生状態、 摂食機能の 管理）	その他	看護職員が 対応してい る医療的ケ アはない	累計（n） %
全体	776 24.8	1091 34.8	1198 38.2	1780 56.8	43 1.4	228 7.3	226 7.2	651 20.8	882 28.2	569 18.2	684 21.8	81 2.6	808 25.8	12680 404.7
通所介護	568 38.4	699 47.3	796 53.8	1073 72.5	33 2.2	167 11.3	149 10.1	439 29.7	563 38.1	333 22.5	391 26.4	36 2.4	142 9.6	8094 547.3
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	150 39.7	188 49.7	222 58.7	280 74.1	5 1.3	45 11.9	33 8.7	113 29.9	139 36.8	88 23.3	85 22.5	9 2.4	23 6.1	2091 553.2
医療法人	50 44.6	64 57.1	63 56.3	91 81.3	3 2.7	12 10.7	19 17.0	32 28.6	42 37.5	29 25.9	36 32.1	4 3.6	7 6.3	690 616.1
営利法人（会社）	303 37.8	352 43.9	399 49.8	556 69.3	23 2.9	90 11.2	75 9.4	231 28.8	298 37.2	166 20.7	210 26.2	18 2.2	96 12.0	4210 524.9
特定非営利活動法人（NPO法人）	11 50.0	10 45.5	11 50.0	18 81.8	0 0.0	2 9.1	4 18.2	6 27.3	10 45.5	4 18.2	6 27.3	0 0.0	1 4.5	124 563.6
社会福祉協議会	13 18.1	38 52.8	49 68.1	58 80.6	1 1.4	5 6.9	6 8.3	23 31.9	34 47.2	20 27.8	23 31.9	2 2.8	4 5.6	413 573.6
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	2 40.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 20.0	1 20.0	0 20.0	24 480.0
その他	39 44.3	45 51.1	49 55.7	66 75.0	1 1.1	13 14.8	12 13.6	32 36.4	37 42.0	26 29.5	30 34.1	3 3.4	10 11.4	542 615.9
地域密着型通所介護	182 12.7	327 22.8	331 23.1	597 41.6	10 0.7	56 3.9	68 4.7	173 12.0	261 18.2	206 14.3	256 17.8	39 2.7	594 41.4	3930 273.7
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	23 17.7	44 33.8	37 28.5	81 62.3	0 0.0	5 3.8	3 2.3	16 12.3	30 23.1	20 15.4	21 16.2	2 1.5	31 23.8	410 315.4
医療法人	9 17.6	15 29.4	11 21.6	25 49.0	1 2.0	3 5.9	8 15.7	8 15.7	13 25.5	8 15.7	14 27.5	0 0.0	16 31.4	187 366.7
営利法人（会社）	115 10.9	209 19.8	212 20.1	378 35.9	4 0.4	40 3.8	40 3.8	114 10.8	163 15.5	145 13.8	171 16.2	33 3.1	496 47.1	2625 249.3
特定非営利活動法人（NPO法人）	12 12.8	31 33.0	31 33.0	54 57.4	2 2.1	4 4.3	9 9.6	18 19.1	26 27.7	20 21.3	29 30.9	0 0.0	23 24.5	338 359.6
社会福祉協議会	2 9.5	7 33.3	9 42.9	13 61.9	2 9.5	0 0.0	1 4.8	2 9.5	5 23.8	2 9.5	6 28.6	0 0.0	5 23.8	70 333.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 25.0	1 75.0	11 275.0
その他	20 24.1	20 24.1	30 36.1	45 54.2	1 1.2	4 4.8	7 8.4	15 18.1	24 28.9	10 12.0	15 18.1	3 3.6	20 24.1	289 348.2
認知症対応型通所介護	26 11.9	65 29.8	71 32.6	110 50.5	0 0.0	5 2.3	9 4.1	39 17.9	58 26.6	30 13.8	37 17.0	6 2.8	72 33.0	656 300.9
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	13 16.9	25 32.5	26 33.8	38 49.4	0 0.0	1 1.3	0 0.0	14 18.2	17 22.1	12 15.6	9 11.7	1 1.3	25 32.5	306.5
医療法人	4 15.4	5 19.2	7 26.9	10 38.5	0 0.0	1 3.8	1 3.8	5 19.2	7 26.9	1 3.8	4 15.4	1 3.8	10 38.5	72 276.9
営利法人（会社）	7 8.4	24 28.9	28 33.7	45 54.2	0 0.0	2 2.4	6 7.2	17 20.5	30 36.1	14 16.9	18 21.7	1 1.2	26 31.3	264 318.1
特定非営利活動法人（NPO法人）	0 0.0	2 22.2	2 22.2	5 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4	18 200.0
社会福祉協議会	1 14.3	5 71.4	4 57.1	6 85.7	0 0.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	31 442.9
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 200.0
その他	1 6.7	3 20.0	3 20.0	6 40.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	2 13.3	4 26.7	3 20.0	7 46.7	33 220.0

Q18-1 (Q18s2) <Q18 に回答いただいた方> Q18 で、ご回答いただきました該当する利用者がいる医療的ケアに対して、その利用人数。(数値回答)

事業所のサービス種別ごとの看護職員が対応している医療的ケアの利用人数の割合は以下の通り。全体では、利用者数の違いも影響していると考えられるが、通所介護において他に比べ、看護職員が対応している医療的ケアの利用人数が多くなっていた。また、地域密着型通所介護では、「口腔の健康管理」が他に比べ特に割合が高くなっていた。

図表 39 Q18-1 (Q18s2) 看護職員が対応している医療的ケアの利用人数
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	看取り期の ケア	胃ろう、腸 ろうによる 栄養管理	経鼻経管栄 養	中心静脈栄 養の管理	カテーテル (コドムカテー テル、留置カテー テル等)の管理	ストーマ (人工肛 門・人工膀胱) の管理	たんの吸引	ネブライ ザー	酸素療法 (酸素吸 入)
全体	51661 100.0	127 0.2	483 0.9	70 0.1	7 0.0	619 1.2	501 1.0	484 0.9	28 0.1	425 0.8
通所介護	35927 100.0	82 0.2	378 1.1	47 0.1	6 0.0	492 1.4	372 1.0	366 1.0	20 0.1	322 0.9
地域密着型通所介護	14020 100.0	44 0.3	88 0.6	22 0.2	1 0.0	111 0.8	117 0.8	102 0.7	7 0.0	89 0.6
認知症対応型通所介護	1714 100.0	1 0.1	17 1.0	1 0.1	0 0.0	16 0.9	12 0.7	16 0.9	1 0.1	14 0.8
	気管切開の ケア	人工呼吸器 の管理	注射・点滴	簡易血糖測 定	インスリン 注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析(在宅 自己腹膜灌 流含む)	導尿
全体	57 0.1	10 0.0	50 0.1	458 0.9	698 1.4	2274 4.4	1242 2.4	21166 41.0	49 0.1	150 0.3
通所介護	36 0.1	6 0.0	27 0.1	352 1.0	526 1.5	1639 4.6	842 2.3	15821 44.0	37 0.1	100 0.3
地域密着型通所介護	21 0.1	4 0.0	21 0.1	97 0.7	154 1.1	512 3.7	341 2.4	4595 32.8	12 0.1	48 0.3
認知症対応型通所介護	0 0.0	0 0.0	2 0.1	9 0.5	18 1.1	123 7.2	59 3.4	750 43.8	0 0.0	2 0.1
	疼痛の看護	浣腸	排便	リハビリ テーション	口腔の健康 管理(口腔 衛生状態、 摂食機能の 管理)	その他				
全体	616 1.2	749 1.4	1208 2.3	9205 17.8	10671 20.7	314 0.6				
通所介護	405 1.1	515 1.4	791 2.2	6016 16.7	6641 18.5	88 0.2				
地域密着型通所介護	202 1.4	196 1.4	351 2.5	2904 20.7	3775 26.9	206 1.5				
認知症対応型通所介護	9 0.5	38 2.2	66 3.9	285 16.6	255 14.9	20 1.2				

Q18-1 (Q18s3) 対応が特に困難な医療的ケアを教えてください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに対応が特に困難な医療的ケアの割合をみると、いずれも「対応が特に困難な医療的ケアはない」がもっとも割合が高く、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、通所介護の順に割合が高くなっていった。通所介護では他に比べ、医療的ケアの対象となる利用者数が多く、医療的ケアの困難さが高いことが考えられる。

図表 40 Q18-1 (Q18s3) 対応が特に困難な医療的ケア [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	看取り期の ケア	胃ろう、腸 ろうによる 栄養管理	経鼻経管栄 養	中心静脈栄 養の管理	カテーテル (コトームカテー テル、留置カテー テル等)の管理	ストーマ (人工肛 門・人工膀 胱)の管理	たんの吸引	ネブライ ザー	酸素療法 (酸素吸 入)
全体	2325 100.0	53 2.3	112 4.8	27 1.2	8 0.3	52 2.2	112 4.8	118 5.1	2 0.1	32 1.4
通所介護	1337 100.0	41 3.1	83 6.2	20 1.5	8 0.6	35 2.6	82 6.1	82 6.1	2 0.1	23 1.7
地域密着型通所介護	842 100.0	11 1.3	27 3.2	7 0.8	0 0.0	14 1.7	28 3.3	30 3.6	0 0.0	9 1.1
認知症対応型通所介護	146 100.0	1 0.7	2 1.4	0 0.0	0 0.0	3 2.1	2 1.4	6 4.1	0 0.0	0 0.0
	気管切開の ケア	人工呼吸器 の管理	注射・点滴	簡易血糖測 定	インスリン 注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析(在宅 自己腹膜灌 流含む)	導尿
全体	21 0.9	6 0.3	12 0.5	5 0.2	44 1.9	53 2.3	195 8.4	78 3.4	4 0.2	28 1.2
通所介護	16 1.2	4 0.3	5 0.4	4 0.3	22 1.6	34 2.5	130 9.7	49 3.7	2 0.1	21 1.6
地域密着型通所介護	4 0.5	2 0.2	7 0.8	1 0.1	16 1.9	16 1.9	51 6.1	24 2.9	2 0.2	5 0.6
認知症対応型通所介護	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 4.1	3 2.1	14 9.6	5 3.4	0 0.0	2 1.4
	疼痛の看護	洗腸	排便	リハビリ テーション	口腔の健康 管理(口腔 衛生状態、 摂食機能の 管理)	その他	対応が特に 困難な医療 的ケアはな い	累計(n) %		
全体	23 1.0	79 3.4	105 4.5	21 0.9	29 1.2	12 0.5	1625 69.9	2856 122.8		
通所介護	16 1.2	59 4.4	66 4.9	10 0.7	18 1.3	4 0.3	871 65.1	1707 127.7		
地域密着型通所介護	7 0.8	16 1.9	33 3.9	8 1.0	9 1.1	5 0.6	651 77.3	983 116.7		
認知症対応型通所介護	0 0.0	4 2.7	6 4.1	3 2.1	2 1.4	3 2.1	103 70.5	166 113.7		

Q18-1 (Q18s4) 【Q18で「◎」を付けた場合】対応が特に困難な医療的ケアについて、対応が特に困難とした理由をうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに対応が特に困難な医療的ケアについて、対応が特に困難とした理由をみると、いずれも「時間を要するケアでありこれを行っている時間帯は人手が不足するから」がもっとも割合が高くなっていた。また、地域密着型通所介護では、「配置している看護職員には、当該医療的ケアを行う技術や経験が不足しているから」が他のサービス種別より割合が高くなっていた。

図表 41 Q18-1(Q18s4) 対応が特に困難な医療的ケアについて、対応が特に困難とした理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	時間を要するケアであり、これを行っている時間帯は人手が不足するから	当該医療的ケアが必要な利用者の数が多いから	配置している看護職員（外部との連携により確保している看護職員を含む）には、当該医療的ケアを行う技術や経験が不足しているから	当該医療的ケアを行うために必要な医療機器等が不足しているから	当該医療的ケアを行うための場所が十分に確保できないから	その他	累計 (n) %
全体	700 100.0	486 69.4	63 9.0	111 15.9	132 18.9	144 20.6	95 13.6	1031 147.3
通所介護	466 100.0	338 72.5	45 9.7	68 14.6	92 19.7	102 21.9	51 10.9	696 149.4
地域密着型通所介護	191 100.0	118 61.8	15 7.9	37 19.4	33 17.3	37 19.4	33 17.3	273 142.9
認知症対応型通所介護	43 100.0	30 69.8	3 7.0	6 14.0	7 16.3	5 11.6	11 25.6	62 144.2

(19) 医療的ケアが困難であるとの理由で、事業所の利用を断ったことの有無

Q19 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、当該者に対する医療的ケアが困難であるとの理由で、貴事業所の利用を断ったことはありますか。ある場合は事例数もご記載ください。（単数回答）

事業所のサービス種別ごと新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、当該者に対する医療的ケアが困難であるとの理由で、貴事業所の利用を断ったことの有無をみると、いずれも「利用を断ったことはない」の割合が高くなっていた。特に認知症対応型通所介護において、他のサービス種別に比べ割合が高くなっていた。

図表 42 Q19 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、当該者に対する医療的ケアが困難であるとの理由で、貴事業所の利用を断ったことの有無 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用を断ったことがある	利用を断ったことはない
全体	3133 100.0	391 12.5	2742 87.5
通所介護	1479 100.0	221 14.9	1258 85.1
地域密着型通所介護	1436 100.0	153 10.7	1283 89.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	17 7.8	201 92.2

Q19-1 (Q19s2) 【Q19で「1.利用を断ったことがある」を選択した場合】貴事業所の利用を断った事例について、状況の詳細をうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに事業所の利用を断った事例について、状況の詳細をみると、通所介護において、「すでに医療的ケアが必要な方が多く利用しており、配置している看護職員だけでは人手不足で対応できないと考えられたため」がもっとも割合が高くなっていた。地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護では、「当該医療的ケアを行うために必要な医療機器等を保有していないため」がもっとも割合が高くなっていた。

図表 43 Q19-1 (Q19s2) 貴事業所の利用を断った事例について、状況の詳細
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	すでに医療的ケアが必要な方が多く利用しており、配置している看護職員だけでは人手不足で対応できないと考えられたため	配置している看護職員(外部との連携により確保している看護職員を含む)には、当該医療的ケアを行う技術や経験が不足していたため	当該医療的ケアを行うために必要な医療機器等を保有していないため	当該医療的ケアを行うための場所が確保できないため	医師が実施すべき医療行為を行うことを求められたため	その他	累計(n) %
全体	391 100.0	115 29.4	76 19.4	167 42.7	93 23.8	48 12.3	91 23.3	590 150.9
通所介護	221 100.0	91 41.2	42 19.0	88 39.8	54 24.4	28 12.7	40 18.1	343 155.2
地域密着型通所介護	153 100.0	22 14.4	33 21.6	70 45.8	36 23.5	17 11.1	43 28.1	221 144.4
認知症対応型通所介護	17 100.0	2 11.8	1 5.9	9 52.9	3 17.6	3 17.6	8 47.1	26 152.9

(20) 医療的ケアを行うことに対する考え方

Q20 通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）において、医療的ケアを行うことに対する考え方についてうかがいます。（単数回答）

通所介護において、事業所のサービス種別ごとに「看護職員により行うことが認められている医療的ケアは、利用者が希望する場合、すべて行うべきだ」との割合が他のサービス種別に比べ高くなっていた。

図表 44 Q20 通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）において、医療的ケアを行うことに対する考え方 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	看護職員により行うことが認められている医療的ケアは、利用者が希望する場合、すべて行うべきだ	服薬管理など、比較的簡単な医療的ケアは、利用者が希望する場合、行うべきだ	通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）事業所は、介護サービスを提供する場であり、医療的ケアが必要となった場合は、他のサービスを利用するべきだ	その他
全体	3133 100.0	742 23.7	1677 53.5	513 16.4	201 6.4
通所介護	1479 100.0	412 27.9	779 52.7	192 13.0	96 6.5
地域密着型通所介護	1436 100.0	288 20.1	766 53.3	292 20.3	90 6.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	42 19.3	132 60.6	29 13.3	15 6.9

Q20-1 (Q20s2) 【Q20で「1.看護職員により行うことが認められている医療的ケアは、利用者が希望する場合、すべて行うべきだ」「2.服薬管理など、比較的簡単な医療的ケアは、利用者が希望する場合、行うべきだ」を選択した場合】通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）事業所において、利用者が希望する医療的ケアを実施するために、現在の体制に加えて必要であると考えられることはありますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者が希望する医療的ケアを実施するために、現在の体制に加えて必要であると考えられることからみると、いずれも「医師との連携を強化する必要がある」がもっとも割合が高くなっていた。次いで「現在配置している職員や設けている設備のみで十分対応可能であり、加えて必要であることはない」となっており、特に地域密着型通所介護では4割以上となっていた。また、通所介護、認知症対応型通所介護では「看護職員の配置基準を厳格化し、さらに看護職員を配置する必要がある」の割合が他に比べ高くなっていたことから、通所介護、認知症対応型通所介護においては特に医療的ケアの体制強化を求めていることがうかがえる。

図表 45 Q20-1 (20s2) 事業所において、利用者が希望する医療的ケアを実施するために、現在の体制に加えて必要であると考えられること [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	医師を配置する必要がある	医師との連携を強化する必要がある	看護職員の配置基準を厳格化し、さらに看護職員を配置する必要がある	医療的ケアを提供するための設備を設けるよう、設備基準を厳格化が必要がある	現在配置している職員や設けている設備のみで十分対応可能であり、加えて必要であることはない	その他	累計 (n) %
全体	2419 100.0	36 1.5	1258 52.0	504 20.8	361 14.9	922 38.1	91 3.8	3172 131.1
通所介護	1191 100.0	20 1.7	686 57.6	275 23.1	210 17.6	386 32.4	42 3.5	1619 135.9
地域密着型通所介護	1054 100.0	15 1.4	477 45.3	182 17.3	133 12.6	474 45.0	43 4.1	1324 125.6
認知症対応型通所介護	174 100.0	1 0.6	95 54.6	47 27.0	18 10.3	62 35.6	6 3.4	229 131.6

(21) 介護職員等による喀痰吸引等業務

Q21 介護職員等による喀痰吸引等業務について、喀痰吸引等事業者の登録を行っていますか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに介護職員等による喀痰吸引等業務について、喀痰吸引等事業者の登録の状況をみると、いずれも「行っていない」が9割以上と割合が高い。

図表 46 Q21 介護職員等による喀痰吸引等業務について、喀痰吸引等事業者の登録の状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	3133 100.0	146 4.7	2987 95.3
通所介護	1479 100.0	81 5.5	1398 94.5
地域密着型通所介護	1436 100.0	57 4.0	1379 96.0
認知症対応型通所介護	218 100.0	8 3.7	210 96.3

<法人形態別>

さらに、法人形態別にみると、社会福祉法人では、喀痰吸引等事業者の登録を行っている割合が他に比べ高くなっていた。（※Q18 参照）

図表 47 Q21 介護職員等による喀痰吸引等業務について、喀痰吸引等事業者の登録の状況
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	3133 100.0	146 4.7	2987 95.3
通所介護	1479 100.0	81 5.5	1398 94.5
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	378 100.0	36 9.5	342 90.5
医療法人	112 100.0	4 3.6	108 96.4
営利法人（会社）	802 100.0	33 4.1	769 95.9
特定非営利活動法人（NPO法人）	22 100.0	0 0.0	22 100.0
社会福祉協議会	72 100.0	3 4.2	69 95.8
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	0 0.0	5 100.0
その他	88 100.0	5 5.7	83 94.3
地域密着型通所介護	1436 100.0	57 4.0	1379 96.0
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	130 100.0	9 6.9	121 93.1
医療法人	51 100.0	2 3.9	49 96.1
営利法人（会社）	1053 100.0	38 3.6	1015 96.4
特定非営利活動法人（NPO法人）	94 100.0	2 2.1	92 97.9
社会福祉協議会	21 100.0	0 0.0	21 100.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	1 25.0	3 75.0
その他	83 100.0	5 6.0	78 94.0
認知症対応型通所介護	218 100.0	8 3.7	210 96.3
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	4 5.2	73 94.8
医療法人	26 100.0	1 3.8	25 96.2
営利法人（会社）	83 100.0	3 3.6	80 96.4
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	0 0.0	9 100.0
社会福祉協議会	7 100.0	0 0.0	7 100.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	1 100.0
その他	15 100.0	0 0.0	15 100.0

Q21-1 (Q21s2) 喀痰吸引等事業者の登録を行っている場合、実施行為についても選択してください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、喀痰吸引等事業者の登録を行っている場合の実施行為をみると、いずれも「口腔内の喀痰吸引」がもっとも割合が高く、次いで「鼻腔内の喀痰吸引」、「胃ろう、または腸ろうによる経管栄養」となっていた。

図表 48 Q21-1 (Q21s2) 21s2. 喀痰吸引等事業者の登録を行っている場合の実施行為
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	口腔内の喀痰吸引	鼻腔内の喀痰吸引	気管カニューレ内部の喀痰吸引	胃ろう、または腸ろうによる経管栄養	経鼻経管栄養	その他	累計 (n) %
全体	146 100.0	133 91.1	63 43.2	15 10.3	58 39.7	17 11.6	8 5.5	294 201.4
通所介護	81 100.0	72 88.9	33 40.7	7 8.6	33 40.7	7 8.6	6 7.4	158 195.1
地域密着型通所介護	57 100.0	53 93.0	25 43.9	7 12.3	23 40.4	9 15.8	2 3.5	119 208.8
認知症対応型通所介護	8 100.0	8 100.0	5 62.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	17 212.5

(22) 居宅内での介助

Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助(着替え、ベッド・車いすへの移乗、戸締まり等)を行っていますか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、送迎時に実施する、居宅内での介助の実施状況をみると、いずれも「居宅内での介助を行っている」の割合が高くなっていった。さらに、通所介護、認知症対応型通所介護では6割以上となっており、利用者の介助量が高いほど居宅内での介助の実施を行っていることが推測される。

図表 49 Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	居宅内での介助を行っている	居宅内での介助は行っていない
全体	3133 100.0	1958 62.5	1175 37.5
通所介護	1479 100.0	1012 68.4	467 31.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	806 56.1	630 43.9
認知症対応型通所介護	218 100.0	140 64.2	78 35.8

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、「居宅内での介助を行っている」割合が高くなっており、利用者の介助量が多いほど居宅内での介助の実施を行っていることが推測される。

図表 50 Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助の実施状況 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	居宅内での 介助を行っ ている	居宅内での 介助は行っ ていない
全体	3119 100.0	1953 62.6	1166 37.4
通所介護	1477 100.0	1011 68.4	466 31.6
4時間未満	144 100.0	46 31.9	98 68.1
4時間以上	1333 100.0	965 72.4	368 27.6
地域密着型通所介護	1428 100.0	803 56.2	625 43.8
4時間未満	440 100.0	139 31.6	301 68.4
4時間以上	988 100.0	664 67.2	324 32.8
認知症対応型通所介護	214 100.0	139 65.0	75 35.0
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	139 65.0	75 35.0

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、特に通所介護、地域密着型通所介護において、社会福祉法人では「居宅内での介助を行っている」割合が高くなっていった。

図表 51 Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	居宅内での 介助を行っ ている	居宅内での 介助は行っ ていない
全体	3133 100.0	1958 62.5	1175 37.5
通所介護	1479 100.0	1012 68.4	467 31.6
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	378 100.0	283 74.9	95 25.1
医療法人	112 100.0	78 69.6	34 30.4
営利法人（会社）	802 100.0	511 63.7	291 36.3
特定非営利活動法人（NPO法人）	22 100.0	13 59.1	9 40.9
社会福祉協議会	72 100.0	61 84.7	11 15.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	4 80.0	1 20.0
その他	88 100.0	62 70.5	26 29.5
地域密着型通所介護	1436 100.0	806 56.1	630 43.9
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	130 100.0	92 70.8	38 29.2
医療法人	51 100.0	29 56.9	22 43.1
営利法人（会社）	1053 100.0	551 52.3	502 47.7
特定非営利活動法人（NPO法人）	94 100.0	63 67.0	31 33.0
社会福祉協議会	21 100.0	15 71.4	6 28.6
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	1 25.0	3 75.0
その他	83 100.0	55 66.3	28 33.7
認知症対応型通所介護	218 100.0	140 64.2	78 35.8
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	47 61.0	30 39.0
医療法人	26 100.0	18 69.2	8 30.8
営利法人（会社）	83 100.0	56 67.5	27 32.5
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	4 44.4	5 55.6
社会福祉協議会	7 100.0	6 85.7	1 14.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	1 100.0
その他	15 100.0	9 60.0	6 40.0

Q22-1 (Q22s2) 【Q22 で「1. 居宅内での介助を行っている」を選択した場合】居宅内での介助を行う方が有する資格等についてお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとの居宅内での介助を行う方が有する資格等をみると、いずれも「介護福祉士」がもっとも割合が高く、特に通所介護では他に比べ割合が高い項目が多かった。

図表 52 Q22-1 (Q22s2) 居宅内での介助を行う方が有する資格等 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護福祉士	実務者研修 修了者	介護職員基 礎研修課程 修了者	ホームヘル パー1級課 程修了者	介護職員初 任者研修修 了者(2級 課程修了者 を含む。)	看護職員	機能訓練指 導員	当該事業所 における勤 続年数と同 一法人の経 営する他の 介護サービ ス事業所、 医療機関、 社会福祉施 設等におい て、サービ スを利用者 に直接提供 する職員と しての勤続 年数の合計 が3年以上 の介護職員	その他職員	累計 (n) %
全体	1958 100.0	1811 92.5	843 43.1	439 22.4	240 12.3	945 48.3	834 42.6	653 33.4	382 19.5	177 9.0	6324 323.0
通所介護	1012 100.0	967 95.6	495 48.9	273 27.0	155 15.3	556 54.9	496 49.0	405 40.0	218 21.5	107 10.6	3672 362.8
地域密着型通所介護	806 100.0	710 88.1	291 36.1	143 17.7	72 8.9	335 41.6	294 36.5	227 28.2	144 17.9	65 8.1	2281 283.0
認知症対応型通所介護	140 100.0	134 95.7	57 40.7	23 16.4	13 9.3	54 38.6	44 31.4	21 15.0	20 14.3	5 3.6	371 265.0

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、4時間未満に比べ割合が高い項目が多い。また、4時間未満の事業所においては、「機能訓練指導員」の割合が4時間以上に比べ高くなっていた。

図表 53 Q22-1 (Q22s2) 居宅内での介助を行う方が有する資格等 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護福祉士	実務者研修 修了者	介護職員基 礎研修課程 修了者	ホームヘル パー1級課 程修了者	介護職員初 任者研修修 了者(2級 課程修了者 を含む。)	看護職員	機能訓練指 導員	当該事業所 における勤 続年数と同 一法人の経 営する他の 介護サービ ス事業所、 医療機関、 社会福祉施 設等におい て、サービ スを利用者 に直接提供 する職員と しての勤続 年数の合計 が3年以上 の介護職員	その他職員	累計 (n) %
全体	1953 100.0	1807 92.5	841 43.1	437 22.4	238 12.2	943 48.3	833 42.7	649 33.2	379 19.4	177 9.1	6304 322.8
通所介護	1011 100.0	966 95.5	495 49.0	273 27.0	154 15.2	555 54.9	496 49.1	404 40.0	217 21.5	107 10.6	3667 362.7
4時間未満	46 100.0	40 87.0	15 32.6	7 15.2	4 8.7	17 37.0	14 30.4	28 60.9	10 21.7	6 13.0	141 306.5
4時間以上	965 100.0	926 96.0	480 49.7	266 27.6	150 15.5	538 55.8	482 49.9	376 39.0	207 21.5	101 10.5	3526 365.4
地域密着型通所介護	803 100.0	708 88.2	290 36.1	142 17.7	72 9.0	334 41.6	294 36.6	225 28.0	143 17.8	65 8.1	2273 283.1
4時間未満	139 100.0	111 79.9	35 25.2	18 12.9	6 4.3	44 31.7	41 29.5	82 59.0	23 16.5	17 12.2	377 271.2
4時間以上	664 100.0	597 89.9	255 38.4	124 18.7	66 9.9	290 43.7	253 38.1	143 21.5	120 18.1	48 7.2	1896 285.5
認知症対応型通所介護	139 100.0	133 95.7	56 40.3	22 15.8	12 8.6	54 38.8	43 30.9	20 14.4	19 13.7	5 3.6	364 261.9
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	139 100.0	133 95.7	56 40.3	22 15.8	12 8.6	54 38.8	43 30.9	20 14.4	19 13.7	5 3.6	364 261.9

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、営利法人（会社）では、「介護職員初任者研修修了者」の回答割合が他に比べ高くなっていた。また、営利法人（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）では、介護福祉士の割合が他に比べ低くなっていた。

図表 54 Q22-1 (Q22s2) 居宅内での介助を行う方が有する資格等 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護福祉士	実務者研修修了者	介護職員基礎研修修了者	ホームヘルパー1級課程修了者	介護職員初任者研修修了者(2級課程修了者を含む。)	看護職員	機能訓練指導員	当該事業所における勤続年数と同法人の経営する他のサービス事業所、医療機関、社会福祉施設等において、サービス利用者へ直接提供する職員としての勤続年数の合計が3年以上の介護職員	その他職員	累計(n) %
全体	1958 100.0	1811 92.5	843 43.1	439 22.4	240 12.3	945 48.3	834 42.6	653 33.4	382 19.5	177 9.0	6324 323.0
通所介護	1012 100.0	967 95.6	495 48.9	273 27.0	155 15.3	556 54.9	496 49.0	405 40.0	218 21.5	107 10.6	3672 362.8
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	283 100.0	279 98.6	135 47.7	71 25.1	44 15.5	127 44.9	133 47.0	107 37.8	67 23.7	33 11.7	996 351.9
医療法人	78 100.0	77 98.7	42 53.8	20 25.6	9 11.5	39 50.0	32 41.0	41 52.6	19 24.4	9 11.5	288 369.2
営利法人(会社)	511 100.0	478 93.5	263 51.5	152 29.7	78 15.3	321 62.8	243 47.6	211 41.3	103 20.2	50 9.8	1899 371.6
特定非営利活動法人(NPO法人)	13 100.0	12 92.3	5 38.5	3 23.1	2 15.4	8 61.5	8 61.5	2 15.4	4 30.8	1 7.7	45 346.2
社会福祉協議会	61 100.0	58 95.1	19 31.1	13 21.3	11 18.0	31 50.8	45 73.8	18 29.5	15 24.6	6 9.8	216 354.1
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	12 300.0
その他	62 100.0	59 95.2	30 48.4	13 21.0	11 17.7	30 48.4	32 51.6	24 38.7	10 16.1	7 11.3	216 348.4
地域密着型通所介護	806 100.0	710 88.1	291 36.1	143 17.7	72 8.9	335 41.6	294 36.5	227 28.2	144 17.9	65 8.1	2281 283.0
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	92 100.0	91 98.9	27 29.3	14 15.2	9 9.8	31 33.7	40 43.5	18 19.6	19 20.7	7 7.6	256 278.3
医療法人	29 100.0	29 100.0	15 51.7	7 24.1	4 13.8	13 44.8	15 51.7	10 34.5	3 10.3	1 3.4	97 334.5
営利法人(会社)	551 100.0	472 85.7	204 37.0	94 17.1	48 8.7	225 40.8	179 32.5	162 29.4	100 18.1	50 9.1	1534 278.4
特定非営利活動法人(NPO法人)	63 100.0	56 88.9	19 30.2	14 22.2	3 4.8	30 47.6	22 34.9	12 19.0	10 15.9	2 3.2	168 266.7
社会福祉協議会	15 100.0	14 93.3	3 20.0	1 6.7	2 13.3	6 40.0	10 66.7	4 26.7	3 20.0	1 6.7	44 293.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 300.0
その他	55 100.0	47 85.5	23 41.8	13 23.6	5 9.1	29 52.7	28 50.9	21 38.2	9 16.4	4 7.3	179 325.5
認知症対応型通所介護	140 100.0	134 95.7	57 40.7	23 16.4	13 9.3	54 38.6	44 31.4	21 15.0	20 14.3	5 3.6	371 265.0
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	47 100.0	46 97.9	19 40.4	9 19.1	4 8.5	14 29.8	12 25.5	8 17.0	6 12.8	1 2.1	119 253.2
医療法人	18 100.0	18 100.0	5 27.8	1 5.6	3 16.7	5 27.8	8 44.4	4 22.2	3 16.7	0 0.0	47 261.1
営利法人(会社)	56 100.0	52 92.9	22 39.3	9 16.1	4 7.1	27 48.2	17 30.4	8 14.3	9 16.1	4 7.1	152 271.4
特定非営利活動法人(NPO法人)	4 100.0	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 200.0
社会福祉協議会	6 100.0	6 100.0	5 83.3	1 16.7	1 16.7	4 66.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	21 350.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	9 100.0	8 88.9	4 44.4	1 11.1	1 11.1	4 44.4	4 44.4	1 11.1	1 11.1	0 0.0	24 266.7

Q22-2 (Q22s3) 【Q22で「1.居宅内での介助を行っている」を選択した場合】居宅内での介助に要する時間をお答えください。(数値回答)

事業所のサービス種別ごとの居宅内での介助に要する時間(利用者1人あたり分/日)の割合は以下の通り。全体では「5～9分」がもっとも割合が高く、次いで「10～19分」、「1～4分」となっていた。

図表 55 Q22-2 (Q22s3) 居宅内での介助に要する時間-利用者1人あたり分/日
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全 体	0 分	1～4 分	5～9 分	10～19分	20～29分	30～39分	40～49分	50～59分	60分以上
全 体	1608 100.0	1 0.1	151 9.4	680 42.3	628 39.1	76 4.7	44 2.7	5 0.3	0 0.0	23 1.4
通所介護	807 100.0	1 0.1	79 9.8	388 48.1	285 35.3	31 3.8	11 1.4	2 0.2	0 0.0	10 1.2
地域密着型通所介護	680 100.0	0 0.0	60 8.8	251 36.9	287 42.2	37 5.4	31 4.6	3 0.4	0 0.0	11 1.6
認知症対応型通所介護	121 100.0	0 0.0	12 9.9	41 33.9	56 46.3	8 6.6	2 1.7	0 0.0	0 0.0	2 1.7

事業所のサービス種別ごとの居宅内での介助に要する時間(利用者1人あたり分/日)の平均値は以下の通り。

図表 56 Q22-2 (Q22s3) 居宅内での介助に要する時間-利用者1人あたり分/日(平均値)

	全 体	利用者1人あたりの居宅内での介助に要する時間(分/日)
全 体	1608	10.8
通所介護	807	9.7
地域密着型通所介護	680	11.8
認知症対応型通所介護	121	12.0

Q22-3 (Q22s4) 【Q22で「1.居宅内での介助を行っている」を選択した場合】居宅内での介助を希望されたのは、どなたであったかお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、居宅内での介助を希望された人を見ると、いずれも「利用者の家族等」がもっとも割合が高く、次いで「利用者の担当介護支援専門員」、「利用者本人」となっていた。

図表 57 Q22-3 (Q22s4) 居宅内での介助を希望された人 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全 体	利用者本人	利用者の家族等	利用者の担当介護支援専門員	その他	累計 (n) %
全 体	1958 100.0	955 48.8	1675 85.5	1263 64.5	57 2.9	3950 201.7
通所介護	1012 100.0	494 48.8	882 87.2	712 70.4	28 2.8	2116 209.1
地域密着型通所介護	806 100.0	421 52.2	661 82.0	468 58.1	26 3.2	1576 195.5
認知症対応型通所介護	140 100.0	40 28.6	132 94.3	83 59.3	3 2.1	258 184.3

Q22-4 (Q22s5) 【Q22で「1.居宅内での介助を行っている」を選択した場合】居宅内での介助を行うこととした理由についてお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、居宅内での介助を行うこととした理由をみると、いずれも「利用者が独居であり、自身で通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）に行くための準備等を行うことができないため」、「利用者と同居する家族等がいるが、通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）に行くための準備等の介助を行うことができないため」の割合が高く、サービス利用のために居宅内での介助を必要とする場面が多いことがうかがえる。

図表 58 Q22-4 (Q22s5) 居宅内での介助を行うこととした理由 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	利用者が独居であり、自身で通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）に行くための準備等を行うことができないため	利用者と同居する家族等がいるが、通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）に行くための準備等の介助を行うことができないため	近隣の訪問介護事業所に空きがなく、通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）に行くための準備等の介助を受けることができないため	訪問介護事業所を利用するよりも、利用者の金銭的負担が少ないと考えたため	通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）に行くための準備等の介助は、他の介護サービス事業所の職員等よりも、自事業所の顔なじみの職員が行うべきだと思ったため	その他	累計 (n) %
全体	1958 100.0	1389 70.9	1354 69.2	123 6.3	325 16.6	175 8.9	169 8.6	3535 180.5
通所介護	1012 100.0	750 74.1	731 72.2	73 7.2	177 17.5	65 6.4	77 7.6	1873 185.1
地域密着型通所介護	806 100.0	548 68.0	523 64.9	43 5.3	116 14.4	93 11.5	82 10.2	1405 174.3
認知症対応型通所介護	140 100.0	91 65.0	100 71.4	7 5.0	32 22.9	17 12.1	10 7.1	257 183.6

Q22-5 (Q22s6) 【Q22で「2.居宅内での介助を行っていない」を選択した場合】居宅内での介助を行っていない理由についてお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、居宅内での介助を行っていない理由をみると、いずれも「居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため」の割合がもっとも高く、次いで「居宅内での介助が必要な利用者は、訪問介護事業所から居宅内での介助を受けており、居宅内での介助を行うことを希望していないため」、「居宅内での介助を行っている時間は、他の利用者を送迎車で待たせることになるため」となっていた。

図表 59 Q22-5 (Q22s6) 居宅内での介助を行っていない理由 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため	居宅内での介助が必要な利用者は、訪問介護事業所から居宅内での介助を受けており、居宅内での介助を行うことを希望していないため	利用者が、居宅内に事業所の職員が入ることを拒んだため	利用者と同居する家族等が、居宅内に事業所に入ることを拒んだため	居宅内での介助を行うことができない有資格者を、送迎時間帯に確保することができないため	居宅内での介助を行っている時間は、他の利用者を送迎車で待たせることとなるため	通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）事業所でも、居宅内での介助を行ってよいことを知らなかったため	その他	累計 (n) %
全体	1175 100.0	738 62.8	358 30.5	15 1.3	17 1.4	117 10.0	324 27.6	24 2.0	77 6.6	1670 142.1
通所介護	467 100.0	240 51.4	176 37.7	7 1.5	8 1.7	55 11.8	156 33.4	6 1.3	33 7.1	681 145.8
地域密着型通所介護	630 100.0	451 71.6	160 25.4	7 1.1	8 1.3	57 9.0	152 24.1	16 2.5	30 4.8	881 139.8
認知症対応型通所介護	78 100.0	47 60.3	22 28.2	1 1.3	1 1.3	5 6.4	16 20.5	2 2.6	14 17.9	108 138.5

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では、「居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため」の割合が4時間以上に比べ高くなっていた。

図表 60 Q22-5 (Q22s6) 居宅内での介助を行っていない理由 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため	居宅内での介助が必要な利用者は、訪問介護事業所から居宅内での介助を受けており、居宅内での介助を行うことを希望していないため	利用者が、居宅内に事業所の職員が入ることを拒んだため	利用者と同居する家族等が、居宅内に事業所の職員が入ることを拒んだため	居宅内での介助を行うことができる有資格者を、送迎時間帯に確保できないため	居宅内での介助を行っている時間は、他の利用者を送迎車内で待たせることによるため	通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所でも、居宅内での介助を行ってよいことを知らなかったため	その他	累計 (n) %
全体	1166 100.0	734 63.0	358 30.7	15 1.3	17 1.5	114 9.8	321 27.5	24 2.1	75 6.4	1658 142.2
通所介護	466 100.0	240 51.5	176 37.8	7 1.5	8 1.7	55 11.8	155 33.3	6 1.3	32 6.9	679 145.7
4時間未満	98 100.0	62 63.3	38 38.8	0 0.0	0 0.0	9 9.2	35 35.7	1 1.0	3 3.1	148 151.0
4時間以上	368 100.0	178 48.4	138 37.5	7 1.9	8 2.2	46 12.5	120 32.6	5 1.4	29 7.9	531 144.3
地域密着型通所介護	625 100.0	449 71.8	160 25.6	7 1.1	8 1.3	54 8.6	150 24.0	16 2.6	30 4.8	874 139.8
4時間未満	301 100.0	228 75.7	69 22.9	2 0.7	2 0.7	30 10.0	96 31.9	9 3.0	8 2.7	444 147.5
4時間以上	324 100.0	221 68.2	91 28.1	5 1.5	6 1.9	24 7.4	54 16.7	7 2.2	22 6.8	430 132.7
認知症対応型通所介護	75 100.0	45 60.0	22 29.3	1 1.3	1 1.3	5 6.7	16 21.3	2 2.7	13 17.3	105 140.0
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	75 100.0	45 60.0	22 29.3	1 1.3	1 1.3	5 6.7	16 21.3	2 2.7	13 17.3	105 140.0

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、通所介護、地域密着型通所において、社会福祉法人では「居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため」の割合が他に比べ低くなっていたことから、一定の介助量が必要な利用者の割合が高いことがうかがえる。また、地域密着型通所介護において、営利法人（会社）では、「居宅内での介助を行うことができる有資格者を、送迎時間帯に確保することができないため」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 61 Q22-5 (Q22s6) 居宅内での介助を行っていない理由 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため	居宅内での介助が必要な利用者は、訪問介護事業所から居宅内での介助を受けており、居宅内での介助を行うことを希望していないため	利用者が、居宅内に事業所の職員と入ることを拒んだため	利用者と同居する家族等が、居宅内の職員が入ることを拒んだため	居宅内で行うことができる有資格者を、送迎時間帯に確保することができないため	居宅内での介助を行っている時間は、他の利用者を送迎車内で待たせることになるため	通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所でも、居宅内での介助を行ってよかったため	その他	累計 (n) %
全体	1175 100.0	738 62.8	358 30.5	15 1.3	17 1.4	117 10.0	324 27.6	24 2.0	77 6.6	1670 142.1
通所介護	467 100.0	240 51.4	176 37.7	7 1.5	8 1.7	55 11.8	156 33.4	6 1.3	33 7.1	681 145.8
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	95 100.0	40 42.1	35 36.8	3 3.2	3 3.2	10 10.5	38 40.0	2 2.1	8 8.4	139 146.3
医療法人	34 100.0	23 67.6	8 23.5	0 0.0	0 0.0	4 11.8	14 41.2	0 0.0	0 0.0	49 144.1
営利法人(会社)	291 100.0	152 52.2	110 37.8	4 1.4	3 1.0	38 13.1	92 31.6	3 1.0	20 6.9	422 145.0
特定非営利活動法人(NPO法人)	9 100.0	7 77.8	3 33.3	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	1 11.1	13 144.4
社会福祉協議会	11 100.0	6 54.5	5 45.5	0 0.0	1 9.1	1 9.1	4 36.4	0 0.0	1 9.1	18 163.6
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
その他	26 100.0	12 46.2	15 57.7	0 0.0	1 3.8	1 3.8	6 23.1	1 3.8	3 11.5	39 150.0
地域密着型通所介護	630 100.0	451 71.6	160 25.4	7 1.1	8 1.3	57 9.0	152 24.1	16 2.5	30 4.8	881 139.8
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	38 100.0	24 63.2	15 39.5	0 0.0	0 0.0	2 5.3	9 23.7	1 2.6	2 5.3	53 139.5
医療法人	22 100.0	15 68.2	6 27.3	1 4.5	1 4.5	1 4.5	7 31.8	0 0.0	2 9.1	33 150.0
営利法人(会社)	502 100.0	362 72.1	121 24.1	6 1.2	7 1.4	50 10.0	128 25.5	12 2.4	21 4.2	707 140.8
特定非営利活動法人(NPO法人)	31 100.0	23 74.2	9 29.0	0 0.0	0 0.0	2 6.5	5 16.1	1 3.2	3 9.7	43 138.7
社会福祉協議会	6 100.0	5 83.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	8 133.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 133.3
その他	28 100.0	20 71.4	5 17.9	0 0.0	0 0.0	2 7.1	2 7.1	2 7.1	2 7.1	33 117.9
認知症対応型通所介護	78 100.0	47 60.3	22 28.2	1 1.3	1 1.3	5 6.4	16 20.5	2 2.6	14 17.9	108 138.5
社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	30 100.0	19 63.3	11 36.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3	6 20.0	0 0.0	2 6.7	39 130.0
医療法人	8 100.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	11 137.5
営利法人(会社)	27 100.0	14 51.9	5 18.5	1 3.7	0 0.0	2 7.4	4 14.8	1 3.7	8 29.6	35 129.6
特定非営利活動法人(NPO法人)	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
社会福祉協議会	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	2 200.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	4 400.0
その他	6 100.0	4 66.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	12 200.0

(23) 訪問によるサービス提供

Q23 訪問によるサービス提供に対する考え方についてお伺いします。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、訪問によるサービス提供に対する考え方をみると、いずれも「介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい」が4割から5割となっており、「介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない」で割合が二分されている。

図表 62 Q23. 訪問によるサービス提供に対する考え方 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい	介護報酬の算定対象とならなくても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となったとしても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない
全体	3133 100.0	1391 44.4	211 6.7	93 3.0	1438 45.9
通所介護	1479 100.0	626 42.3	95 6.4	39 2.6	719 48.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	660 46.0	109 7.6	46 3.2	621 43.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	105 48.2	7 3.2	8 3.7	98 45.0

<地域別>

さらに地域別にみると、訪問によるサービス提供に対する考え方に明らかな傾向はみられず、移動コストが大きい中山間地域、山間地域、離島であっても地域背景に影響されていないと考えられる。

図表 63 Q23 訪問によるサービス提供に対する考え方 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい	介護報酬の算定対象とならなくても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となったとしても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない
全体	3133 100.0	1391 44.4	211 6.7	93 3.0	1438 45.9
通所介護	1479 100.0	626 42.3	95 6.4	39 2.6	719 48.6
中山間地域、山間地域、離島	136 100.0	54 39.7	10 7.4	3 2.2	69 50.7
その他の都市・農村地域	1343 100.0	572 42.6	85 6.3	36 2.7	650 48.4
地域密着型通所介護	1436 100.0	660 46.0	109 7.6	46 3.2	621 43.2
中山間地域、山間地域、離島	113 100.0	55 48.7	11 9.7	2 1.8	45 39.8
その他の都市・農村地域	1323 100.0	605 45.7	98 7.4	44 3.3	576 43.5
認知症対応型通所介護	218 100.0	105 48.2	7 3.2	8 3.7	98 45.0
中山間地域、山間地域、離島	14 100.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	9 64.3
その他の都市・農村地域	204 100.0	103 50.5	6 2.9	6 2.9	89 43.6

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、社会福祉法人、営利法人（会社）では、「介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい」の割合が他に比べ高くなっていた。また、医療法人、社会福祉協議会では「介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 64 Q23 訪問によるサービス提供に対する考え方 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい	介護報酬の算定対象とならなくても、保険外（自費）サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となったとしても、保険外（自費）サービス等として提供してみたい	介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない
全体	3133 100.0	1391 44.4	211 6.7	93 3.0	1438 45.9
通所介護	1479 100.0	626 42.3	95 6.4	39 2.6	719 48.6
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	378 100.0	176 46.6	21 5.6	6 1.6	175 46.3
医療法人	112 100.0	44 39.3	5 4.5	4 3.6	59 52.7
営利法人（会社）	802 100.0	337 42.0	59 7.4	24 3.0	382 47.6
特定非営利活動法人（NPO法人）	22 100.0	11 50.0	1 4.5	0 0.0	10 45.5
社会福祉協議会	72 100.0	22 30.6	3 4.2	1 1.4	46 63.9
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0
その他	88 100.0	36 40.9	5 5.7	4 4.5	43 48.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	660 46.0	109 7.6	46 3.2	621 43.2
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	130 100.0	57 43.8	7 5.4	3 2.3	63 48.5
医療法人	51 100.0	18 35.3	1 2.0	1 2.0	31 60.8
営利法人（会社）	1053 100.0	489 46.4	86 8.2	39 3.7	439 41.7
特定非営利活動法人（NPO法人）	94 100.0	46 48.9	9 9.6	2 2.1	37 39.4
社会福祉協議会	21 100.0	9 42.9	1 4.8	0 0.0	11 52.4
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
その他	83 100.0	40 48.2	5 6.0	1 1.2	37 44.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	105 48.2	7 3.2	8 3.7	98 45.0
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	35 45.5	1 1.3	2 2.6	39 50.6
医療法人	26 100.0	10 38.5	0 0.0	2 7.7	14 53.8
営利法人（会社）	83 100.0	47 56.6	5 6.0	2 2.4	29 34.9
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	3 33.3	1 11.1	2 22.2	3 33.3
社会福祉協議会	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	5 71.4
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	15 100.0	7 46.7	0 0.0	0 0.0	8 53.3

Q23-1 (Q23s2) 【Q23で「1.介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい」を選択した場合】訪問によるサービス提供を行うにあたって必要と考えられることについてお答えください。(複数回答)

全体では、「自事業所職員の、訪問によるサービス提供を行うことへの理解」がもっとも割合が高く、次いで「通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）の提供時間中に、訪問によるサービス提供を行う場合の通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）の人員配置基準等の緩和」、「介護福祉士等の有資格者の確保」となっていた。特に認知症対応型通所介護では、「介護福祉士等の有資格者の確保」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 65 Q23-1 (Q23s2) 訪問によるサービス提供を行うにあたって必要と考えられること
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護福祉士等の有資格者の確保	自事業所職員の、訪問によるサービス提供を行うことへの理解	訪問によるサービス提供を行うための設備・備品の確保	訪問によるサービス提供対象者の限定（通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）利用者限定する）	訪問時間帯の限定（通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）のサービス提供時間帯以外に限定する）
全体	1391 100.0	736 52.9	910 65.4	528 38.0	561 40.3	376 27.0
通所介護	626 100.0	352 56.2	419 66.9	252 40.3	248 39.6	175 28.0
地域密着型通所介護	660 100.0	314 47.6	429 65.0	240 36.4	269 40.8	173 26.2
認知症対応型通所介護	105 100.0	70 66.7	62 59.0	36 34.3	44 41.9	28 26.7
	訪問により提供するサービスの限定（機能訓練のみ、身体介護のみ等）	通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）の提供時間中に、訪問によるサービス提供を行う場合の通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）の人員配置基準等の緩和	事業所周辺地域における、訪問によるサービスニーズの把握	その他	新たに必要になると考えられることはない	累計 (n) %
全体	438 31.5	779 56.0	334 24.0	29 2.1	27 1.9	4718 339.2
通所介護	206 32.9	363 58.0	150 24.0	12 1.9	5 0.8	2182 348.6
地域密着型通所介護	210 31.8	367 55.6	164 24.8	14 2.1	21 3.2	2201 333.5
認知症対応型通所介護	22 21.0	49 46.7	20 19.0	3 2.9	1 1.0	335 319.0

Q23-2 (Q23s3) 【Q23 で「4. 介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない」を選択した場合】訪問によるサービスを提供するつもりはない理由についてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、訪問によるサービスを提供するつもりはない理由をみると、いずれも「通所介護（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）事業所の運営で手一杯であり、新たなサービスを提供する精神的余裕がないから」がもっとも多く、人手不足による要因が考えられる。

図表 66 Q23-2 (Q23s3) 訪問によるサービスを提供するつもりはない理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	通所介護 (地域密着 型通所介 護、認知 症対応型 通所介 護)事業 所は、通 いによる サービ ス提供に 注力す べきだ から	通所介護 (地域密着 型通所介 護、認知 症対応型 通所介 護)事業 所の運 営で手一 杯であ り、新た なサービ スを提 供する 精神的 余裕が ない から	訪問による サービス 提供は、 介護福 祉士等 の有資 格者が 提供す べきだ から	自事業所 の職員 には、 居宅内 での身 体介護 や、生 活援助 を行う ための 技術や 経験が ない から	自事業所 の職員 は、居 宅内 での サービ ス提供 はやり たがら ない と思う から
全体	1438 100.0	730 50.8	817 56.8	58 4.0	119 8.3	144 10.0
通所介護	719 100.0	362 50.3	384 53.4	35 4.9	65 9.0	82 11.4
地域密着型通所介護	621 100.0	323 52.0	374 60.2	19 3.1	50 8.1	51 8.2
認知症対応型通所介護	98 100.0	45 45.9	59 60.2	4 4.1	4 4.1	11 11.2
	訪問による サービス 提供に 必要な 設備・ 備品が ない から	自事業所 の利用 者は、 訪問に よる サービ ス提供 を必要 と して ない から	近隣に 十分 な数 の訪 問 介 護 事 業 所 や 小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護 事 業 所 等 が あ り、 訪 問 に よ る サー ビ ス ニ ーズ は 満 た さ れ て い る と 感 じ る から	訪問に よる サービ スを 開始 して も、 経営 状態 は改 善し ない と思 う から	その他	累計 (n) %
全体	150 10.4	138 9.6	209 14.5	245 17.0	155 10.8	2765 192.3
通所介護	74 10.3	61 8.5	109 15.2	133 18.5	68 9.5	1373 191.0
地域密着型通所介護	67 10.8	64 10.3	80 12.9	93 15.0	76 12.2	1197 192.8
認知症対応型通所介護	9 9.2	13 13.3	20 20.4	19 19.4	11 11.2	195 199.0

<地域別>

さらに地域別にみると、訪問によるサービスを提供するつもりはない理由に明らかな傾向はみられず、地域背景に影響されていないと考えられる。

図表 67 Q23-2 (Q23s3) 訪問によるサービスを提供するつもりはない理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	通所介護 (地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所は、通いによるサービス提供に注力すべきだから	通所介護 (地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所の運営で手一杯であり、新たなサービスを提供する精神的余裕がないから	訪問によるサービス提供は、介護福祉士等が提供すべきだから	自事業所の職員には、居内での身体介護や、生活援助を行うための技術や経験がないから	自事業所の職員は、居内でのサービス提供はやりたがらないと思うから	
全体	1438 100.0	730 50.8	817 56.8	58 4.0	119 8.3	144 10.0	
通所介護	719 100.0	362 50.3	384 53.4	35 4.9	65 9.0	82 11.4	
中山間地域、山間地域、離島	69 100.0	29 42.0	34 49.3	5 7.2	3 4.3	3 4.3	
その他の都市・農村地域	650 100.0	333 51.2	350 53.8	30 4.6	62 9.5	79 12.2	
地域密着型通所介護	621 100.0	323 52.0	374 60.2	19 3.1	50 8.1	51 8.2	
中山間地域、山間地域、離島	45 100.0	23 51.1	26 57.8	4 8.9	5 11.1	5 11.1	
その他の都市・農村地域	576 100.0	300 52.1	348 60.4	15 2.6	45 7.8	46 8.0	
認知症対応型通所介護	98 100.0	45 45.9	59 60.2	4 4.1	4 4.1	11 11.2	
中山間地域、山間地域、離島	9 100.0	3 33.3	8 88.9	2 22.2	0 0.0	0 0.0	
その他の都市・農村地域	89 100.0	42 47.2	51 57.3	2 2.2	4 4.5	11 12.4	
		訪問によるサービス提供に必要な設備・備品がないから	自事業所の利用者は、訪問によるサービス提供を必要としないから	近隣に十分な数の訪問介護事業所や小規模多機能型居宅介護事業所等があり、訪問によるサービスニーズは満たされているから	訪問によるサービスを開始しても、経営状態は改善しないと思うから	その他	累計 (n) %
全体	150 10.4	138 9.6	209 14.5	245 17.0	155 10.8	2765 192.3	
通所介護	74 10.3	61 8.5	109 15.2	133 18.5	68 9.5	1373 191.0	
中山間地域、山間地域、離島	5 7.2	6 8.7	10 14.5	14 20.3	8 11.6	117 169.6	
その他の都市・農村地域	69 10.6	55 8.5	99 15.2	119 18.3	60 9.2	1256 193.2	
地域密着型通所介護	67 10.8	64 10.3	80 12.9	93 15.0	76 12.2	1197 192.8	
中山間地域、山間地域、離島	6 13.3	5 11.1	7 15.6	10 22.2	7 15.6	98 217.8	
その他の都市・農村地域	61 10.6	59 10.2	73 12.7	83 14.4	69 12.0	1099 190.8	
認知症対応型通所介護	9 9.2	13 13.3	20 20.4	19 19.4	11 11.2	195 199.0	
中山間地域、山間地域、離島	2 22.2	0 0.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1	19 211.1	
その他の都市・農村地域	7 7.9	13 14.6	19 21.3	17 19.1	10 11.2	176 197.8	

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、訪問によるサービスを提供するつもりはない理由に明らかな傾向はみられず、法人形態に影響されていないと考えられる。

図表 68 Q23-2 (Q23s3) 訪問によるサービスを提供するつもりはない理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	通所介護 (地域密着 型通所介 護、認知症 対応型通所 介護)事業 所は、通い によるサー ビス提供に 注力するべ きだから	通所介護 (地域密着 型通所介 護、認知症 対応型通所 介護)事業 所の運営で あり、新たな サービスを精 神的余裕が ないから	訪問による サービス提 供は、介護 福祉士等が 提供するべ きだから	自事業所の 職員には、 居宅内での 身体介護 や、生活援 助を行うた めの技術や 経験がない から	自事業所の 職員は、居 宅内での サービス提 供はやりた がらないと 思うから	訪問による サービス提 供に必要な 設備・備品 がないから	自事業所の 利用者は、 訪問による サービス提 供を必要と していない から	近隣に十分 な数の訪問 介護事業所 や小規模多 機能型居宅 介護事業所 等があり、 訪問による サービスは 満たされて いるから	訪問による サービスを 開始して も、経営状 態は改善し ないと思う から	その他	累計 (n) %
全体	1438 100.0	730 50.8	817 56.8	58 4.0	119 8.3	144 10.0	150 10.4	138 9.6	209 14.5	245 17.0	155 10.8	2765 192.3
通所介護	719 100.0	362 50.3	384 53.4	35 4.9	65 9.0	82 11.4	74 10.3	61 8.5	109 15.2	133 18.5	68 9.5	1373 191.0
社会福祉法人 (社会福祉協議会を除く)	175 100.0	89 50.9	94 53.7	5 2.9	15 8.6	14 8.0	18 10.3	11 6.3	30 17.1	28 16.0	20 11.4	324 185.1
医療法人	59 100.0	34 57.6	34 57.6	3 5.1	4 6.8	6 10.2	4 6.8	6 10.2	10 16.9	9 15.3	4 6.8	114 193.2
営利法人 (会社)	382 100.0	199 52.1	196 51.3	23 6.0	40 10.5	53 13.9	40 10.5	36 9.4	53 13.9	78 20.4	33 8.6	751 196.6
特定非営利活動法人 (NPO法人)	10 100.0	6 60.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	15 150.0
社会福祉協議会	46 100.0	19 41.3	29 63.0	2 4.3	2 4.3	3 6.5	3 6.5	2 4.3	10 21.7	8 17.4	4 8.7	82 178.3
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	2 50.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	9 225.0
その他	43 100.0	13 30.2	24 55.8	1 2.3	3 7.0	5 11.6	8 18.6	4 9.3	5 11.6	9 20.9	6 14.0	78 181.4
地域密着型通所介護	621 100.0	323 52.0	374 60.2	19 3.1	50 8.1	51 8.2	67 10.8	64 10.3	80 12.9	93 15.0	76 12.2	1197 192.8
社会福祉法人 (社会福祉協議会を除く)	63 100.0	37 58.7	36 57.1	1 1.6	3 4.8	4 6.3	7 11.1	3 4.8	11 17.5	8 12.7	6 9.5	116 184.1
医療法人	31 100.0	20 64.5	19 61.3	1 3.2	3 9.7	2 6.5	5 16.1	4 12.9	5 16.1	5 16.1	4 12.9	68 219.4
営利法人 (会社)	439 100.0	223 50.8	266 60.6	11 2.5	38 8.7	40 9.1	45 10.3	45 10.3	54 12.3	70 15.9	58 13.2	850 193.6
特定非営利活動法人 (NPO法人)	37 100.0	20 54.1	23 62.2	2 5.4	3 8.1	2 5.4	5 13.5	8 21.6	4 10.8	2 5.4	4 10.8	72 194.6
社会福祉協議会	11 100.0	6 54.5	7 63.6	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1	3 27.3	1 9.1	26 236.4
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	7 233.3
その他	37 100.0	14 37.8	22 59.5	1 2.7	5 13.5	2 5.4	3 8.1	2 5.4	5 13.5	4 10.8	3 8.1	58 156.8
認知症対応型通所介護	98 100.0	45 45.9	59 60.2	4 4.1	4 4.1	11 11.2	9 9.2	13 13.3	20 20.4	19 19.4	11 11.2	195 199.0
社会福祉法人 (社会福祉協議会を除く)	39 100.0	18 46.2	23 59.0	2 5.1	0 0.0	2 5.1	1 2.6	4 10.3	10 25.6	7 17.9	4 10.3	71 182.1
医療法人	14 100.0	5 35.7	8 57.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	3 21.4	0 0.0	4 28.6	24 171.4
営利法人 (会社)	29 100.0	13 44.8	17 58.6	1 3.4	0 0.0	4 13.8	3 10.3	4 13.8	3 10.3	5 17.2	3 10.3	53 182.8
特定非営利活動法人 (NPO法人)	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	8 266.7
社会福祉協議会	5 100.0	3 60.0	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	18 360.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	8 100.0	5 62.5	4 50.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	21 262.5

III. 職員の状況について

(24) 事業所で雇用している職員（常勤兼務、非常勤、人材派遣は常勤換算数）

Q24 貴事業所で雇用等している職員について、職種別・雇用形態別の人数を該当する欄にそれぞれ人数を記入してください。常勤兼務、非常勤、人材派遣は常勤換算数をお答えください。（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの職種別・雇用形態別人数の平均値は以下の通り。

図表 69 Q24 貴事業所で雇用等している職員について、職種別・雇用形態別人数（平均値）
〈通所介護〉 [単位：人]

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従 (常勤換算数)	非常勤兼務 (常勤換算数)	人材派遣	計
		(常勤換算数)			(常勤換算数)	
管理者	0.2	0.6				0.8
生活相談員	0.6	1.3	0.1	0.2	0.0	2.2
看護職員	0.3	0.6	0.5	1.1	0.2	2.8
介護職員	2.9	1.6	2.6	1.0	0.4	8.6
機能訓練指導員：看護師	0.1	0.3	0.1	0.6	0.1	1.2
機能訓練指導員：准看護師	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.7
機能訓練指導員：理学療法士	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3
機能訓練指導員：作業療法士	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
機能訓練指導員：言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員：柔道整復師	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
機能訓練指導員：あん摩マッサージ指圧師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員：はり師又はきゆう師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	4.7	4.7	3.7	3.4	0.8	17.2

図表 70 Q24 貴事業所で雇用等している職員について、職種別・雇用形態別人数（平均値）
〈地域密着型通所介護〉 [単位：人]

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従 (常勤換算数)	非常勤兼務 (常勤換算数)	人材派遣	計
		(常勤換算数)			(常勤換算数)	
管理者	0.3	0.6				0.9
生活相談員	0.6	1.0	0.2	0.4	0.0	2.2
看護職員	0.1	0.3	0.3	0.8	0.1	1.6
介護職員	1.2	1.1	2.0	0.9	0.3	5.6
機能訓練指導員：看護師	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	0.9
機能訓練指導員：准看護師	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.4
機能訓練指導員：理学療法士	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
機能訓練指導員：作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員：言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員：柔道整復師	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3
機能訓練指導員：あん摩マッサージ指圧師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員：はり師又はきゆう師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2.6	3.4	2.9	3.0	0.5	12.5

図表 71 Q24 貴事業所で雇用等している職員について、職種別・雇用形態別人数（平均値）
 <認知症対応型通所介護> [単位：人]

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	非常勤兼務	人材派遣	計
		(常勤換算数)	(常勤換算数)	(常勤換算数)	(常勤換算数)	
管理者	0.2	0.6				0.8
生活相談員	0.5	1.0	0.1	0.2	0.0	1.8
看護職員	0.1	0.2	0.4	0.5	0.2	1.4
介護職員	2.4	1.8	1.9	1.1	0.2	7.4
機能訓練指導員：看護師	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.8
機能訓練指導員：准看護師	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
機能訓練指導員：理学療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員：作業療法士	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員：言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員：柔道整復師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員：あん摩マッサージ指圧師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員：はり師又はきゆう師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	3.3	3.8	2.8	2.2	0.5	12.7

(25) 12月1日（水）に勤務した職員（職種別・雇用形態別人数、常勤換算数）

Q25 12月1日（水）に勤務した職員について、職種別・雇用形態別に人数について、該当する欄にそれぞれ常勤換算数の合計を記入してください。（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの職種別・雇用形態別人数の平均値は以下の通り。

図表 72 Q25 12月1日（水）に勤務した職員について、職種別・雇用形態別人数（平均値）
 [単位：人]

	管理者	生活 相談員	看護職員	介護職員	機能訓練指導員							
					看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あん摩マッ サージ指圧 師	はり師又は きゆう師
全体	0.8	1.2	0.9	3.8	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0
通所介護	0.8	1.3	1.3	5.1	0.4	0.3	0.2	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
地域密着型通所介護	0.9	1.2	0.7	2.7	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0
認知症対応型通所介護	0.8	1.0	0.5	3.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0

IV. 貴事業所のサービス提供状況について

1) 貴事業所で力を入れている機能について

(26) 各機能について、貴事業所での取組状況、関わっている職員、実施している場所

Q26c1 各機能について、貴事業所での取組状況（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、事業所での取組状況（力を入れているもの）をみると、通所介護及び地域密着型通所介護は「心身機能の維持向上」、「生活行為力向上」の順に割合が高くなっていった。また、認知症対応型通所介護では「認知症対応」、「家族介護者支援」の割合が他のサービス種別に比べ高く、各サービス種別の機能の違いがうかがえる。なお、1事業所あたりの回答機能数は、通所介護 3.7、地域密着型通所介護 3.7、認知症対応型通所介護 3.9であった。

図表 73 Q26c1 貴事業所での取組状況（力を入れているもの） [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	心身機能の維持向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流拠点	家族介護者支援	累計 (n) %	1事業所当たりの回答機能数
全体	2288 100.0	2061 90.1	1789 78.2	956 41.8	1348 58.9	556 24.3	693 30.3	1110 48.5	8513 372.1	3.7
通所介護	1030 100.0	945 91.7	803 78.0	424 41.2	586 56.9	317 30.8	262 25.4	474 46.0	3811 370.0	3.7
地域密着型通所介護	1089 100.0	987 90.6	866 79.5	477 43.8	602 55.3	201 18.5	378 34.7	526 48.3	4037 370.7	3.7
認知症対応型通所介護	169 100.0	129 76.3	120 71.0	55 32.5	160 94.7	38 22.5	53 31.4	110 65.1	665 393.5	3.9

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では「認知症対応」、「重症者対応」、「家族介護者支援」の割合が4時間未満に比べ高くなっていった。一方、4時間未満の事業所では「心身機能の維持向上」、「生活行為力向上」、「社会参加支援」の割合が4時間以上に比べ高くなっており、利用者の状態像の違いが取組に影響していると考えられる。

図表 74 Q26c1 貴事業所での取組状況（力を入れているもの） [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	心身機能の維持向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流拠点	家族介護者支援	累計 (n) %
全体	2279 100.0	2052 90.0	1782 78.2	955 41.9	1345 59.0	555 24.4	692 30.4	1109 48.7	8490 372.5
通所介護	1028 100.0	943 91.7	802 78.0	424 41.2	586 57.0	317 30.8	262 25.5	474 46.1	3808 370.4
4時間未満	103 100.0	101 98.1	90 87.4	55 53.4	38 36.9	8 7.8	27 26.2	27 26.2	346 335.9
4時間以上	925 100.0	842 91.0	712 77.0	369 39.9	548 59.2	309 33.4	235 25.4	447 48.3	3462 374.3
地域密着型通所介護	1084 100.0	982 90.6	862 79.5	477 44.0	600 55.4	201 18.5	378 34.9	526 48.5	4026 371.4
4時間未満	336 100.0	323 96.1	287 85.4	182 54.2	135 40.2	32 9.5	123 36.6	96 28.6	1178 350.6
4時間以上	748 100.0	659 88.1	575 76.9	295 39.4	465 62.2	169 22.6	255 34.1	430 57.5	2848 380.7
認知症対応型通所介護	167 100.0	127 76.0	118 70.7	54 32.3	159 95.2	37 22.2	52 31.1	109 65.3	656 392.8
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	167 100.0	127 76.0	118 70.7	54 32.3	159 95.2	37 22.2	52 31.1	109 65.3	656 392.8

事業所のサービス種別ごとに、事業所での取組状況（特に力を入れているもの）をみると、通所介護、地域密着型通所介護では「心身機能の維持向上」がもっとも割合が高い。認知症対応型通所介護では「認知症対応」がもっとも割合が高く、各サービス種別の機能の違いがうかがえる。

図表 75 Q26 各機能について、貴事業所での取組状況（特に力を入れているもの）
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	心身機能の維持向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流拠点	家族介護者支援
全体	1946 100.0	998 51.3	375 19.3	95 4.9	288 14.8	66 3.4	56 2.9	68 3.5
通所介護	871 100.0	486 55.8	168 19.3	51 5.9	65 7.5	50 5.7	27 3.1	24 2.8
地域密着型通所介護	928 100.0	497 53.6	198 21.3	41 4.4	111 12.0	16 1.7	29 3.1	36 3.9
認知症対応型通所介護	147 100.0	15 10.2	9 6.1	3 2.0	112 76.2	0 0.0	0 0.0	8 5.4

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では「認知症対応」の割合が4時間未満に比べ高くなっていった。一方、4時間未満では「心身機能の維持向上」の割合が4時間以上に比べ高くなっており、利用者の状態像の違いが取組に影響していると考えられる。

図表 76 Q26 各機能について、貴事業所での取組状況（特に力を入れているもの）
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	心身機能の維持向上	生活行為力向上	社会参加支援	認知症対応	重度者対応	地域支援・交流拠点	家族介護者支援
全体	1937 100.0	991 51.2	374 19.3	95 4.9	287 14.8	66 3.4	56 2.9	68 3.5
通所介護	869 100.0	484 55.7	168 19.3	51 5.9	65 7.5	50 5.8	27 3.1	24 2.8
4時間未満	98 100.0	78 79.6	19 19.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0
4時間以上	771 100.0	406 52.7	149 19.3	51 6.6	65 8.4	50 6.5	26 3.4	24 3.1
地域密着型通所介護	923 100.0	493 53.4	197 21.3	41 4.4	111 12.0	16 1.7	29 3.1	36 3.9
4時間未満	301 100.0	221 73.4	64 21.3	8 2.7	2 0.7	0 0.0	4 1.3	2 0.7
4時間以上	622 100.0	272 43.7	133 21.4	33 5.3	109 17.5	16 2.6	25 4.0	34 5.5
認知症対応型通所介護	145 100.0	14 9.7	9 6.2	3 2.1	111 76.6	0 0.0	0 0.0	8 5.5
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	145 100.0	14 9.7	9 6.2	3 2.1	111 76.6	0 0.0	0 0.0	8 5.5

Q26c1 各機能について、貴事業所での各機能に対して関わっている職員、実施している場所について、おうかがいします。（複数回答）

※以降、Q26 主に関わっている職員について、機能訓練指導員は全国の従業者数からみると割合が低いことから、調査結果として他の職種に比べ低い割合となりやすい点に留意されたい。これを踏まえ、以降の調査結果を見ると、事業所が機能訓練指導員を配置し、各機能で高い役割を發揮するよう取組んでいることがうかがえる。

図表 77 (参考) 全国の通所介護、地域密着型通所介護における従業者数の状況
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	従業者総数	機能訓練指導員全体	機能訓練指導員のうちセラピストの内訳		
			PT	OT	ST
通所介護	473146 810.2	58397 100.0	7458 12.8	3693 6.3	587 1.0
地域密着型通所介護	222903 675.3	33009 100.0	3031 9.2	1265 3.8	251 0.8

※出所：厚生労働省HP（令和2年介護サービス施設・事業所調査の概況より）作成

※認知症対応型通所介護については、データがないため未掲載

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（心身機能の維持向上）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べて高くなっていた。認知症対応型通所介護においては、「機能訓練指導員」の割合が他と比べて低く、「介護職員」の割合が高くなっていた。

図表 78 Q26 (Q26s2 項目 1) 主に関わっている職員-心身機能の維持向上
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	2061 100.0	1401 68.0	1740 84.4	1441 69.9	615 29.8	998 48.4	227 11.0	6422 311.6
通所介護	945 100.0	629 66.6	787 83.3	775 82.0	355 37.6	462 48.9	101 10.7	3109 329.0
地域密着型通所介護	987 100.0	684 69.3	836 84.7	593 60.1	237 24.0	493 49.9	115 11.7	2958 299.7
認知症対応型通所介護	129 100.0	88 68.2	117 90.7	73 56.6	23 17.8	43 33.3	11 8.5	355 275.2

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（生活行為力向上）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べ高くなっていました。認知症対応型通所介護においては、「生活相談員」、「看護職員」、「機能訓練指導員」の割合が他と比べ低く、「介護職員」の割合が高くなっていました。

図表 79 Q26 (Q26s2 項目 2) 主に関わっている職員-生活行為力向上 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	1789 100.0	1294 72.3	1605 89.7	1080 60.4	503 28.1	747 41.8	194 10.8	5423 303.1
通所介護	803 100.0	571 71.1	723 90.0	583 72.6	293 36.5	355 44.2	84 10.5	2609 324.9
地域密着型通所介護	866 100.0	643 74.2	766 88.5	445 51.4	195 22.5	360 41.6	101 11.7	2510 289.8
認知症対応型通所介護	120 100.0	80 66.7	116 96.7	52 43.3	15 12.5	32 26.7	9 7.5	304 253.3

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（社会参加支援）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べ高くなっていました。

図表 80 Q26 (Q26s2 項目 3) 主に関わっている職員-社会参加支援 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	956 100.0	820 85.8	780 81.6	416 43.5	188 19.7	255 26.7	126 13.2	2585 270.4
通所介護	424 100.0	362 85.4	356 84.0	223 52.6	108 25.5	123 29.0	50 11.8	1222 288.2
地域密着型通所介護	477 100.0	419 87.8	381 79.9	180 37.7	75 15.7	126 26.4	70 14.7	1251 262.3
認知症対応型通所介護	55 100.0	39 70.9	43 78.2	13 23.6	5 9.1	6 10.9	6 10.9	112 203.6

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（認知症対応）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べ高くなっていました。地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護においては、「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が通所介護と比べ低くなっていました。

図表 81 Q26 (Q26s2 項目 4) 主に関わっている職員-認知症対応 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	1347 100.0	1077 80.0	1290 95.8	877 65.1	242 18.0	414 30.7	189 14.0	4089 303.6
通所介護	586 100.0	458 78.2	565 96.4	453 77.3	133 22.7	183 31.2	77 13.1	1869 318.9
地域密着型通所介護	601 100.0	501 83.4	568 94.5	341 56.7	87 14.5	194 32.3	92 15.3	1783 296.7
認知症対応型通所介護	160 100.0	118 73.8	157 98.1	83 51.9	22 13.8	37 23.1	20 12.5	437 273.1

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（重度者対応）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べ高くなっていた。

図表 82 Q26 (Q26s2 項 5) 主に関わっている職員-重度者対応 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	555 100.0	360 64.9	483 87.0	472 85.0	127 22.9	182 32.8	60 10.8	1684 303.4
通所介護	317 100.0	199 62.8	279 88.0	304 95.9	81 25.6	106 33.4	31 9.8	1000 315.5
地域密着型通所介護	200 100.0	134 67.0	169 84.5	146 73.0	41 20.5	66 33.0	26 13.0	582 291.0
認知症対応型通所介護	38 100.0	27 71.1	35 92.1	22 57.9	5 13.2	10 26.3	3 7.9	102 268.4

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（地域支援・交流拠点）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べ高くなっていた。

図表 83 Q26 (Q26s2 項目 6) 主に関わっている職員-地域支援・交流拠点 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	692 100.0	620 89.6	426 61.6	206 29.8	100 14.5	119 17.2	112 16.2	1583 228.8
通所介護	262 100.0	237 90.5	166 63.4	98 37.4	49 18.7	43 16.4	39 14.9	632 241.2
地域密着型通所介護	377 100.0	342 90.7	228 60.5	95 25.2	48 12.7	71 18.8	68 18.0	852 226.0
認知症対応型通所介護	53 100.0	41 77.4	32 60.4	13 24.5	3 5.7	5 9.4	5 9.4	99 186.8

事業所のサービス種別ごとに、主に関わっている職員（家族介護者支援）をみると、通所介護において「看護職員」、「機能訓練指導員（PT・OT・ST）」の割合が他と比べ高くなっていた。地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護においては、「生活相談員」、「看護職員」、「機能訓練指導員」の割合が通所介護と比べ低くなっていた。

図表 84 Q26 (Q26s2 項目 7) 主に関わっている職員-家族介護者支援 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	機能訓練指導員 (左記の機能訓練指導員以外)	その他職員	累計 (n) %
全体	1109 100.0	1053 95.0	726 65.5	472 42.6	148 13.3	191 17.2	140 12.6	2730 246.2
通所介護	474 100.0	461 97.3	311 65.6	249 52.5	84 17.7	91 19.2	63 13.3	1259 265.6
地域密着型通所介護	525 100.0	495 94.3	344 65.5	189 36.0	58 11.0	91 17.3	64 12.2	1241 236.4
認知症対応型通所介護	110 100.0	97 88.2	71 64.5	34 30.9	6 5.5	9 8.2	13 11.8	230 209.1

Q26c1 各機能について、貴事業所での実施している場所（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（心身機能の維持向上）をみると、明らかな傾向はみられなかった。

図表 85 Q26 (Q26s3 項目 1) 実施している場所-心身機能の維持向上 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣接地域	事業所の周辺地域	利用者の自宅内、自宅周辺	その他	累計 (n) %
全体	2061 100.0	2049 99.4	165 8.0	206 10.0	169 8.2	25 1.2	2614 126.8
通所介護	945 100.0	940 99.5	67 7.1	86 9.1	75 7.9	9 1.0	1177 124.6
地域密着型通所介護	987 100.0	982 99.5	86 8.7	103 10.4	79 8.0	14 1.4	1264 128.1
認知症対応型通所介護	129 100.0	127 98.4	12 9.3	17 13.2	15 11.6	2 1.6	173 134.1

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（生活行為力向上）をみると、明らかな傾向はみられなかった。

図表 86 Q26 (Q26s3 項目 2) 実施している場所-生活行為力向上 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣接地域	事業所の周辺地域	利用者の自宅内、自宅周辺	その他	累計 (n) %
全体	1789 100.0	1772 99.0	110 6.1	134 7.5	195 10.9	9 0.5	2220 124.1
通所介護	803 100.0	795 99.0	44 5.5	50 6.2	82 10.2	1 0.1	972 121.0
地域密着型通所介護	866 100.0	860 99.3	58 6.7	75 8.7	100 11.5	7 0.8	1100 127.0
認知症対応型通所介護	120 100.0	117 97.5	8 6.7	9 7.5	13 10.8	1 0.8	148 123.3

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（社会参加支援）をみると、認知症対応型通所介護では「事業所の隣接地域」、「事業所の周辺地域」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 87 Q26 (Q26s3 項目 3) 実施している場所-社会参加支援 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣接地域	事業所の周辺地域	利用者の自宅内、自宅周辺	その他	累計 (n) %
全体	956 100.0	868 90.8	163 17.1	231 24.2	91 9.5	21 2.2	1374 143.7
通所介護	424 100.0	389 91.7	68 16.0	93 21.9	37 8.7	4 0.9	591 139.4
地域密着型通所介護	477 100.0	434 91.0	77 16.1	114 23.9	48 10.1	13 2.7	686 143.8
認知症対応型通所介護	55 100.0	45 81.8	18 32.7	24 43.6	6 10.9	4 7.3	97 176.4

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（認知症対応）をみると、認知症対応型通所介護では、「事業所の周辺地域」、「利用者の自宅内、自宅周辺」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 88 Q26 (Q26s3 項目 4) 以下の各機能について、実施している場所-認知症対応
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣接地域	事業所の周辺地域	利用者の自宅内、自宅周辺	その他	累計 (n) %
全体	1347 100.0	1344 99.8	78 5.8	109 8.1	150 11.1	19 1.4	1700 126.2
通所介護	586 100.0	585 99.8	28 4.8	31 5.3	55 9.4	3 0.5	702 119.8
地域密着型通所介護	601 100.0	599 99.7	38 6.3	52 8.7	71 11.8	12 2.0	772 128.5
認知症対応型通所介護	160 100.0	160 100.0	12 7.5	26 16.3	24 15.0	4 2.5	226 141.3

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（重度者対応）をみると、明らかな傾向はみられなかった。

図表 89 Q26 (Q26s3 項目 5) 以下の各機能について、実施している場所-重度者対応
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣接地域	事業所の周辺地域	利用者の自宅内、自宅周辺	その他	累計 (n) %
全体	555 100.0	550 99.1	20 3.6	22 4.0	70 12.6	4 0.7	666 120.0
通所介護	317 100.0	313 98.7	7 2.2	8 2.5	35 11.0	1 0.3	364 114.8
地域密着型通所介護	200 100.0	199 99.5	11 5.5	12 6.0	30 15.0	2 1.0	254 127.0
認知症対応型通所介護	38 100.0	38 100.0	2 5.3	2 5.3	5 13.2	1 2.6	48 126.3

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（地域支援・交流拠点）をみると、認知症対応型通所介護では、「事業所の隣接地域」、「事業所の周辺地域」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 90 Q26 (Q26s3 項目 6) 以下の各機能について、実施している場所-地域支援・交流拠点
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣接地域	事業所の周辺地域	利用者の自宅内、自宅周辺	その他	累計 (n) %
全体	692 100.0	567 81.9	186 26.9	243 35.1	63 9.1	19 2.7	1078 155.8
通所介護	262 100.0	212 80.9	65 24.8	75 28.6	24 9.2	8 3.1	384 146.6
地域密着型通所介護	377 100.0	310 82.2	95 25.2	140 37.1	34 9.0	8 2.1	587 155.7
認知症対応型通所介護	53 100.0	45 84.9	26 49.1	28 52.8	5 9.4	3 5.7	107 201.9

事業所のサービス種別ごとに、実施している場所（家族介護者支援）をみると、認知症対応型通所介護では、「利用者の自宅内、自宅周辺」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 91 Q26 (Q26s3 項目 7) 以下の各機能について、実施している場所-家族介護者支援
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	事業所内	事業所の隣 接地域	事業所の周 辺地域	利用者の自 宅内、自宅 周辺	その他	累計 (n) %
全体	1109 100.0	839 75.7	43 3.9	50 4.5	535 48.2	64 5.8	1531 138.1
通所介護	474 100.0	357 75.3	16 3.4	15 3.2	226 47.7	21 4.4	635 134.0
地域密着型通所介護	525 100.0	399 76.0	22 4.2	26 5.0	246 46.9	38 7.2	731 139.2
認知症対応型通所介護	110 100.0	83 75.5	5 4.5	9 8.2	63 57.3	5 4.5	165 150.0

2) 新規利用者の着目（評価）が高まっているサービス内容について

(27) ここ半年の間（令和3年7月～12月）に、新たに貴事業所を利用することになった利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたこと、サービス内容に含めたこと

Q27 ここ半年の間（令和3年7月～12月）に、新たに貴事業所を利用することになった利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたことや、サービス内容に含めたことについておうかがいします。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとにみると、通所介護では「身体機能の維持・向上」がもっとも割合が高く、次いで「入浴、清拭の実施」、「他の利用者や職員とのコミュニケーション」となっていた。地域密着型通所介護では「身体機能の維持・向上」がもっとも割合が高く、次いで「他の利用者や職員とのコミュニケーション」、「生活機能の維持・向上」となっていた。認知症対応型通所介護では「入浴、清拭の実施」がもっとも割合が高く、次いで「他の利用者や職員とのコミュニケーション」、「身体機能の維持・向上」となっていた。

図表 92 Q27 ここ半年の間（令和3年7月～12月）に、新たに貴事業所を利用することになった利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標、サービス内容に含めたこと
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	生活意欲の向上	身体機能の維持・向上	生活機能の維持・向上	食事の提供	入浴、清拭の実施	他の利用者や職員とのコミュニケーション	地域住民との交流	レクリエーション（アクティビティ）への参加	ボランティア活動（有償・無償）への参加
全体	3133 100.0	2328 74.3	2736 87.3	2371 75.7	1803 57.5	2310 73.7	2448 78.1	307 9.8	1909 60.9	82 2.6
通所介護	1479 100.0	1123 75.9	1350 91.3	1141 77.1	942 63.7	1236 83.6	1185 80.1	141 9.5	973 65.8	43 2.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	1045 72.8	1221 85.0	1074 74.8	719 50.1	886 61.7	1089 75.8	140 9.7	783 54.5	29 2.0
認知症対応型通所介護	218 100.0	160 73.4	165 75.7	156 71.6	142 65.1	188 86.2	174 79.8	26 11.9	153 70.2	10 4.6
	送迎の実施	延長サービスの実施	健康状態の把握	医療的ケアの実施	認知症状への介入	自助具・福祉用具・介護ロボットの活用	保険外（自費）サービスの提供	その他	累計（n） %	
全体	1881 60.0	162 5.2	1981 63.2	611 19.5	1147 36.6	213 6.8	244 7.8	59 1.9	22592 721.1	
通所介護	897 60.6	65 4.4	983 66.5	379 25.6	558 37.7	135 9.1	111 7.5	14 0.9	11276 762.4	
地域密着型通所介護	855 59.5	81 5.6	859 59.8	195 13.6	434 30.2	70 4.9	119 8.3	30 2.1	9629 670.5	
認知症対応型通所介護	129 59.2	16 7.3	139 63.8	37 17.0	155 71.1	8 3.7	14 6.4	15 6.9	1687 773.9	

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、「食事の提供」、「入浴、清拭の実施」、「健康状態の把握」、「医療的ケアの実施」、「認知症状への介入」の割合が、4時間未満に比べ高く、利用者の状態像の違いが影響していると考えられる。

図表 93 Q27 ここ半年の間（令和3年7月～12月）に、新たに貴事業所を利用することになった利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標、サービス内容に含めたこと
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生活意欲の向上	身体機能の維持・向上	生活機能の維持・向上	食事の提供	入浴、清拭の実施	他の利用者や職員とのコミュニケーション	地域住民との交流	レクリエーション（アクティビティ）への参加	ボランティア活動（有償・無償）への参加
全体	3119 100.0	2319 74.4	2725 87.4	2363 75.8	1801 57.7	2306 73.9	2440 78.2	304 9.7	1906 61.1	81 2.6
通所介護	1477 100.0	1121 75.9	1348 91.3	1139 77.1	941 63.7	1235 83.6	1183 80.1	140 9.5	972 65.8	43 2.9
4時間未満	144 100.0	108 75.0	142 98.6	126 87.5	13 9.0	26 18.1	95 66.0	11 7.6	22 15.3	1 0.7
4時間以上	1333 100.0	1013 76.0	1206 90.5	1013 76.0	928 69.6	1209 90.7	1088 81.6	129 9.7	950 71.3	42 3.2
地域密着型通所介護	1428 100.0	1040 72.8	1214 85.0	1070 74.9	719 50.4	884 61.9	1085 76.0	139 9.7	782 54.8	28 2.0
4時間未満	440 100.0	308 70.0	421 95.7	364 82.7	35 8.0	54 12.3	302 68.6	49 11.1	96 21.8	4 0.9
4時間以上	988 100.0	732 74.1	793 80.3	706 71.5	684 69.2	830 84.0	783 79.3	90 9.1	686 69.4	24 2.4
認知症対応型通所介護	214 100.0	158 73.8	163 76.2	154 72.0	141 65.9	187 87.4	172 80.4	25 11.7	152 71.0	10 4.7
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	158 73.8	163 76.2	154 72.0	141 65.9	187 87.4	172 80.4	25 11.7	152 71.0	10 4.7
	送迎の実施	延長サービスの実施	健康状態の把握	医療的ケアの実施	認知症状への介入	自助具・福祉用具・介護ロボットの活用	保険外（自費）サービスの提供	その他	累計 (n) %	
全体	1875 60.1	161 5.2	1975 63.3	610 19.6	1143 36.6	213 6.8	244 7.8	58 1.9	22524 722.2	
通所介護	896 60.7	65 4.4	982 66.5	378 25.6	557 37.7	135 9.1	111 7.5	14 0.9	11260 762.4	
4時間未満	78 54.2	0 0.0	80 55.6	10 6.9	24 16.7	10 6.9	9 6.3	0 0.0	755 524.3	
4時間以上	818 61.4	65 4.9	902 67.7	368 27.6	533 40.0	125 9.4	102 7.7	14 1.1	10505 788.1	
地域密着型通所介護	852 59.7	81 5.7	856 59.9	195 13.7	433 30.3	70 4.9	119 8.3	30 2.1	9597 672.1	
4時間未満	248 56.4	2 0.5	223 50.7	21 4.8	75 17.0	16 3.6	27 6.1	4 0.9	2249 511.1	
4時間以上	604 61.1	79 8.0	633 64.1	174 17.6	358 36.2	54 5.5	92 9.3	26 2.6	7348 743.7	
認知症対応型通所介護	127 59.3	15 7.0	137 64.0	37 17.3	153 71.5	8 3.7	14 6.5	14 6.5	1667 779.0	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	127 59.3	15 7.0	137 64.0	37 17.3	153 71.5	8 3.7	14 6.5	14 6.5	1667 779.0	

3) 食事提供・介助の実施について

(28) サービス提供時間中の食事の提供状況

Q28 サービス提供時間中の食事の提供状況についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、サービス提供時間中の食事の提供状況をみると、いずれも「昼食の提供を行っている」がもっとも割合が高く、次いで「間食の提供を行っている」となっていた。

図表 94 Q28 サービス提供時間中の食事の提供状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	朝食の提供 を行っている	昼食の提供 を行っている	間食の提供 を行っている	夕食の提供 を行っている	夜食の提供 を行っている	食事提供は 行っていない	累計 (n) %
全体	3133 100.0	158 5.0	2594 82.8	1290 41.2	243 7.8	6 0.2	510 16.3	4801 153.2
通所介護	1479 100.0	57 3.9	1354 91.5	682 46.1	96 6.5	2 0.1	117 7.9	2308 156.1
地域密着型通所介護	1436 100.0	86 6.0	1024 71.3	487 33.9	124 8.6	3 0.2	391 27.2	2115 147.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	15 6.9	216 99.1	121 55.5	23 10.6	1 0.5	2 0.9	378 173.4

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では「食事提供は行っていない」が約8割となっていた。

図表 95 Q28 サービス提供時間中の食事の提供状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	朝食の提供 を行っている	昼食の提供 を行っている	間食の提供 を行っている	夕食の提供 を行っている	夜食の提供 を行っている	食事提供は 行っていない	累計 (n) %
全体	3119 100.0	158 5.1	2589 83.0	1287 41.3	243 7.8	6 0.2	502 16.1	4785 153.4
通所介護	1477 100.0	57 3.9	1353 91.6	682 46.2	96 6.5	2 0.1	116 7.9	2306 156.1
4時間未満	144 100.0	0 0.0	25 17.4	9 6.3	0 0.0	0 0.0	113 78.5	147 102.1
4時間以上	1333 100.0	57 4.3	1328 99.6	673 50.5	96 7.2	2 0.2	3 0.2	2159 162.0
地域密着型通所介護	1428 100.0	86 6.0	1023 71.6	486 34.0	124 8.7	3 0.2	385 27.0	2107 147.5
4時間未満	440 100.0	2 0.5	50 11.4	30 6.8	6 1.4	0 0.0	376 85.5	464 105.5
4時間以上	988 100.0	84 8.5	973 98.5	456 46.2	118 11.9	3 0.3	9 0.9	1643 166.3
認知症対応型通所介護	214 100.0	15 7.0	213 99.5	119 55.6	23 10.7	1 0.5	1 0.5	372 173.8
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	15 7.0	213 99.5	119 55.6	23 10.7	1 0.5	1 0.5	372 173.8

(29) 延長サービス中の食事の提供状況

Q29 延長サービス中の食事の提供状況についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、延長サービス中の食事の提供状況をみると、いずれも「延長サービス自体を行っていない」がもっとも割合が高い。認知症対応型通所介護では、他のサービス種別に比べ「夕食の提供を行っている」、「延長サービスは行っているが、食事提供は行っていない」の割合が高くなっていった。

図表 96 Q29 延長サービス中の食事の提供状況 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	朝食の提供 を行っている	昼食の提供 を行っている	間食の提供 を行っている	夕食の提供 を行っている	夜食の提供 を行っている	延長サービスは行っているが、食事提供は行っていない	延長サービス自体を行っていない	累計 (n) %
全体	3133 100.0	103 3.3	113 3.6	81 2.6	312 10.0	10 0.3	293 9.4	2459 78.5	3371 107.6
通所介護	1479 100.0	31 2.1	43 2.9	30 2.0	110 7.4	4 0.3	141 9.5	1199 81.1	1558 105.3
地域密着型通所介護	1436 100.0	61 4.2	52 3.6	35 2.4	155 10.8	4 0.3	118 8.2	1130 78.7	1555 108.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	11 5.0	18 8.3	16 7.3	47 21.6	2 0.9	34 15.6	130 59.6	258 118.3

Q29-1 【Q28で「6. 食事の提供は行っていない」を選択していない、かつQ29で「6. 延長サービスは行っているが、食事提供は行っていない」または「7. 延長サービス自体を行っていない」を選択していない場合】提供する食事の調理場所についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに提供する食事の調理場所をみると、いずれも「自事業所」がもっとも割合が高く、特に地域密着型通所介護においては約9割となっていた。

図表 97 Q29-1 (Q29s2) 提供する食事の調理場所 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	自事業所	同一敷地内の他の介護保険サービス事業所・施設	同一法人の他の介護保険サービス事業所・施設	同一法人が運営する調理施設	同一法人以外が運営する調理施設	その他	累計 (n) %
全体	380 100.0	307 80.8	21 5.5	6 1.6	20 5.3	38 10.0	13 3.4	405 106.6
通所介護	139 100.0	101 72.7	10 7.2	1 0.7	13 9.4	20 14.4	5 3.6	150 107.9
地域密着型通所介護	187 100.0	166 88.8	5 2.7	4 2.1	4 2.1	13 7.0	7 3.7	199 106.4
認知症対応型通所介護	54 100.0	40 74.1	6 11.1	1 1.9	3 5.6	5 9.3	1 1.9	56 103.7

Q29-2 【Q29-1で「1.自事業所」を選択した場合】提供する食事の調理を行う方についてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、提供する食事の調理を行う方をみると、通所介護では「調理のみを行う職員」がもっとも割合が高い。地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護では「介護職員」がもっとも割合が高く、職員の業務範囲が調理に及んでいる。

図表 98 Q29-2 (Q29s3) 提供する食事の調理を行う方 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	調理のみを行う職員	看護職員	介護職員	生活相談員	機能訓練指導員	管理者	その他	累計 (n) %
全体	307 100.0	182 59.3	23 7.5	173 56.4	79 25.7	16 5.2	71 23.1	15 4.9	559 182.1
通所介護	101 100.0	86 85.1	6 5.9	26 25.7	8 7.9	4 4.0	11 10.9	5 5.0	146 144.6
地域密着型通所介護	166 100.0	76 45.8	13 7.8	120 72.3	67 40.4	12 7.2	51 30.7	8 4.8	347 209.0
認知症対応型通所介護	40 100.0	20 50.0	4 10.0	27 67.5	4 10.0	0 0.0	9 22.5	2 5.0	66 165.0

Q29-3 (Q29s4) 【Q28で「6.食事の提供は行っていない」を選択していない、かつQ29で「6.延長サービスは行っているが、食事提供は行っていない」または「7.延長サービス自体を行っていない」を選択していない場合】食事提供を行う上での工夫についてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、食事提供を行う上での工夫をみると、「利用者の身体状況を考慮して、通常食以外のメニュー（きざみ食、ミキサー食等）も提供している」がもっとも割合が高くなっていた。「食事時の誤嚥等を防ぐため、食事開始前に口腔体操等を行っている」、「利用者の自立度に応じた食事介助を行っている」においても割合が7割以上となっており、利用者の摂食・嚥下状況に対応した食事提供・支援を行っていることがうかがえる。

図表 99 Q29-3 (Q29s4) 食事提供を行う上での工夫 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用者の食の好みや考慮して、提供するメニューを決定している	利用者が楽しんで食事できるような季節感等にこだわったメニューを提供している	利用者の自宅での食事内容や心身の状況を把握し、栄養状態を考慮して提供するメニューを決定している	利用者の身体状況を考慮して、通常食以外のメニュー（きざみ食、ミキサー食等）も提供している	利用者が食の好みや体調にあわせて、自身でメニューを選択できるようにしている	利用者が楽しんで食事できるような、食事を行う際の配慮を工夫している	利用者が安全に食事できるように、食中毒や感染症対策を徹底している
全体	380 100.0	187 49.2	290 76.3	163 42.9	334 87.9	70 18.4	204 53.7	306 80.5
通所介護	139 100.0	64 46.0	100 71.9	55 39.6	126 90.6	27 19.4	67 48.2	110 79.1
地域密着型通所介護	187 100.0	101 54.0	146 78.1	84 44.9	161 86.1	34 18.2	102 54.5	146 78.1
認知症対応型通所介護	54 100.0	22 40.7	44 81.5	24 44.4	47 87.0	9 16.7	35 64.8	50 92.6
	利用者が食事を行う際の留意点について、医師や看護師、栄養士等の専門職から指示を受けている	利用者の自立度に応じた食事介助を行っている	利用者が自立して食事することができるような、食事に必要な機能の訓練を行っている	食事時の誤嚥等を防ぐため、食事開始前に口腔体操等を行っている	その他	工夫していることはない	累計 (n) %	
全体	103 27.1	278 73.2	122 32.1	295 77.6	8 2.1	1 0.3	2361 621.3	
通所介護	45 32.4	102 73.4	48 34.5	112 80.6	1 0.7	1 0.7	858 617.3	
地域密着型通所介護	41 21.9	138 73.8	61 32.6	143 76.5	5 2.7	0 0.0	1162 621.4	
認知症対応型通所介護	17 31.5	38 70.4	13 24.1	40 74.1	2 3.7	0 0.0	341 631.5	

4) 機能訓練について

(30) 機能訓練により、改善を図ることとしている利用者の身体機能・生活課題

Q30 機能訓練を行うことにより、利用者のどのような身体機能・生活課題の改善を図ることとしているかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、機能訓練により、改善を図ることとしている利用者の身体機能・生活課題をみると、いずれも「歩行・移動」がもっとも割合が高い。認知症対応型通所介護では、他のサービス種別に比べ、「入浴」や「コミュニケーション」、「食事」、「排泄」、「整容」等の割合が高くなっていた。

図表 100 Q30 機能訓練により、改善を図ることとしている利用者の身体機能・生活課題
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	呼吸機能	体力	浮腫等	関節可動域	筋力	筋緊張	筋持久力	運動機能	痛み
全体	3133 100.0	1096 35.0	2468 78.8	1362 43.5	2251 71.8	2515 80.3	935 29.8	1350 43.1	2335 74.5	1133 36.2
通所介護	1479 100.0	472 31.9	1193 80.7	630 42.6	1101 74.4	1229 83.1	471 31.8	671 45.4	1143 77.3	549 37.1
地域密着型通所介護	1436 100.0	556 38.7	1115 77.6	646 45.0	1013 70.5	1138 79.2	431 30.0	606 42.2	1061 73.9	531 37.0
認知症対応型通所介護	218 100.0	68 31.2	160 73.4	86 39.4	137 62.8	148 67.9	33 15.1	73 33.5	131 60.1	53 24.3
	姿勢	起居	歩行・移動	階段昇降	その他の身体機能の改善	生活意欲の向上	食事	調理	排泄	更衣
全体	1726 55.1	1359 43.4	2784 88.9	1467 46.8	57 1.8	2606 83.2	1992 63.6	493 15.7	2151 68.7	2100 67.0
通所介護	813 55.0	693 46.9	1338 90.5	763 51.6	24 1.6	1246 84.2	957 64.7	211 14.3	1072 72.5	1058 71.5
地域密着型通所介護	805 56.1	596 41.5	1250 87.0	632 44.0	30 2.1	1185 82.5	868 60.4	245 17.1	908 63.2	888 61.8
認知症対応型通所介護	108 49.5	70 32.1	196 89.9	72 33.0	3 1.4	175 80.3	167 76.6	37 17.0	171 78.4	154 70.6
	整容	入浴	掃除・整理 整頓	洗濯	起床・就寝 の準備	買い物	コミュニケーション	余暇活動	仕事	外出
全体	1479 47.2	2331 74.4	706 22.5	671 21.4	553 17.7	647 20.7	2090 66.7	1288 41.1	187 6.0	1175 37.5
通所介護	730 49.4	1147 77.6	341 23.1	309 20.9	287 19.4	299 20.2	965 65.2	645 43.6	82 5.5	543 36.7
地域密着型通所介護	629 43.8	1000 69.6	322 22.4	318 22.1	242 16.9	326 22.7	953 66.4	536 37.3	91 6.3	565 39.3
認知症対応型通所介護	120 55.0	184 84.4	43 19.7	44 20.2	24 11.0	22 10.1	172 78.9	107 49.1	14 6.4	67 30.7
	公共交通機 関の利用	その他の生 活課題の改 善	累計 (n) %							
全体	287 9.2	24 0.8	43618 1392.2							
通所介護	125 8.5	11 0.7	21118 1427.9							
地域密着型通所介護	160 11.1	11 0.8	19657 1368.9							
認知症対応型通所介護	2 0.9	2 0.9	2843 1304.1							

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では、身体機能に係る項目において割合が高くなっており、4時間以上では生活課題に係る項目の割合が高くなっていった。

図表 101 Q30 機能訓練により、改善を図ることとしている利用者の身体機能・生活課題
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	呼吸機能	体力	浮腫等	関節可動域	筋力	筋緊張	筋持久力	運動機能	痛み	姿勢	
全体	3119 100.0	1090 34.9	2455 78.7	1354 43.4	2241 71.8	2504 80.3	927 29.7	1339 42.9	2323 74.5	1125 36.1	1714 55.0	
通所介護	1477 100.0	471 31.9	1191 80.6	629 42.6	1099 74.4	1227 83.1	469 31.8	669 45.3	1141 77.3	547 37.0	811 54.9	
4時間未満	144 100.0	66 45.8	132 91.7	74 51.4	123 85.4	137 95.1	79 54.9	105 72.9	137 95.1	93 64.6	117 81.3	
4時間以上	1333 100.0	405 30.4	1059 79.4	555 41.6	976 73.2	1090 81.8	390 29.3	564 42.3	1004 75.3	454 34.1	694 52.1	
地域密着型通所介護	1428 100.0	552 38.7	1108 77.6	640 44.8	1007 70.5	1132 79.3	426 29.8	600 42.0	1054 73.8	526 36.8	798 55.9	
4時間未満	440 100.0	229 52.0	400 90.9	236 53.6	373 84.8	404 91.8	240 54.5	305 69.3	399 90.7	266 60.5	345 78.4	
4時間以上	988 100.0	323 32.7	708 71.7	404 40.9	634 64.2	728 73.7	186 18.8	295 29.9	655 66.3	260 26.3	453 45.9	
認知症対応型通所介護	214 100.0	67 31.3	156 72.9	85 39.7	135 63.1	145 67.8	32 15.0	70 32.7	128 59.8	52 24.3	105 49.1	
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	214 100.0	67 31.3	156 72.9	85 39.7	135 63.1	145 67.8	32 15.0	70 32.7	128 59.8	52 24.3	105 49.1	
		起居	歩行・移動	階段昇降	その他の身体機能の改善	生活意欲の向上	食事	調理	排泄	更衣	整容	入浴
全体	1348 43.2	2771 88.8	1458 46.7	57 1.8	2593 83.1	1985 63.6	489 15.7	2143 68.7	2092 67.1	1473 47.2	2319 74.4	
通所介護	691 46.8	1336 90.5	761 51.5	24 1.6	1244 84.2	956 64.7	211 14.3	1071 72.5	1057 71.6	729 49.4	1145 77.5	
4時間未満	92 63.9	132 91.7	103 71.5	2 1.4	127 88.2	50 34.7	42 29.2	71 49.3	81 56.3	62 43.1	83 57.6	
4時間以上	599 44.9	1204 90.3	658 49.4	22 1.7	1117 83.8	906 68.0	169 12.7	1000 75.0	976 73.2	667 50.0	1062 79.7	
地域密着型通所介護	590 41.3	1243 87.0	627 43.9	30 2.1	1178 82.5	865 60.6	242 16.9	904 63.3	884 61.9	625 43.8	994 69.6	
4時間未満	268 60.9	403 91.6	309 70.2	14 3.2	373 84.8	161 36.6	117 26.6	199 45.2	238 54.1	178 40.5	223 50.7	
4時間以上	322 32.6	840 85.0	318 32.2	16 1.6	805 81.5	704 71.3	125 12.7	705 71.4	646 65.4	447 45.2	771 78.0	
認知症対応型通所介護	67 31.3	192 89.7	70 32.7	3 1.4	171 79.9	164 76.6	36 16.8	168 78.5	151 70.6	119 55.6	180 84.1	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	67 31.3	192 89.7	70 32.7	3 1.4	171 79.9	164 76.6	36 16.8	168 78.5	151 70.6	119 55.6	180 84.1	
		掃除・整理 整頓	洗濯	起床・就寝 の準備	買い物	コミュニ ケーション	余暇活動	仕事	外出	公共交通機 関の利用	その他の生 活課題の改 善	累計 (n) %
全体	700 22.4	665 21.3	548 17.6	639 20.5	2079 66.7	1283 41.1	186 6.0	1169 37.5	283 9.1	24 0.8	43376 1390.7	
通所介護	339 23.0	307 20.8	286 19.4	297 20.1	963 65.2	644 43.6	81 5.5	543 36.8	124 8.4	11 0.7	21074 1426.8	
4時間未満	58 40.3	55 38.2	46 31.9	66 45.8	98 68.1	50 34.7	23 16.0	99 68.8	49 34.0	1 0.7	2453 1703.5	
4時間以上	281 21.1	252 18.9	240 18.0	231 17.3	865 64.9	594 44.6	58 4.4	444 33.3	75 5.6	10 0.8	18621 1396.9	
地域密着型通所介護	319 22.3	315 22.1	239 16.7	321 22.5	948 66.4	533 37.3	91 6.4	560 39.2	157 11.0	11 0.8	19519 1366.9	
4時間未満	165 37.5	144 32.7	136 30.9	195 44.3	308 70.0	172 39.1	63 14.3	275 62.5	138 31.4	3 0.7	7279 1654.3	
4時間以上	154 15.6	171 17.3	103 10.4	126 12.8	640 64.8	361 36.5	28 2.8	285 28.8	19 1.9	8 0.8	12240 1238.9	
認知症対応型通所介護	42 19.6	43 20.1	23 10.7	21 9.8	168 78.5	106 49.5	14 6.5	66 30.8	2 0.9	2 0.9	2783 1300.5	
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4時間以上	42 19.6	43 20.1	23 10.7	21 9.8	168 78.5	106 49.5	14 6.5	66 30.8	2 0.9	2 0.9	2783 1300.5	

(31) 機能訓練について、工夫して実施していること

Q31 機能訓練について、工夫して実施していることはありますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、機能訓練について、工夫して実施していることをみると、通所介護において、全般的に割合が高い。また、他のサービス種別に比べ特に「利用者ごとに機能訓練の実施状況や効果の評価を行っている」「理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を活用している」「集団訓練を取り入れている」の割合が高くなっていった。

図表 102 Q31 機能訓練について、工夫して実施していること [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	積極的に機能訓練に参加するよう、開始前に利用者に声かけを行っている	曜日ごと、時間帯ごとに異なる機能訓練項目を提供している	同一時間帯に複数の種類の機能訓練項目を提供している	個々の利用者の身体機能を把握し、それに応じた機能訓練を実施している	個々の利用者の生活課題を把握し、それに応じた機能訓練を実施している	個々の利用者の身体機能や生活課題を把握するために、利用者の自宅を訪問している	利用者ごとに機能訓練計画を作成している
全体	3133 100.0	2315 73.9	712 22.7	1221 39.0	2268 72.4	1795 57.3	1214 38.7	1763 56.3
通所介護	1479 100.0	1118 75.6	351 23.7	587 39.7	1097 74.2	873 59.0	638 43.1	922 62.3
地域密着型通所介護	1436 100.0	1052 73.3	319 22.2	579 40.3	1024 71.3	807 56.2	532 37.0	756 52.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	145 66.5	42 19.3	55 25.2	147 67.4	115 52.8	44 20.2	85 39.0
	利用者ごとに機能訓練の実施状況や効果の評価を行っている	利用者ごとの機能訓練の実施状況や効果をふまえ、機能訓練項目の変更等を行っている	利用者が自宅でも自身で訓練を行うよう促している	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を活用している	集団訓練を取り入れている	その他	工夫していません	累計 (n) %
全体	1712 54.6	1445 46.1	1449 46.2	739 23.6	1926 61.5	60 1.9	60 1.9	18679 596.2
通所介護	894 60.4	748 50.6	735 49.7	458 31.0	961 65.0	21 1.4	25 1.7	9428 637.5
地域密着型通所介護	734 51.1	626 43.6	680 47.4	243 16.9	835 58.1	31 2.2	28 1.9	8246 574.2
認知症対応型通所介護	84 38.5	71 32.6	34 15.6	38 17.4	130 59.6	8 3.7	7 3.2	1005 461.0

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では、自宅での自主訓練を行うよう促す、PT・OT・STの活用等、多くの項目で4時間以上に比べ割合が高くなっていた。

図表 103 Q31 機能訓練について、工夫して実施していること [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	積極的に機能訓練に参加するよう、開始前に利用者に声かけを行っている	曜日ごと、時間帯ごとに異なる機能訓練項目を提供している	同一時間帯に複数の種類の機能訓練項目を提供している	個々の利用者の身体機能を把握し、それに応じた機能訓練を実施している	個々の利用者の生活課題を把握し、それに応じた機能訓練を実施している	個々の利用者の身体機能や生活課題を把握するために、利用者の居室を訪問している	利用者ごとに機能訓練計画を作成している
全体	3119 100.0	2307 74.0	706 22.6	1213 38.9	2257 72.4	1786 57.3	1208 38.7	1753 56.2
通所介護	1477 100.0	1117 75.6	349 23.6	585 39.6	1095 74.1	871 59.0	638 43.2	920 62.3
4時間未満	144 100.0	105 72.9	34 23.6	77 53.5	124 86.1	108 75.0	93 64.6	123 85.4
4時間以上	1333 100.0	1012 75.9	315 23.6	508 38.1	971 72.8	763 57.2	545 40.9	797 59.8
地域密着型通所介護	1428 100.0	1049 73.5	316 22.1	575 40.3	1018 71.3	802 56.2	526 36.8	751 52.6
4時間未満	440 100.0	314 71.4	108 24.5	276 62.7	385 87.5	323 73.4	275 62.5	363 82.5
4時間以上	988 100.0	735 74.4	208 21.1	299 30.3	633 64.1	479 48.5	251 25.4	388 39.3
認知症対応型通所介護	214 100.0	141 65.9	41 19.2	53 24.8	144 67.3	113 52.8	44 20.6	82 38.3
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	141 65.9	41 19.2	53 24.8	144 67.3	113 52.8	44 20.6	82 38.3
	利用者ごとに機能訓練の実施状況や効果の評価を行っている	利用者ごとの機能訓練の実施状況や効果をふまえ、機能訓練項目の変更等を行っている	利用者が自宅でも自身で訓練を行うよう促している	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を活用している	集団訓練を取り入れている	その他	工夫していることはない	累計 (n) %
全体	1701 54.5	1433 45.9	1440 46.2	737 23.6	1918 61.5	60 1.9	59 1.9	18578 595.6
通所介護	892 60.4	746 50.5	733 49.6	458 31.0	959 64.9	21 1.4	25 1.7	9409 637.0
4時間未満	119 82.6	104 72.2	113 78.5	57 39.6	92 63.9	5 3.5	0 0.0	1154 801.4
4時間以上	773 58.0	642 48.2	620 46.5	401 30.1	867 65.0	16 1.2	25 1.9	8255 619.3
地域密着型通所介護	728 51.0	619 43.3	675 47.3	242 16.9	830 58.1	31 2.2	27 1.9	8189 573.5
4時間未満	346 78.6	314 71.4	328 74.5	118 26.8	288 65.5	8 1.8	2 0.5	3448 783.6
4時間以上	382 38.7	305 30.9	347 35.1	124 12.6	542 54.9	23 2.3	25 2.5	4741 479.9
認知症対応型通所介護	81 37.9	68 31.8	32 15.0	37 17.3	129 60.3	8 3.7	7 3.3	980 457.9
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	81 37.9	68 31.8	32 15.0	37 17.3	129 60.3	8 3.7	7 3.3	980 457.9

5) 福祉用具・介護ロボットの活用について

(32) 利用者の自立支援のために活用している福祉用具や自助具

Q32 貴事業所において、利用者の自立支援のために活用している福祉用具や自助具についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、利用者の自立支援のために活用している福祉用具や自助具の活用状況をみると、いずれも「車いす」がもっとも割合が高い。また、通所介護では、特に「歩行補助つえ」「歩行器」「食事の際に使用する自助具(持ちやすく加工された箸やスプーン、返りのついた皿等)」等の割合が他のサービス種別に比べ高くなっていた。

図表 104 Q32 利用者の自立支援のために活用している福祉用具や自助具の活用状況
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	歩行補助つえ	歩行器	車いす	手すり	スロープ	移動用リフト	特殊寝台	床ずれ防止用具	体位変換器
全体	3133 100.0	1558 49.7	2054 65.6	2552 81.5	2222 70.9	935 29.8	249 7.9	547 17.5	311 9.9	72 2.3
通所介護	1479 100.0	809 54.7	1144 77.3	1309 88.5	1065 72.0	384 26.0	154 10.4	347 23.5	173 11.7	42 2.8
地域密着型通所介護	1436 100.0	672 46.8	791 55.1	1077 75.0	1009 70.3	483 33.6	82 5.7	165 11.5	120 8.4	26 1.8
認知症対応型通所介護	218 100.0	77 35.3	119 54.6	166 76.1	148 67.9	68 31.2	13 6.0	35 16.1	18 8.3	4 1.8
	自動排泄処理装置	認知症老人徘徊感知機器	食事の際に使用する自助具(持ちやすく加工された箸やスプーン、返りのついた皿等)	調理の際に使用する自助具(柄の角度が変わる包丁、持ちやすい鍋等)	排泄の際に使用する自助具(ペーパーホルダー等)	更衣の際に使用する自助具(ボタンエイド、ソックスエイド等)	整容の際に使用する自助具(柄の角度が変わる歯ブラシ、柄の長いヘアブラシ等)	入浴の際に使用する自助具(ヘアウォッシュャー等)	清掃・整理整頓の際に使用する自助具(リリーチャー、雑巾絞り補助具)	洗濯の際に使用する自助具(片手で使えるハンガーや洗濯ばさみ等)
全体	4 0.1	76 2.4	1060 33.8	51 1.6	258 8.2	41 1.3	78 2.5	158 5.0	40 1.3	36 1.1
通所介護	0 0.0	48 3.2	664 44.9	29 2.0	135 9.1	21 1.4	41 2.8	83 5.6	23 1.6	17 1.1
地域密着型通所介護	4 0.3	18 1.3	334 23.3	21 1.5	102 7.1	20 1.4	32 2.2	63 4.4	15 1.0	17 1.2
認知症対応型通所介護	0 0.0	10 4.6	62 28.4	1 0.5	21 9.6	0 0.0	5 2.3	12 5.5	2 0.9	2 0.9
	コミュニケーションの際に使用する自助具(拡大鏡、拡聴器、握りやすい筆記具等)	その他	活用している福祉用具や自助具はない	累計(n) %						
全体	565 18.0	53 1.7	157 5.0	13077 417.4						
通所介護	297 20.1	25 1.7	39 2.6	6849 463.1						
地域密着型通所介護	247 17.2	26 1.8	105 7.3	5429 378.1						
認知症対応型通所介護	21 9.6	2 0.9	13 6.0	799 366.5						

Q32-1 (Q32s2) 【Q32で「22. 活用している福祉用具や自助具はない」以外を選択した場合】福祉用具や自助具の活用にあたって工夫していることについてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、福祉用具や自助具の活用にあたって工夫していることをみると、いずれも、「利用者の体格や身体機能に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している」がもっとも割合が高くなっていた。また、通所介護において他に比べ、工夫している項目の割合が高いものが多かった。

図表 105 Q32-1 (Q32s2) 福祉用具や自助具の活用にあたって工夫していること
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用者の体格や身体機能に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している	利用者の生活課題に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している	利用者の居宅の環境に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している	利用者が事業所を利用している以外の時間帯に使用している福祉用具や自助具を把握し、事業所でも同様又は類似する福祉用具や自助具を使用している	利用者が使用する福祉用具や自助具の選定はリハビリテーション専門職や福祉用具専門相談員の資格をもつ職員が行っている
全体	2976 100.0	2030 68.2	1421 47.7	1008 33.9	969 32.6	463 15.6
通所介護	1440 100.0	1048 72.8	738 51.3	549 38.1	529 36.7	282 19.6
地域密着型通所介護	1331 100.0	849 63.8	589 44.3	398 29.9	388 29.2	152 11.4
認知症対応型通所介護	205 100.0	133 64.9	94 45.9	61 29.8	52 25.4	29 14.1
	利用者が居宅でも福祉用具や自助具を活用できるように、使用方法を同居する家族等にも伝えている	利用者の状態等にあわせた福祉用具や自助具を選定できるよう、新しい用具等の販売状況等について情報収集している	利用者の状態等にあわせて、新たな福祉用具や自助具を導入している	その他	福祉用具や自助具の活用にあたって工夫していることはない	累計 (n) %
全体	900 30.2	412 13.8	366 12.3	50 1.7	319 10.7	7938 266.7
通所介護	487 33.8	216 15.0	181 12.6	21 1.5	124 8.6	4175 289.9
地域密着型通所介護	355 26.7	175 13.1	173 13.0	26 2.0	170 12.8	3275 246.1
認知症対応型通所介護	58 28.3	21 10.2	12 5.9	3 1.5	25 12.2	488 238.0

(33) 利用者の自立支援のために活用している介護ロボット

Q33 貴事業所において、利用者の自立支援のために活用している介護ロボットについてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者の自立支援のために活用している介護ロボットをみると、いずれも、「活用している介護ロボットはない」が9割以上ともしっかりも割合が高くなっていました。

図表 106 Q33 貴事業所において、利用者の自立支援のために活用している介護ロボットについて
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	屋外での移動を支援する介護ロボット	屋内での移動を支援する介護ロボット	利用者の身体に装着して移動を支援する介護ロボット	トイレ誘導を行う介護ロボット	衣類の着脱等、トイレ内での動作を支援する介護ロボット	コミュニケーションを支援する介護ロボット	浴槽の出入り等、浴室内での動作を支援するロボット	その他	活用している介護ロボットはない	累計 (n) %
全体	3133 100.0	14 0.4	33 1.1	9 0.3	8 0.3	8 0.3	36 1.1	52 1.7	19 0.6	3001 95.8	3180 101.5
通所介護	1479 100.0	8 0.5	20 1.4	4 0.3	4 0.3	5 0.3	19 1.3	31 2.1	9 0.6	1403 94.9	1503 101.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	4 0.3	10 0.7	4 0.3	4 0.3	3 0.2	16 1.1	15 1.0	7 0.5	1391 96.9	1454 101.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	2 0.9	3 1.4	1 0.5	0 0.0	0 0.0	1 0.5	6 2.8	3 1.4	207 95.0	223 102.3

Q33-1 (Q33s2) 【Q33で「9.活用している介護ロボットはない」以外を選択した場合】介護ロボットの活用にあたって工夫していることについてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、介護ロボットの活用にあたって工夫していることをみると、通所介護、認知症対応型通所介護では、「利用者の体格や身体機能に応じて、使用する介護ロボットを選定している」がもっとも割合が高くなっていました。

図表 107 Q33-1 (Q33s2) 介護ロボットの活用にあたって工夫していること
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用者の体格や身体機能に応じて、使用する介護ロボットを選定している	利用者の生活課題に応じて、使用する介護ロボットを選定している	利用者が使用する介護ロボットの選定はリハビリテーション専門職や福祉用具専門相談員の資格をもつ職員が行っている	利用者の状態等にあわせた介護ロボットを選定できるよう、新しい用具等の販売状況等について情報収集している	利用者の状態等にあわせて、新たな介護ロボットを導入している	その他	介護ロボットの活用にあたって工夫していることはない	累計 (n) %
全体	132 100.0	50 37.9	23 17.4	7 5.3	23 17.4	16 12.1	13 9.8	41 31.1	173 131.1
通所介護	76 100.0	32 42.1	11 14.5	3 3.9	13 17.1	9 11.8	9 11.8	23 30.3	100 131.6
地域密着型通所介護	45 100.0	13 28.9	9 20.0	3 6.7	7 15.6	5 11.1	4 8.9	17 37.8	58 128.9
認知症対応型通所介護	11 100.0	5 45.5	3 27.3	1 9.1	3 27.3	2 18.2	0 0.0	1 9.1	15 136.4

6) レクリエーション（アクティビティ）について

(34) レクリエーション（アクティビティ）の実施状況

Q34 レクリエーション（アクティビティ）の実施状況についてうかがいます。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、レクリエーション（アクティビティ）の実施状況をみると、いずれも「すべての営業日において実施している」がもっとも割合が高い。地域密着型通所介護においては「いずれの営業日においても実施していない」の割合が他のサービス種別に比べ高くなっていた。

図表 108 Q34 レクリエーション（アクティビティ）の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	すべての営業日において実施している	特定の営業日のみ実施している	いずれの営業日においても実施していない
全体	3133 100.0	2620 83.6	173 5.5	340 10.9
通所介護	1479 100.0	1301 88.0	79 5.3	99 6.7
地域密着型通所介護	1436 100.0	1111 77.4	87 6.1	238 16.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	208 95.4	7 3.2	3 1.4

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間未満の事業所では「いずれの営業日においても実施していない」が4時間以上に比べ割合が高くなっていた。

図表 109 Q34 レクリエーション（アクティビティ）の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	すべての営業日において実施している	特定の営業日のみ実施している	いずれの営業日においても実施していない
全体	3119 100.0	2612 83.7	172 5.5	335 10.7
通所介護	1477 100.0	1300 88.0	79 5.3	98 6.6
4時間未満	144 100.0	49 34.0	22 15.3	73 50.7
4時間以上	1333 100.0	1251 93.8	57 4.3	25 1.9
地域密着型通所介護	1428 100.0	1108 77.6	86 6.0	234 16.4
4時間未満	440 100.0	175 39.8	47 10.7	218 49.5
4時間以上	988 100.0	933 94.4	39 3.9	16 1.6
認知症対応型通所介護	214 100.0	204 95.3	7 3.3	3 1.4
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	204 95.3	7 3.3	3 1.4

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、特に通所介護、地域密着型通所介護において、営利法人（会社）では、「すべての営業日において実施している」が他に比べ割合が低くなっていた。

図表 110 Q34 レクリエーション（アクティビティ）の実施状況
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	すべての営業日において実施している	特定の営業日のみ実施している	いずれの営業日においても実施していない
全体	3133 100.0	2620 83.6	173 5.5	340 10.9
通所介護	1479 100.0	1301 88.0	79 5.3	99 6.7
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	378 100.0	354 93.7	16 4.2	8 2.1
医療法人	112 100.0	101 90.2	6 5.4	5 4.5
営利法人（会社）	802 100.0	673 83.9	50 6.2	79 9.9
特定非営利活動法人（NPO法人）	22 100.0	21 95.5	1 4.5	0 0.0
社会福祉協議会	72 100.0	70 97.2	2 2.8	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
その他	88 100.0	78 88.6	3 3.4	7 8.0
地域密着型通所介護	1436 100.0	1111 77.4	87 6.1	238 16.6
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	130 100.0	122 93.8	3 2.3	5 3.8
医療法人	51 100.0	42 82.4	2 3.9	7 13.7
営利法人（会社）	1053 100.0	770 73.1	68 6.5	215 20.4
特定非営利活動法人（NPO法人）	94 100.0	86 91.5	5 5.3	3 3.2
社会福祉協議会	21 100.0	21 100.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
その他	83 100.0	66 79.5	9 10.8	8 9.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	208 95.4	7 3.2	3 1.4
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	72 93.5	4 5.2	1 1.3
医療法人	26 100.0	25 96.2	1 3.8	0 0.0
営利法人（会社）	83 100.0	82 98.8	1 1.2	0 0.0
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0
社会福祉協議会	7 100.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
その他	15 100.0	13 86.7	0 0.0	2 13.3

Q34-1 (Q34s2) 【Q34で「1.すべての営業日において実施している」「2.特定の営業日のみ実施している」を選択した場合】レクリエーション（アクティビティ）を行う上で工夫していることについてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、レクリエーション（アクティビティ）を行う上で工夫していることをみると、認知症対応型通所介護では、「体操や合唱等、楽しんで身体機能を向上させることができるようなプログラムを提供している」、「料理等、楽しんで生活機能を向上させることができるようなプログラムを提供している」の他、「事業所周辺での散歩等、地域との交流を意識したプログラムを提供している」の割合が他に比べ高くなっており、地域とのネットワークを活用した支援に力を入れていることがうかがえる。

図表 111 Q34-1 (Q34s2) レクリエーション（アクティビティ）を行う上で工夫していること
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	積極的にレクリエーション（アクティビティ）に参加するよう、開始前に利用者に声かけを行っている	曜日ごと、時間帯ごとに異なるプログラムを提供している	同一時間帯に複数の種類のプログラムを提供している	体操や合唱等、楽しんで身体機能を向上させることができるようなプログラムを提供している	料理等、楽しんで生活機能を向上させることができるようなプログラムを提供している	事業所周辺での散歩等、地域との交流を意識したプログラムを提供している
全体	2793 100.0	2362 84.6	1367 48.9	865 31.0	2314 82.8	866 31.0	829 29.7
通所介護	1380 100.0	1212 87.8	740 53.6	430 31.2	1161 84.1	376 27.2	320 23.2
地域密着型通所介護	1198 100.0	964 80.5	541 45.2	368 30.7	960 80.1	377 31.5	414 34.6
認知症対応型通所介護	215 100.0	186 86.5	86 40.0	67 31.2	193 89.8	113 52.6	95 44.2
	レクリエーション（アクティビティ）で作った作品を事業所内に展示している	利用者自身に参加するプログラムを選んでいる	仲のよい利用者同士を近くの席にする等、実施時の配席を工夫している	その他	工夫していることはない	累計 (n) %	
全体	1976 70.7	810 29.0	1833 65.6	40 1.4	15 0.5	13277 475.4	
通所介護	1007 73.0	436 31.6	947 68.6	15 1.1	4 0.3	6648 481.7	
地域密着型通所介護	811 67.7	314 26.2	739 61.7	24 2.0	11 0.9	5523 461.0	
認知症対応型通所介護	158 73.5	60 27.9	147 68.4	1 0.5	0 0.0	1106 514.4	

Q34-2 (Q34s3) 【Q34で「1.すべての営業日において実施している」「2.特定の営業日のみ実施している」を選択した場合】レクリエーション（アクティビティ）を行う上での課題についてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、レクリエーション（アクティビティ）を行う上での課題をみると、通所介護において、「利用者の身体状況にあわせたプログラムを提供することが難しい」、「利用者の生活課題の改善に資するようなプログラムを提供することが難しい」、「現状の職員数では、レクリエーション（アクティビティ）を実施するための人員が確保することが難しい」といったレクリエーション（アクティビティ）の質や、実施体制に関する課題の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 112 Q34-2 (Q34s3) レクリエーション（アクティビティ）を行う上での課題
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	利用者のレクリエーション（アクティビティ）に参加するモチベーションを維持することが難しい	利用者の身体状況にあわせたプログラムを提供することが難しい	利用者の生活課題の改善に資するようなプログラムを提供することが難しい	どのようなプログラムを提供すれば、利用者に資するかわからない	似たようなプログラムばかり提供してしまい、マンネリ化している	現状の職員数では、レクリエーション（アクティビティ）を実施するための人員が確保することが難しい	レクリエーション（アクティビティ）に必要な材料等を購入するための金銭的負担が大きい	レクリエーション（アクティビティ）を実施する場所を確保することが難しい	その他	課題となっていないこと	累計 (n) %
全体	2793 100.0	1307 46.8	1371 49.1	866 31.0	270 9.7	1545 55.3	544 19.5	590 21.1	253 9.1	90 3.2	217 7.8	7053 252.5
通所介護	1380 100.0	675 48.9	730 52.9	469 34.0	149 10.8	835 60.5	333 24.1	304 22.0	132 9.6	57 4.1	70 5.1	3754 272.0
地域密着型通所介護	1198 100.0	525 43.8	549 45.8	340 28.4	105 8.8	580 48.4	172 14.4	249 20.8	105 8.8	28 2.3	135 11.3	2788 232.7
認知症対応型通所介護	215 100.0	107 49.8	92 42.8	57 26.5	16 7.4	130 60.5	39 18.1	37 17.2	16 7.4	5 2.3	12 5.6	511 237.7

7) 家族介護者支援について

(35) 利用者と同居する家族等に対して、事業所が特に行っている相談支援

Q35 利用者と同居する家族等に対して、貴事業所が特に行っている相談支援についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、利用者と同居する家族等に対して、事業所が特に行っている相談支援をみると、認知症対応型通所介護では、割合が他のサービス種別に比べ高い支援が複数みられる。

図表 113 Q35 利用者と同居する家族等に対して、貴事業所が特に行っている相談支援
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用日ごとに、利用者に提供したサービス内容や事業所での様子を伝えている	利用者の心身の状態や居宅の環境にあわせた身体介護方法を教えている	利用者の口腔機能等に合わせた食事の作り方を教えている	利用者が自宅において自身で行うことができる機能訓練方法を教えている	予定されていたサービス提供日以外でも、利用者と同居する家族等の都合により急遽利用が必要となった場合は、柔軟に受入を行っている	利用者と同居する家族等が抱える介護を続ける上での悩み等を伺う	利用者と同居する家族等が抱える悩み等を解決するため、適切な機関等を紹介する
全体	3133 100.0	2453 78.3	1095 35.0	370 11.8	1145 36.5	2222 70.9	2034 64.9	1102 35.2
通所介護	1479 100.0	1146 77.5	531 35.9	192 13.0	560 37.9	1103 74.6	964 65.2	551 37.3
地域密着型通所介護	1436 100.0	1111 77.4	461 32.1	146 10.2	548 38.2	947 65.9	896 62.4	457 31.8
認知症対応型通所介護	218 100.0	196 89.9	103 47.2	32 14.7	37 17.0	172 78.9	174 79.8	94 43.1
	利用者と同居する家族等が抱える悩み等を解決するため、通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)として実施できないサービスを、介護保険外サービスとして提供する	その他	事業所を利用する全ての利用者には、同居する家族等がない	利用者と同居する家族等に対して行っていることはない	累計(n) %			
全体	271 8.6	55 1.8	63 2.0	46 1.5	10856 346.5			
通所介護	105 7.1	16 1.1	29 2.0	21 1.4	5218 352.8			
地域密着型通所介護	138 9.6	29 2.0	33 2.3	23 1.6	4789 333.5			
認知症対応型通所介護	28 12.8	10 4.6	1 0.5	2 0.9	849 389.4			

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、ほとんどの相談支援項目の割合が4時間未満に比べ高くなっていました。また、4時間未満の事業所では、「利用者が自宅において自身で行うことができる機能訓練方法を教えている」の割合が4時間以上に比べ高くなっていました。

図表 114 Q35 利用者と同居する家族等に対して、貴事業所が特に行っている相談支援
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用日ごとに、利用者 に提供したサービス内容 や事業所での様子を 伝えている	利用者の心身の状態や 居宅の環境にあわせて 身体介護方法を教えて いる	利用者の口や食事に 関する機能等を教えて いる	利用者が自宅において 自身で行うことができる 機能訓練方法を教えて いる	予定されていたサービス 提供日以外でも、利用 者と同居する家族等 の都合により急遽利用 が必要となった場合は、 柔軟に受入を行っている	利用者と同居する家族 等が抱える、利用者の 介護を続ける上での 悩み等を伺う	利用者と同居する家族 等が抱える悩み等を解 決するため、適切な 機関等を紹介する
全体	3119 100.0	2445 78.4	1092 35.0	369 11.8	1138 36.5	2213 71.0	2028 65.0	1100 35.3
通所介護	1477 100.0	1146 77.6	531 36.0	192 13.0	560 37.9	1102 74.6	963 65.2	551 37.3
4時間未満	144 100.0	90 62.5	50 34.7	5 3.5	90 62.5	84 58.3	81 56.3	44 30.6
4時間以上	1333 100.0	1056 79.2	481 36.1	187 14.0	470 35.3	1018 76.4	882 66.2	507 38.0
地域密着型通所介護	1428 100.0	1106 77.5	460 32.2	145 10.2	542 38.0	941 65.9	893 62.5	457 32.0
4時間未満	440 100.0	275 62.5	124 28.2	9 2.0	274 62.3	243 55.2	238 54.1	151 34.3
4時間以上	988 100.0	831 84.1	336 34.0	136 13.8	268 27.1	698 70.6	655 66.3	306 31.0
認知症対応型通所介護	214 100.0	193 90.2	101 47.2	32 15.0	36 16.8	170 79.4	172 80.4	92 43.0
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	193 90.2	101 47.2	32 15.0	36 16.8	170 79.4	172 80.4	92 43.0
	利用者と同居する家族等が抱える悩み等を解決するため、通所介護（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）として実施できないサービスを、介護保険外サービスとして提供する	その他	事業所を利用する全ての利用者には、同居する家族等がいない	利用者と同居する家族等に対しては行ってはならない	累計 (n) %			
全体	271 8.7	53 1.7	62 2.0	46 1.5	10817 346.8			
通所介護	105 7.1	16 1.1	28 1.9	21 1.4	5215 353.1			
4時間未満	8 5.6	2 1.4	0 0.0	4 2.8	458 318.1			
4時間以上	97 7.3	14 1.1	28 2.1	17 1.3	4757 356.9			
地域密着型通所介護	138 9.7	29 2.0	33 2.3	23 1.6	4767 333.8			
4時間未満	23 5.2	7 1.6	6 1.4	7 1.6	1357 308.4			
4時間以上	115 11.6	22 2.2	27 2.7	16 1.6	3410 345.1			
認知症対応型通所介護	28 13.1	8 3.7	1 0.5	2 0.9	835 390.2			
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
4時間以上	28 13.1	8 3.7	1 0.5	2 0.9	835 390.2			

8) 介護保険外サービス・自費サービスについて

(36) 事業所で、保険外（自費）で実施しているサービス

Q36 貴事業所では、保険外（自費）で実施しているサービスはありますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、保険外（自費）で実施しているサービスをみると、いずれも「保険外（自費）サービスは実施していない」が約6割ともっとも割合が高く、次いで「利用者の理美容サービス」となっていた。

図表 115 Q36 貴事業所での、保険外（自費）で実施しているサービス
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	物販・移動販売やレンタルサービス	利用者の買い物代行	利用者の配食サービス	利用者の自宅での食事支援（調理、配膳・下膳）	利用者宅の清掃	利用者の衣類の洗濯	利用者の通院支援	利用者のその他の外出支援（買い物、社会参加その他）
全体	3133 100.0	207 6.6	164 5.2	184 5.9	40 1.3	51 1.6	336 10.7	169 5.4	119 3.8
通所介護	1479 100.0	130 8.8	64 4.3	113 7.6	21 1.4	31 2.1	123 8.3	65 4.4	39 2.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	72 5.0	91 6.3	58 4.0	17 1.2	17 1.2	186 13.0	98 6.8	75 5.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	5 2.3	9 4.1	13 6.0	2 0.9	3 1.4	27 12.4	6 2.8	5 2.3
	利用者の理美容サービス	利用者の巡回健診等（健康診断、予防接種もしくは採血）	薬剤師が事業所を訪問しての服薬管理・服薬指導等	利用者の家族に対する生活支援サービス	その他保険外（自費）の生活支援サービス	地域の商工・流通サービス事業者の紹介や仲介業務	保険外の自宅生活に関する相談サービス	保険外（自費）サービスは実施していない	累計 (n) %
全体	597 19.1	33 1.1	26 0.8	16 0.5	165 5.3	3 0.1	43 1.4	1914 61.1	4067 129.8
通所介護	335 22.7	13 0.9	16 1.1	5 0.3	73 4.9	1 0.1	16 1.1	877 59.3	1922 130.0
地域密着型通所介護	210 14.6	19 1.3	9 0.6	10 0.7	80 5.6	2 0.1	24 1.7	904 63.0	1872 130.4
認知症対応型通所介護	52 23.9	1 0.5	1 0.5	1 0.5	12 5.5	0 0.0	3 1.4	133 61.0	273 125.2

【貴事業所が所属する法人本部の意向について】

(37) 法人が、通所介護事業所に今後新たに取り組ませたいと考えている保険外（自費）サービス

Q37 貴事業所の所属する法人が、通所介護事業所において、今後新たに取り組ませたいと考えている保険外（自費）サービスはありますか。（新規立ち上げのみ）（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、通所介護事業所において、今後新たに取り組ませたいと考えている保険外（自費）サービスをみると、いずれも「新たに保険外（自費）サービスに取り組む予定はない」が約8割ともっとも割合が高い。

図表 116 Q37 貴事業所の所属する法人が、通所介護事業所において、今後新たに取り組ませたいと考えている保険外（自費）サービス [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	物販・移動販売やレンタルサービス	利用者の買い物代行	利用者の配食サービス	利用者の自宅での食事支援（調理、配膳・下膳）	利用者宅の清掃	利用者の衣類の洗濯	利用者の通院支援	利用者のその他の外出支援（買い物、社会参加その他）
全体	3133 100.0	183 5.8	268 8.6	158 5.0	25 0.8	56 1.8	111 3.5	166 5.3	182 5.8
通所介護	1479 100.0	101 6.8	106 7.2	78 5.3	12 0.8	20 1.4	49 3.3	63 4.3	74 5.0
地域密着型通所介護	1436 100.0	78 5.4	150 10.4	69 4.8	13 0.9	34 2.4	54 3.8	91 6.3	97 6.8
認知症対応型通所介護	218 100.0	4 1.8	12 5.5	11 5.0	0 0.0	2 0.9	8 3.7	12 5.5	11 5.0
	利用者の理美容サービス	利用者の巡回健診等（健康診断、予防接種もしくは採血）	薬剤師が事業所を訪問しての服薬管理・服薬指導等	利用者の家族に対する生活支援サービス	その他保険外（自費）の生活支援サービス	地域の商工・流通サービス事業者の紹介や仲介業務	保険外の自宅生活に関する相談サービス	新たに保険外（自費）サービスに取り組む予定はない	累計 (n) %
全体	157 5.0	21 0.7	28 0.9	5 0.2	37 1.2	2 0.1	69 2.2	2401 76.6	3869 123.5
通所介護	85 5.7	7 0.5	7 0.5	2 0.1	14 0.9	2 0.1	25 1.7	1143 77.3	1788 120.9
地域密着型通所介護	62 4.3	13 0.9	20 1.4	3 0.2	22 1.5	0 0.0	35 2.4	1083 75.4	1824 127.0
認知症対応型通所介護	10 4.6	1 0.5	1 0.5	0 0.0	1 0.5	0 0.0	9 4.1	175 80.3	257 117.9

9) 宿泊サービスについて

(38) 宿泊サービスの実施

Q38 宿泊サービスの実施の有無についてうかがいます。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、宿泊サービスの実施の有無をみると、いずれも「実施していない」の割合が9割以上と高くなっていた。

図表 117 Q38 宿泊サービスの実施の有無 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	実施している	実施していない
全体	3133 100.0	190 6.1	2943 93.9
通所介護	1479 100.0	65 4.4	1414 95.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	109 7.6	1327 92.4
認知症対応型通所介護	218 100.0	16 7.3	202 92.7

Q38-1 (Q38s2) 【Q38で「1.実施している」を選択した場合】宿泊サービスの定員は何人ですか。(数値回答)

事業所のサービス種別ごとの宿泊サービスの定員数の割合は以下の通り。

図表 118 Q38-1(Q38s2) 宿泊サービスの定員数 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人	11人以上
全体	149 100.0	21 14.1	20 13.4	22 14.8	14 9.4	43 28.9	26 17.4	3 2.0
通所介護	45 100.0	4 8.9	7 15.6	10 22.2	3 6.7	9 20.0	11 24.4	1 2.2
地域密着型通所介護	92 100.0	13 14.1	10 10.9	11 12.0	9 9.8	33 35.9	14 15.2	2 2.2
認知症対応型通所介護	12 100.0	4 33.3	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0

事業所のサービス種別ごとの宿泊サービスの定員数の平均値は以下の通り。

図表 119 Q38-1(Q38s2) 宿泊サービスの定員数 (平均値)

	全体	宿泊サービスの定員数 (人)
全体	148	4.3
通所介護	44	4.4
地域密着型通所介護	92	4.5
認知症対応型通所介護	12	2.7

Q38-2 (Q38s3, 4) 【Q38で「1.実施している」を選択した場合】宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）についてうかがいます。（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）の割合・平均値は以下の通り。

図表 120 Q38-2(Q38s3_1)宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）-宿泊料
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全 体	0 円	1 ~1000 円未満	1000~ 2000円未 満	2000~ 3000円未 満	3000~ 4000円未 満	4000~ 5000円未 満	5000~ 7000円未 満	7000円以 上
全 体	140 100.0	2 1.4	7 5.0	59 42.1	38 27.1	15 10.7	8 5.7	7 5.0	4 2.9
通所介護	41 100.0	2 4.9	4 9.8	11 26.8	10 24.4	6 14.6	3 7.3	3 7.3	2 4.9
地域密着型通所介護	89 100.0	0 0.0	2 2.2	44 49.4	24 27.0	9 10.1	5 5.6	3 3.4	2 2.2
認知症対応型通所介護	10 100.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0

図表 121 Q38-2(Q38s3_1)宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）-宿泊料（平均値）

	全 体	宿泊料（円）
全 体	140	2329.2
通所介護	41	2678.6
地域密着型通所介護	89	2203.0
認知症対応型通所介護	10	2020.0

図表 122 Q38-2(Q38s3_2)宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）-食事代
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全 体	0 円	1 ~500 円未満	500 ~ 1000円未 満	1000~ 1500円未 満	1500円以 上
全 体	135 100.0	2 1.5	6 4.4	66 48.9	45 33.3	16 11.9
通所介護	38 100.0	1 2.6	2 5.3	19 50.0	13 34.2	3 7.9
地域密着型通所介護	86 100.0	0 0.0	4 4.7	42 48.8	27 31.4	13 15.1
認知症対応型通所介護	11 100.0	1 9.1	0 0.0	5 45.5	5 45.5	0 0.0

図表 123 Q38-2(Q38s3_2)宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）-食事代（平均値）

	全 体	食事代（円）
全 体	135	971.5
通所介護	38	927.6
地域密着型通所介護	86	1008.9
認知症対応型通所介護	11	830.9

図表 124 Q38-2(Q38s3_3) 宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）-その他料金
 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全 体	0 円	1 ~500 円未満	500 ~ 1000円未 満	1000~ 2000円未 満	2000円以 上
全 体	48 100.0	18 37.5	16 33.3	5 10.4	4 8.3	5 10.4
通所介護	10 100.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0
地域密着型通所介護	32 100.0	13 40.6	11 34.4	1 3.1	3 9.4	4 12.5
認知症対応型通所介護	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0

図表 125 Q38-2(Q38s3_3) 宿泊サービスの利用料金（1泊当たり）-その他料金（平均値）

	全 体	その他料金（円）
全 体	48	700.9
通所介護	10	660.0
地域密着型通所介護	32	806.4
認知症対応型通所介護	6	206.7

Q38-3 (Q38s5) 【Q38で「1.実施している」を選択した場合】該当する宿泊室の環境についてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、該当する宿泊室の環境をみると、通所介護、地域密着型通所介護において、個室以外の宿泊室を設けているところが4割以上となっていた。

図表 126 Q38-3(Q38s5) 該当する宿泊室の環境 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全 体	個室	2人部屋	3-4人部屋	5人部屋以上	累計 (n) %
全 体	190 100.0	113 59.5	56 29.5	51 26.8	27 14.2	247 130.0
通所介護	65 100.0	40 61.5	17 26.2	12 18.5	15 23.1	84 129.2
地域密着型通所介護	109 100.0	59 54.1	39 35.8	38 34.9	11 10.1	147 134.9
認知症対応型通所介護	16 100.0	14 87.5	0 0.0	1 6.3	1 6.3	16 100.0

Q38-4 (Q38s6) 【Q38で「1.実施している」を選択した場合】どのようなことがきっかけとなって宿泊サービスを始めましたか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、宿泊サービスを始めたきっかけをみると、全体では、「利用者や家族から要望や依頼があったため」が約7割と最も割合が高く、次いで「ケアマネジャーから要望や依頼があったため」、「利用者にとってなじみの職員が宿泊サービスを提供した方が、利用者の状態が安定すると考えたため」となっていた。地域密着型通所介護においては、「宿泊サービスを実施したほうが、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)の利用者増加につながると判断したため」の割合が、他に比べ高くなっていた。

図表 127 Q38-4(Q38s6)宿泊サービスを始めたきっかけ [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	利用者や家族から要望や依頼があったため	ケアマネジャーから要望や依頼があったため	自治体や地域包括支援センターから要望や依頼があったため	利用者にとってなじみの職員が宿泊サービスを提供した方が、利用者の状態が安定すると考えたため	宿泊サービスを実施したほうが、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)の利用者増加につながると判断したため	介護保険サービスとして宿泊サービスを提供したが、短期入所生活介護の指定基準をみたすことができなかったため	近隣の短期入所生活介護事業所の空きがなかったため	近隣の小規模多機能型居宅介護事業所の空きがなかったため	近隣の特別養護老人ホームの空きがなかったため	その他	累計(n) %
全体	190 100.0	138 72.6	82 43.2	23 12.1	78 41.1	74 38.9	4 2.1	10 5.3	5 2.6	11 5.8	14 7.4	439 231.1
通所介護	65 100.0	45 69.2	29 44.6	10 15.4	24 36.9	17 26.2	1 1.5	3 4.6	1 1.5	3 4.6	8 12.3	141 216.9
地域密着型通所介護	109 100.0	81 74.3	47 43.1	11 10.1	48 44.0	55 50.5	1 0.9	7 6.4	4 3.7	7 6.4	5 4.6	266 244.0
認知症対応型通所介護	16 100.0	12 75.0	6 37.5	2 12.5	6 37.5	2 12.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	32 200.0

Q38-5 (Q38s7) 【Q38で「1.実施している」を選択した場合】【Q38-4で「6.介護保険サービスとして宿泊サービスを提供しなかったが、短期入所生活介護の指定基準をみたすことができなかったため」を選択した場合】指定基準中、具体的にどのような基準をみたすことができなかったかについてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、指定基準中、具体的にどのような基準をみたすことができなかったかをみると、明らかな傾向はみられなかった。

図表 128 Q38-5(Q38s7)指定基準中、具体的にどのような基準をみたすことができなかったか [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	医師が確保できなかった	生活相談員を必要数確保できなかった	介護職員又は看護職員を必要数確保できなかった	栄養士が確保できなかった	調理員その他の従業者が確保できなかった	居室が確保できなかった	浴室が確保できなかった	洗面設備が確保できなかった	介護職員室が確保できなかった	看護職員室が確保できなかった	その他	累計(n) %
全体	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
通所介護	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域密着型通所介護	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認知症対応型通所介護	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0
		調理室が確保できなかった	洗濯室又は洗濯場が確保できなかった	汚物処理室が確保できなかった	介護材料室が確保できなかった	廊下幅の基準をみたすことができなかった	(食堂等が2階以上にある場合)傾斜路又はエレベータを設けることができなかった	1週間に2回以上、入浴又は清拭を行うための体制を確保できなかった	食事提供を行うための体制を確保できなかった	その他	累計(n) %		
全体	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	18 450.0		
通所介護	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0		
地域密着型通所介護	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0		
認知症対応型通所介護	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 800.0		

Q38-6 (Q38s8) 【Q38 で「1.実施している」を選択した場合】 宿泊サービスの利用日数について、制限を行っているかについてうかがいます。（単数回答）

宿泊サービスの利用日数について、制限を行っているかをみると、全体では連続利用日数に制限を設けている事業所の割合が約3割、1月あたりの利用日数に制限を設けている事業所が約2割弱であった。

図表 129 Q38-6(Q38s8) 宿泊サービスの利用日数について、制限を行っているか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	連続利用日数に制限を設けている	1月あたりの利用日数に制限を設けている	その他
全体	190 100.0	57 30.0	34 17.9	99 52.1
通所介護	65 100.0	23 35.4	13 20.0	29 44.6
地域密着型通所介護	109 100.0	29 26.6	17 15.6	63 57.8
認知症対応型通所介護	16 100.0	5 31.3	4 25.0	7 43.8

Q38-6 (Q38s8_1FA) 【Q38 で「連続利用日数に制限を設けている」を選択した場合】 連続利用日数の上限は何泊ですか。（数値回答）

事業所のサービス種別ごとの連続利用日数の上限の平均値は以下の通り。地域密着型通所介護においては、他に比べ上限となる宿泊日数が長い。

図表 130 Q38-6(Q38s8_1FA) 連続利用日数の上限 (泊) [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1泊	2泊	3泊	4～7泊	8～20泊	21～29泊	30泊以上
全体	55 100.0	7 12.7	10 18.2	9 16.4	12 21.8	3 5.5	5 9.1	9 16.4
通所介護	23 100.0	4 17.4	6 26.1	3 13.0	6 26.1	0 0.0	3 13.0	1 4.3
地域密着型通所介護	27 100.0	3 11.1	4 14.8	2 7.4	5 18.5	3 11.1	2 7.4	8 29.6
認知症対応型通所介護	5 100.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

図表 131 Q38-6(Q38s8_1FA) 連続利用日数の上限 (泊) (平均値)

	全体	連続利用日数の上限 (泊)
全体	55	10.5
通所介護	23	7.3
地域密着型通所介護	27	14.4
認知症対応型通所介護	5	3.6

Q38-6 (Q38s8_2FA) 【Q38 で「1月あたりの利用日数に制限を設けている」を選択した場合】1月あたりの利用日数の上限は何泊ですか。(数値回答)

事業所のサービス種別ごとの1月あたりの利用日数の上限の平均値は以下の通り。

図表 132 Q38-6(Q38s8_2FA)1月あたりの利用日数の上限(泊) [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全 体	1 泊	2 泊	3 泊	4 ~7 泊	8 ~20泊	21~29泊	30泊以上
全 体	32 100.0	0 0.0	3 9.4	1 3.1	5 15.6	6 18.8	7 21.9	10 31.3
通所介護	11 100.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	2 18.2	5 45.5
地域密着型通所介護	17 100.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	1 5.9	4 23.5	5 29.4	5 29.4
認知症対応型通所介護	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

図表 133 Q38-6(Q38s8_2FA)1月あたりの利用日数の上限(泊) (平均値)

	全 体	1月あたりの利用日数の 上限(泊)
全体	32	18.8
通所介護	11	21.7
地域密着型通所介護	17	20.3
認知症対応型通所介護	4	4.0

Q38-7 (Q38s10) 【Q38 で「1.実施している」を選択した場合】宿泊サービスを利用していた利用者が利用しなくなった理由にはどのようなものがありますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、宿泊サービスを利用していた利用者が利用しなくなった理由をみると、全体では、「入院したため」「特別養護老人ホームに入所することになったため」の割合が高くなっていました。また、認知症対応型通所介護においては、「認知症対応型共同生活介護を利用することになったため」が他に比べ割合が高くなっていました。

図表 134 Q38-7(Q38s10) 宿泊サービスを利用していた利用者が利用しなくなった理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	入院したため	特別養護老人ホームに入所することになったため	特定施設入居者生活介護を利用することになったため	認知症対応型共同生活介護を利用することになったため	短期入所生活介護を利用することになったため	小規模多機能型居宅介護を利用することになったため	介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院に入所することになったため
全体	190 100.0	111 58.4	111 58.4	14 7.4	31 16.3	29 15.3	13 6.8	36 18.9
通所介護	65 100.0	40 61.5	37 56.9	4 6.2	11 16.9	13 20.0	3 4.6	12 18.5
地域密着型通所介護	109 100.0	65 59.6	67 61.5	8 7.3	13 11.9	15 13.8	10 9.2	22 20.2
認知症対応型通所介護	16 100.0	6 37.5	7 43.8	2 12.5	7 43.8	1 6.3	0 0.0	2 12.5
	短期入所療養介護を利用することになったため	看護小規模多機能型居宅介護を利用することになったため	他の通所介護等事業所の宿泊サービスを利用することになったため	その他	わからない	該当する人はいない	累計 (n) %	
全体	6 3.2	6 3.2	15 7.9	13 6.8	8 4.2	21 11.1	414 217.9	
通所介護	2 3.1	2 3.1	7 10.8	4 6.2	6 9.2	7 10.8	148 227.7	
地域密着型通所介護	3 2.8	4 3.7	8 7.3	6 5.5	2 1.8	11 10.1	234 214.7	
認知症対応型通所介護	1 6.3	0 0.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0	3 18.8	32 200.0	

Q38-8 (Q38s11) 【Q38で「1.実施している」を選択した場合】宿泊サービスを提供するための職員の確保方法についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、宿泊サービスを提供するための職員の確保方法をみると、地域密着型通所介護では、「宿泊サービス専門の職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護の提供は行わない職員)を雇用して対応している」が他に比べ割合が高くなっていた。

図表 135 Q38-8(Q38s11)宿泊サービスを提供するための職員の確保方法
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	職員の勤務体制を、遅番・早番のシフト制に対応している	宿泊サービス専門の職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護の提供は行わない職員)を雇用して対応している	宿泊サービス専門の派遣職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護の提供は行わない派遣職員)により対応している	同一法人の介護保険施設・事業所等から派遣された職員にて対応している	その他	累計(n) %
全体	190 100.0	111 58.4	93 48.9	4 2.1	25 13.2	10 5.3	243 127.9
通所介護	65 100.0	35 53.8	25 38.5	2 3.1	10 15.4	7 10.8	79 121.5
地域密着型通所介護	109 100.0	65 59.6	65 59.6	2 1.8	13 11.9	1 0.9	146 133.9
認知症対応型通所介護	16 100.0	11 68.8	3 18.8	0 0.0	2 12.5	2 12.5	18 112.5

Q38-9 (Q38s12) 【Q38で「2.実施していない」を選択した場合】今後の宿泊サービスの提供意向についてうかがいます。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、今後の宿泊サービスの提供意向をみると、いずれも「提供するつもりはない」が約9割以上と割合が高くなっていた。

図表 136 Q38-9(Q38s12)今後の宿泊サービスの提供意向 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	提供するつもりがある	提供するつもりはない
全体	2943 100.0	70 2.4	2873 97.6
通所介護	1414 100.0	27 1.9	1387 98.1
地域密着型通所介護	1327 100.0	33 2.5	1294 97.5
認知症対応型通所介護	202 100.0	10 5.0	192 95.0

10) 延長サービスについて

(39) サービス提供時間の延長

Q39 貴事業所では、サービス提供時間の延長を行っていますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、サービス提供時間の延長の実施状況をみると、全体では、「サービス提供時間の延長は行っていない」がもっとも割合が高くなっていた。また、認知症対応型通所介護において「延長を行っている(延長加算取得)」が他に比べ割合が高くなっていた。

図表 137 Q39 サービス提供時間の延長の実施状況 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	延長を行っている(延長加算取得)	延長を行っている(自費負担)	サービス提供時間の延長は行っていない
全体	3133 100.0	326 10.4	247 7.9	2560 81.7
通所介護	1479 100.0	137 9.3	95 6.4	1247 84.3
地域密着型通所介護	1436 100.0	138 9.6	129 9.0	1169 81.4
認知症対応型通所介護	218 100.0	51 23.4	23 10.6	144 66.1

Q39-1 (Q39 s2) 【Q39で「1.延長を行っている(延長加算取得)」「2.延長を行っている(自費負担)」を選択した場合】サービス提供時間の延長の実施状況についてうかがいます。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、サービス提供時間の延長の実施状況(サービス提供時間前)をみると、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護において「行っている」が約6割と通所介護に比べ割合が高くなっていた。

図表 138 Q39-1(Q39s2) サービス提供時間の延長の実施状況(サービス提供時間前) [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	573 100.0	312 54.5	261 45.5
通所介護	232 100.0	112 48.3	120 51.7
地域密着型通所介護	267 100.0	154 57.7	113 42.3
認知症対応型通所介護	74 100.0	46 62.2	28 37.8

事業所のサービス種別ごとに、サービス提供時間の延長の実施状況（サービス提供時間後）をみると、いずれも「行っている」が9割以上となっていた。

図表 139 Q39-1(Q39s2 項目 2)サービス提供時間の延長の実施状況（サービス提供時間後）
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	573 100.0	565 98.6	8 1.4
通所介護	232 100.0	229 98.7	3 1.3
地域密着型通所介護	267 100.0	264 98.9	3 1.1
認知症対応型通所介護	74 100.0	72 97.3	2 2.7

Q39-2(Q39s4)【Q39で「1.延長を行っている（延長加算取得）」「2.延長を行っている（自費負担）」を選択した場合】延長サービスで対応している支援等についてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、延長サービスで対応している支援等をみると、全体では「食事の提供・介助」がもっとも割合が高くなっていた。また、認知症対応型通所介護において「レクリエーション（アクティビティ）」が他に比べ割合が高くなっていた。

図表 140 Q39-2(Q39s4)延長サービスで対応している支援等 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	食事の提供・介助	機能訓練	レクリエーション（アクティビティ）	入浴介助	その他	累計 (n) %
全体	573 100.0	329 57.4	40 7.0	175 30.5	27 4.7	133 23.2	704 122.9
通所介護	232 100.0	110 47.4	19 8.2	70 30.2	10 4.3	73 31.5	282 121.6
地域密着型通所介護	267 100.0	173 64.8	15 5.6	78 29.2	9 3.4	48 18.0	323 121.0
認知症対応型通所介護	74 100.0	46 62.2	6 8.1	27 36.5	8 10.8	12 16.2	99 133.8

Q39-3(Q39s5)【Q39で「1.延長を行っている（延長加算取得）」「2.延長を行っている（自費負担）」を選択した場合】サービス時間延長に対応するために、職員の確保や配置等で対応していることについてうかがいます。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、サービス時間延長に対応するために、職員の確保や配置等で対応していることをみると、いずれも「職員の勤務体制を、遅番・早番のシフト制にして対応している」がもっとも割合が高くなっていました。また、通所介護、地域密着型通所介護においては「同一法人の介護保険施設・事業所等から派遣された職員にて対応している」の割合が高くなっていました。

図表 141 Q39-3(Q39s5)サービス時間延長に対応するために、職員の確保や配置等で対応していること [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	職員の勤務体制を、遅番・早番のシフト制にして対応している	延長サービス専門の職員（通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護のサービス提供時間中は勤務しない職員）を雇用して対応している	延長サービス専門の派遣職員（通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護のサービス提供時間中は勤務しない派遣職員）により対応している	同一法人の介護保険施設・事業所等から派遣された職員にて対応している	その他	累計 (n) %
全体	573 100.0	361 63.0	26 4.5	2 0.3	55 9.6	163 28.4	607 105.9
通所介護	232 100.0	136 58.6	9 3.9	0 0.0	25 10.8	74 31.9	244 105.2
地域密着型通所介護	267 100.0	175 65.5	15 5.6	2 0.7	26 9.7	66 24.7	284 106.4
認知症対応型通所介護	74 100.0	50 67.6	2 2.7	0 0.0	4 5.4	23 31.1	79 106.8

1 1) ケアマネジャーとの情報提供等の実態について

(40) 近隣の居宅介護支援事業所に対し、事業所が日頃行っている情報提供

Q40 近隣の居宅介護支援事業所に対し、貴事業所が日頃行っている情報提供についておうかがいします。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、近隣の居宅介護支援事業所に対し、事業所が日頃行っている情報提供の内容をみると、通所介護では「医療的ケアの実施状況」、認知症対応型通所介護では「認知症への対応状況」の割合が他のサービス種別に比べ高くなっていた。

図表 142 Q40 近隣の居宅介護支援事業所に対し、貴事業所が日頃行っている情報提供の内容
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	営業日・営業時間	通常の事業の実施地域	利用定員	利用料	サービス提供にあたっての理念	加算・減算(入浴介助加算、延長加算、送迎減算等)の取得状況	職員配置	食事内容・1営業日あたり提供回数	機能訓練内容・1営業日あたり提供回数
全体	3133 100.0	2717 86.7	2212 70.6	2528 80.7	2297 73.3	1576 50.3	2358 75.3	1233 39.4	1197 38.2	1464 46.7
通所介護	1479 100.0	1304 88.2	1060 71.7	1178 79.6	1096 74.1	701 47.4	1157 78.2	553 37.4	633 42.8	731 49.4
地域密着型通所介護	1436 100.0	1227 85.4	1002 69.8	1166 81.2	1031 71.8	761 53.0	1037 72.2	587 40.9	462 32.2	655 45.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	186 85.3	150 68.8	184 84.4	170 78.0	114 52.3	164 75.2	93 42.7	102 46.8	78 35.8
	レクリエーション(アクティビティ)内容・1営業日あたり提供回数	自助具・福祉用具・介護ロボットの活用状況	医療的ケアの実施状況	認知症への対応状況	自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的な事例	地域等との交流状況	緊急時等における対応方法	非常災害対策	保険外サービスの提供状況	その他
全体	1440 46.0	185 5.9	622 19.9	1076 34.3	395 12.6	523 16.7	786 25.1	486 15.5	353 11.3	42 1.3
通所介護	741 50.1	100 6.8	374 25.3	479 32.4	168 11.4	180 12.2	379 25.6	206 13.9	159 10.8	15 1.0
地域密着型通所介護	584 40.7	73 5.1	211 14.7	441 30.7	193 13.4	291 20.3	357 24.9	245 17.1	170 11.8	19 1.3
認知症対応型通所介護	115 52.8	12 5.5	37 17.0	156 71.6	34 15.6	52 23.9	50 22.9	35 16.1	24 11.0	8 3.7
	積極的な情報提供は行っていない	累計(n) %								
全体	198 6.3	23688 756.1								
通所介護	79 5.3	11293 763.6								
地域密着型通所介護	108 7.5	10620 739.6								
認知症対応型通所介護	11 5.0	1775 814.2								

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護、地域密着型通所介護において、4時間以上の事業所では、特に「食事内容・1営業日あたり提供回数」「医療的ケアの実施状況」「認知症への対応状況」の割合が4時間未満に比べ高くなっていた。また、4時間未満の事業所では、特に「機能訓練内容・1営業日あたり提供回数」「自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的事例」の割合が4時間以上に比べ高くなっていた。

図表 143 Q40 近隣の居宅介護支援事業所に対し、貴事業所が日頃行っている情報提供の内容
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	営業日・営業時間	通常の事業の実施地域	利用定員	利用料	サービス提供にあたっての理念	加算・減算(入浴介助加算、延長加算、送迎減算等)の取得状況	職員配置	食事内容・1営業日あたり提供回数	機能訓練内容・1営業日あたり提供回数	レクリエーション(アクティビティ)内容・1営業日あたり提供回数
全体	3119 100.0	2706 86.8	2204 70.7	2517 80.7	2285 73.3	1571 50.4	2348 75.3	1228 39.4	1195 38.3	1458 46.7	1434 46.0
通所介護	1477 100.0	1302 88.2	1059 71.7	1176 79.6	1094 74.1	700 47.4	1155 78.2	552 37.4	632 42.8	730 49.4	740 50.1
4時間未満	144 100.0	129 89.6	110 76.4	113 78.5	108 75.0	84 58.3	106 73.6	61 42.4	12 8.3	89 61.8	25 17.4
4時間以上	1333 100.0	1173 88.0	949 71.2	1063 79.7	986 74.0	616 46.2	1049 78.7	491 36.8	620 46.5	641 48.1	715 53.6
地域密着型通所介護	1428 100.0	1220 85.4	997 69.8	1159 81.2	1023 71.6	759 53.2	1031 72.2	585 41.0	462 32.4	652 45.7	581 40.7
4時間未満	440 100.0	396 90.0	337 76.6	384 87.3	332 75.5	258 58.6	319 72.5	201 45.7	33 7.5	272 61.8	97 22.0
4時間以上	988 100.0	824 83.4	660 66.8	775 78.4	691 69.9	501 50.7	712 72.1	384 38.9	429 43.4	380 38.5	484 49.0
認知症対応型通所介護	214 100.0	184 86.0	148 69.2	182 85.0	168 78.5	112 52.3	162 75.7	91 42.5	101 47.2	76 35.5	113 52.8
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	184 86.0	148 69.2	182 85.0	168 78.5	112 52.3	162 75.7	91 42.5	101 47.2	76 35.5	113 52.8
	自助具・福祉用具・介護ロボットの活用状況	医療的ケアの実施状況	認知症への対応状況	自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的事例	地域等との交流状況	緊急時等における対応方法	非常災害対策	保険外サービスの提供状況	その他	積極的な情報提供は行っていない	累計(n)%
全体	185 5.9	621 19.9	1072 34.4	393 12.6	521 16.7	785 25.2	485 15.5	353 11.3	41 1.3	196 6.3	23598 756.6
通所介護	100 6.8	374 25.3	479 32.4	168 11.4	180 12.2	379 25.7	206 13.9	159 10.8	15 1.0	79 5.3	11279 763.6
4時間未満	6 4.2	11 7.6	25 17.4	29 20.1	14 9.7	33 22.9	19 13.2	9 6.3	0 0.0	10 6.9	993 689.6
4時間以上	94 7.1	363 27.2	454 34.1	139 10.4	166 12.5	346 26.0	187 14.0	150 11.3	15 1.1	69 5.2	10286 771.6
地域密着型通所介護	73 5.1	211 14.8	438 30.7	192 13.4	290 20.3	356 24.9	244 17.1	170 11.9	19 1.3	108 7.6	10570 740.2
4時間未満	17 3.9	23 5.2	106 24.1	101 23.0	74 16.8	110 25.0	83 18.9	39 8.9	4 0.9	20 4.5	3206 728.6
4時間以上	56 5.7	188 19.0	332 33.6	91 9.2	216 21.9	246 24.9	161 16.3	131 13.3	15 1.5	88 8.9	7364 745.3
認知症対応型通所介護	12 5.6	36 16.8	155 72.4	33 15.4	51 23.8	50 23.4	35 16.4	24 11.2	7 3.3	9 4.2	1749 817.3
4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	12 5.6	36 16.8	155 72.4	33 15.4	51 23.8	50 23.4	35 16.4	24 11.2	7 3.3	9 4.2	1749 817.3

Q40-1 (Q40s2) 要介護者（認知症対応型通所介護の場合は、要支援者を含む）が利用する事業所を選択するにあたり近隣の居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、貴事業所のサービス内容等を理解した上で、要介護者に伝えてくれていると思いますか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用する事業所を選択するにあたりケアマネジャーは、貴事業所のサービス内容等を理解した上で、要介護者に伝えてくれていると思うかをみると、いずれも「理解して、要介護者に伝えてくれていると思う」が7割以上ともしっかり割合が高く、次いで「理解してもらっていると思うが、要介護者に伝えてくれているかはわからない」が約2割となっていた。

図表 144 Q40-1(Q40s2)利用する事業所を選択するにあたり近隣の居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、貴事業所のサービス内容等を理解した上で、要介護者に伝えてくれていると思うか。
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	理解して、 要介護者に 伝えてくれ ていると思 う	理解しても らっている と思うが、 要介護者に 伝えてくれ ているかは わからない	理解しても らっている と思うが、 要介護者に 伝えてくれ ていないと 思う	理解してい ないように 思うので、 要介護者に も伝わって いないと思 う	理解しても らっている かも、要介 護者に伝え てくれてい るかもわか らない
全体	3133 100.0	2350 75.0	636 20.3	48 1.5	42 1.3	57 1.8
通所介護	1479 100.0	1096 74.1	317 21.4	24 1.6	19 1.3	23 1.6
地域密着型通所介護	1436 100.0	1098 76.5	265 18.5	22 1.5	21 1.5	30 2.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	156 71.6	54 24.8	2 0.9	2 0.9	4 1.8

<所要時間区分別>

さらに所要時間区分別にみると、通所介護において4時間未満の事業所では、「理解して、要介護者に伝えてくれていると思う」の割合が他に比べて高くなっていた。

図表 145 Q40-1(Q40s2)利用する事業所を選択するにあたり近隣の居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、貴事業所のサービス内容等を理解した上で、要介護者に伝えてくれていると思うか。
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	理解して、 要介護者に 伝えてくれ ていると思 う	理解しても らっている と思うが、 要介護者に 伝えてくれ ているかは わからない	理解しても らっている と思うが、 要介護者に 伝えてくれ ていないと 思う	理解してい ないように 思うので、 要介護者に も伝わって いないと思 う	理解しても らっている かも、要介 護者に伝え てくれてい るかもわか らない
全体	3119 100.0	2338 75.0	634 20.3	48 1.5	42 1.3	57 1.8
通所介護	1477 100.0	1094 74.1	317 21.5	24 1.6	19 1.3	23 1.6
4時間未満	144 100.0	118 81.9	21 14.6	3 2.1	1 0.7	1 0.7
4時間以上	1333 100.0	976 73.2	296 22.2	21 1.6	18 1.4	22 1.7
地域密着型通所介護	1428 100.0	1092 76.5	263 18.4	22 1.5	21 1.5	30 2.1
4時間未満	440 100.0	340 77.3	79 18.0	9 2.0	8 1.8	4 0.9
4時間以上	988 100.0	752 76.1	184 18.6	13 1.3	13 1.3	26 2.6
認知症対応型通所介護	214 100.0	152 71.0	54 25.2	2 0.9	2 0.9	4 1.9
4時間未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4時間以上	214 100.0	152 71.0	54 25.2	2 0.9	2 0.9	4 1.9

(41) 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーへの情報提供を行う頻度

Q41 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーへの情報提供を行う頻度についておうかがいします。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーへの情報提供を行う頻度をみると、いずれも「月に1回程度」が6割以上ともっとも割合が高くなっていた。

図表 146 Q41 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーへの情報提供を行う頻度 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	サービス提供日ごと	週に1回程度	2週に1回程度	月に1回程度	その他	担当ケアマネジャーから求めがない限りは、情報提供は行わない
全体	3133 100.0	125 4.0	261 8.3	373 11.9	2056 65.6	291 9.3	27 0.9
通所介護	1479 100.0	65 4.4	135 9.1	182 12.3	943 63.8	140 9.5	14 0.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	50 3.5	107 7.5	164 11.4	980 68.2	122 8.5	13 0.9
認知症対応型通所介護	218 100.0	10 4.6	19 8.7	27 12.4	133 61.0	29 13.3	0 0.0

Q41-1 (Q41s2) 【Q41で「6.担当ケアマネジャーから求めがない限りは、情報提供は行わない」以外を選択した場合】利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーに情報提供を行う内容についておうかがいします。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーに情報提供を行う内容をみると、いずれも「通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所での様子」がもっとも割合が高く、次いで「身体状況の変化」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「家族介護者の状況の変化」が他に比べ割合が高くなっており、利用者・家族の社会的な支援にも力を入れていることがうかがえる。

図表 147 Q41-1(Q41s2)利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーに情報提供を行う内容 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所での様子	生活意欲の変化	身体状況の変化	生活課題の変化	家族介護者の状況の変化	当該利用者にとって有効と考えられるサービスプログラム(機能訓練・レクリエーションメニュー等)	その他	累計(n) %
全体	3106 100.0	2966 95.5	2001 64.4	2802 90.2	1765 56.8	1672 53.8	977 31.5	37 1.2	12220 393.4
通所介護	1465 100.0	1403 95.8	952 65.0	1325 90.4	826 56.4	800 54.6	487 33.2	9 0.6	5802 396.0
地域密着型通所介護	1423 100.0	1354 95.2	911 64.0	1284 90.2	814 57.2	725 50.9	426 29.9	23 1.6	5537 389.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	209 95.9	138 63.3	193 88.5	125 57.3	147 67.4	64 29.4	5 2.3	881 404.1

(42) 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容

Q42 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容についておうかがいします。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容をみると、いずれも「身体状況の変化」がもっとも割合が高くなっていました。また、認知症対応型通所介護では、「家族介護者の状況の変化」が他に比べ割合が高くなっており、利用者・家族の社会的な支援を重視していることがうかがえる。

図表 148 Q42 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	他サービスの利用状況	生活意欲の変化	身体状況の変化	生活課題の変化	家族介護者の状況の変化	当該利用者にとって有効と考えられるサービスプログラム(機能訓練・レクリエーションメニュー等)	貴事業所を利用することにより得られたと思われる効果	その他	累計 (n) %
全体	3133 100.0	1984 63.3	2021 64.5	2612 83.4	2040 65.1	2209 70.5	757 24.2	1366 43.6	36 1.1	13025 415.7
通所介護	1479 100.0	948 64.1	969 65.5	1254 84.8	986 66.7	1079 73.0	392 26.5	613 41.4	13 0.9	6254 422.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	884 61.6	910 63.4	1181 82.2	908 63.2	955 66.5	313 21.8	657 45.8	18 1.3	5826 405.7
認知症対応型通所介護	218 100.0	152 69.7	142 65.1	177 81.2	146 67.0	175 80.3	52 23.9	96 44.0	5 2.3	945 433.5

V. 認知症への対応について

(43) 認知症状のある利用者へのサービス提供

Q43 貴事業所では、認知症状のある利用者へのサービス提供を行っていますか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者へのサービス提供の実施状況をみると、いずれも「行っている」が9割以上と割合が高くなっていた。

図表 149 Q43 認知症状のある利用者へのサービス提供の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	3133 100.0	2887 92.1	246 7.9
通所介護	1479 100.0	1377 93.1	102 6.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	1292 90.0	144 10.0
認知症対応型通所介護	218 100.0	218 100.0	0 0.0

(44) 認知症状のある利用者に対して、行っているアセスメント

Q44 貴事業所では、認知症状のある利用者に対して、どのようなアセスメントを行っていますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対して、行っているアセスメントをみると、認知症対応型通所介護において「認知症高齢者の日常生活自立度」「認知症行動障害尺度(DBD13: Dementia Behavior turbance Scale)」が他に比べもっとも割合が高くなっていた。

図表 150 Q44 認知症状のある利用者に対して、行っているアセスメント [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	機能的自立度評価表(FIM)	Barthel Index	認知症高齢者の日常生活自立度 ※「認知症高齢者の日常生活自立度」について、主治医意見書、認定調査票とは別途貴事業所独自で実施している場合	認知症行動障害尺度(DBD13: Dementia Behavior turbance Scale)	Vitarty Index	その他	アセスメントは行っていない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	388 13.4	786 27.2	1108 38.4	224 7.8	226 7.8	246 8.5	1062 36.8	4040 139.9
通所介護	1377 100.0	181 13.1	477 34.6	538 39.1	122 8.9	152 11.0	106 7.7	480 34.9	2056 149.3
地域密着型通所介護	1292 100.0	176 13.6	263 20.4	443 34.3	65 5.0	50 3.9	107 8.3	541 41.9	1645 127.3
認知症対応型通所介護	218 100.0	31 14.2	46 21.1	127 58.3	37 17.0	24 11.0	33 15.1	41 18.8	339 155.5

(45) 認知症状のある利用者に対してアセスメントを行う際に参考としている評価指標

Q45【Q44で「7.アセスメントは行っていない」以外を選択した場合】貴事業所では、認知症状のある利用者に対してアセスメントを行うにあたり、参考としている評価指標がありますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対してアセスメントを行う際に参考としている評価指標をみると、いずれも「改訂長谷川式認知症スケール（Hasegawa's Dementia Scale-Revised：HDS-R）」がもっとも割合が高く、次いで「MMSE（Mini-Mental State Examination）」となっていた。また、認知症対応型通所介護では、「MMSE（Mini-Mental State Examination）」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 151 Q45 認知症状のある利用者に対してアセスメントを行う際に参考としている評価指標
[単位：(上段)実数, (下段)%]

	全体	改訂長谷川式認知症スケール (Hasegawa's Dementia Scale-Revised：HDS-R)	Mini-Cog	MoCA (Montreal Cognitive Assessment)	DASK-21 (Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-21 items)	MMSE (Mini-Mental State Examination)	ABC dementia scale	NPI (Neuropsychiatric inventory)	その他	累計 (n) %
全体	1825 100.0	1579 86.5	5 0.3	7 0.4	20 1.1	342 18.7	5 0.3	4 0.2	200 11.0	2162 118.5
通所介護	897 100.0	781 87.1	2 0.2	2 0.2	6 0.7	176 19.6	2 0.2	2 0.2	83 9.3	1054 117.5
地域密着型通所介護	751 100.0	649 86.4	3 0.4	5 0.7	13 1.7	117 15.6	3 0.4	0 0.0	96 12.8	886 118.0
認知症対応型通所介護	177 100.0	149 84.2	0 0.0	0 0.0	1 0.6	49 27.7	0 0.0	2 1.1	21 11.9	222 125.4

Q45-1(Q45s2)【Q44で「7.アセスメントは行っていない」以外を選択した場合】参考としている評価指標及び評価結果について実際に評価を行った方（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、参考としている評価指標及び評価結果について実際に評価を行った方をみると、「かかりつけ医」が8割以上と最も割合が高くなっていた。

図表 152 Q45-1(Q45s2)参考としている評価指標及び評価結果について実際に評価を行った方
[単位：(上段)実数, (下段)%]

	全体	かかりつけ医	認知症疾患医療センター	かかりつけ医、認知症疾患医療センター以外の医療機関	初期集中支援チーム	他の介護保険サービス事業所等	その他	累計 (n) %
全体	1825 100.0	1513 82.9	100 5.5	145 7.9	31 1.7	262 14.4	245 13.4	2296 125.8
通所介護	897 100.0	743 82.8	38 4.2	78 8.7	11 1.2	134 14.9	123 13.7	1127 125.6
地域密着型通所介護	751 100.0	627 83.5	43 5.7	45 6.0	10 1.3	106 14.1	98 13.0	929 123.7
認知症対応型通所介護	177 100.0	143 80.8	19 10.7	22 12.4	10 5.6	22 12.4	24 13.6	240 135.6

(46) 認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の聞き取りを行う対象者

Q46 貴事業所では、認知症状のある利用者のアセスメントを行う際、どのような方に対して聞き取りを行っていますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の聞き取りを行う対象者をみると、いずれも「家族」が9割以上と最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」、「本人」であった。また、認知症対応型通所介護では、「他の介護保険サービス事業所」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 153 Q46 認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の聞き取りを行う対象者
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	本人	家族	ケアマネジャー	他の介護保険サービス事業所	かかりつけ医	医療機関 (かかりつけ医以外)	その他	特に聞き取りは行って いない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	2125 73.6	2652 91.9	2627 91.0	523 18.1	472 16.3	68 2.4	17 0.6	95 3.3	8579 297.2
通所介護	1377 100.0	1001 72.7	1269 92.2	1259 91.4	263 19.1	225 16.3	41 3.0	9 0.7	44 3.2	4111 298.5
地域密着型通所介護	1292 100.0	940 72.8	1172 90.7	1161 89.9	204 15.8	203 15.7	21 1.6	4 0.3	50 3.9	3755 290.6
認知症対応型通所介護	218 100.0	184 84.4	211 96.8	207 95.0	56 25.7	44 20.2	6 2.8	4 1.8	1 0.5	713 327.1

(47) 認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の情報収集内容

Q47【Q46で「8.特に聞き取りは行っていない」以外を選択した場合】貴事業所では、認知症状のある利用者のアセスメントを行う際、どのような内容について情報収集を行っていますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の情報収集内容をみると、認知症対応型通所介護では、多くの項目で、回答割合が他に比べ高くなっていた。

図表 154 Q47 認知症状のある利用者のアセスメントを行う際の情報収集内容
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	BPSDの改善、増悪時の状況	これまでの既往歴（認知症を除く）や生活歴について	認知症症状の初期から現在までの経過	自宅での利用者の生活の様子や、生活課題について	家族等が対応に苦慮している症状や、家族の生活状況について	自宅での利用者の生活の様子や家族等の対応について
全体	2792 100.0	1389 49.7	2478 88.8	1852 66.3	2562 91.8	2329 83.4	2323 83.2
通所介護	1333 100.0	675 50.6	1175 88.1	868 65.1	1231 92.3	1115 83.6	1119 83.9
地域密着型通所介護	1242 100.0	554 44.6	1092 87.9	809 65.1	1125 90.6	1021 82.2	1012 81.5
認知症対応型通所介護	217 100.0	160 73.7	211 97.2	175 80.6	206 94.9	193 88.9	192 88.5
	介護に伴う家族の負担度	医療機関での鑑別診断の結果や処方されている薬等について	これまでの介護保険サービスの利用状況について	若年性認知症特有の生活課題（就労意向の有無、経済基盤の確保方法、子どもの養育等）について	若年性認知症コールセンター、若年性認知症コーディネーターへの相談状況等について	その他	累計 (n) %
全体	1949 69.8	1705 61.1	1407 50.4	147 5.3	33 1.2	19 0.7	18193 651.6
通所介護	950 71.3	826 62.0	675 50.6	58 4.4	15 1.1	10 0.8	8717 653.9
地域密着型通所介護	817 65.8	719 57.9	592 47.7	61 4.9	12 1.0	7 0.6	7821 629.7
認知症対応型通所介護	182 83.9	160 73.7	140 64.5	28 12.9	6 2.8	2 0.9	1655 762.7

(48) 認知症状のある利用者に対するケアについての配慮事項

Q48 貴事業所では、認知症状のある利用者に対するケアについてどのような配慮を行っていますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対するケアについての配慮事項をみると、認知症対応型通所介護では、特に職員の配置や環境面に関する配慮事項の割合が他に比べて高くなっていました。

図表 155 Q48 認知症状のある利用者に対するケアについての配慮事項
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用者の話を、頭ごなしに否定したりせず、受け入れるようにしている	話しかける時は、目線の高さをあわせるようにしている	話しかける時は、ゆっくりしたペースではっきり話すようにしている	行動を促す時は、利用者に意思を確認し、同意を得るようにしている	利用者の利用当日の心身の状況にあわせて、見守りや積極的な介入など対応方法を変えるようにしている	職員配置について、なじみの関係を重視し、利用者が慣れている職員がケアを行うようにしている
全体	2887 100.0	2766 95.8	2489 86.2	2665 92.3	2530 87.6	2418 83.8	1251 43.3
通所介護	1377 100.0	1318 95.7	1211 87.9	1275 92.6	1192 86.6	1136 82.5	553 40.2
地域密着型通所介護	1292 100.0	1236 95.7	1074 83.1	1181 91.4	1127 87.2	1079 83.5	570 44.1
認知症対応型通所介護	218 100.0	212 97.2	204 93.6	209 95.9	211 96.8	203 93.1	128 58.7
	職員配置について、サービス提供時間中でも、場面転換を目的とした配置変更を行っている	事業所の環境について、見当識障害に配慮した表示や照明の工夫、スペース作り等を行っている	事業所の環境について、誤飲や異食を防ぐため、清潔保持・整理整頓を行っている	その他	特に配慮していることはない	累計 (n) %	
全体	1003 34.7	826 28.6	1831 63.4	29 1.0	7 0.2	17815 617.1	
通所介護	454 33.0	372 27.0	895 65.0	12 0.9	6 0.4	8424 611.8	
地域密着型通所介護	427 33.0	333 25.8	760 58.8	14 1.1	1 0.1	7802 603.9	
認知症対応型通所介護	122 56.0	121 55.5	176 80.7	3 1.4	0 0.0	1589 728.9	

(49) 認知症状のある利用者に対するアプローチ内容

Q49 貴事業所では、認知症状のある利用者に対して、どのようなアプローチを行っていますか。
(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対するアプローチ内容をみると、認知症対応型通所介護では他に比べ、多くの実施項目の割合が高くなっていました。

図表 156 Q49 貴事業所では、認知症状のある利用者に対するアプローチ内容
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	生理学に基づいたケア	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	学習療法	音楽療法	回想療法	園芸療法	料理療法
全体	2887 100.0	661 22.9	472 16.3	762 26.4	127 4.4	932 32.3	1334 46.2	1172 40.6	528 18.3	434 15.0
通所介護	1377 100.0	313 22.7	257 18.7	385 28.0	57 4.1	460 33.4	635 46.1	538 39.1	239 17.4	150 10.9
地域密着型通所介護	1292 100.0	298 23.1	197 15.2	295 22.8	53 4.1	373 28.9	544 42.1	491 38.0	192 14.9	196 15.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	50 22.9	18 8.3	82 37.6	17 7.8	99 45.4	155 71.1	143 65.6	97 44.5	88 40.4
	アニマルセラピー	アロマセラピー	ユマニチュード	タクティールケア	バリデーション	リアリティーオリエンテーション	コミュニケーションロボットの導入	その他	特にアプローチは行っていない	累計 (n) %
全体	109 3.8	118 4.1	310 10.7	77 2.7	107 3.7	104 3.6	22 0.8	101 3.5	549 19.0	7919 274.3
通所介護	37 2.7	39 2.8	130 9.4	30 2.2	51 3.7	47 3.4	11 0.8	38 2.8	263 19.1	3680 267.2
地域密着型通所介護	52 4.0	52 4.0	130 10.1	34 2.6	39 3.0	39 3.0	9 0.7	58 4.5	270 20.9	3322 257.1
認知症対応型通所介護	20 9.2	27 12.4	50 22.9	13 6.0	17 7.8	18 8.3	2 0.9	5 2.3	16 7.3	917 420.6

(50) 若年性認知症利用者の受入

Q50 貴事業所では、若年性認知症利用者の受入を行っていますか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、若年性認知症利用者の受入の実施状況をみると、いずれも「行っていない」の割合が高くなっていました。また、認知症対応型通所介護において、若年性認知症利用者の受入を「行っている」の割合が他に比べ高くなっていました。

図表 157 Q50 若年性認知症利用者の受入の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	2887 100.0	301 10.4	2586 89.6
通所介護	1377 100.0	132 9.6	1245 90.4
地域密着型通所介護	1292 100.0	123 9.5	1169 90.5
認知症対応型通所介護	218 100.0	46 21.1	172 78.9

<法人形態別>

さらに法人形態別にみると、明らかな傾向はみられなかった。

図表 158 Q50 若年性認知症利用者の受入の実施状況 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	2887 100.0	301 10.4	2586 89.6
通所介護	1377 100.0	132 9.6	1245 90.4
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	361 100.0	27 7.5	334 92.5
医療法人	102 100.0	5 4.9	97 95.1
営利法人（会社）	744 100.0	84 11.3	660 88.7
特定非営利活動法人（NPO法人）	18 100.0	1 5.6	17 94.4
社会福祉協議会	67 100.0	6 9.0	61 91.0
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	5 100.0	0 0.0	5 100.0
その他	80 100.0	9 11.3	71 88.8
地域密着型通所介護	1292 100.0	123 9.5	1169 90.5
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	119 100.0	8 6.7	111 93.3
医療法人	47 100.0	5 10.6	42 89.4
営利法人（会社）	942 100.0	92 9.8	850 90.2
特定非営利活動法人（NPO法人）	90 100.0	8 8.9	82 91.1
社会福祉協議会	17 100.0	2 11.8	15 88.2
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	3 100.0	2 66.7	1 33.3
その他	74 100.0	6 8.1	68 91.9
認知症対応型通所介護	218 100.0	46 21.1	172 78.9
社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）	77 100.0	12 15.6	65 84.4
医療法人	26 100.0	8 30.8	18 69.2
営利法人（会社）	83 100.0	19 22.9	64 77.1
特定非営利活動法人（NPO法人）	9 100.0	3 33.3	6 66.7
社会福祉協議会	7 100.0	1 14.3	6 85.7
都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合	1 100.0	0 0.0	1 100.0
その他	15 100.0	3 20.0	12 80.0

Q50-1 (Q50s2) 【Q50で「1.行っている」を選択した場合】若年性認知症の利用者へのサポートについて教えてください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、若年性認知症の利用者へのサポート内容をみると、認知症対応型通所介護では他のサービス種別に比べ「他の利用者とは異なるケアや活動プログラムを準備している」、「若年性認知症利用者に特化した家族へのサポートを行っている」等、他に比べ割合が高いサポートが複数みられる。

図表 159 Q50-1(Q50s2)若年性認知症の利用者へのサポート内容 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	他の利用者とは異なるケアや活動プログラムを準備している	利用者本人の社会参加の機会を提供している	若年性認知症利用者に特化した家族へのサポートを行っている	認知症地域支援推進員と連携している	若年性認知症コーディネーターと連携している	専門医療、相談機関への紹介を行っている	地域の社会資源の紹介、情報提供を行っている	その他	特にサポートしていません	累計 (n) %
全体	301 100.0	123 40.9	136 45.2	54 17.9	11 3.7	11 3.7	28 9.3	26 8.6	14 4.7	73 24.3	476 158.1
通所介護	132 100.0	45 34.1	60 45.5	20 15.2	3 2.3	1 0.8	7 5.3	5 3.8	2 1.5	41 31.1	184 139.4
地域密着型通所介護	123 100.0	52 42.3	56 45.5	20 16.3	6 4.9	6 4.9	9 7.3	9 7.3	8 6.5	26 21.1	192 156.1
認知症対応型通所介護	46 100.0	26 56.5	20 43.5	14 30.4	2 4.3	4 8.7	12 26.1	12 26.1	4 8.7	6 13.0	146 317.4

(51) 認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の聞き取りを行う対象者

Q51 貴事業所では、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際、どのような方に対して聞き取りを行っていますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の聞き取りを行う対象者をみると、いずれも「家族」が9割以上ともっとも割合が高く、次いで、通所介護、地域密着型通所介護では「ケアマネジャー」、認知症対応型通所介護では「本人」であった。

図表 160 Q51 認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の聞き取りを行う対象者 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	本人	家族	ケアマネジャー	他の介護保険サービス事業所	かかりつけ医	医療機関(かかりつけ医以外)	その他	特に聞き取りは行っていません	累計 (n) %
全体	2887 100.0	2299 79.6	2705 93.7	2508 86.9	622 21.5	439 15.2	62 2.1	19 0.7	67 2.3	8721 302.1
通所介護	1377 100.0	1080 78.4	1294 94.0	1210 87.9	318 23.1	217 15.8	33 2.4	9 0.7	31 2.3	4192 304.4
地域密着型通所介護	1292 100.0	1026 79.4	1203 93.1	1109 85.8	245 19.0	179 13.9	19 1.5	6 0.5	33 2.6	3820 295.7
認知症対応型通所介護	218 100.0	193 88.5	208 95.4	189 86.7	59 27.1	43 19.7	10 4.6	4 1.8	3 1.4	709 325.2

(52) 認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の情報収集内容

Q52【Q51で「8.特に聞き取りは行っていない」以外を選択した場合】貴事業所では、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際、どのような内容について情報収集を行っていますか。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の情報収集内容をみると、認知症対応型通所介護では多くの項目で、回答割合が他に比べ高くなっていた。

図表 161 Q52 認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際の情報収集内容
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	サービス提供の実施状況	通所介護計画書やケアプラン等に基づく目標の達成状況	BPSDの改善、増悪時の状況	自宅での利用者の生活の様子や、生活課題について	家族等が対応に苦慮している症状や、家族の生活状況	介護に伴う家族の負担度	自宅での利用者の生活の様子や家族等の対応状況
全体	2820 100.0	2334 82.8	2087 74.0	1299 46.1	2371 84.1	2152 76.3	1928 68.4	2095 74.3
通所介護	1346 100.0	1121 83.3	1003 74.5	617 45.8	1134 84.2	1021 75.9	937 69.6	998 74.1
地域密着型通所介護	1259 100.0	1024 81.3	909 72.2	533 42.3	1048 83.2	953 75.7	826 65.6	925 73.5
認知症対応型通所介護	215 100.0	189 87.9	175 81.4	149 69.3	189 87.9	178 82.8	165 76.7	172 80.0
	医療機関での鑑別診断の結果や処方されている薬等について	他の介護保険サービスの利用状況について	若年性認知症特有の生活課題(就労意向の有無、経済基盤の確保方法、子どもの養育等)について	若年性認知症コールセンター、若年性認知症コーディネーターへの相談状況等	その他	累計(n) %		
全体	1354 48.0	942 33.4	66 2.3	11 0.4	15 0.5	16654 590.6		
通所介護	652 48.4	447 33.2	24 1.8	3 0.2	7 0.5	7964 591.7		
地域密着型通所介護	575 45.7	401 31.9	30 2.4	3 0.2	7 0.6	7234 574.6		
認知症対応型通所介護	127 59.1	94 43.7	12 5.6	5 2.3	1 0.5	1456 677.2		

Q52-1(Q52s2) 貴事業所では、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行った内容を踏まえ、どのようにケア等へ反映を行っていますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行った内容を踏まえた、ケア等へ反映方法をみると、認知症対応型通所介護では、「評価指標等を使用して再アセスメントを行っている」、「通所介護計画書の見直しを行っている」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 162 Q52-1(Q52s2)認知症状のある利用者に対してモニタリングを行った内容を踏まえた、ケア等へ反映方法 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	評価指標等を使用して再アセスメントを行っている	家族等との情報共有や要因分析を行っている	通所介護計画書の見直しを行っている	ケアマネジャーへの情報提供や、ケアプランの見直しを相談している	その他	特にケアへの反映は行っていない	累計 (n) %
全体	2820 100.0	849 30.1	1814 64.3	2064 73.2	2193 77.8	21 0.7	50 1.8	6991 247.9
通所介護	1346 100.0	409 30.4	842 62.6	999 74.2	1045 77.6	8 0.6	26 1.9	3329 247.3
地域密着型通所介護	1259 100.0	358 28.4	823 65.4	889 70.6	970 77.0	12 1.0	24 1.9	3076 244.3
認知症対応型通所介護	215 100.0	82 38.1	149 69.3	176 81.9	178 82.8	1 0.5	0 0.0	586 272.6

(53) 認知症ケアに携わる職員の認知症介護実践研修受講状況

Q53 貴事業所の認知症ケアに携わる職員の認知症介護実践研修受講状況についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、事業所の認知症ケアに携わる職員の認知症介護実践研修受講状況をみると、認知症対応型通所介護では、「1. 認知症介護実践者研修を受講している」、「2. 認知症介護実践リーダー研修を受講している」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 163 Q53 貴事業所の認知症ケアに携わる職員の認知症介護実践研修受講状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	1. 認知症介護実践者研修を受講している	2. 認知症介護実践リーダー研修を受講している	3. 認知症介護指導者養成研修を受講している	4. その他	5. 上記「1~3」の認知症介護に係る研修は受講していない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	1374 47.6	382 13.2	103 3.6	151 5.2	1335 46.2	3345 115.9
通所介護	1377 100.0	664 48.2	176 12.8	43 3.1	66 4.8	626 45.5	1575 114.4
地域密着型通所介護	1292 100.0	513 39.7	123 9.5	43 3.3	70 5.4	695 53.8	1444 111.8
認知症対応型通所介護	218 100.0	197 90.4	83 38.1	17 7.8	15 6.9	14 6.4	326 149.5

(54) 事業所の認知症ケア力向上の取組

Q54 貴事業所の認知症ケア力向上の取組についてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、事業所の認知症ケア力向上の取組をみると、認知症対応型通所介護では、多くの項目で、割合が他に比べ高くなっていた。

図表 164 Q54 貴事業所の認知症ケア力向上の取組 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	事業所内で 研修会やセ ミナーを実 施している	事業所内で 個別のカン ファレンス やケアの検 証を行って いる	事業所外の 研修会やセ ミナーへ職 員が参加し ている	他の事業所 への見学や 職員の交流 を行っている	その他	認知症ケア 力向上の取 組は行って いない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	1778 61.6	1240 43.0	1105 38.3	209 7.2	47 1.6	360 12.5	4739 164.1
通所介護	1377 100.0	862 62.6	578 42.0	513 37.3	73 5.3	16 1.2	165 12.0	2207 160.3
地域密着型通所介護	1292 100.0	755 58.4	520 40.2	461 35.7	107 8.3	28 2.2	189 14.6	2060 159.4
認知症対応型通所介護	218 100.0	161 73.9	142 65.1	131 60.1	29 13.3	3 1.4	6 2.8	472 216.5

(55) 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、認知症状への対応が困難である等との理由で、貴事業所の利用を断ったことの有無

Q55 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、認知症状への対応が困難である等との理由で、貴事業所の利用を断ったことはありますか。ある場合は事例数もご記載ください。（令和3年7月～12月の状況）（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、認知症状への対応が困難である等との理由で、貴事業所の利用を断ったことの有無をみると、いずれも「利用を断ったことはない」が9割以上と割合が高くなっていた。

図表 165 Q55 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、認知症状への対応が困難である等との理由で、貴事業所の利用を断ったことの有無 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	利用を断ったことがある	利用を断ったことはない
全体	2887 100.0	125 4.3	2762 95.7
通所介護	1377 100.0	68 4.9	1309 95.1
地域密着型通所介護	1292 100.0	47 3.6	1245 96.4
認知症対応型通所介護	218 100.0	10 4.6	208 95.4

Q55-1 (Q55s2) 【Q55で「1.利用を断ったことがある」を選択した場合】貴事業所の利用を断った事例について、状況の詳細をうかがいます。（複数回答）

事業所の利用を断った事例について、状況の詳細をみると、全体では「対象者のBPSDへの対応が困難と判断したため」がもっとも割合が高く、次いで、「当該認知症ケアを行うための環境の安全性が確保できないため」、「すでに認知症ケアが必要な方が多く利用しており、配置している職員だけでは人手不足で対応できないと考えられたため」となっていた。

図表 166 Q55-1(Q55s2.)貴事業所の利用を断った事例について、状況の詳細 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	対象者のBPSDへの対応が困難と判断したため	若年性認知症への対応が困難と判断したため	すでに認知症ケアが必要な方が多く利用しており、配置している職員だけでは人手不足で対応できないと考えられたため	配置している職員には、当該認知症ケアを行う知識や経験が不足していたため	当該認知症ケアを行うための環境の安全性が確保できないため	その他	累計(n) %
全体	125 100.0	80 64.0	4 3.2	34 27.2	10 8.0	39 31.2	23 18.4	190 152.0
通所介護	68 100.0	43 63.2	2 2.9	24 35.3	7 10.3	21 30.9	10 14.7	107 157.4
地域密着型通所介護	47 100.0	32 68.1	2 4.3	7 14.9	3 6.4	16 34.0	8 17.0	68 144.7
認知症対応型通所介護	10 100.0	5 50.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	5 50.0	15 150.0

Q55-2 (Q55s3) 【Q55で「1.利用を断ったことがある」を選択した場合】貴事業所の利用を断った対象者のBPSDについて教えてください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、貴事業所の利用を断った対象者のBPSDをみると、全体では、「暴言」がもっとも割合が高く、次いで「暴力」、「徘徊」となっていた。

図表 167 Q55-2(Q55s3) 貴事業所の利用を断った対象者のBPSD [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	暴力	暴言	徘徊	拒絶	不潔行為	抑うつ
全体	125 100.0	64 51.2	75 60.0	58 46.4	40 32.0	14 11.2	7 5.6
通所介護	68 100.0	43 63.2	45 66.2	36 52.9	21 30.9	9 13.2	2 2.9
地域密着型通所介護	47 100.0	15 31.9	26 55.3	20 42.6	17 36.2	4 8.5	5 10.6
認知症対応型通所介護	10 100.0	6 60.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	不安	幻覚	妄想	睡眠障害	その他	累計 (n)	
全体	17 13.6	23 18.4	29 23.2	7 5.6	16 12.8	350	280.0
通所介護	8 11.8	7 10.3	11 16.2	3 4.4	9 13.2	194	285.3
地域密着型通所介護	9 19.1	13 27.7	16 34.0	3 6.4	4 8.5	132	280.9
認知症対応型通所介護	0 0.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	24	240.0

(56) 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことの有無

Q56 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことはありますか。ある場合は事例数もご記載ください。(令和3年7月~12月の状況)(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことの有無をみると、いずれも「他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことはない」の割合が高くなっていた。また、認知症対応型通所介護では、「他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことがある」が他に比べ割合が高くなっていた。

図表 168 Q56 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことの有無 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことがある	他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことはない
全体	2887 100.0	794 27.5	2093 72.5
通所介護	1377 100.0	384 27.9	993 72.1
地域密着型通所介護	1292 100.0	308 23.8	984 76.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	102 46.8	116 53.2

Q56-1 (Q56s2) 【Q56で「1. 他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことがある」を選択した場合】他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた事例について、状況の詳細をうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた事例について、状況の詳細をみると、認知症対応型通所介護では、「利用を受け入れた対象者のBPSDへの対応が可能と判断したため」、「すでに認知症ケアが必要な方が多く利用しているが、配置している職員で対応できると考えられたため」、「配置している職員に当該認知症ケアを行う知識や経験があったため」「当該認知症ケアを行うための環境の安全性を確保できるため」の割合が他に比べ高くなっており、認知症ケアに対する役割・機能を発揮していることがうかがえる。

図表 169 Q56-1(Q56s2)他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた事例について、状況の詳細 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用を受け入れた対象者のBPSDへの対応が可能と判断したため	若年性認知症への対応が可能であるため	すでに認知症ケアが必要な方が多く利用しているが、配置している職員で対応できると考えられたため	配置している職員に当該認知症ケアを行う知識や経験があったため	当該認知症ケアを行うための環境の安全性を確保できるため	その他	累計 (n) %
全体	794 100.0	444 55.9	59 7.4	453 57.1	295 37.2	207 26.1	76 9.6	1534 193.2
通所介護	384 100.0	190 49.5	26 6.8	218 56.8	117 30.5	92 24.0	40 10.4	683 177.9
地域密着型通所介護	308 100.0	176 57.1	24 7.8	169 54.9	120 39.0	77 25.0	30 9.7	596 193.5
認知症対応型通所介護	102 100.0	78 76.5	9 8.8	66 64.7	58 56.9	38 37.3	6 5.9	255 250.0

Q56-2 (Q56s3) 【Q56-1で「1. 利用を受け入れた対象者のBPSDへの対応が可能と判断したため」を選択した場合】他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた対象者のBPSDについて教えてください。(複数回答)

他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた対象者のBPSDをみると、全体では、「徘徊」がもっとも割合が高く、次いで「暴言」、「拒絶」となっていた。事業所のサービス種別ごとにみると、認知症対応型通所介護では「暴力」、「拒絶」の割合が他に比べ高くなっていった。

図表 170 Q56-2(Q56s3)他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた対象者のBPSD [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	暴力	暴言	徘徊	拒絶	不潔行為	抑うつ
全体	444 100.0	189 42.6	282 63.5	292 65.8	210 47.3	100 22.5	112 25.2
通所介護	190 100.0	83 43.7	126 66.3	130 68.4	76 40.0	47 24.7	46 24.2
地域密着型通所介護	176 100.0	65 36.9	110 62.5	107 60.8	86 48.9	34 19.3	50 28.4
認知症対応型通所介護	78 100.0	41 52.6	46 59.0	55 70.5	48 61.5	19 24.4	16 20.5
	不安	幻覚	妄想	睡眠障害	その他	累計 (n) %	
全体	177 39.9	128 28.8	161 36.3	59 13.3	27 6.1	1737 391.2	
通所介護	66 34.7	52 27.4	68 35.8	22 11.6	12 6.3	728 383.2	
地域密着型通所介護	81 46.0	50 28.4	67 38.1	31 17.6	10 5.7	691 392.6	
認知症対応型通所介護	30 38.5	26 33.3	26 33.3	6 7.7	5 6.4	318 407.7	

(57) 貴事業所にて、認知症の人を地域で支援するために実施している取組

Q57 貴事業所にて、認知症の人を地域で支援するために実施している取組についてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症の人を地域で支援するために実施している取組をみると、認知症対応型通所介護では、「認知症カフェの開設」、「認知症の人やその家族向けの相談窓口の設置」、「認知症サポーター養成講座の開催」、「認知症サポーター養成講座以外の、地域住民向けの認知症対応講習会等の実施」の割合が他に比べ高くなっており、地域支援の取組について力を入れていることがうかがえる。

図表 171 Q57 貴事業所にて、認知症の人を地域で支援するために実施している取組
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	認知症カフェの開設	認知症の人やその家族向けの相談窓口の設置	認知症サポーター養成講座の開催	認知症サポーター養成講座以外の、地域住民向けの認知症対応講習会等の実施	認知症の人の見守りネットワークの構築	認知症の人を支援するボランティア団体の構築	その他	実施している取組はない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	163 5.6	390 13.5	185 6.4	85 2.9	147 5.1	33 1.1	95 3.3	2111 73.1	3209 111.2
通所介護	1377 100.0	67 4.9	141 10.2	99 7.2	35 2.5	60 4.4	13 0.9	33 2.4	1053 76.5	1501 109.0
地域密着型通所介護	1292 100.0	51 3.9	172 13.3	54 4.2	29 2.2	70 5.4	14 1.1	46 3.6	966 74.8	1402 108.5
認知症対応型通所介護	218 100.0	45 20.6	77 35.3	32 14.7	21 9.6	17 7.8	6 2.8	16 7.3	92 42.2	306 140.4

Q57-1 (Q57s2) 【Q57で「8.実施している取組はない」以外を選択した場合】Q57の取組を実施することとした理由についてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症の人を地域で支援するための取組を実施することとした理由をみると、認知症対応型通所介護では「認知症の人やその家族の地域での生活をよりよいものにするため」、「自事業所のもつ知見を地域に還元するべきだと考えたため」、「自事業所の利用者やサービス内容を地域住民にも知ってほしいと考えたため」の割合が他に比べ高くなっており、事業所から自発的に地域支援の取組を行っていることがうかがえる。

図表 172 Q57-1(Q57s2)Q57の認知症の人を地域で支援するための取組を実施することとした理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用者やその家族等から要望があったため	地域住民から要望があったため	自治体から要請があったため	認知症の人やその家族の地域での生活をよりよいものにするため	自事業所のもつ知見を地域に還元するべきだと考えたため	自事業所の利用者やサービス内容を地域住民にも知ってほしいと考えたため	その他	累計 (n) %
全体	776 100.0	219 28.2	125 16.1	178 22.9	479 61.7	266 34.3	238 30.7	43 5.5	1548 199.5
通所介護	324 100.0	86 26.5	51 15.7	84 25.9	191 59.0	102 31.5	87 26.9	20 6.2	621 191.7
地域密着型通所介護	326 100.0	106 32.5	48 14.7	68 20.9	200 61.3	104 31.9	92 28.2	16 4.9	634 194.5
認知症対応型通所介護	126 100.0	27 21.4	26 20.6	26 20.6	88 69.8	60 47.6	59 46.8	7 5.6	293 232.5

(58) 貴事業所にて、連携している認知症の人を支援する団体や事業

Q58 貴事業所にて、連携している認知症の人を支援する団体や事業についてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、事業所にて、連携している認知症の人を支援する団体や事業をみると、認知症対応型通所介護では「認知症カフェ」、「認知症サポーター養成」、「自治体の見守りネットワーク」、「地域住民主体のグループ、活動団体」の割合が他に比べ高くなっており、ネットワーク機能が高いことがうかがえる。

図表 173 Q58 貴事業所にて、連携している認知症の人を支援する団体や事業
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	家族等が主体的に構成している団体や組織	認知症カフェ	認知症サポーター養成	自治体の見守りネットワーク	地域住民主体のグループ、活動団体	福祉系大学、専門学校、高等学校等教育機関（認知症介護実践研修主催を含む）	その他	連携している団体や事業はない	累計 (n) %
全体	2887 100.0	104 3.6	284 9.8	315 10.9	388 13.4	201 7.0	77 2.7	73 2.5	1982 68.7	3424 118.6
通所介護	1377 100.0	42 3.1	130 9.4	164 11.9	188 13.7	73 5.3	40 2.9	30 2.2	963 69.9	1630 118.4
地域密着型通所介護	1292 100.0	48 3.7	99 7.7	109 8.4	158 12.2	92 7.1	22 1.7	30 2.3	933 72.2	1491 115.4
認知症対応型通所介護	218 100.0	14 6.4	55 25.2	42 19.3	42 19.3	36 16.5	15 6.9	13 6.0	86 39.4	303 139.0

Q58-1 (Q58s2) 【Q58で「8.連携している団体や事業はない」以外を選択した場合】貴事業所にて認知症の人を支援する団体や事業と連携している取組についてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症の人を支援する団体や事業と連携している取組をみると、認知症対応型通所介護では「認知症カフェ」、「認知症の人やその家族向けの相談窓口」の割合が他に比べ高くなっていった。また、地域密着型通所介護では「認知症の人の見守りネットワーク」の割合が他に比べ高くなっていった。

図表 174 Q58-1(Q58s2) 認知症の人を支援する団体や事業と連携している取組
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	認知症カフェ	認知症の人やその家族向けの相談窓口	認知症サポーター養成	地域住民向けの認知症対応講習会等	認知症の人の見守りネットワーク	認知症の人を支援するボランティア	大学、専門学校、高等学校、中学校、小学校等教育機関における福祉教育への協力	その他	累計 (n) %
全体	905 100.0	275 30.4	253 28.0	284 31.4	130 14.4	326 36.0	88 9.7	80 8.8	71 7.8	1507 166.5
通所介護	414 100.0	125 30.2	100 24.2	149 36.0	51 12.3	145 35.0	38 9.2	40 9.7	34 8.2	682 164.7
地域密着型通所介護	359 100.0	96 26.7	103 28.7	94 26.2	54 15.0	145 40.4	35 9.7	28 7.8	30 8.4	585 163.0
認知症対応型通所介護	132 100.0	54 40.9	50 37.9	41 31.1	25 18.9	36 27.3	15 11.4	12 9.1	7 5.3	240 181.8

Q58-2 (Q58s3) 【Q58で「8.連携している団体や事業はない」以外を選択した場合】貴事業所にて認知症の人を支援する団体や事業と連携を行うこととした理由についてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症の人を支援する団体や事業と連携を行うこととした理由をみると、認知症対応型通所介護では「認知症の人やその家族の地域での生活をよりよいものにするため」、「自事業所のもつ知見を地域に還元するべきだと考えたため」、「自事業所の利用者やサービス内容を地域住民にも知ってほしいと考えたため」の割合が他に比べ高くなっており、事業所から自発的に地域支援の取組を行っていることがうかがえる。

図表 175 Q58-2(Q58s3) 認知症の人を支援する団体や事業と連携を行うこととした理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	取組の実施者から依頼があったため	利用者やその家族等から要望があったため	地域住民から要望があったため	自治体から要請があったため	認知症の人やその家族の地域での生活をよりよいものにするため	自事業所のもつ知見を地域に還元するべきだと考えたため	自事業所の利用者やサービス内容を地域住民にも知ってほしいと考えたため	その他	累計 (n) %
全体	905 100.0	275 30.4	182 20.1	148 16.4	237 26.2	439 48.5	270 29.8	228 25.2	59 6.5	1838 203.1
通所介護	414 100.0	128 30.9	67 16.2	64 15.5	110 26.6	195 47.1	108 26.1	81 19.6	33 8.0	786 189.9
地域密着型通所介護	359 100.0	108 30.1	85 23.7	60 16.7	97 27.0	165 46.0	104 29.0	90 25.1	22 6.1	731 203.6
認知症対応型通所介護	132 100.0	39 29.5	30 22.7	24 18.2	30 22.7	79 59.8	58 43.9	57 43.2	4 3.0	321 243.2

(59) 認知症状のある利用者の家族等介護者への支援の実施状況

Q59 貴事業所では、認知症状のある利用者の家族等介護者への支援を行っていますか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者の家族等介護者への支援の実施状況をみると、いずれも「行っている」が5割以上と割合が高く、認知症対応型通所介護では7割以上と他に比べ割合が高くなっていた。

図表 176 Q59 認知症状のある利用者の家族等介護者への支援の実施状況
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	行っている	行っていない
全体	2887 100.0	1610 55.8	1277 44.2
通所介護	1377 100.0	763 55.4	614 44.6
地域密着型通所介護	1292 100.0	682 52.8	610 47.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	165 75.7	53 24.3

Q59-1 (Q59s2) 【Q59で「1. 行っている」を選択した場合】認知症状のある利用者の家族等介護者へどのような支援を行っていますか。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、認知症状のある利用者の家族等介護者へ行っている支援の詳細をみると、いずれも「送迎時に家族の介護負担の状況や生活上の課題等について相談に応じている」がもっとも割合が高く、次いで「在宅における認知症ケアのアドバイスを行っている」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「専門医療、相談機関への紹介を行っている」、「認知症の人を支援する団体や事業の紹介を行っている」、「地域の社会資源の紹介、情報提供を行っている」の割合が他に比べ高くなっており、ネットワークを活用した支援に力を入れていることがうかがえる。

図表 177 Q59-1 (Q59s2) 認知症状のある利用者の家族等介護者へ行っている支援の詳細
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	在宅における認知症ケアのアドバイスを行っている	専門医療、相談機関への紹介を行っている	送迎時に家族の介護負担の状況や生活上の課題等について相談に応じている	認知症の人を支援する団体や事業の紹介を行っている	地域の社会資源の紹介、情報提供を行っている	保険外サービスによる別途サービス提供を行っている	その他	累計 (n) %
全体	1610 100.0	1194 74.2	448 27.8	1413 87.8	140 8.7	356 22.1	90 5.6	18 1.1	3659 227.3
通所介護	763 100.0	562 73.7	208 27.3	662 86.8	57 7.5	146 19.1	23 3.0	10 1.3	1668 218.6
地域密着型通所介護	682 100.0	486 71.3	179 26.2	597 87.5	55 8.1	147 21.6	49 7.2	7 1.0	1520 222.9
認知症対応型通所介護	165 100.0	146 88.5	61 37.0	154 93.3	28 17.0	63 38.2	18 10.9	1 0.6	471 285.5

VI. 業務効率化に向けた取組について

(60) 業務効率化の取組の実施状況

Q60 貴事業所では業務効率化の取組を行っていますか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、事業所における業務効率化の取組の実施状況をみると、いずれも「業務効率化の取組を行っている」の割合が高くなっており、特に通所介護、認知症対応型通所介護では約7割が実施していた。

図表 178 Q60 貴事業所における業務効率化の取組の実施状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	業務効率化の取組を行っている	業務効率化の取組は行っていない
全体	3133 100.0	2061 65.8	1072 34.2
通所介護	1479 100.0	1066 72.1	413 27.9
地域密着型通所介護	1436 100.0	845 58.8	591 41.2
認知症対応型通所介護	218 100.0	150 68.8	68 31.2

Q60-1 (Q60s2) 【Q60 で「1.業務効率化の取組を行っている」を選択した場合】業務効率化の取組を行うための準備として行ったものについてお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、業務効率化の取組を行うための準備として行ったものをみると、いずれも「貴事業所において、業務を行う上での課題を把握している」が7割以上と最も割合が高く、次いで「課題解決のために必要な取組や職員の役割について、整理している」、「経営層から事業所全体に対して、業務効率化の取組を行うことを説明している」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「課題解決のために必要な取組や職員の役割について、整理している」の割合が他に比べ高くなっていった。

図表 179 Q60-1(Q60s2)業務効率化の取組を行うための準備として行ったもの [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	貴事業所において、業務を行う上での課題を把握している	業務効率化に取り組むプロジェクトチームを設置している	経営層から事業所全体に対して、業務効率化の取組を行うことを説明している	課題解決のために必要な取組や職員の役割について、整理している	業務効率化に取り組む期間を決めて、業務効率化計画を策定している	その他	業務効率化の取組を行うための準備として行ったものはない	累計 (n) %
全体	2061 100.0	1540 74.7	192 9.3	681 33.0	1100 53.4	256 12.4	38 1.8	99 4.8	3906 189.5
通所介護	1066 100.0	800 75.0	114 10.7	355 33.3	571 53.6	146 13.7	16 1.5	46 4.3	2048 192.1
地域密着型通所介護	845 100.0	627 74.2	63 7.5	274 32.4	437 51.7	93 11.0	18 2.1	49 5.8	1561 184.7
認知症対応型通所介護	150 100.0	113 75.3	15 10.0	52 34.7	92 61.3	17 11.3	4 2.7	4 2.7	297 198.0

Q60-2 (Q60s3) 【Q60で「1.業務効率化の取組を行っている」を選択した場合】業務効率化の取組を行うにあたって参考としたものについてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、業務効率化の取組を行うにあたって参考としたものをみると、いずれも「業務効率化の取組を行うための準備として行ったものはない」がもっとも割合が高くなっていた。また、認知症対応型通所介護では「関係団体が発行した、業務効率化に関するガイドラインやツール等の活用」、「厚生労働省が発行した、介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（※）の活用」の割合が他に比べ高くなっていた。

※<https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei.html>

図表 180 Q60-2(Q60s3)業務効率化の取組を行うにあたって参考としたもの
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	厚生労働省が実施する、業務効率化に関するセミナー（※）への参加	厚生労働省が発行した、介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（※）の活用	厚生労働省が提供する、介護分野における生産性向上の取組を促進するツール等（※）の活用	関係団体が実施する、業務効率化に関するセミナーへの参加	関係団体が発行した、業務効率化に関するガイドラインやツール等の活用	その他	業務効率化の取組を行うにあたって参考としたものはない	累計(n) %
全体	2061 100.0	129 6.3	311 15.1	131 6.4	296 14.4	368 17.9	142 6.9	1074 52.1	2451 118.9
通所介護	1066 100.0	67 6.3	155 14.5	74 6.9	139 13.0	166 15.6	80 7.5	572 53.7	1253 117.5
地域密着型通所介護	845 100.0	56 6.6	125 14.8	46 5.4	137 16.2	166 19.6	50 5.9	431 51.0	1011 119.6
認知症対応型通所介護	150 100.0	6 4.0	31 20.7	11 7.3	20 13.3	36 24.0	12 8.0	71 47.3	187 124.7

Q60-3 (Q60s4) 【Q60で「1.業務効率化の取組を行っている」を選択した場合】業務効率化の具体的な取組として行ったものについてお答えください。（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、業務効率化の具体的な取組として行ったものをみると、いずれも「職場環境の整備（事業所内の整理整頓、物品管理のルール作成等）」がもっとも割合が高く、次いで「業務の明確化と役割分担（サービス提供の流れや配置される職種に応じたシフト管理等）」、「記録・報告様式の工夫（記録の目的の明確化、情報伝達の手段やルールの統一化等）」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「職場環境の整備（事業所内の整理整頓、物品管理のルール作成等）」、「情報共有の工夫（業務の引継、他事業所との連携の効率化等）」、「理念・行動方針の徹底（職員への法人理念やケアの目標の伝達等）」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 181 Q60-3(Q60s4)業務効率化の具体的な取組として行ったもの
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	職場環境の整備（事業所内の整理整頓、物品管理のルール作成等）	業務の明確化と役割分担（サービス提供の流れや配置される職種に応じたシフト管理等）	手順書の作成（サービス提供の質の平準化等）	記録・報告様式の工夫（記録の目的の明確化、情報伝達の手段やルールの統一化等）	情報共有の工夫（業務の引継、他事業所との連携の効率化等）	〇J Tの仕組み作り（キャリアパスの具体化、他職種の業務理解促進等）	理念・行動方針の徹底（職員への法人理念やケアの目標の伝達等）	その他	累計(n) %
全体	2061 100.0	1729 83.9	1572 76.3	920 44.6	1429 69.3	989 48.0	545 26.4	738 35.8	24 1.2	7946 385.5
通所介護	1066 100.0	895 84.0	828 77.7	468 43.9	751 70.5	507 47.6	310 29.1	363 34.1	16 1.5	4138 388.2
地域密着型通所介護	845 100.0	698 82.6	625 74.0	382 45.2	569 67.3	401 47.5	197 23.3	301 35.6	8 0.9	3181 376.4
認知症対応型通所介護	150 100.0	136 90.7	119 79.3	70 46.7	109 72.7	81 54.0	38 25.3	74 49.3	0 0.0	627 418.0

Q60-4 (Q60s5) 【Q60で「1.業務効率化の取組を行っている」を選択した場合】業務効率化のために新たに導入したツールについてお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、業務効率化のために新たに導入したツールをみると、いずれも「パソコン」がもっとも割合が高く、次いで「タブレット型端末」、「棚、机、椅子等の備品」となっていた。

図表 182 Q60-4(Q60s5)業務効率化のために新たに導入したツール [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	パソコン	スマートフォン	タブレット型端末	インカム	音声入力用マイク	棚、机、椅子等の備品	大容量記録装置(HDD、クラウド契約等)
全体	2061 100.0	1224 59.4	380 18.4	1007 48.9	155 7.5	68 3.3	480 23.3	203 9.8
通所介護	1066 100.0	639 59.9	185 17.4	567 53.2	114 10.7	45 4.2	241 22.6	109 10.2
地域密着型通所介護	845 100.0	506 59.9	158 18.7	370 43.8	33 3.9	19 2.2	208 24.6	82 9.7
認知症対応型通所介護	150 100.0	79 52.7	37 24.7	70 46.7	8 5.3	4 2.7	31 20.7	12 8.0
	勤務管理表作成支援ソフト	通所介護計画書作成支援ソフト	個別機能訓練計画書作成支援ソフト	送迎ルート作成支援ソフト	チャットソフト	その他	業務効率化のために新たに導入したツールはない	累計(n) %
全体	130 6.3	421 20.4	298 14.5	91 4.4	95 4.6	54 2.6	370 18.0	4976 241.4
通所介護	67 6.3	234 22.0	171 16.0	77 7.2	46 4.3	33 3.1	186 17.4	2714 254.6
地域密着型通所介護	52 6.2	170 20.1	120 14.2	12 1.4	47 5.6	17 2.0	150 17.8	1944 230.1
認知症対応型通所介護	11 7.3	17 11.3	7 4.7	2 1.3	2 1.3	4 2.7	34 22.7	318 212.0

Q60-5 (Q60s6) 【Q60で「1.業務効率化の取組を行っている」を選択した場合】業務効率化の更なる促進のための取組として行ったものについてお答えください。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、業務効率化の更なる促進のための取組として行ったものをみると、いずれも、「行った業務改善の取組について、上手くいった点・上手くいかなかった点を整理している」が5割以上ともっとも割合が高く、次いで「行った業務改善の取組について、上手くいかなかった点の改善や達成できなかった目標を達成するための方策を検討し、実行している」、「行った業務改善の取組について、取組前に設定した目標が達成できているか、評価している」となっていた。

図表 183 Q60-5(Q60s6)業務効率化の更なる促進のための取組として行ったもの
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	行った業務改善の取組について、上手くいった点・上手くいかなかった点を整理している	行った業務改善の取組について、取組前に設定した目標が達成できているか、評価している	行った業務改善の取組について、上手くいかなかった点の改善や達成できなかった目標を達成するための方策を検討し、実行している	その他	業務効率化の更なる促進のために行った取組はない	累計 (n) %
全体	2061 100.0	1182 57.4	504 24.5	716 34.7	34 1.6	351 17.0	2787 135.2
通所介護	1066 100.0	632 59.3	277 26.0	375 35.2	17 1.6	170 15.9	1471 138.0
地域密着型通所介護	845 100.0	461 54.6	180 21.3	285 33.7	13 1.5	167 19.8	1106 130.9
認知症対応型通所介護	150 100.0	89 59.3	47 31.3	56 37.3	4 2.7	14 9.3	210 140.0

第4章 利用者・家族調査集計結果

I. 事業所の方（事業所回答票）

(1) 性別

Q1 性別（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者の性別をみると、いずれも約7割と「女性」の割合が高くなっていた。

図表 184 Q1 利用者の性別 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	男性	女性	無回答
全体	8464 100.0	2553 30.2	5829 68.9	82 1.0
通所介護	4501 100.0	1375 30.5	3071 68.2	55 1.2
地域密着型通所介護	3380 100.0	1014 30.0	2339 69.2	27 0.8
認知症対応型通所介護	583 100.0	164 28.1	419 71.9	0 0.0

(2) 年齢

Q2 年齢（数値回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者の年齢をみると、いずれも「85歳以上90歳未満」がもっとも割合が高くなっており、次いで通所介護と地域密着型通所介護は「90歳以上95歳未満」、認知症対応型通所介護は「80歳以上85歳未満」となっていた。

図表 185 Q2 利用者の年齢 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上85歳未満	85歳以上90歳未満	90歳以上95歳未満	95歳以上	無回答
全体	8464 100.0	323 3.8	210 2.5	490 5.8	876 10.3	1665 19.7	2203 26.0	1782 21.1	694 8.2	221 2.6
通所介護	4501 100.0	150 3.3	111 2.5	242 5.4	454 10.1	892 19.8	1154 25.6	975 21.7	395 8.8	128 2.8
地域密着型通所介護	3380 100.0	152 4.5	88 2.6	216 6.4	342 10.1	647 19.1	907 26.8	690 20.4	256 7.6	82 2.4
認知症対応型通所介護	583 100.0	21 3.6	11 1.9	32 5.5	80 13.7	126 21.6	142 24.4	117 20.1	43 7.4	11 1.9

事業所のサービス種別ごとの通所介護サービスの利用者の年齢の平均値は以下の通り。

図表 186 Q2 利用者の年齢（平均値） [単位:年]

	全体	平均
全体	8243 100.0	84.04
通所介護	4373 53.1	84.36
地域密着型通所介護	3298 40.0	83.66
認知症対応型通所介護	572 6.9	83.80

(3) 世帯類型

Q3 世帯類型 (単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、利用者の世帯類型をみると、通所介護では「配偶者以外の同居家族等が複数名いらっしゃる世帯」がもっとも割合が高く、次いで「利用者だけの世帯(単身世帯)」となっていた。地域密着型通所介護では、「利用者だけの世帯(単身世帯)」がもっとも割合が高く、次いで「配偶者以外の同居家族等が複数名いらっしゃる世帯」となっていた。認知症対応型通所介護では、「配偶者以外の同居家族等が複数名いらっしゃる世帯」がもっとも割合が高く、次いで「ご夫婦だけの世帯(※そのうち、お一人が要支援・要介護の世帯(入院含む))」となっていた。

図表 187 Q3 利用者の世帯類型 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	利用者だけの世帯(単身世帯)	ご夫婦だけの世帯(※そのうち、お一人が要支援・要介護の世帯(入院含む))	ご夫婦だけの世帯(※ご夫婦ともに要支援・要介護の世帯)	配偶者以外の同居家族が一人いらっしゃる世帯	配偶者以外の同居家族が一人いらっしゃる世帯(※ただし日中、要支援・要介護者のみが多い)	配偶者以外の同居家族等が複数名いらっしゃる世帯	配偶者以外の同居家族等が複数名いらっしゃる世帯(※ただし日中、要支援・要介護者のみが多い)	その他の世帯	無回答
全体	8464 100.0	2158 25.5	1100 13.0	287 3.4	1206 14.2	437 5.2	2162 25.5	580 6.9	228 2.7	306 3.6
通所介護	4501 100.0	1168 25.9	567 12.6	150 3.3	616 13.7	222 4.9	1241 27.6	317 7.0	96 2.1	124 2.8
地域密着型通所介護	3380 100.0	894 26.4	436 12.9	112 3.3	496 14.7	186 5.5	745 22.0	226 6.7	120 3.6	165 4.9
認知症対応型通所介護	583 100.0	96 16.5	97 16.6	25 4.3	94 16.1	29 5.0	176 30.2	37 6.3	12 2.1	17 2.9

(4) 住まい

Q4 住まい (単数回答)

事業所のサービス種別に、利用者の住まいをみると、いずれも「戸建住宅」が約7~8割と最も割合が高くなっており、次いで「集合住宅(団地、アパート、マンション等)」、「有料老人ホーム」となっていた。

図表 188 Q4 利用者の住まい [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	戸建住宅	集合住宅(団地、アパート、マンション等)	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答
全体	8464 100.0	6059 71.6	1232 14.6	27 0.3	41 0.5	600 7.1	344 4.1	72 0.9	89 1.1
通所介護	4501 100.0	3260 72.4	566 12.6	19 0.4	25 0.6	332 7.4	214 4.8	41 0.9	44 1.0
地域密着型通所介護	3380 100.0	2346 69.4	593 17.5	7 0.2	14 0.4	245 7.2	114 3.4	26 0.8	35 1.0
認知症対応型通所介護	583 100.0	453 77.7	73 12.5	1 0.2	2 0.3	23 3.9	16 2.7	5 0.9	10 1.7

(5) 事業所から住まいまでの片道の時間

Q5 事業所から住まいまでの片道の時間（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、事業所から住まいまでの片道の時間をみると、いずれも「車で10分以内」が4割以上と最も割合が高く、次いで「車で20分以内」となっていた。

図表 189 Q5 事業所から住まいまでの片道の時間 [単位:(上段)実数,(下段)%]

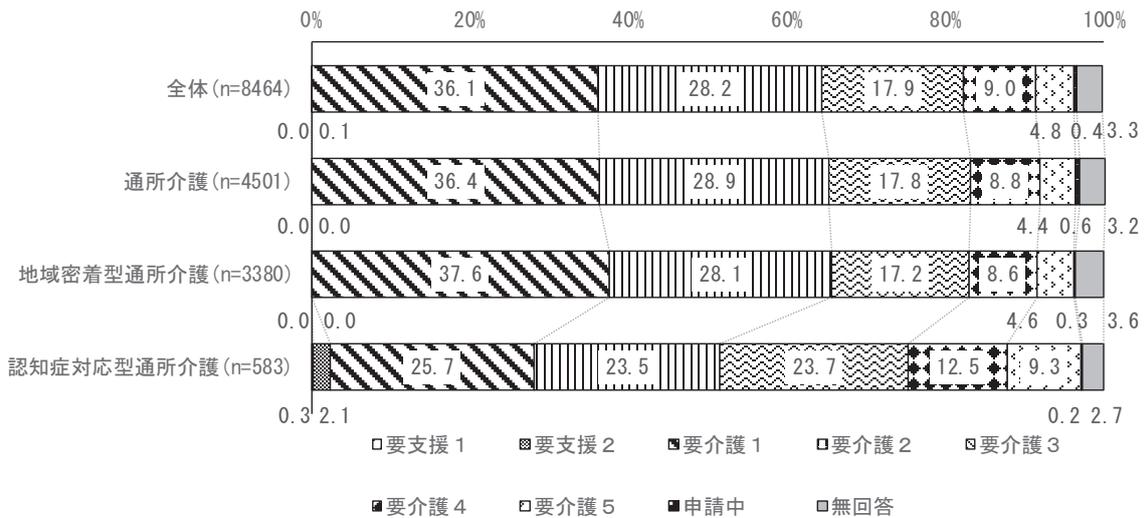
	全体	同一建物	徒歩10分以内	車で10分以内	車で20分以内	車で20分超	その他	無回答
全体	8464 100.0	675 8.0	642 7.6	3810 45.0	2570 30.4	564 6.7	23 0.3	180 2.1
通所介護	4501 100.0	418 9.3	315 7.0	2019 44.9	1331 29.6	299 6.6	12 0.3	107 2.4
地域密着型通所介護	3380 100.0	237 7.0	282 8.3	1525 45.1	1031 30.5	230 6.8	11 0.3	64 1.9
認知症対応型通所介護	583 100.0	20 3.4	45 7.7	266 45.6	208 35.7	35 6.0	0 0.0	9 1.5

(6) 要介護度

Q6 要介護度 (単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、要介護度（現在）の割合をみると、いずれも「要介護1」がもっとも割合が高く、次いで、通所介護、地域密着型通所介護では「要介護2」、認知症対応型通所介護では「要介護3」となっていた。また、認知症対応型通所介護では要介護3以上の割合が他のサービス種別に比べ高くなっていた。

図表 190 Q6 要介護度（現在）

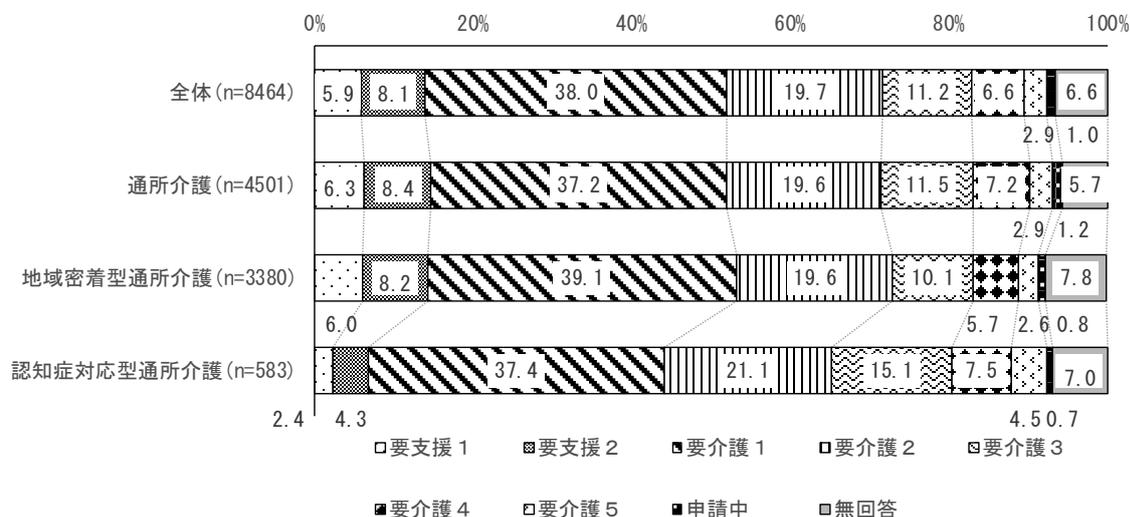


図表 191 Q6 要介護度（現在） [単位: (上段)実数, (下段)%]

	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	無回答
全体	8464	2	12	3057	2391	1519	758	407	36	282
	100.0	0.0	0.1	36.1	28.2	17.9	9.0	4.8	0.4	3.3
通所介護	4501	0	0	1637	1303	799	396	197	25	144
	100.0	0.0	0.0	36.4	28.9	17.8	8.8	4.4	0.6	3.2
地域密着型通所介護	3380	0	0	1270	951	582	289	156	10	122
	100.0	0.0	0.0	37.6	28.1	17.2	8.6	4.6	0.3	3.6
認知症対応型通所介護	583	2	12	150	137	138	73	54	1	16
	100.0	0.3	2.1	25.7	23.5	23.7	12.5	9.3	0.2	2.7

事業所のサービス種別ごとに、要介護度（貴事業所の利用開始時）の割合をみると、いずれも「要介護1」がもっとも割合が高く、次いで「要介護2」となっていた。また、要介護3以上について、認知症対応型通所介護の割合が他のサービス種別に比べ高くなっていた。

図表 192 Q6 要介護度（貴事業所の利用開始時）



図表 193 Q6 要介護度（貴事業所の利用開始時） [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	無回答
全体	8464	499	682	3213	1669	950	562	246	85	558
	100.0	5.9	8.1	38.0	19.7	11.2	6.6	2.9	1.0	6.6
通所介護	4501	282	379	1673	883	519	326	131	53	255
	100.0	6.3	8.4	37.2	19.6	11.5	7.2	2.9	1.2	5.7
地域密着型通所介護	3380	203	278	1322	663	343	192	89	28	262
	100.0	6.0	8.2	39.1	19.6	10.1	5.7	2.6	0.8	7.8
認知症対応型通所介護	583	14	25	218	123	88	44	26	4	41
	100.0	2.4	4.3	37.4	21.1	15.1	7.5	4.5	0.7	7.0

<要介護度別 要介護度の変化（「利用開始時」と「現在」の比較）>

事業所のサービス種別ごと・要介護度別に、要介護度の変化をみると、いずれも「維持」の割合がもつとも高く、次いで「低下」、「向上」であった。

図表 194 Q6 要介護度の変化（利用開始時から現在） [単位:(上段)実数, (下段)%]

		Q6. 要介護度の変化（利用開始時→現在）				
		全体	向上	維持	低下	無回答
Q 6 要 介 護 度 （ 貴 事 業 所 の 利 用 開 始 時 ） 別	全体	8464 100.0	648 7.7	4150 49.0	2951 34.9	715 8.4
	通所介護	4501 100.0	379 8.4	2214 49.2	1549 34.4	359 8.0
	要支援1	282 100.0	0 0.0	0 0.0	269 95.4	13 4.6
	要支援2	379 100.0	0 0.0	0 0.0	369 97.4	10 2.6
	要介護1	1673 100.0	0 0.0	1077 64.4	584 34.9	12 0.7
	要介護2	883 100.0	93 10.5	574 65.0	210 23.8	6 0.7
	要介護3	519 100.0	114 22.0	319 61.5	83 16.0	3 0.6
	要介護4	326 100.0	128 39.3	157 48.2	34 10.4	7 2.1
	要介護5	131 100.0	44 33.6	87 66.4	0 0.0	0 0.0
	申請中	53 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	53 100.0
	地域密着型通所介護	3380 100.0	236 7.0	1635 48.4	1201 35.5	308 9.1
	要支援1	203 100.0	0 0.0	0 0.0	203 100.0	0 0.0
	要支援2	278 100.0	0 0.0	0 0.0	276 99.3	2 0.7
	要介護1	1322 100.0	0 0.0	854 64.6	459 34.7	9 0.7
	要介護2	663 100.0	66 10.0	411 62.0	181 27.3	5 0.8
	要介護3	343 100.0	78 22.7	198 57.7	67 19.5	0 0.0
	要介護4	192 100.0	64 33.3	111 57.8	15 7.8	2 1.0
	要介護5	89 100.0	28 31.5	61 68.5	0 0.0	0 0.0
	申請中	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28 100.0
	認知症対応型通所介護	583 100.0	33 5.7	301 51.6	201 34.5	48 8.2
	要支援1	14 100.0	0 0.0	1 7.1	13 92.9	0 0.0
	要支援2	25 100.0	0 0.0	8 32.0	17 68.0	0 0.0
	要介護1	218 100.0	2 0.9	116 53.2	100 45.9	0 0.0
	要介護2	123 100.0	7 5.7	72 58.5	43 35.0	1 0.8
	要介護3	88 100.0	12 13.6	55 62.5	19 21.6	2 2.3
	要介護4	44 100.0	7 15.9	28 63.6	9 20.5	0 0.0
	要介護5	26 100.0	5 19.2	21 80.8	0 0.0	0 0.0
	申請中	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0

事業所のサービス種別ごとに利用登録者の現在の要介護度と利用開始時の要介護度をみると、全体では同じ要介護度の方の割合がもっとも高く、向上・低下する方に分かれています。

図表 195 Q6 利用登録者の現在の要介護度と利用開始時の要介護度
[単位:(上段)実数,(下段)%]

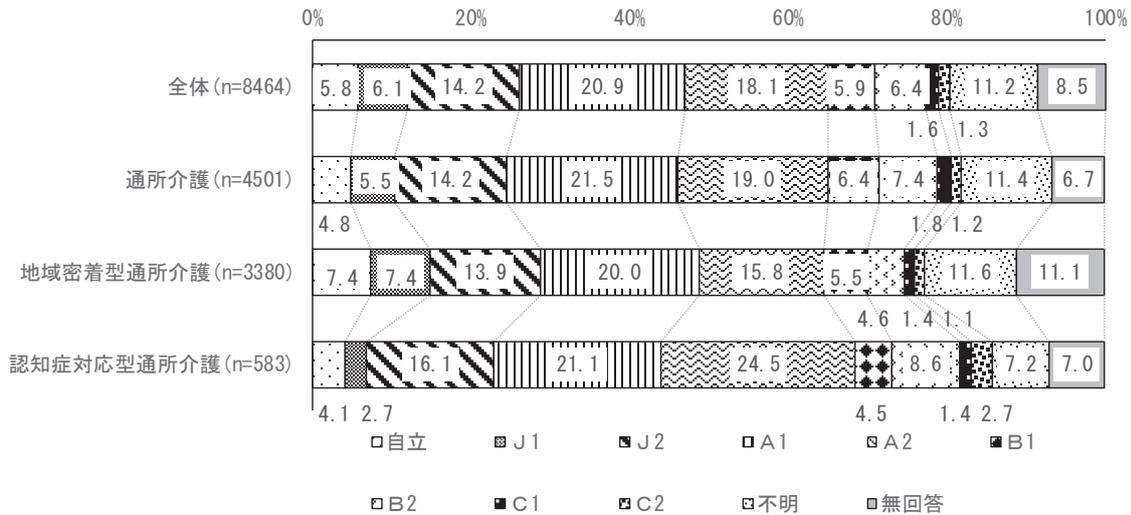
		Q6. 要介護度（現在）									
		全 体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	無回答
06 要 介 護 度 （ 貴 事 業 所 の 利 用 開 始 時 ） 別	全 体	8464 100.0	2 0.0	12 0.1	3057 36.1	2391 28.2	1519 17.9	758 9.0	407 4.8	36 0.4	282 3.3
	通所介護	4501 100.0	0 0.0	0 0.0	1637 36.4	1303 28.9	799 17.8	396 8.8	197 4.4	25 0.6	144 3.2
	要支援 1	282 100.0	0 0.0	0 0.0	145 51.4	76 27.0	35 12.4	9 3.2	4 1.4	2 0.7	11 3.9
	要支援 2	379 100.0	0 0.0	0 0.0	183 48.3	137 36.1	36 9.5	11 2.9	2 0.5	4 1.1	6 1.6
	要介護 1	1673 100.0	0 0.0	0 0.0	1077 64.4	329 19.7	167 10.0	65 3.9	23 1.4	5 0.3	7 0.4
	要介護 2	883 100.0	0 0.0	0 0.0	93 10.5	574 65.0	141 16.0	57 6.5	12 1.4	3 0.3	3 0.3
	要介護 3	519 100.0	0 0.0	0 0.0	35 6.7	79 15.2	319 61.5	55 10.6	28 5.4	0 0.0	3 0.6
	要介護 4	326 100.0	0 0.0	0 0.0	22 6.7	48 14.7	58 17.8	157 48.2	34 10.4	3 0.9	4 1.2
	要介護 5	131 100.0	0 0.0	0 0.0	8 6.1	8 6.1	7 5.3	21 16.0	87 66.4	0 0.0	0 0.0
	申請中	53 100.0	0 0.0	0 0.0	17 32.1	8 15.1	10 18.9	8 15.1	2 3.8	8 15.1	0 0.0
	地域密着型通所介護	3380 100.0	0 0.0	0 0.0	1270 37.6	951 28.1	582 17.2	289 8.6	156 4.6	10 0.3	122 3.6
	要支援 1	203 100.0	0 0.0	0 0.0	119 58.6	49 24.1	23 11.3	10 4.9	2 1.0	0 0.0	0 0.0
	要支援 2	278 100.0	0 0.0	0 0.0	125 45.0	101 36.3	33 11.9	12 4.3	5 1.8	0 0.0	2 0.7
	要介護 1	1322 100.0	0 0.0	0 0.0	854 64.6	245 18.5	152 11.5	41 3.1	21 1.6	4 0.3	5 0.4
	要介護 2	663 100.0	0 0.0	0 0.0	66 10.0	411 62.0	109 16.4	54 8.1	18 2.7	2 0.3	3 0.5
	要介護 3	343 100.0	0 0.0	0 0.0	21 6.1	57 16.6	198 57.7	41 12.0	26 7.6	0 0.0	0 0.0
	要介護 4	192 100.0	0 0.0	0 0.0	11 5.7	32 16.7	21 10.9	111 57.8	15 7.8	0 0.0	2 1.0
	要介護 5	89 100.0	0 0.0	0 0.0	3 3.4	5 5.6	13 14.6	7 7.9	61 68.5	0 0.0	0 0.0
	申請中	28 100.0	0 0.0	0 0.0	11 39.3	7 25.0	6 21.4	1 3.6	0 0.0	3 10.7	0 0.0
	認知症対応型通所介護	583 100.0	0 0.0	12 2.1	150 25.7	137 23.5	138 23.7	73 12.5	54 9.3	1 0.2	16 2.7
	要支援 1	14 100.0	1 7.1	0 0.0	6 42.9	2 14.3	5 35.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	要支援 2	25 100.0	0 0.0	8 32.0	8 32.0	3 12.0	4 16.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	要介護 1	218 100.0	0 0.5	1 0.5	116 53.2	43 19.7	36 16.5	15 6.9	6 2.8	0 0.0	0 0.0
	要介護 2	123 100.0	0 0.0	2 1.6	5 4.1	72 58.5	23 18.7	12 9.8	8 6.5	0 0.0	1 0.8
	要介護 3	88 100.0	0 0.0	0 0.0	6 6.8	6 6.8	55 62.5	13 14.8	6 6.8	1 1.1	1 1.1
	要介護 4	44 100.0	0 0.0	0 0.0	2 4.5	3 6.8	2 4.5	28 63.6	9 20.5	0 0.0	0 0.0
	要介護 5	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	3 11.5	1 3.8	21 80.8	0 0.0	0 0.0
	申請中	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(7) 障害高齢者の日常生活自立度

Q7 障害高齢者の日常生活自立度（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、障害高齢者の日常生活自立度の割合をみると、いずれも「A」がもっとも割合が高く、次いで「J」、「B」となっていた。認知症対応型通所介護では「B～C」の割合が他に比べ高くなっていた。また、地域密着型通所介護では、「J～自立」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 196 Q7 障害高齢者の日常生活自立度



図表 197 Q7 障害高齢者の日常生活自立度 [単位:(上段)実数, (下段)%]

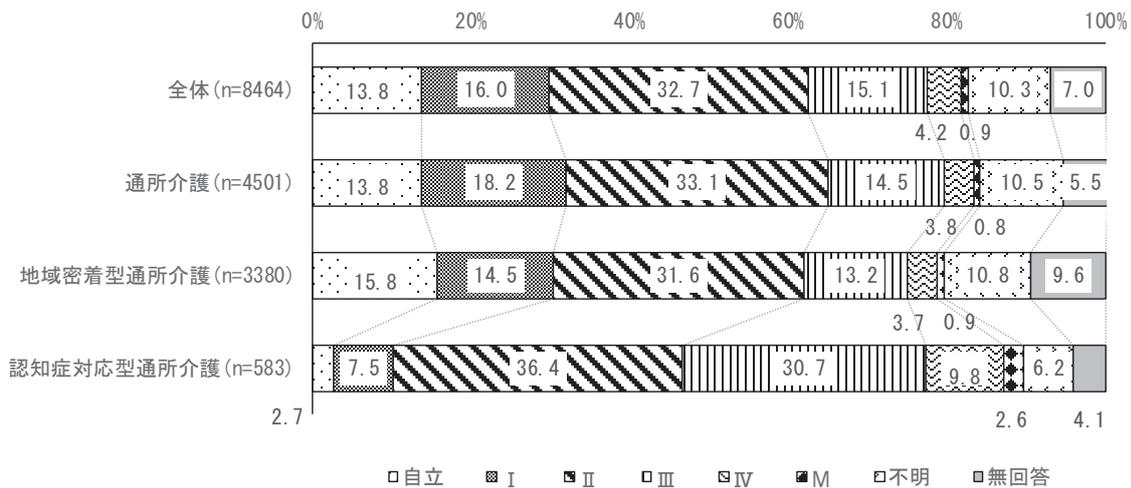
	全体	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
全体	8464	491	514	1202	1768	1534	502	539	137	110	947	720
	100.0	5.8	6.1	14.2	20.9	18.1	5.9	6.4	1.6	1.3	11.2	8.5
通所介護	4501	218	247	638	968	857	289	332	81	56	512	303
	100.0	4.8	5.5	14.2	21.5	19.0	6.4	7.4	1.8	1.2	11.4	6.7
地域密着型通所介護	3380	249	251	470	677	534	187	157	48	38	393	376
	100.0	7.4	7.4	13.9	20.0	15.8	5.5	4.6	1.4	1.1	11.6	11.1
認知症対応型通所介護	583	24	16	94	123	143	26	50	8	16	42	41
	100.0	4.1	2.7	16.1	21.1	24.5	4.5	8.6	1.4	2.7	7.2	7.0

(8) 認知症高齢者の日常生活自立度

Q8 認知症高齢者の日常生活自立度（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、認知症高齢者の日常生活自立度の割合をみると、いずれも「Ⅱ」がもっとも割合が高くなっており、次いで、通所介護では「Ⅰ」、地域密着型通所介護では「自立」、認知症対応型通所介護では「Ⅲ」の割合が高くなっていった。

図表 198 Q8 認知症高齢者の日常生活自立度



図表 199 Q8 認知症高齢者の日常生活自立度 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	自立	I	II	III	IV	M	不明	無回答
全体	8464	1168	1352	2768	1278	352	78	874	594
	100.0	13.8	16.0	32.7	15.1	4.2	0.9	10.3	7.0
通所介護	4501	619	817	1488	654	170	34	472	247
	100.0	13.8	18.2	33.1	14.5	3.8	0.8	10.5	5.5
地域密着型通所介護	3380	533	491	1068	445	125	29	366	323
	100.0	15.8	14.5	31.6	13.2	3.7	0.9	10.8	9.6
認知症対応型通所介護	583	16	44	212	179	57	15	36	24
	100.0	2.7	7.5	36.4	30.7	9.8	2.6	6.2	4.1

(9) 日常的な家族・親族等の介護の有無

Q9 日常的な家族・親族等の介護の有無（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、日常的な家族・親族等の介護の有無をみると、いずれも「家族、親族等による介護がある」がもっとも割合が高く、特に認知症対応型通所介護では、8割以上と他のサービス種別に比べ割合が高くなっていた。

図表 200 Q9 日常的な家族・親族等の介護の有無 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	家族、親族等による介護がある	家族、親族等による介護なし	無回答
全体	8464 100.0	6014 71.1	2102 24.8	348 4.1
通所介護	4501 100.0	3222 71.6	1121 24.9	158 3.5
地域密着型通所介護	3380 100.0	2320 68.6	891 26.4	169 5.0
認知症対応型通所介護	583 100.0	472 81.0	90 15.4	21 3.6

(10) 貴事業所の利用開始年月

Q10 貴事業所の利用開始年月（数値回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用開始年をみると、全体では「2015年～2019年」がもっとも割合が高く、次いで「2020年以降」となっていた。特に認知症対応型通所介護では、他のサービス種別に比べ「2020年以降」の割合が高くなっていた。

図表 201 Q10 貴事業所の利用開始年 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	1999年以前	2000年～2004年	2005年～2009年	2010年～2014年	2015年～2019年	2020年以降	無回答
全体	8464 100.0	33 0.4	82 1.0	176 2.1	791 9.3	3698 43.7	3343 39.5	341 4.0
通所介護	4501 100.0	20 0.4	45 1.0	112 2.5	431 9.6	1937 43.0	1766 39.2	190 4.2
地域密着型通所介護	3380 100.0	11 0.3	28 0.8	54 1.6	311 9.2	1525 45.1	1325 39.2	126 3.7
認知症対応型通所介護	583 100.0	2 0.3	9 1.5	10 1.7	49 8.4	236 40.5	252 43.2	25 4.3

(11) 通所介護サービスの利用開始時間、終了時間

Q11 通所介護サービスの利用開始時間、終了時間（数値回答）

事業所のサービス種別ごとに、通所介護サービスの利用可能時間をみると、いずれも「7時間以上8時間未満」がもっとも割合が高く、次いで、通所介護、認知症対応型通所介護では「6時間以上7時間未満」、地域密着型通所介護では「5時間未満」となっていた。

図表 202 Q11 通所介護サービスの利用可能時間 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上	無回答
全体	8464 100.0	905 10.7	608 7.2	1763 20.8	4593 54.3	393 4.6	202 2.4
通所介護	4501 100.0	247 5.5	278 6.2	1020 22.7	2695 59.9	149 3.3	112 2.5
地域密着型通所介護	3380 100.0	649 19.2	296 8.8	568 16.8	1580 46.7	208 6.2	79 2.3
認知症対応型通所介護	583 100.0	9 1.5	34 5.8	175 30.0	318 54.5	36 6.2	11 1.9

事業所のサービス種別の通所介護サービスの利用可能時間の平均値は以下の通り。

図表 203 Q11 通所介護サービスの利用可能時間（平均値） [単位：時間]

	全体	平均
全体	8262 100.0	6.50
通所介護	4389 53.1	6.68
地域密着型通所介護	3301 40.0	6.18
認知症対応型通所介護	572 6.9	6.87

(12) 通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度（回／週）（令和 3 年 11 月実績）

Q12 通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度（回／週）（令和 3 年 11 月実績）（数値回答）

事業所のサービス種別ごとに、通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度をみると、認知症対応型通所介護、通所介護、地域密着型通所介護の順に 3 回以上の割合が高くなっており、利用者の状態像の違いが影響していると考えられる。

図表 204 Q12 通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	0回	0.5回	1回以上2回未 満	2回以上3回未 満	3回以上4回未 満	4回以上5回未 満	5回以上	無回答
全体	8464 100.0	32 0.4	2 0.0	516 6.1	1998 23.6	2264 26.7	997 11.8	1412 16.7	1243 14.7
通所介護	4501 100.0	22 0.5	0 0.0	249 5.5	1052 23.4	1286 28.6	540 12.0	827 18.4	525 11.7
地域密着型通所介護	3380 100.0	8 0.2	1 0.0	241 7.1	835 24.7	794 23.5	357 10.6	491 14.5	653 19.3
認知症対応型通所介護	583 100.0	2 0.3	1 0.2	26 4.5	111 19.0	184 31.6	100 17.2	94 16.1	65 11.1

事業所のサービス種別ごとの一週間あたりの利用頻度（回）の平均値は以下の通り。

図表 205 Q12 通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度（平均値） [単位：回]

	全体	平均
全体	7221 100.0	3.19
通所介護	3976 55.1	3.26
地域密着型通所介護	2727 37.8	3.07
認知症対応型通所介護	518 7.2	3.32

(13) 延長サービスの利用状況

Q13 延長サービスの利用状況（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、延長サービスの利用状況をみると、いずれも「利用していない」が 9 割以上ととっても割合が高くなっていった。

図表 206 Q13 延長サービスの利用状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	延長サービ スを利用し ている	利用してい ない	無回答
全体	8464 100.0	125 1.5	7951 93.9	388 4.6
通所介護	4501 100.0	33 0.7	4339 96.4	129 2.9
地域密着型通所介護	3380 100.0	75 2.2	3058 90.5	247 7.3
認知症対応型通所介護	583 100.0	17 2.9	554 95.0	12 2.1

(14) 宿泊サービスの利用状況

Q14 宿泊サービスの利用状況（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、宿泊サービスの利用状況をみると、いずれも「利用していない」が約9割ともっとも割合が高くなっていた。

図表 207 Q14 宿泊サービスの利用状況 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	宿泊サービスを利用している	利用していない	無回答
全体	8464 100.0	470 5.6	7554 89.2	440 5.2
通所介護	4501 100.0	223 5.0	4125 91.6	153 3.4
地域密着型通所介護	3380 100.0	213 6.3	2897 85.7	270 8.0
認知症対応型通所介護	583 100.0	34 5.8	532 91.3	17 2.9

(15) 貴事業所の利用前に利用していた介護保険サービス等

Q15 貴事業所の利用前に利用していた介護保険サービス等（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、事業所の利用前に利用していた介護保険サービス等をみると、いずれも、「介護保険サービスは利用していなかった」がもっとも割合が高くなっていた。通所介護、地域密着型通所介護では、次いで「病院等の医療機関に入院」、「通所介護（貴事業所以外）」、認知症対応型通所介護では、次いで「通所介護（貴事業所以外）」、「病院等の医療機関に入院」となっていた。

図表 208 Q15 貴事業所の利用前に利用していた介護保険サービス等
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	病院等の医療機関に入院	介護老人保健施設に入所	介護医療院、介護療養型医療施設に入所	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所	グループホームに入居	訪問介護	訪問看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	看護小規模多機能
全体	8464 100.0	1562 18.5	153 1.8	7 0.1	34 0.4	28 0.3	612 7.2	253 3.0	12 0.1	3 0.0
通所介護	4501 100.0	937 20.8	101 2.2	5 0.1	15 0.3	13 0.3	291 6.5	112 2.5	7 0.2	2 0.0
地域密着型通所介護	3380 100.0	564 16.7	47 1.4	2 0.1	17 0.5	12 0.4	278 8.2	109 3.2	2 0.1	1 0.0
認知症対応型通所介護	583 100.0	61 10.5	5 0.9	0 0.0	2 0.3	3 0.5	43 7.4	32 5.5	3 0.5	0 0.0
	小規模多機能	訪問リハビリテーション	通所介護(貴事業所以外)	地域密着型通所介護(貴事業所以外)	認知症対応型通所介護(貴事業所以外)	通所リハビリテーション	2~15以外の介護保険サービス	介護保険サービスは利用していなかった	介護予防・日常生活支援総合事業	わからない、把握していない
全体	32 0.4	117 1.4	984 11.6	180 2.1	21 0.2	428 5.1	153 1.8	2938 34.7	176 2.1	868 10.3
通所介護	17 0.4	48 1.1	496 11.0	27 0.6	3 0.1	249 5.5	69 1.5	1618 35.9	115 2.6	492 10.9
地域密着型通所介護	9 0.3	61 1.8	386 11.4	140 4.1	9 0.3	136 4.0	66 2.0	1132 33.5	55 1.6	324 9.6
認知症対応型通所介護	6 1.0	8 1.4	102 17.5	13 2.2	9 1.5	43 7.4	18 3.1	188 32.2	6 1.0	52 8.9
	無回答	累計 (n) %								
全体	735 8.7	9296 109.8								
通所介護	257 5.7	4874 108.3								
地域密着型通所介護	417 12.3	3767 111.4								
認知症対応型通所介護	61 10.5	655 112.3								

(16) 現在、貴事業所以外に利用している介護保険サービス

Q16 現在、貴事業所以外に利用している介護保険サービス（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、貴事業所以外に利用している介護保険サービスをみると、いずれも、「福祉用具貸与」がもっとも割合が高く、次いで「貴事業所以外のサービスは利用していない」、「訪問介護」となっていた。

図表 209 Q16 現在、貴事業所以外に利用している介護保険サービス
[単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	訪問介護	訪問看護	定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護	訪問リハビリ テーション	通所介護 (貴事業所 以外)	地域密着型 通所介護 (貴事業所 以外)	認知症対応 型通所介護 (貴事業所 以外)	通所リハビリ テーション	短期入所生 活介護
全体	8464 100.0	1742 20.6	831 9.8	57 0.7	311 3.7	592 7.0	149 1.8	31 0.4	330 3.9	1009 11.9
通所介護	4501 100.0	913 20.3	423 9.4	34 0.8	136 3.0	319 7.1	30 0.7	7 0.2	178 4.0	584 13.0
地域密着型通所介護	3380 100.0	729 21.6	334 9.9	19 0.6	156 4.6	242 7.2	116 3.4	6 0.2	129 3.8	319 9.4
認知症対応型通所介護	583 100.0	100 17.2	74 12.7	4 0.7	19 3.3	31 5.3	3 0.5	18 3.1	23 3.9	106 18.2
	短期入所療 養介護	居宅療養管 理指導	福祉用具貸 与	特定福祉用 具販売	住宅改修	その他	貴事業所以 外のサービ スは利用し ていない	わからな い、把握し ていない	無回答	累計 (n) %
全体	71 0.8	214 2.5	3269 38.6	129 1.5	429 5.1	84 1.0	2118 25.0	166 2.0	626 7.4	12158 143.6
通所介護	39 0.9	118 2.6	1811 40.2	76 1.7	191 4.2	41 0.9	1183 26.3	90 2.0	245 5.4	6418 142.6
地域密着型通所介護	25 0.7	87 2.6	1255 37.1	43 1.3	203 6.0	32 0.9	776 23.0	68 2.0	343 10.1	4882 144.4
認知症対応型通所介護	7 1.2	9 1.5	203 34.8	10 1.7	35 6.0	11 1.9	159 27.3	8 1.4	38 6.5	858 147.2

(17) 現在、利用している介護保険外のサービス

Q17 現在、利用している介護保険外のサービス（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、利用している介護保険外のサービスをみると、いずれも、「保険外（自費）サービスは利用していない」がもっとも割合が高くなっていった。

図表 210 Q17 現在、利用している介護保険外のサービス [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	物販・移動販売やレンタルサービス	利用者の買い物代行	利用者の配食サービス	利用者の自宅での食事支援(調理、配膳・下膳)	利用者宅の清掃	利用者の衣類の洗濯	利用者の通院支援	利用者のその他の外出支援(買い物、社会参加その他)	利用者の理美容サービス
全体	8464 100.0	170 2.0	181 2.1	399 4.7	161 1.9	247 2.9	320 3.8	319 3.8	94 1.1	849 10.0
通所介護	4501 100.0	101 2.2	81 1.8	204 4.5	108 2.4	165 3.7	183 4.1	191 4.2	40 0.9	492 10.9
地域密着型通所介護	3380 100.0	65 1.9	90 2.7	180 5.3	46 1.4	72 2.1	121 3.6	114 3.4	53 1.6	281 8.3
認知症対応型通所介護	583 100.0	4 0.7	10 1.7	15 2.6	7 1.2	10 1.7	16 2.7	14 2.4	1 0.2	76 13.0
	利用者の巡回健診等(健康診断、予防接種もしくは採血)	薬剤師が事業所を訪問しての服薬管理・服薬指導等	利用者の家族に対する生活支援サービス	保険外(自費)のリハビリテーションサービス	その他保険外(自費)の生活支援サービス	地域の商工・流通サービス事業者の紹介や仲介業務	保険外の自宅生活に関する相談サービス	保険外(自費)サービスは利用していない	無回答	累計(n) %
全体	199 2.4	137 1.6	18 0.2	34 0.4	94 1.1	0 0.0	57 0.7	5238 61.9	1438 17.0	9955 117.6
通所介護	103 2.3	73 1.6	7 0.2	14 0.3	41 0.9	0 0.0	29 0.6	2915 64.8	630 14.0	5377 119.5
地域密着型通所介護	80 2.4	61 1.8	11 0.3	19 0.6	46 1.4	0 0.0	27 0.8	1991 58.9	672 19.9	3929 116.2
認知症対応型通所介護	16 2.7	3 0.5	0 0.0	1 0.2	7 1.2	0 0.0	1 0.2	332 56.9	136 23.3	649 111.3

(18) 貴事業所の利用日以外の日の過ごし方

Q18 貴事業所の利用日以外の日の過ごし方（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、事業所の利用日以外の日の過ごし方をみると、いずれも、「自宅でテレビを観て過ごす」がもっとも割合が高く、次いで「何もせずに過ごす」となっていた。

図表 211 Q18 貴事業所の利用日以外の日の過ごし方 [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	何もせずに過ごす	自宅でテレビを観て過ごす	家で、家事や庭・畑仕事、子守、軽体練	家で、趣味・娯楽、友人との交流	外出して買い物	スポーツジムに行く	カルチャーセンターに行く
全体	8464 100.0	2183 25.8	5878 69.4	1403 16.6	979 11.6	895 10.6	10 0.1	15 0.2
通所介護	4501 100.0	1068 23.7	3235 71.9	735 16.3	555 12.3	450 10.0	6 0.1	13 0.3
地域密着型通所介護	3380 100.0	899 26.6	2257 66.8	581 17.2	385 11.4	398 11.8	4 0.1	2 0.1
認知症対応型通所介護	583 100.0	216 37.0	386 66.2	87 14.9	39 6.7	47 8.1	0 0.0	0 0.0
	老人クラブの 会合や活動に 参加	地域での付き 合い、交流・健 康づくりの場 に参加	地域の各種の 仕事（町内会 の活動含め） やボランティア に行く	その他の過ご し方	わからない、 把握していな い	無回答	累計 (n) %	
全体	119 1.4	171 2.0	34 0.4	679 8.0	322 3.8	395 4.7	13083 154.6	
通所介護	58 1.3	78 1.7	14 0.3	295 6.6	183 4.1	125 2.8	6815 151.4	
地域密着型通所介護	57 1.7	88 2.6	19 0.6	292 8.6	117 3.5	253 7.5	5352 158.3	
認知症対応型通所介護	4 0.7	5 0.9	1 0.2	92 15.8	22 3.8	17 2.9	916 157.1	

(19) 加算の算定状況（令和3年12月31日時点）

Q19 加算の算定状況（令和3年12月31日時点）（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、加算の算定状況をみると、いずれも「入浴介助加算」、「個別機能訓練加算（Ⅰ）」、「個別機能訓練加算（Ⅱ）」の順に割合が高くなっていた。通所介護、認知症対応型通所介護では、特に「入浴介助加算」の割合が地域密着型通所介護に比べ高くなっていた。

図表 212 Q19 加算の算定状況 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	個別機能訓練 加算（Ⅰ）	個別機能訓練 加算（Ⅱ）	生活機能向上 連携加算	ADL維持等加算 （Ⅰ）	ADL維持等加算 （Ⅱ）	口腔機能向上 加算	栄養改善加算	栄養スクリー ニング加算
全体	8464 100.0	3460 40.9	1848 21.8	245 2.9	166 2.0	208 2.5	658 7.8	17 0.2	287 3.4
通所介護	4501 100.0	2149 47.7	1183 26.3	155 3.4	90 2.0	162 3.6	388 8.6	9 0.2	184 4.1
地域密着型通所介護	3380 100.0	1096 32.4	582 17.2	47 1.4	65 1.9	46 1.4	227 6.7	7 0.2	76 2.2
認知症対応型通所介護	583 100.0	215 36.9	83 14.2	43 7.4	11 1.9	0 0.0	43 7.4	1 0.2	27 4.6
	入浴介助加算	認知症加算	延長加算（9～ 10時間）	延長加算（10 ～11時間）	延長加算（11 ～12時間）	延長加算（12 ～13時間）	延長加算（13 ～14時間）	無回答	累計（n） %
全体	6136 72.5	249 2.9	70 0.8	15 0.2	2 0.0	1 0.0	3 0.0	1015 12.0	14380 169.9
通所介護	3537 78.6	141 3.1	42 0.9	6 0.1	2 0.0	0 0.0	0 0.0	377 8.4	8425 187.2
地域密着型通所介護	2136 63.2	71 2.1	20 0.6	6 0.2	0 0.0	0 0.0	3 0.1	577 17.1	4959 146.7
認知症対応型通所介護	463 79.4	37 6.3	8 1.4	3 0.5	0 0.0	1 0.2	0 0.0	61 10.5	996 170.8

(20) 当該利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたこと、サービス内容に含めたこと

Q20 当該利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたことや、サービス内容に含めたことについてうかがいます。(複数回答)

事業所のサービス種別ごとに、当該利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたことや、サービス内容に含めたことをみると、通所介護、認知症対応型通所介護では「食事の提供」、「入浴、清拭の実施」、「他の利用者や職員とのコミュニケーション」、「レクリエーションへの参加」の割合が地域密着型通所介護に比べ高くなっていた。また、認知症対応型通所介護では「健康状態の把握」、「認知症状への介入」の割合が他に比べ特に高くなっていた。

図表 213 Q20 当該利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたことや、サービス内容に含めたこと [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	生活意欲の向上	身体機能の維持・向上	生活機能の維持・向上	食事の提供	入浴、清拭の実施	他の利用者や職員とのコミュニケーション	地域住民との交流	レクリエーションへの参加	ボランティア活動(有償・無償)への参加
全体	8464 100.0	5389 63.7	6948 82.1	5343 63.1	5679 67.1	6203 73.3	6147 72.6	521 6.2	5201 61.4	83 1.0
通所介護	4501 100.0	2884 64.1	3810 84.6	2875 63.9	3219 71.5	3571 79.3	3346 74.3	222 4.9	2964 65.9	32 0.7
地域密着型通所介護	3380 100.0	2126 62.9	2673 79.1	2091 61.9	1998 59.1	2159 63.9	2332 69.0	266 7.9	1832 54.2	34 1.0
認知症対応型通所介護	583 100.0	379 65.0	465 79.8	377 64.7	462 79.2	473 81.1	469 80.4	33 5.7	405 69.5	17 2.9
	送迎の実施	延長サービスの実施	健康状態の把握	医療的ケアの実施	認知症状への介入	自助具・福祉用具・介護ロボットの活用	保険外(自費)サービスの提供	その他	無回答	累計(n) %
全体	5817 68.7	142 1.7	5196 61.4	741 8.8	1784 21.1	343 4.1	241 2.8	96 1.1	360 4.3	56234 664.4
通所介護	3109 69.1	43 1.0	2812 62.5	420 9.3	825 18.3	228 5.1	93 2.1	47 1.0	123 2.7	30623 680.4
地域密着型通所介護	2270 67.2	78 2.3	1959 58.0	268 7.9	658 19.5	96 2.8	128 3.8	43 1.3	222 6.6	21233 628.2
認知症対応型通所介護	438 75.1	21 3.6	425 72.9	53 9.1	301 51.6	19 3.3	20 3.4	6 1.0	15 2.6	4378 750.9

(21) 現在、利用者に必要な医療的ケア

Q21 現在、利用者に必要な医療的ケア（貴事業所で実施しているかどうかは問わない）（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、利用者に必要な医療的ケアをみると、全体では「なし」及び「服薬管理」の割合が高くなっていった。

図表 214 Q21 現在、利用者に必要な医療的ケア [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	看取り期のケア	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	たんの吸引	ネプライザー	酸素療法(酸素吸入)
全体	8464 100.0	81 1.0	107 1.3	29 0.3	3 0.0	160 1.9	152 1.8	118 1.4	18 0.2	108 1.3
通所介護	4501 100.0	33 0.7	68 1.5	16 0.4	3 0.1	99 2.2	89 2.0	66 1.5	8 0.2	53 1.2
地域密着型通所介護	3380 100.0	40 1.2	35 1.0	13 0.4	0 0.0	49 1.4	58 1.7	42 1.2	8 0.2	54 1.6
認知症対応型通所介護	583 100.0	8 1.4	4 0.7	0 0.0	0 0.0	12 2.1	5 0.9	10 1.7	2 0.3	1 0.2
	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	注射・点滴	簡易血糖測定	インスリン注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析(在宅自己腹膜灌流含む)	導尿
全体	17 0.2	5 0.1	33 0.4	95 1.1	202 2.4	785 9.3	417 4.9	3001 35.5	34 0.4	62 0.7
通所介護	12 0.3	0 0.0	19 0.4	54 1.2	115 2.6	448 10.0	213 4.7	1644 36.5	19 0.4	34 0.8
地域密着型通所介護	4 0.1	5 0.1	11 0.3	36 1.1	75 2.2	262 7.8	168 5.0	1123 33.2	14 0.4	26 0.8
認知症対応型通所介護	1 0.2	0 0.0	3 0.5	5 0.9	12 2.1	75 12.9	36 6.2	234 40.1	1 0.2	2 0.3
	疼痛の看護	洗腸	摘便	リハビリテーション	口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理)	その他	なし	わからない、把握していない	無回答	累計(n) %
全体	234 2.8	242 2.9	318 3.8	1076 12.7	1243 14.7	158 1.9	3256 38.5	124 1.5	738 8.7	12816 151.4
通所介護	138 3.1	119 2.6	140 3.1	596 13.2	629 14.0	62 1.4	1790 39.8	63 1.4	302 6.7	6832 151.8
地域密着型通所介護	86 2.5	91 2.7	139 4.1	424 12.5	507 15.0	72 2.1	1267 37.5	58 1.7	399 11.8	5066 149.9
認知症対応型通所介護	10 1.7	32 5.5	39 6.7	56 9.6	107 18.4	24 4.1	199 34.1	3 0.5	37 6.3	918 157.5

(22) 現在、利用者に実施している機能訓練内容

Q22 現在、利用者に実施している機能訓練内容（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、利用者に実施している機能訓練内容をみると、全体では「歩行・移動」がもっとも割合が高く、次いで「入浴」、「筋力」となっていた。認知症対応型通所介護では、他に比べ、「食事」や「排泄」、「更衣」、「整容」、「入浴」、「コミュニケーション」、「余暇活動」等の割合が高くなっていた。

図表 215 Q22 現在、利用者に実施している機能訓練内容 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	呼吸機能	体力	浮腫等	関節可動域	筋力	筋緊張	筋持久力	運動機能
全体	8464 100.0	1034 12.2	3942 46.6	1008 11.9	3266 38.6	4646 54.9	868 10.3	2137 25.2	4613 54.5
通所介護	4501 100.0	493 11.0	2050 45.5	484 10.8	1742 38.7	2540 56.4	500 11.1	1217 27.0	2481 55.1
地域密着型通所介護	3380 100.0	503 14.9	1628 48.2	458 13.6	1336 39.5	1835 54.3	345 10.2	838 24.8	1835 54.3
認知症対応型通所介護	583 100.0	38 6.5	264 45.3	66 11.3	188 32.2	271 46.5	23 3.9	82 14.1	297 50.9
	痛み	姿勢	起居	歩行・移動	階段昇降	その他の身体機能の改善	生活意欲の向上	食事	調理
全体	1077 12.7	2033 24.0	1318 15.6	5484 64.8	1544 18.2	198 2.3	4318 51.0	3475 41.1	471 5.6
通所介護	542 12.0	1063 23.6	801 17.8	3025 67.2	881 19.6	85 1.9	2186 48.6	1762 39.1	161 3.6
地域密着型通所介護	502 14.9	848 25.1	459 13.6	2107 62.3	586 17.3	101 3.0	1810 53.6	1380 40.8	233 6.9
認知症対応型通所介護	33 5.7	122 20.9	58 9.9	352 60.4	77 13.2	12 2.1	322 55.2	333 57.1	77 13.2
	排泄	更衣	整容	入浴	掃除・整理整頓	洗濯	起床・就寝の準備	買い物	コミュニケーション
全体	2893 34.2	3113 36.8	2369 28.0	4875 57.6	513 6.1	506 6.0	287 3.4	356 4.2	3946 46.6
通所介護	1517 33.7	1675 37.2	1232 27.4	2657 59.0	237 5.3	228 5.1	139 3.1	186 4.1	2009 44.6
地域密着型通所介護	1057 31.3	1157 34.2	910 26.9	1835 54.3	225 6.7	225 6.7	133 3.9	158 4.7	1550 45.9
認知症対応型通所介護	319 54.7	281 48.2	227 38.9	383 65.7	51 8.7	53 9.1	15 2.6	12 2.1	387 66.4
	余暇活動	仕事	外出	公共交通機関の利用	その他の生活課題の改善	無回答	累計 (n) %		
全体	2296 27.1	77 0.9	1294 15.3	61 0.7	75 0.9	670 7.9	64763 765.2		
通所介護	1207 26.8	24 0.5	639 14.2	31 0.7	29 0.6	298 6.6	34121 758.1		
地域密着型通所介護	875 25.9	31 0.9	559 16.5	30 0.9	32 0.9	324 9.6	25905 766.4		
認知症対応型通所介護	214 36.7	22 3.8	96 16.5	0 0.0	14 2.4	48 8.2	4737 812.5		

II. 利用者の方（利用者・家族回答票）

(1) デイサービスに通い始めたきっかけ

Q1 デイサービスに通い始めたきっかけ（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めたきっかけをみると、いずれも「家族の希望」がもっとも割合が高く、次いで「ケアマネジャーのすすめ」、「自分の希望」となっていた。

図表 216 Q1 デイサービスに通い始めたきっかけ [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	自分の希望	家族の希望	かかりつけ 医のすすめ	ケアマネ ジャーのす すすめ	知人・友人 のすすめ	その他	無回答
全体	9325 100.0	1676 18.0	4029 43.2	395 4.2	2151 23.1	288 3.1	124 1.3	662 7.1
通所介護	4958 100.0	907 18.3	2243 45.2	225 4.5	1034 20.9	149 3.0	61 1.2	339 6.8
地域密着型通所介護	3712 100.0	704 19.0	1464 39.4	135 3.6	940 25.3	128 3.4	53 1.4	288 7.8
認知症対応型通所介護	655 100.0	65 9.9	322 49.2	35 5.3	177 27.0	11 1.7	10 1.5	35 5.3

(2) 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けたか

Q2 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けましたか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について説明を受けたかをみると、いずれも「説明を受けた」が約9割と最も割合が高くなっていた。

図表 217 Q2 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について説明を受けたか [単位:(上段)実数,(下段)%]

	全体	説明を受け た	説明を受け ていない	無回答
全体	9325 100.0	8371 89.8	812 8.7	142 1.5
通所介護	4958 100.0	4414 89.0	475 9.6	69 1.4
地域密着型通所介護	3712 100.0	3370 90.8	298 8.0	44 1.2
認知症対応型通所介護	655 100.0	587 89.6	39 6.0	29 4.4

Q2-1 【Q2で「1.説明を受けた」と回答した方】実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うことはありましたか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うことをみると、いずれも「ほとんどなかった」が約6割ともっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」であった。一方で、「しばしばあった」、「たまにあった」は合わせて約1割強であった。

図表 218 Q2-1 実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うこと [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	しばしばあった	たまにあった	あまりなかった	ほとんどなかった	無回答
全体	8371 100.0	587 7.0	560 6.7	2194 26.2	4831 57.7	199 2.4
通所介護	4414 100.0	251 5.7	312 7.1	1256 28.5	2494 56.5	101 2.3
地域密着型通所介護	3370 100.0	301 8.9	214 6.4	799 23.7	1971 58.5	85 2.5
認知症対応型通所介護	587 100.0	35 6.0	34 5.8	139 23.7	366 62.4	13 2.2

(3) 現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由

Q3 現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由をみると、いずれも「事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから」、「お風呂に入ることができるから」が約6～7割と最も割合が高くなっていた。地域密着型通所介護では「元気になれると思ったから」が他に比べ高くなっていた。また、通所介護では「一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせると思ったから」、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護では「一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員の目が行き届きやすいと思ったから」がそれぞれ通所介護に比べ割合が高くなっていた。

図表 219 Q3 現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから	お風呂に入ることができるから	食事のメニューが充実しているから	機能訓練（体操や歩行練習など）が充実しているから	レクリエーション（カラオケや手芸など）が充実しているから	ボランティア活動ができるから	利用時間中に、事業所の外に外出できるから	他の利用者や職員と話したかったから
全体	9325 100.0	6288 67.4	5976 64.1	2929 31.4	3980 42.7	2839 30.4	128 1.4	805 8.6	2791 29.9
通所介護	4958 100.0	3239 65.3	3396 68.5	1536 31.0	2135 43.1	1490 30.1	55 1.1	281 5.7	1348 27.2
地域密着型通所介護	3712 100.0	2600 70.0	2139 57.6	1177 31.7	1628 43.9	1125 30.3	62 1.7	432 11.6	1276 34.4
認知症対応型通所介護	655 100.0	449 68.5	441 67.3	216 33.0	217 33.1	224 34.2	11 1.7	92 14.0	167 25.5
	事業所の設備がきれいだったから	一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせると思ったから	一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員の目が行き届きやすいと思ったから	自宅の近くに事業所があったから	朝早くから利用することができるから	夜遅くまで利用することができるから	利用申し込みの際、すぐに利用できると思ったから	他の事業所と比べて、利用料が安かったから	他の事業所と比べて、1月に使うことができる回数が多いと聞いたから
全体	2706 29.0	2602 27.9	2705 29.0	3623 38.9	932 10.0	210 2.3	2253 24.2	335 3.6	315 3.4
通所介護	1480 29.9	1758 35.5	686 13.8	1897 38.3	508 10.2	80 1.6	1182 23.8	146 2.9	166 3.3
地域密着型通所介護	1066 28.7	733 19.7	1707 46.0	1488 40.1	347 9.3	110 3.0	915 24.6	162 4.4	115 3.1
認知症対応型通所介護	160 24.4	111 16.9	312 47.6	238 36.3	77 11.8	20 3.1	156 23.8	27 4.1	34 5.2
	元気になれると思ったから	家族が安心するから	かかりつけ医から勧められたから	ケアマネジャーから勧められたから	家族から勧められたから	知り合いから勧められたから	その他	無回答	累計 (n) %
全体	4419 47.4	4388 47.1	629 6.7	3276 35.1	3166 34.0	499 5.4	226 2.4	95 1.0	58115 623.2
通所介護	2275 45.9	2313 46.7	332 6.7	1584 31.9	1703 34.3	264 5.3	111 2.2	43 0.9	30008 605.2
地域密着型通所介護	1900 51.2	1766 47.6	233 6.3	1404 37.8	1234 33.2	217 5.8	97 2.6	32 0.9	23965 645.6
認知症対応型通所介護	244 37.3	309 47.2	64 9.8	288 44.0	229 35.0	18 2.7	18 2.7	20 3.1	4142 632.4

(4) 現在、通っているデイサービスの事業所に通うにあたり、見学に行ったか

Q4 現在、通っているデイサービスの事業所に通うにあたり、見学に行きましたか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由をみると、地域密着型通所介護では「見学に行った」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 220 Q4 現在、通っているデイサービスの事業所に通うにあたり、見学に行ったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	見学に行った	見学に行かなかった	無回答
全体	9325 100.0	4820 51.7	4185 44.9	320 3.4
通所介護	4958 100.0	2271 45.8	2505 50.5	182 3.7
地域密着型通所介護	3712 100.0	2227 60.0	1372 37.0	113 3.0
認知症対応型通所介護	655 100.0	322 49.2	308 47.0	25 3.8

(5) デイサービスに通い始めて、以前より①食事、②入浴、③トイレが、自分でできるようになったか

Q5 デイサービスに通い始めて、以前より①食事、②入浴、③トイレが、自分でできるようになりましたか。(単数回答)

デイサービスに通い始めて、以前より①食事が自分でできるようになったかをみると、全体では「変わらない」が6割以上と最も割合が高く、次いで「以前より自分でできるようになった」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「以前より自分でできなくなった」の割合が他に比べ高くなっており、サービスの特性上、重度の利用者が多いことが影響していると考えられる。

図表 221 Q5 デイサービスに通い始めて、以前より食事が自分でできるようになったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より自分でできるようになった	変わらない	以前より自分でできなくなった	わからない	無回答
全体	9325 100.0	1871 20.1	6196 66.4	471 5.1	410 4.4	377 4.0
通所介護	4958 100.0	978 19.7	3353 67.6	254 5.1	197 4.0	176 3.5
地域密着型通所介護	3712 100.0	788 21.2	2433 65.5	159 4.3	163 4.4	169 4.6
認知症対応型通所介護	655 100.0	105 16.0	410 62.6	58 8.9	50 7.6	32 4.9

デイサービスに通い始めて、以前より②入浴が自分でできるようになったかをみると、全体では「変わらない」が5割以上ともっとも割合が高く、次いで「以前より自分でできるようになった」となっていた。

図表 222 Q5 デイサービスに通い始めて、以前より入浴が自分でできるようになったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より自分でできるようになった	変わらない	以前より自分でできなくなった	わからない	無回答
全体	9325 100.0	1775 19.0	5284 56.7	841 9.0	803 8.6	622 6.7
通所介護	4958 100.0	931 18.8	2806 56.6	474 9.6	432 8.7	315 6.4
地域密着型通所介護	3712 100.0	754 20.3	2113 56.9	299 8.1	283 7.6	263 7.1
認知症対応型通所介護	655 100.0	90 13.7	365 55.7	68 10.4	88 13.4	44 6.7

事業所のサービス種別に、デイサービスに通い始めて、以前より③トイレが自分でできるようになったかをみると、全体では「変わらない」が6割以上ともっとも割合が高く、次いで「以前より自分でできるようになった」となっていた。

図表 223 Q5 デイサービスに通い始めて、以前よりトイレが自分でできるようになったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より自分でできるようになった	変わらない	以前より自分でできなくなった	わからない	無回答
全体	9325 100.0	1684 18.1	5980 64.1	805 8.6	429 4.6	427 4.6
通所介護	4958 100.0	899 18.1	3195 64.4	434 8.8	222 4.5	208 4.2
地域密着型通所介護	3712 100.0	705 19.0	2383 64.2	289 7.8	149 4.0	186 5.0
認知症対応型通所介護	655 100.0	80 12.2	402 61.4	82 12.5	58 8.9	33 5.0

(6) デイサービスに通い始めてからの、それまでかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化

Q6 デイサービスに通い始めて、それまでかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会は変わりましたか。(単数回答)

デイサービスに通い始めてからの、それまでかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化をみると、全体では「変わらない」が5割以上と最も割合が高く、次いで「以前より増えた」となっていた。

図表 224 Q6 デイサービスに通い始めてからの、それまでかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より増えた	変わらない	以前より減った	わからない	無回答
全体	9325 100.0	2390 25.6	4808 51.6	1142 12.2	611 6.6	374 4.0
通所介護	4958 100.0	1288 26.0	2518 50.8	657 13.3	309 6.2	186 3.8
地域密着型通所介護	3712 100.0	1006 27.1	1947 52.5	380 10.2	218 5.9	161 4.3
認知症対応型通所介護	655 100.0	96 14.7	343 52.4	105 16.0	84 12.8	27 4.1

(7) デイサービスに通い始めてからの、家族や地域の中での役割の変化

Q7 デイサービスに通い始めて、家族や地域の中での役割は変わりましたか。(単数回答)

デイサービスに通い始めてからの、家族や地域の中での役割の変化をみると、全体では「変わらない」が約7割と最も割合が高く、次いで「わからない」となっていた。

図表 225 Q7 デイサービスに通い始めてからの、家族や地域の中での役割の変化 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	役割が増えた	変わらない	役割が減った	わからない	無回答
全体	9325 100.0	714 7.7	6248 67.0	885 9.5	1042 11.2	436 4.7
通所介護	4958 100.0	347 7.0	3358 67.7	492 9.9	523 10.5	238 4.8
地域密着型通所介護	3712 100.0	317 8.5	2497 67.3	310 8.4	414 11.2	174 4.7
認知症対応型通所介護	655 100.0	50 7.6	393 60.0	83 12.7	105 16.0	24 3.7

(8) デイサービスに通い始めてからの、気分や体調の変化

Q8 デイサービスに通い始めて、以前より気分が晴れたり、体調が安定するようになりましたか。
(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めてからの、気分や体調の変化をみると、「以前より気分が晴れたり、体調が安定するようになった」がもっとも割合が高く、次いで、「変わらない」となっていた。

図表 226 Q8 デイサービスに通い始めてからの、気分や体調の変化 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より気分が晴れたり、体調が安定するようになった	変わらない	以前より気分が落ち込んだり、体調が不安定になった	わからない	無回答
全体	9325 100.0	6127 65.7	2382 25.5	109 1.2	550 5.9	157 1.7
通所介護	4958 100.0	3156 63.7	1375 27.7	63 1.3	279 5.6	85 1.7
地域密着型通所介護	3712 100.0	2573 69.3	851 22.9	35 0.9	196 5.3	57 1.5
認知症対応型通所介護	655 100.0	398 60.8	156 23.8	11 1.7	75 11.5	15 2.3

(9) デイサービスに通い始めてからの、家族との関係の変化

Q9 デイサービスに通い始めて、家族との関係に変化がありましたか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めてからの、家族との関係の変化をみると、「変わらない」がもっとも割合が高く、次いで「良くなった」となっていた。

図表 227 Q9 デイサービスに通い始めてからの、家族との関係の変化 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答
全体	9325 100.0	3230 34.6	5167 55.4	38 0.4	675 7.2	215 2.3
通所介護	4958 100.0	1676 33.8	2826 57.0	20 0.4	331 6.7	105 2.1
地域密着型通所介護	3712 100.0	1311 35.3	2031 54.7	13 0.4	268 7.2	89 2.4
認知症対応型通所介護	655 100.0	243 37.1	310 47.3	5 0.8	76 11.6	21 3.2

(10) デイサービスの利用は、あなた（利用者）の助けになっていたと思うか

Q10 デイサービスの利用は、あなたの助けになっていたと思いますか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスの利用は、あなた（利用者）の助けになっていたと思うかをみると、「利用できて助かっている」がもっとも割合が高く、次いで「なくてはならないものだ」を合わせると約9割と、デイサービスの効果を利用者が感じていることがうかがえる。

図表 228 Q10 デイサービスの利用は、あなた（利用者）の助けになっていたと思うか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	なくてはならないものだ	利用できて助かっている	もし利用できなくても他のサービスでなんとかなる	もし利用できなくても家族や親族の介護でなんとかなる	わからない	無回答
全体	9325 100.0	3006 32.2	5480 58.8	45 0.5	48 0.5	471 5.1	275 2.9
通所介護	4958 100.0	1539 31.0	2993 60.4	25 0.5	25 0.5	227 4.6	149 3.0
地域密着型通所介護	3712 100.0	1247 33.6	2131 57.4	18 0.5	16 0.4	196 5.3	104 2.8
認知症対応型通所介護	655 100.0	220 33.6	356 54.4	2 0.3	7 1.1	48 7.3	22 3.4

III. ご家族の方（利用者・家族回答票）

(11) あなた（家族介護者）の年齢

Q11 あなた（家族介護者）の年齢（数値回答）

事業所のサービス種別ごとに、家族介護者の年齢をみるといずれも「60歳代」がもっとも割合が高く、次いで「50歳代」、「70歳代」となっていた。

図表 229 Q11 あなた（家族介護者）の年齢 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	7860 100.0	20 0.3	61 0.8	419 5.3	1813 23.1	2571 32.7	1463 18.6	1083 13.8	430 5.5
通所介護	4214 100.0	6 0.1	40 0.9	239 5.7	927 22.0	1428 33.9	785 18.6	527 12.5	262 6.2
地域密着型通所介護	3010 100.0	12 0.4	19 0.6	148 4.9	732 24.3	960 31.9	551 18.3	442 14.7	146 4.9
認知症対応型通所介護	636 100.0	2 0.3	2 0.3	32 5.0	154 24.2	183 28.8	127 20.0	114 17.9	22 3.5

全体の家族介護者の年齢の平均値は以下の通り。

図表 230 Q11 あなた（家族介護者）の年齢（平均値） [単位:年]

	全体	平均
全体	7430 100.0	65.45
通所介護	3952 53.2	65.25
地域密着型通所介護	2864 38.5	65.48
認知症対応型通所介護	614 8.3	66.58

(12) あなた（家族介護者）の性別

Q12 あなた（家族介護者）の性別（単数回答）

家族介護者の性別をみると、全体では「女性」が約7割ともっとも割合が高くなっていた。

図表 231 Q12 あなた（家族介護者）の性別 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	男性	女性	無回答
全体	7860 100.0	2415 30.7	5330 67.8	115 1.5
通所介護	4214 100.0	1275 30.3	2869 68.1	70 1.7
地域密着型通所介護	3010 100.0	942 31.3	2030 67.4	38 1.3
認知症対応型通所介護	636 100.0	198 31.1	431 67.8	7 1.1

(13) 子どもの有無

Q13 子どもの有無（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、家族介護者の子どもの有無をみると、いずれも「いる」が約6割ともっとも割合が高くなっていた。

図表 232 Q13 (家族介護者の) 子どもの有無 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	いる	いない	無回答
全体	7860 100.0	4915 62.5	2544 32.4	401 5.1
通所介護	4214 100.0	2668 63.3	1327 31.5	219 5.2
地域密着型通所介護	3010 100.0	1855 61.6	1001 33.3	154 5.1
認知症対応型通所介護	636 100.0	392 61.6	216 34.0	28 4.4

事業所のサービス種別ごとに、家族介護者の末子の学齢をみると、いずれも「中学生以上」が約7割ともっとも割合が高くなっていた。

図表 233 Q13 (家族介護者の) 末子の学齢 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	未就学児	小学生	中学生以上	無回答
全体	4915 100.0	33 0.7	121 2.5	3425 69.7	1336 27.2
通所介護	2668 100.0	16 0.6	78 2.9	1853 69.5	721 27.0
地域密着型通所介護	1855 100.0	12 0.6	40 2.2	1302 70.2	501 27.0
認知症対応型通所介護	392 100.0	5 1.3	3 0.8	270 68.9	114 29.1

(14) 利用者との同居の有無

Q14 利用者との同居の有無 (単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、家族介護者の利用者との同居の有無をみると、いずれも「同居」が7割以上とともっとも割合が高くなっていた。

図表 234 Q14 (家族介護者の) 利用者との同居の有無 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	同居	近居(利用者宅から約30分以内)	同居も近居もしていない	無回答
全体	7860 100.0	5706 72.6	1365 17.4	640 8.1	149 1.9
通所介護	4214 100.0	3083 73.2	708 16.8	340 8.1	83 2.0
地域密着型通所介護	3010 100.0	2136 71.0	558 18.5	263 8.7	53 1.8
認知症対応型通所介護	636 100.0	487 76.6	99 15.6	37 5.8	13 2.0

(15) 利用者との続柄

Q15 利用者との続柄 (単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、家族介護者の利用者との続柄をみると、いずれも「子」が5割以上とともっとも割合が高く、次いで「配偶者」であった。また、認知症対応型通所介護では、「配偶者」の割合が他に比べ高くなっていた。

図表 235 Q15 (家族介護者の) 利用者との続柄 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	配偶者	子	その他	無回答
全体	7860 100.0	1896 24.1	4415 56.2	1261 16.0	288 3.7
通所介護	4214 100.0	966 22.9	2348 55.7	745 17.7	155 3.7
地域密着型通所介護	3010 100.0	735 24.4	1726 57.3	436 14.5	113 3.8
認知症対応型通所介護	636 100.0	195 30.7	341 53.6	80 12.6	20 3.1

(16) 利用者に対するあなたの介護の役割

Q16 利用者に対するあなたの介護の役割（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者に対する家族介護者の介護の役割をみると、いずれも「主たる担当」が8割以上ともしっかり割合が高くなっていた。

図表 236 Q16 利用者に対するあなた（家族介護者）の介護の役割 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	主たる担当	主たる担当 ではないが 介護に参加	無回答
全体	7860 100.0	6453 82.1	1119 14.2	288 3.7
通所介護	4214 100.0	3471 82.4	584 13.9	159 3.8
地域密着型通所介護	3010 100.0	2445 81.2	466 15.5	99 3.3
認知症対応型通所介護	636 100.0	537 84.4	69 10.8	30 4.7

(17) 利用者以外に、介護が必要な家族・親族等の有無

Q17 利用者以外に、介護が必要な家族・親族等の有無（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者以外に、介護が必要な家族・親族等の有無をみると、いずれも「いない」が約8割ともしっかり割合が高くなっていた。

図表 237 Q17 利用者以外に、介護が必要な家族・親族等の有無 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	いる	いない	無回答
全体	7860 100.0	1559 19.8	6160 78.4	141 1.8
通所介護	4214 100.0	810 19.2	3327 79.0	77 1.8
地域密着型通所介護	3010 100.0	619 20.6	2343 77.8	48 1.6
認知症対応型通所介護	636 100.0	130 20.4	490 77.0	16 2.5

(18) 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けたか

Q18 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けましたか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けたかをみると、「説明を受けた」が9割以上ともっとも割合が高くなっていた。

図表 238 Q18 現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けたか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	説明を受けた	説明を受けていない	無回答
全体	7860 100.0	7382 93.9	372 4.7	106 1.3
通所介護	4214 100.0	3925 93.1	228 5.4	61 1.4
地域密着型通所介護	3010 100.0	2851 94.7	122 4.1	37 1.2
認知症対応型通所介護	636 100.0	606 95.3	22 3.5	8 1.3

Q18-1 【Q18で「1.説明を受けた」と回答した方】実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うことはありましたか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うことはあったかをみると、「ほとんどなかった」がもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」となっていた。一方で、「しばしばあった」、「たまにあった」が合わせて約1割強であった。

図表 239 Q18-1 実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うことはあったか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	しばしばあった	たまにあった	あまりなかった	ほとんどなかった	無回答
全体	7382 100.0	530 7.2	415 5.6	1812 24.5	4562 61.8	63 0.9
通所介護	3925 100.0	259 6.6	227 5.8	1052 26.8	2355 60.0	32 0.8
地域密着型通所介護	2851 100.0	239 8.4	156 5.5	624 21.9	1806 63.3	26 0.9
認知症対応型通所介護	606 100.0	32 5.3	32 5.3	136 22.4	401 66.2	5 0.8

(19) 現在、利用者が通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由

Q19 現在、利用者が通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由（複数回答）

事業所のサービス種別ごとに、現在、利用者が通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由をみると、全体では「事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから」の割合が7割以上と最も高く、次いで「お風呂に入れてもらうことができるから」の割合が高くなっていった。

また、通所介護では「一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせると思ったから」、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護では「一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員の目が行き届きやすいと思ったから」がそれぞれ通所介護に比べ割合が高くなっていった。

認知症対応型通所介護では、「認知症ケアが充実しているから」の割合が、特に他に比べ高くなっていった。

図表 240 Q19 現在、利用者が通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから	お風呂に入れてもらうことができるから	食事のメニューが充実しているから	機能訓練(体操や歩行練習など)が充実しているから	医療的ケア(服薬管理など)を受けることができるから	認知症ケアが充実しているから	レクリエーション(カラオケや手芸など)が充実しているから	ボランティア活動の機会が設けられているから	利用時間中に、事業所の外に外出する機会が設けられているから
全体	7860 100.0	5704 72.6	5385 68.5	2356 30.0	3332 42.4	1447 18.4	1342 17.1	2520 32.1	127 1.6	981 12.5
通所介護	4214 100.0	3020 71.7	3097 73.5	1233 29.3	1896 45.0	824 19.6	531 12.6	1336 31.7	56 1.3	393 9.3
地域密着型通所介護	3010 100.0	2234 74.2	1833 60.9	915 30.4	1219 40.5	507 16.8	459 15.2	967 32.1	57 1.9	444 14.8
認知症対応型通所介護	636 100.0	450 70.8	455 71.5	208 32.7	217 34.1	116 18.2	352 55.3	217 34.1	14 2.2	144 22.6
	他の利用者や職員とのコミュニケーションを楽しんでもらえそうだったから	事業所の設備がきれいだったから	一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせそうだったから	一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員の目が行き届きやすいと思ったから	自宅の近くに事業所があったから	朝早くから利用できるから	夜遅くまで利用できるから	利用申し込みの際、すぐに利用できると思ったから	他の事業所と比べて、利用料が安かったから	他の事業所と比べて、1月に使う回数が多いと聞いたから
全体	3923 49.9	2154 27.4	2058 26.2	2621 33.3	3435 43.7	875 11.1	262 3.3	2180 27.7	280 3.6	357 4.5
通所介護	1987 47.2	1223 29.0	1491 35.4	653 15.5	1876 44.5	489 11.6	118 2.8	1187 28.2	139 3.3	180 4.3
地域密着型通所介護	1624 54.0	767 25.5	474 15.7	1608 53.4	1309 43.5	314 10.4	116 3.9	806 26.8	113 3.8	123 4.1
認知症対応型通所介護	312 49.1	164 25.8	93 14.6	360 56.6	250 39.3	72 11.3	28 4.4	187 29.4	28 4.4	54 8.5
	本人が利用することを希望したから	本人が元気になれると思ったから	本人がデイサービスに行っている間、自分が仕事や育児などに専念できるから	本人がデイサービスに行っている間、仕事や育児以外の自分のことができるから	かかりつけ医から勧められたから	ケアマネジャーから勧められたから	知り合いから勧められたから	その他	無回答	累計(n)%
全体	2038 25.9	4115 52.4	2587 32.9	2300 29.3	707 9.0	2877 36.6	523 6.7	248 3.2	196 2.5	56930 724.3
通所介護	1089 25.8	2204 52.3	1444 34.3	1232 29.2	370 8.8	1398 33.2	267 6.3	134 3.2	100 2.4	29967 711.1
地域密着型通所介護	882 29.3	1606 53.4	920 30.6	834 27.7	251 8.3	1170 38.9	218 7.2	92 3.1	75 2.5	21937 728.8
認知症対応型通所介護	67 10.5	305 48.0	223 35.1	234 36.8	86 13.5	309 48.6	38 6.0	22 3.5	21 3.3	5026 790.3

(20) デイサービスの利用は、介護を担うあなた（家族介護者）自身の助けになっていたと思うか

Q20 デイサービスの利用は、介護を担うあなた自身の助けになっていたと思いますか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスの利用は、介護を担うあなた（家族介護者）自身の助けになっていたと思うかをみると、いずれも「なくてはならないものだ」、「利用できて助かっている」が合わせて9割以上となっていた。

図表 241 Q20 デイサービスの利用は、介護を担うあなた（家族介護者）自身の助けになっていたと思うか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	なくてはならないものだ	利用できて助かっている	もし利用できなくても他のサービスでなんとかなる	もし利用できなくても家族や親族の介護でなんとかなる	わからない	無回答
全体	7860 100.0	3602 45.8	3781 48.1	8 0.1	18 0.2	51 0.6	400 5.1
通所介護	4214 100.0	1876 44.5	2077 49.3	3 0.1	12 0.3	26 0.6	220 5.2
地域密着型通所介護	3010 100.0	1407 46.7	1441 47.9	5 0.2	4 0.1	20 0.7	133 4.4
認知症対応型通所介護	636 100.0	319 50.2	263 41.4	0 0.0	2 0.3	5 0.8	47 7.4

(21) デイサービスに通い始めて、あなた（家族介護者）の介護の負担は軽減されたか

Q21 デイサービスに通い始めて、あなたの介護の負担は軽減されましたか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めて、あなた（家族介護者）の介護の負担は軽減されたかをみると、いずれも「介護負担が軽減された」が約8割ともっとも高く、次いで「変わらない」となっていた。

図表 242 Q21 デイサービスに通い始めて、あなた（家族介護者）の介護の負担は軽減されたか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	介護負担が軽減された	変わらない	介護負担が重くなった	無回答
全体	7860 100.0	6394 81.3	1164 14.8	49 0.6	253 3.2
通所介護	4214 100.0	3455 82.0	604 14.3	26 0.6	129 3.1
地域密着型通所介護	3010 100.0	2401 79.8	496 16.5	19 0.6	94 3.1
認知症対応型通所介護	636 100.0	538 84.6	64 10.1	4 0.6	30 4.7

(22) あなた（家族介護者）のお仕事について

Q22 あなたのお仕事について（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、あなた（家族介護者）の仕事をみると、いずれも「仕事には就いていない」がもっとも割合が高く、次いで「フルタイム就労」、「パートタイム就労」となっていた。

図表 243 Q22 あなた（家族介護者）のお仕事について [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	フルタイム 就労	パートタイ ム就労	自営、個人 経営	仕事には就 いていない	無回答
全体	7860 100.0	1948 24.8	1440 18.3	927 11.8	3221 41.0	324 4.1
通所介護	4214 100.0	1039 24.7	802 19.0	516 12.2	1698 40.3	159 3.8
地域密着型通所介護	3010 100.0	787 26.1	543 18.0	344 11.4	1202 39.9	134 4.5
認知症対応型通所介護	636 100.0	122 19.2	95 14.9	67 10.5	321 50.5	31 4.9

Q22-1 【Q22で「1.フルタイム就労」「2.パートタイム就労」「3.自営、個人経営」に回答した方】利用者がデイサービスに通い始めて、あなた自身は以前よりも、介護と仕事や家庭を両立しやすくなりましたか。（単数回答）

事業所のサービス種別ごとに、利用者がデイサービスに通い始めて、あなた（家族介護者）自身は以前よりも、介護と仕事や家庭を両立しやすくなったかをみると、いずれも「両立しやすくなった」が7割以上と最も割合が高く、次いで「変わらない」となっていた。

図表 244 Q22-1 利用者がデイサービスに通い始めて、あなた（家族介護者）自身は以前よりも、介護と仕事や家庭を両立しやすくなったか [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	両立しやす くなった	変わらない	両立しにく くなった	わからない	無回答
全体	4315 100.0	3247 75.2	902 20.9	32 0.7	86 2.0	48 1.1
通所介護	2357 100.0	1772 75.2	498 21.1	14 0.6	46 2.0	27 1.1
地域密着型通所介護	1674 100.0	1252 74.8	357 21.3	14 0.8	34 2.0	17 1.0
認知症対応型通所介護	284 100.0	223 78.5	47 16.5	4 1.4	6 2.1	4 1.4

(23) デイサービスに通い始めて、利用者は以前より①食事、②入浴、③トイレが自分でできるようになったか

Q23 デイサービスに通い始めて、利用者は、以前より①食事、②入浴、③トイレが、自分でできるようになりましたか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めて、利用者は以前より①食事が自分でできるようになったかをみると、いずれも「変わらない」が6割以上と最も割合が高く、次いで「以前より自分でできるようになった」となっていた。

図表 245 Q23 デイサービスに通い始めて、利用者は以前より食事が自分でできるようになったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より自分でできるようになった	変わらない	以前より自分でできなくなった	わからない	無回答
全体	7860 100.0	1642 20.9	5217 66.4	459 5.8	232 3.0	310 3.9
通所介護	4214 100.0	853 20.2	2868 68.1	238 5.6	97 2.3	158 3.7
地域密着型通所介護	3010 100.0	677 22.5	1952 64.9	161 5.3	102 3.4	118 3.9
認知症対応型通所介護	636 100.0	112 17.6	397 62.4	60 9.4	33 5.2	34 5.3

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めて、利用者は以前より②入浴が自分でできるようになったかをみると、全体では「変わらない」が5割以上と最も割合が高く、次いで通所介護、地域密着型通所介護では、「以前より自分でできるようになった」となっていた。

図表 246 Q23 デイサービスに通い始めて、利用者は以前より入浴が自分でできるようになったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より自分でできるようになった	変わらない	以前より自分でできなくなった	わからない	無回答
全体	7860 100.0	1245 15.8	4432 56.4	825 10.5	821 10.4	537 6.8
通所介護	4214 100.0	635 15.1	2396 56.9	444 10.5	436 10.3	303 7.2
地域密着型通所介護	3010 100.0	535 17.8	1687 56.0	294 9.8	302 10.0	192 6.4
認知症対応型通所介護	636 100.0	75 11.8	349 54.9	87 13.7	83 13.1	42 6.6

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めて、利用者は以前より③トイレが自分でできるようになったかをみると、全体では「変わらない」が6割以上と最も割合が高く、次いで、通所介護、地域密着型通所介護では、「以前より自分でできるようになった」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「以前より自分でできなくなった」の割合が他に比べ高くなっており、サービスの特性上、重度の利用者が多いことが影響していると考えられる。

図表 247 Q23 デイサービスに通い始めて、利用者は以前よりトイレが自分でできるようになったか
[単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より自分でできるようになった	変わらない	以前より自分でできなくなった	わからない	無回答
全体	7860 100.0	1441 18.3	4859 61.8	822 10.5	350 4.5	388 4.9
通所介護	4214 100.0	795 18.9	2623 62.2	439 10.4	164 3.9	193 4.6
地域密着型通所介護	3010 100.0	571 19.0	1852 61.5	286 9.5	149 5.0	152 5.0
認知症対応型通所介護	636 100.0	75 11.8	384 60.4	97 15.3	37 5.8	43 6.8

(24) デイサービスに通い始めてからの、それまで利用者がかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化

Q24 デイサービスに通い始めて、それまで利用者がかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会は変わりましたか。(単数回答)

事業所のサービス種別ごとに、デイサービスに通い始めてからの、それまで利用者がかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化をみると、全体では「変わらない」が5割以上と最も割合が高く、次いで、通所介護、地域密着型通所介護では、「以前より増えた」となっていた。また、認知症対応型通所介護では「以前より減った」の割合が他に比べ若干高くなっており、サービスの特性上、重度の利用者が多いことが影響していると考えられる。

図表 248 Q24 デイサービスに通い始めてからの、それまで利用者がかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会の変化 [単位:(上段)実数, (下段)%]

	全体	以前より増えた	変わらない	以前より減った	わからない	無回答
全体	7860 100.0	1416 18.0	4337 55.2	1179 15.0	569 7.2	359 4.6
通所介護	4214 100.0	780 18.5	2295 54.5	654 15.5	308 7.3	177 4.2
地域密着型通所介護	3010 100.0	571 19.0	1678 55.7	404 13.4	215 7.1	142 4.7
認知症対応型通所介護	636 100.0	65 10.2	364 57.2	121 19.0	46 7.2	40 6.3

第5章 ヒアリング調査結果

1 実施概要

(1) 目的

今回実施したアンケート集計結果分析の深耕に資する情報を入手し、今後の通所介護等事業のあるべき方向性を検討するうえでの示唆を得るために、事業者に対するヒアリングを実施した。

(2) 選定事例

事務局で一次選定した大都市圏立地型、地方中小都市圏立地型それぞれの候補について、調査検討委員会において検討し、以下の2事業法人を選定した。

事例	対象事業所・所在地		法人名	選定軸	
				1	2
事例1	認知症対応型通所介護（せらび杉並） *	東京都杉並区 上井草	株式会社 日本ケアリンク		○
	通所介護（せらび荻窪デイサービス）	東京都杉並区 今川			
	小規模多機能型居宅介護 （せらび杉並）*	東京都杉並区 上井草			
事例2	認知症対応型通所介護（丸太の家）	神奈川県中井町	社会福祉法人 一燈会	○	
	通所介護（はなの杜）	神奈川県二宮町			
特記事項	事例1：*は併設。 事例2：認知症対応型通所介護（丸太の家）は、法人が運営する以下の事業所に併設。 ・介護老人保健施設（グレースヒル・湘南） ・通所リハビリテーション（グレースヒル・湘南） ・短期入所療養介護（グレースヒル・湘南）				

*隣接

■選定軸

1. 認知症対応型通所介護の他に、通所介護、地域密着型通所介護いずれかを実施している。
2. 認知症対応型通所介護の他に、通所介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護いずれかを実施している。

(3) 調査方法

対象事業所管理者等に対するオンラインでのヒアリング

2 ヒアリング調査結果

株式会社日本ケアリンク

(1) 運営主体概要

運営法人名	株式会社日本ケアリンク		所属法人グループ	株式会社ソラスト
法人本部所在地	東京都港区	設立年	2000年	
法人が都内で実施する介護サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 ・短期入所生活介護 ・特定施設入居者生活介護 ・認知症対応型通所介護 ・小規模多機能型居宅介護 ・認知症対応型共同生活介護 ・地域密着型特定施設入居者生活介護 			
対象事業所	登録者数	営業日	サービス提供時間	開始年
認知症対応型通所介護（せらび杉並）＊ 【所在地：杉並区上井草】	23人 要介護3以上6割	平日、土曜、祝日	9:00～18:00	2012年
通所介護（せらび荻窪） 【所在地：杉並区今川】	116人 要介護3以上3割	平日、土曜、祝日 （年末年始、GW、お盆期間も営業）	8:30～17:30	2010年
小規模多機能型居宅介護（せらび杉並）＊ 【所在地：杉並区上井草】	26人 要介護3以上3割	通年	通い：9:00～ 17:30 宿泊：18:00～ 9:00	2012年

(2) 圏域内の通所系サービス事業等の展開状況

①当法人の主な展開の推移

- ・1999年に杉並区荻窪の建設会社経営者が創業。
- ・2012年以降は認知症対応型共同生活介護、通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護等を展開。
- ・2017年に株式会社ソラスト（本社：東京都港区（旧：日本医療事務センター））の連結子会社になり現在に至る。

②圏域内の他事業所立地状況

- ・杉並区内には民間企業経営の事業所を中心に、合計20ヶ所前後の認知症対応型通所介護事業所が営業している。事業所形態としては、単独型の事業所も多い。

(3) 認知症対応型通所介護「せらび杉並」の利用、サービス提供状況

①当事業所利用に至るプロセス、決め手について

- ・当事業所の利用は、担当ケアマネジャーの紹介に基づく場合が多い。通所介護の利用では、認知症状に応じた十分な個別対応が受けられていないこともあるが、当事業所では手厚く個別ケアを実施することに努めている。
- ・本人、家族に当事業所を実際に見学いただき、その場の雰囲気を感じ取ったうえで選択いただく手順をとっている。
利用者や家族が事前見学なしで担当ケアマネジャーが「ここならこの高齢者に対する認知症

- ケアを任せることができる」と判断し、利用者・家族に説明のうえ利用に至る場合もある。
- ・実際に利用前に見学するケースは、およそ8~9割である。

②当事業所のケアの特性、強み、特徴的なサービスについて

- ・他の居宅サービスと比較すると当事業所の場合、利用者が少ないということもあって、個々の利用者の変化に早期に気づくことができる。当事業所の利用者に対するケアの職員配置の密度は厚いため「質の高いサービスを提供している」ということができる。
- ・月に2回、音楽療法を実施している。利用者には音楽が好きの方が多く、喜んでいただいている。職員も皆入社後に楽器（ウクレレ）を習得し演奏できるので、その機会だけでなく、ほぼ毎日音楽を中心に置いたケアを行っている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前は、地域のレストラン等で外食も実施していた。外出は利用者の状態が良くなる効果があることから収束後は再開したい。

③利用状況

- ・現在、稼働率は6割弱の水準である。新型コロナウイルス感染症の予防を理由に3名が利用休止しており、稼働率維持の面では厳しい状況で推移している。4月から1名が利用再開する見込み。
- ・利用者は80歳代、90歳代の方が多い。特に土曜日の利用者は90歳代の利用者が中心である。
- ・平均利用期間は2~3年で、利用者全員が区内在住である。
- ・他の通所介護を利用していたが、当事業所に利用を切り替える方もいる。
(例) 他の通所系サービスでは会話が成立しないためコミュニケーションが困難な方、自宅でBPSDが進行している方等
- ・当事業所の利用者のうち2割の方は、「他の認知症対応型通所介護、訪問介護等の居宅サービス」を組み合わせ利用していると思われる。

④利用申し込みをお断りする場合について

- ・ケアの質を保つためには、職員配置の密度を高い水準で維持することが重要であるが、現実には募集していても応募者の年齢が高いこともあり、なかなか求める人材の確保は困難な状況である。
- ・当事業所は看護師を配置していないこと、また夜間の職員配置は1人であることから、徘徊する人、褥瘡の重い方、胃ろうの方等の医療ケアが必要な方、ターミナル期の方の利用申し込みはお断りしている。ある程度安定期にある利用者、コミュニケーションが可能な方は受け入れの制限はしていない。
- ・また、送迎範囲が対象外（およそ片道25分程度超）の場合も利用受入れを辞退している。

⑤利用終了後の居場所について

- ・当事業所を利用終了した方は、小規模多機能型居宅介護を利用する方、認知症対応型共同生活介護、特別養護老人ホーム等へ入所する方が多い。

⑥状態像からみて、当事業所の利用が望ましいと思われたが、最終的に他のサービス利用になったケースについて

- ・週に必要な利用回数と月額区分支給限度基準額が折り合わずに、以下のサービス利用に替える場合がある。

ケース1：当初、当事業所の利用を予定していたが、必要な利用回数から積み上げた総利用負担額が区分支給限度額を超えるために、区分支給限度基準額内で必要な回数分を利用できる他の一般の通所介護の利用を決めた。（例：認知症対応型通所介護・併設型の要介護5の単位数1,276単位、通常規模型通所介護の要介護5の単位数1,142単位）

ケース2：自宅での対応が困難と判断した家族の希望によって、認知症対応型共同生活介護に入居する。

⑦小規模多機能型居宅介護、その他の居宅サービス組み合わせ利用との違い

- ・小規模多機能型居宅介護は、以下の点で、「通所介護、訪問介護、短期入所生活介護の組み合わせで利用する」形態と違いがある。
 - 包括料金制であることから、利用回数が多くなってもそれに伴って利用料自己負担額が上がらない。
 - それぞれ個別契約を結ばなくても利用できる。
 - 通いサービスを利用して部屋が空いていれば、その日そのまま馴染んだ空間で泊りサービスを利用できる。
 - 通いサービスを利用しない日でも、職員の配置ができる限りは泊りを利用することができる。
 - 利用者のケアに慣れている馴染みの職員が担当してくれる。
- ・就業している家族介護者にとって、「通い、泊り、昼食、夕食」のパッケージサービスは魅力がある。それぞれ別々のサービスを組み合わせる場合、利用できる区分支給限度基準額の枠内で利用できる回数限度が生じがちであるが、小規模多機能型居宅介護の場合は、個々のサービス利用の上限がない。また、認知症対応型通所介護の場合は、利用は夕方時間帯までで、夕食サービスはない。
- ・一方で、小規模多機能型居宅介護では、どうしても「訪問サービス」の利用には限度があることから、訪問介護を定期的に利用するニーズがある場合は、小規模多機能型居宅介護の利用ではなく、「個別の居宅サービスの組み合わせ利用」を選択する。
(例) 通所の場と自宅の両方で入浴したいという利用者の場合は、訪問介護を利用して自宅に入浴し、「認知症対応型通所介護」との併用形態のサービス利用になる。
- ・上記の利用ニーズに合ったサービスの選択について、ケアマネジャーには理解している人、およその理解にとどまっている人、ほとんど把握していない人さままである。各サービスの総利用負担額と小規模多機能型居宅介護の負担額を比較するだけで、利用者の利用サービスを選択して利用者・家族に勧めているケアマネジャーもいる。

⑧利用者の家族介護者に対する支援について

- ・送迎時には本人の状態について必ず報告している。また、状態像の変化がある場合は電話で報告している。家族から相談を受ける場合もあり、その場合は、当事業所のできる範囲で対応している。
- ・当事業所を利用しない日には、家族介護者に電話連絡し、状態を何うように努めている。家族介護者からは通所しない日の過ごし方等の報告を受けている。

⑨サービス提供上の課題

⑨ー1. 対面でのコミュニケーションが取りにくい状況が継続していること

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で運営推進会議を対面で開催できず、「書面とWEB併用で開催」する状態が続いており、行政に対して現場の状況、悩みや意見を共有できる場が設けられない状況にある。また地域の事業所の閉鎖状況に関する情報も事業者は正確に把握できていないため、行政はその状況等について広報していただきたい。

⑨ー2. 利用控えに伴う稼働率低下について

- ・利用を控えている利用者に対しては、電話で家族介護者に本人の状態を確認している。訪問については、感染リスクを利用者家族が危惧していると考え、差し控えている。
- ・利用控えに伴って、本人の状態が悪化していることを恐れていたが、実際には家族介護者が熱心にケアされているので状態は維持されているケースが多い。

⑩地域のケアマネジャーその他関係機関等との関係について

- ・利用者の担当ケアマネジャーとは頻りに連絡を取るよう努めている。特に利用者の状態変化が見られた場合は、すぐに担当ケアマネジャーに報告している。
- ・また、利用者の担当ケアマネジャーや主治医、他に利用している居宅サービス事業所との情報交換はかなり行われている。

(4) 職員の育成について

- ・毎月1回は、法人内の管理者等が講師を務めて、認知症ケアに関する研修を開催し育成に努めている。
- ・現在の新型コロナウイルス感染症予防体制下では、研修は対面で開催できずWEB研修方式で実施している。

(5) 地域との関係性、交流・開放事業の実施状況

①音楽療法を活用した施設全体で定期的に実施している会

- ・地域の方々も参加して、施設全体（当事業所、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護の拠点）で演奏会を開催している。

②日曜日の喫茶室

- ・当事業所の休日である日曜日に、当事業所のフロアを利用して、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護の担当職員が中心になって、利用者や利用者家族対象の喫茶室を開いている。

③地元及び周辺自治体との関係性

- ・当事業所の立地する区の場合、隣接区と比較して作成書類関係その他、いわゆるローカルルールが厳しい。

(6) 今後の事業展望、要望等

①介護人材確保対策の推進について

- ・20～30歳代の年齢層の職員が少なく、職員募集に応募してくるのもリタイア世代がメインとなっている。介護の現場に若い世代の担い手が入職してこない、事業運営が成り立たなくなると危惧している。

社会福祉法人一燈会

(1) 運営主体概要

運営法人名	社会福祉法人一燈会	所属法人グループ	なし	
法人本部所在地	神奈川県中郡二宮町	設立年	1989年	
法人が県内で実施する介護サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護／訪問リハビリテーション ・通所介護／通所リハビリテーション ・短期入所生活介護／短期入所療養介護 ・特定施設入居者生活介護 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ・地域密着型通所介護 ・認知症対応型通所介護 ・認知症対応型共同生活介護 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 ・居宅介護支援 			
対象事業所	登録者数	営業日	サービス提供時間	開始年
認知症対応型通所介護（丸太の家） 【所在地：中井町】	25人 要介護3以上6割	平日、土曜、祝日	9:30～16:40	2003年
通所介護（はなの杜） 【所在地：二宮町】	93人 要介護3以上4割弱	平日、土曜、祝日 （年末年始、GW、お盆期間も営業）	8:30～17:45	2003年

(2) 圏域内の通所系サービス事業の展開状況

①当法人の主な展開の推移

- ・1999年に二宮町内に通所介護のメゾン・二宮を立ち上げる。
- ・2000年に中井町内に老人保健施設グレースヒル・湘南を立ち上げ、併設で通所リハビリテーションを開所。
- ・2003年に老人保健施設グレースヒル・湘南併設で認知症対応型通所介護丸太の家を開所。
- ・2003年に二宮町内に通所介護はなの杜を開所。

②圏域内の他法人事業所立地状況

- ・通所介護は、中井町に数事業所、二宮町に7、8事業所立地している。二宮町内で地元事業者が営業していた小規模多機能型居宅介護は、西日本の事業者が買収後に廃止している。

③利用状況

- ・二宮町と隣町の中井町の通所介護系サービス事業所の利用圏域は重なりがある。（隣町の住民の利用者がいる。）

中井町内の同法人事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型通所介護（デイサービスセンター 丸太の家） ・地域密着型通所介護（ザ・中井プライム リハビリ SPA）
二宮町内の同法人事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護（湘南二宮デイサービスセンター はなの杜） ・通所介護（メゾン・二宮）

(3) 「丸太の家」の利用、サービス提供状況

①潜在的利用者層に対する訴求（営業上の工夫）方法について

- ・当事業の場合、特質を訴求する最初の「入口」の段階で、「サービスの良さ」を理解していただくまでのハードルが高く、潜在的な利用者層（本人、家族）にサービスの質の良さを訴求しにくい事業である。

- ・対応方策として、当事業所では「見学していただくこと」を通して当事業所のサービスの良さを理解いただき、他事業所とサービスの質の差別化を図ることに努めている。
- ・当事業所を見学する方は、担当ケアマネジャーが、①本人に同行して見学する場合、②本人と家族が来られて見学する場合が半々程度である。

②潜在利用者に対する訴求に関して、配慮していること

- ・特に本人の認知機能が一定程度維持されている場合、当事業所の「認知症対応型通所介護」という名称が、利用を検討する場合の障壁の一つとなっている。
- ・周辺地域住民の中では認知症を否定的に捉える評判・うわさが聞かれることもあり、風評を気にして利用を検討していた方が結局は利用に至らなかったケースもあった。（※利用者のケアマネジャーから伺ったこととして）
- ・名称への配慮として、見学に来られた本人には「認知症」の文言を使用しないパンフレットを用いて当事業所のサービス等の説明を行っている。

③利用者の利用形態

- ・②のことから、二宮町等、当事業所所在地の中井町以外の地域住民の利用希望が多い。
- ・当事業所の立地する中井町の隣の二宮町は、都心や県内中心地への通勤者が多く住む“ベッドタウン”であることから、当事業所の利用者の家族介護者には共働き世帯が多い。その世帯では、利用者が通所する日数が多いほど家族は助かる。そのため、「当事業所を週に3、4日利用し、他の日は別の通所介護を利用、月に数回は、短期入所生活介護（いずれも、当事業所の併設事業所を含め）を利用する月間のサービス利用計画」を立てて併用している場合が多い。

④サービス提供の工夫、特徴、強み

- ・現場リーダー職員（認知症ケア専門職）を中心に、高い認知症ケア実践力と成果を達成できている。職員は常に帰宅時間から逆算した日中のケアを意識し、利用者が帰宅後ご自宅で落ち着いて過ごしていただけることに注力している。
- ・当事業所の他に別の通所介護を利用している方については、その事業所に当事業所での過ごし方、ケアの仕方等の情報を伝えて共有している。
（ケアの実践例）
 - ・利用者の方の生い立ち、職業、得意なこと、趣味にしてこられたこと等、写真等を契機として、初対面からの職員との信頼関係を作り、当事業所の場を「居心地がいい場所」と思ってもらえること。
 - ・「利用者との阿吽の呼吸」、「利用者の体調等変化に対する早期の察知・気づく能力」「利用者の気持ちが揺れてきたと職員が察知した際にはマンツーマンに近いケア体制を組む」等
- ・回想法や園芸療法を活用している。園芸療法では法人が畑を用意してくれており、利用者には農家出身の方が多いので畑仕事を楽しまれている。
- ・また、外出やレクリエーション時間を設けており、利用者の「達成感」を重視した対応を行っている。
- ・当事業所の利用者が帰宅後落ち着いて過ごされる様子を目の当たりにして、当事業所のケアの質を評価いただいている。
- ・この点が、他の居宅介護事業所等のサービスと異なる当事業所のケアやサービスの強みと捉えている。

⑤認知症の重度化予防、在宅生活の維持に効果的な認知症対応型通所介護の利用について

- ・本来は、軽度の時期に当事業所の利用を始めた方が、認知症の重度化予防、在宅生活の維持には効果があると考えられる。実際に、当事業所を軽度の時に利用し始めた利用者の方は利用期間が長い傾向にある。

⑥利用終了後の居場所について

- ・当事業所の利用を終了した方は、グループホーム、特別養護老人ホームに入所、または病院

等に入院が多い（同法人の運営する地域内の上記施設に入所する場合もある）。

- ・利用終了の最も多い時機は「排泄ケア」が必要になった時機である。
- ・グループホーム等への入所待機、当事業所を利用してできるだけ長く在宅生活を過ごしてほしいと願っている家族等ニーズはさまざまである。

⑦サービス提供上の課題

⑦ー１．他の市区町村在住の利用希望者の利用受入れに関する制度的制約

- ・地域密着型サービスでは、他の市区町村在住の方が当事業所の利用を希望した場合、まずは当事業所が、両方の市区町村に指定申請書（「理由書」付きで）を提出後、両自治体間で協議が行われ、住所地以外の利用希望者が利用する指定事業所として、有効期間6年の「事業所指定」及び「利用者の個人指定」を交付される。実際に利用開始までは約2週間を要する。その間、利用希望者は待機しないといけない。

（協議の結果、「双方の市区町村域内の事業所の利用定員の空き状況、利用待機状況に鑑み、利用希望者の住所地での地域密着型サービスの定員の空きがあるため、住所地の地域密着型事業所の利用をしていただきたい」との協議結果になった場合は、住所地以外の地域密着型サービスを利用できないことが多い。）

- ・本来、介護保険サービスの被保険者は、利用するサービスを自主的に選択決定できる権利を有するが、地元以外の地域密着型サービスを利用する場合については制約がある。
- ・上記の利用制約のために、他市区町村住民の利用希望者を確保できないことが経営上の影響を受ける認知症対応型通所介護事業所は多いと考えられる。

⑦ー２．急な利用休止・終了者の発生

- ・利用者の急変等により、入所・入院直前での利用休止、終了の連絡が来るケースが多い。理由としては、入所系事業所の場合「極力空床期間を作りたくない」という事情、家族サイドでは、空床が生じて待機順番が来た場合入所できる機会を逃したくない（すぐ入所してもらいたい）という事情が影響している。
- ・当事業所の場合全体の利用定員規模が限られているため、このような急の利用休止・終了者が数人生じると、稼働率、収益確保上大変厳しいことになる。

⑧地域のケアマネジャーとの関係について

- ・開設以来、当事業所のサービスの質に対する地域のケアマネジャーの信頼感の醸成に努めてきた。
- ・認知症対応型通所介護については、本来であれば利用が望ましいが開始に至っていない「潜在利用者」も多い。そのような未利用者に関して、担当ケアマネジャーから当事業所に相談される場合もある。家族等の了承を得られれば自宅を訪問し、本人とお会いしてから家族やケアマネジャーに対し適切なケアの方法等のアドバイスを行っている。そのようなアプローチで、潜在利用者の掘り起こしに努めている。
- ・認知症対応型通所介護の報酬単価面で利用を躊躇するケアマネジャーもいるが、家族も含めて実践している認知症ケア内容を説明し、当事業所のサービスに対して信頼を得ていることが多い。

⑨認知症対応型通所介護事業所数が伸びないことについて

- ・認知症対応型通所介護のサービスは、認知症ケアの効果が得られる価値ある重要なサービスであるが、そのことを本人や家族に理解していただき、信頼を得るまでに時間がかかる面がある。
- ・この点で潜在利用者層に特色を訴求できずに苦勞している事業者や稼働率が上げられずに営業廃止に至る事業所があるように推察している。

(4) 「丸太の家」の職員体制について

①経験年数

- ・職員全員、勤務年数5年以上。所属法人全体の職員の中でも、認知症ケアのスキルは高い。

②採用確保方法

- ・事業所単位で採用している。

③育成方法

- ・現場職員全体のケア実践力の向上には、リーダー職員を中心とする「伝達講習」の効果が大きい。

(5) 地域との関係性、交流・開放事業の実施状況

①認知症カフェへの参加

- ・中井町が主催し、地域包括支援センター、中井町社会福祉協議会が運営している認知症カフェに当事業所の管理者が準スタッフ的に参加し、認知症に関すること、適切な認知症ケアの方法、認知症対応型通所介護のこと等について正確な情報を提供していくことに努めている。
- ・参加している地域に住む認知症の方、家族含め地域住民の「認知症対応型通所介護に関する正確な理解」が進むことを願っている。それを通して、地元（中井町）の方の当事業所の利用ニーズも一層高まっていくことも期待している。
- ・普及広報のため、年1回程度はセミナーも開催している。中井町の広報誌にセミナー開催のお知らせを掲載し、予約制で開催している。送迎も行い、参加者は利用者、家族合わせて20名前後であり、担当ケアマネジャーが利用者、家族を会場までお連れする場合もある。

②地元及び周辺自治体との関係性

- ・市区町村の担当課の方々からは「丸太の家に通えば、利用者も状態が安定し、落ち着いてくれる」と信頼していただいている。

(6) 今後の事業展望、要望等

- ・他市区町村に立地する地域密着型サービスの利用を希望する場合に必要な両自治体に対する「協議依頼」の仕組みの緩和等見直しが行われ、認知症対応型通所介護の利用対象者への門戸が広がってほしい。

資料編

<調査票>

<p>令和3年度老人保健健康増進等事業 在宅生活継続にあたり通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護が果たす役割に 関する調査研究事業 【事業所票】</p>

<ご案内> 本事業所票の Web 調査画面上の設問番号は、()内の設問番号が表示がされます。
例) Web 画面の設問番号が「Q10a」の場合、Q10-1(Q10a)と表記しております。

I 貴事業所の概要について

貴事業所の概要についてお尋ねします。		
<p>Q1 貴事業所のサービス種別・事業所規模区分について (○は1つ) ※ 事業所規模区分の特例(※)を適用している事業所においては、特例適用前の区分を記入してください。 ※https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000755019.pdf</p>	<p>1. 通所介護(通常規模型) 2. 通所介護(大規模型Ⅰ) 3. 通所介護(大規模型Ⅱ) 4. 地域密着型通所介護(療養通所介護を除く。以下同じ。) 5. 認知症対応型通所介護(単独型) 6. 認知症対応型通所介護(併設型) 7. 認知症対応型通所介護(共用型)</p>	
<p>Q2 貴事業所の活動状況について(○は1つ) ※ 過去に休業したか否かは問いません。調査時点の活動状況をお答えください。</p>	<p>1. 活動中 2. 一部休業中 3. 休業中 4. 廃止→(廃止理由: _____) ※「2. 一部休業中」「3. 休業中」「4. 廃止」を選択した方は、この設問で回答終了となります。ありがとうございました。</p>	
<p>Q3 貴事業所の所在地</p>	<p>都・道・府・県</p>	<p>市・区・町・村</p>
<p>Q4 貴事業所が立地する地域の種類(○は1つ)</p>	<p>1. 中山間地域、山間地域 2. 離島 3. その他の都市・農村地域 ※中山間地域とは、山間地及びその周辺の地域、その他地勢等の地理的条件が悪い地域を指します。 ※法律等に基づく厳密な指定状況ではなく、貴事業所の主観での回答で結構です。</p>	
<p>Q5 「中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算」算定の有無(○は1つ)</p>	<p>1. 算定している 2. 算定していない</p>	
<p>Q6 同一建物内や同一敷地内の別の建物内にある事業所・施設等について (○はいくつでも)</p>	<p>1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 居宅療養管理指導 6. 貴事業所以外の通所介護 7. 通所リハビリテーション 8. 短期入所生活介護 9. 短期入所療養介護 10. 福祉用具貸与 11. 特定福祉用具販売 12. 住宅改修 13. 居宅介護支援 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 15. 夜間対応型訪問介護 16. 貴事業所以外の地域密着型通所介護 17. 貴事業所以外の認知症対応型通所介護 18. 小規模多機能型居宅介護 19. 認知症対応型共同生活介護 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護</p>	<p>21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 22. 看護小規模多機能型居宅介護 23. 介護老人福祉施設 24. 介護老人保健施設 25. 介護療養型医療施設 26. 介護医療院 27. 養護老人ホーム 28. サービス付き高齢者向け住宅 29. 有料老人ホーム 30. その他の介護関係施設・住宅 (具体的に: _____) 31. 介護予防・日常生活支援総合事業 32. 障害者に対する支援やサービス (具体的に: _____) 33. 子どもに対する支援やサービス (具体的に: _____) 34. 生活困窮者に対する支援やサービス (具体的に: _____) 35. 貴事業所以外の事業所・施設等はない</p>

Q7 所属する法人の形態 (○は1つ)	1. 社会福祉法人(5を除く) 2. 医療法人 3. 営利法人(会社) 4. 特定非営利活動法人(NPO 法人)	5. 社会福祉協議会 6. 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 7. その他()		
※以降、Q1で回答した事業区分について回答してください。				
Q8 貴事業所の所要時間区分に いて (○は1つ) ※利用者数が最も多い区分を選 択してください。	1. 3時間以上4時間未満 2. 4時間以上5時間未満 3. 5時間以上6時間未満	4. 6時間以上7時間未満 5. 7時間以上8時間未満 6. 8時間以上9時間未満 7. その他()		
Q9 営業日 (○はいくつでも)	1. 月 2. 火 3. 水 4. 木	5. 金 6. 土 7. 日 8. 祝日		
Q10-1(Q10a) 営業時間	_____ : _____ ~ _____ : _____			
Q10-2(Q10bs) サービス提供時 間 ※単位ごとにサービス提供時間が 異なる場合は複数ご記入くださ い。	(Q10bs1) 平日	(Q10bs2) 土曜	(Q10bs3) 日曜	(Q10bs4) 祝日
1.	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____
2.	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____
3.	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____
4.	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____
5.	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____	_____ : _____ ~ _____ : _____
Q11 貴事業所が介護保険指定事業所の指定を受 けた年月	(西暦) _____年_____月			

Ⅱ 利用者の状況について

通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護においては、利用者の自立支援に資するようその心身の状況や生活課題等にあわせて、様々なサービスを提供することが求められています。

ここでは、サービス提供の実態を把握するに先立ち、そもそもどのような状態の利用者が通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護を利用しているのか、全国の状況を把握するため、利用者数、利用者の要介護度、利用開始者・利用終了者の動向、医療的ケアの必要性等についておうかがいします。

設問	回答欄	
Q12 ① 利用定員数 ② 利用登録者数※ (数字記入)	① 利用定員数(令和3年12月31日時点) ※届出している人数	人
※②利用登録者数は、Q1にて回答したサービスの利用登録者数。総合事業の利用者数は含まない。	② 利用登録者数(実人数)(令和3年12月31日時点) ※1月に請求発生していなくても含めてください。	人
利用者の状態について、Q13～Q17に該当する人数をご記入ください。(数字記入)		
Q13 要介護度別利用登録者数 ※利用登録者の要介護度別の実人数を記入してください。 (令和3年12月31日時点の利用登録者について) ※登録利用者のうち総合事業の利用者は含まない。 ※要介護度は介護保険認定結果 ※「ア.要支援1」「イ.要支援2」は認知症対応型通所介護事業所のみお答えください。		
ア. 要支援1 ※認知症対応型通所介護事業所のみご記入ください		人
イ. 要支援2 ※認知症対応型通所介護事業所のみご記入ください		人
ウ. 要介護1		人
エ. 要介護2		人
オ. 要介護3		人
カ. 要介護4		人
キ. 要介護5		人
利用登録者数合計 (ア+イ+ウ+エ+オ+カ+キ)		人

Q14 障害自立度別人数 ※利用登録者の障害自立度別の人数を記入してください。(令和3年12月31日時点の利用登録者について) ※主治医意見書に基づく人数をご記入ください。		Q15 認知症自立度別人数 ※利用登録者の認知症自立度別の人数を記入してください。(令和3年12月31日時点の利用登録者について) ※主治医意見書に基づく人数をご記入ください。 ※「診断はないが疑いあり」については、事業所の判断でご記入ください。	
自立	人	自立	人
J	人	I	人
A1	人	II	人
A2	人	IIIa	人
B1	人	IIIb	人
B2	人	IV	人
C1	人	M	人
C2	人	診断はないが疑いあり	人
不明	人	不明	人

Q16 ここ半年間(令和3年7月～12月)に、利用を終了した人は何人ですか。(数字記入)		_____人
<p>【Q16で1人以上の場合(ここ半年間で利用を終了された人がいる場合)】</p> <p>Q16-1(Q16s2) ここ半年間(令和3年7月～12月)に、利用を終了した人について、利用を終了した理由はどのようなものですか。 (○はいくつでも) (Q16s3) ○をつけたものは、人数も記入してください。複数の理由がある場合、それぞれカウントしてください。</p> <p>※「19.亡くなった(在宅で看取り)」の「在宅で看取り」の定義については、亡くなる前々日まで在宅にいた方が該当します。</p>	以下、1～21は 全ての方 がお答えください。	
	1. 病院等の医療機関に入院した	人
	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所した	人
	3. 特別養護老人ホームに入所した	人
	4. グループホームに入居した	人
	5. 有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅に入居した	人
	6. 訪問介護の利用に切り替えた	人
	7. 訪問看護の利用に切り替えた	人
	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えた	人
	9. 小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	人
	10. 看護小規模多機能型居宅介護の利用に切り替えた	人
	11. 訪問リハビリテーションの利用に切り替えた	人
	12. 通所リハビリテーションの利用に切り替えた	人
	13. 通所介護事業所の利用に切り替えた ※通所介護事業所が回答する場合のみ、 <u>他の</u> 通所介護事業所の利用に切り替えた	人
	14. 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた ※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、 <u>他の</u> 地域密着型通所介護事業所の利用に切り替えた	人
	15. 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた ※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、 <u>他の</u> 認知症対応型通所介護事業所の利用に切り替えた	人
	16. 重度化し通えなくなった	人
	17. 生活機能が改善し、通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)を利用する必要がなくなった	人
	18. 本人が通うことを拒否したため利用をやめた	人
	19. 亡くなった(在宅で看取り)※	人
	20. 亡くなった(19以外)	人
	21. その他の理由()	人
22. わからない、把握していない	人	

Q17 利用登録者のうち、ここ半年間(令和3年7月～12月)に、 利用を開始した人は何人ですか。(数字記入)	_____ 人	
<p>【Q17で1人以上の場合(ここ半年間で利用を開始した人がある場合)】</p> <p>Q17-1(Q17s2) 貴事業所の利用を開始する前に、利用していた介護保険サービス等はありませんか。 (○はいくつでも)</p> <p>(Q17s3) ○をつけたものは、人数も記入してください。複数利用していた場合、それぞれカウントしてください。</p> <p>※貴事業所を利用する前から利用していて、現在も併用しているサービスも含めてください。</p>	1. 病院等の医療機関に入院	人
	2. 老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設に入所	人
	3. 特別養護老人ホームに入所	人
	4. グループホームに入居	人
	5. 訪問介護	人
	6. 訪問看護	人
	7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人
	8. 小規模多機能型居宅介護	人
	9. 看護小規模多機能型居宅介護	人
	10. 訪問リハビリテーション	人
	11. 通所リハビリテーション	人
	12. 通所介護事業所 ※通所介護事業所が回答する場合のみ、 <u>他の</u> 通所介護事業所	人
	13. 地域密着型通所介護事業所 ※地域密着型通所介護事業所が回答する場合のみ、 <u>他の</u> 地域密着型通所介護事業所	人
	14. 認知症対応型通所介護事業所 ※認知症対応型通所介護事業所が回答する場合のみ、 <u>他の</u> 認知症対応型通所介護事業所	人
	15. 2～14以外の介護保険サービス	人
	16. 介護保険サービスは利用していなかった	人
	17. 介護予防・日常生活支援総合事業	人
	18. わからない、把握していない	人

<p>Q18 医療的ケアの必要な利用者について、医師の指示のもと実施しているものも含め、看護職員が対応している医療的ケアはありますか。また、対応が特に困難なケアについてうかがいます。 (○はいくつでも)</p> <p>(Q18s2) ※○をつけたものは、人数も記入してください。</p> <p>(Q18s3) 対応が特に困難な医療的ケアには◎をつけてください。 (◎はいくつでも) ※複数の医療的ケアに該当する場合、それぞれカウントしてください。 (令和3年12月31日時点について)</p>	<p>該当する利用者がいた場合、番号に○をつけてください。 (各利用者について○はいくつでも)</p> <p>1. 看取り期のケア</p> <p>2. 胃ろう、腸ろうによる栄養管理</p> <p>3. 経鼻経管栄養</p> <p>4. 中心静脈栄養の管理</p> <p>5. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理</p> <p>6. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理</p> <p>7. たんの吸引</p> <p>8. ネブライザー</p> <p>9. 酸素療法(酸素吸入)</p> <p>10. 気管切開のケア</p> <p>11. 人工呼吸器の管理</p> <p>12. 注射・点滴</p> <p>13. 簡易血糖測定</p> <p>14. インスリン注射</p> <p>15. 創傷処置</p> <p>16. 褥瘡の処置</p> <p>17. 服薬管理</p> <p>18. 透析(在宅自己腹膜灌流含む)</p> <p>19. 導尿</p> <p>20. 疼痛の看護</p> <p>21. 浣腸</p> <p>22. 摘便</p> <p>23. リハビリテーション</p> <p>24. 口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理)</p> <p>25. その他</p> <p>26. 看護職員が対応している医療的ケアはない</p>	<p>○をつけたものについて人数も記入してください。</p> <p>人</p>	<p>対応が特に困難な医療的ケアには◎をつけてください。</p>
<p>【Q18で「◎」を付けた場合】 Q18-1(Q18s4) 対応が特に困難な医療的ケアについて、対応が特に困難とした理由をうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<p>1. 時間を要するケアであり、これを行っている時間帯は人手が不足するから</p> <p>2. 当該医療的ケアが必要な利用者の数が多いから</p> <p>3. 配置している看護職員(外部との連携により確保している看護職員を含む)には、当該医療的ケアを行う技術や経験が不足しているから</p> <p>4. 当該医療的ケアを行うために必要な医療機器等が不足しているから</p> <p>5. 当該医療的ケアを行うための場所以が十分に確保できないから</p> <p>6. その他()</p>		
<p>Q19 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、当該者に対する医療的ケアが困難であるとの理由で、貴事業所の利用を断ったことはありますか。ある場合は事例数もご記載ください。 (○は1つ) ※令和3年7月から12月の状況について、お答えください。</p>	<p>1. 利用を断ったことがある(事例)</p> <p>2. 利用を断ったことはない</p>		
<p>【Q19で「1」を選択した場合】 Q19-1(Q19s2) 貴事業所の利用を断った事例について、状況の詳細をうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<p>1. すでに医療的ケアが必要な方が多く利用しており、配置している看護職員だけでは人手不足で対応できないと考えられたため</p> <p>2. 配置している看護職員(外部との連携により確保している看護職員を含む)には、当該医療的ケアを行う技術や経験が不足していたため</p> <p>3. 当該医療的ケアを行うために必要な医療機器等を保有していないため</p> <p>4. 当該医療的ケアを行うための場所以が確保できないため</p> <p>5. 医師が実施すべき医療行為を行うことを求められたため</p> <p>6. その他()</p>		

<p>Q20 通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)において、医療的ケアを行うことに対する考え方についてうかがいます。 (○は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職員により行うことが認められている医療的ケアは、利用者が希望する場合、すべて行うべきだ 2. 服薬管理など、比較的簡単な医療的ケアは、利用者が希望する場合、行うべきだ 3. 通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所は、介護サービスを提供する場であり、医療的ケアが必要となった場合は、他のサービスを利用するべきだ 4. その他()
<p>【Q20で「1.」「2.」を選択した場合】 Q20-1(Q20s2) 通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所において、利用者が希望する医療的ケアを実施するために、現在の体制に加えて必要であると考えられることはありますか。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師を配置する必要がある 2. 医師との連携を強化する必要がある 3. 看護職員の配置基準を厳格化し、さらに看護職員を配置する必要がある 4. 医療的ケアを提供するための設備を設けるよう、設備基準を厳格化する必要がある 5. 現在配置している職員や設けている設備のみで十分対応可能であり、加えて必要であることはない 6. その他()
<p>Q21 介護職員等による喀痰吸引等業務について、客痰吸引等事業者の登録を行っていますか。 (○は1つ) Q21-1(Q21s2) 行っている場合、実施行為についても選択してください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>→Q21-1. 行っている場合、登録している実施行為について選択してください。(いくつでも○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔内の喀痰吸引 2. 鼻腔内の喀痰吸引 3. 気管カニューレ内部の喀痰吸引 4. 胃ろう、または腸ろうによる経管栄養 5. 経鼻経管栄養 6. その他() </div> 2. 行っていない
【居宅内での介助】	
<p>Q22 送迎時に実施する、居宅内での介助(着替え、ベッド・車いすへの移乗、戸締まり等)を行っていますか。 (○は1つ・数字記入)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 居宅内での介助を行っている → 利用登録者のうち、居宅内での介助が必要な方は何人ですか。()人 2. 居宅内での介助は行っていない
<p>【Q22で「1.」を選択した場合】 Q22-1(Q22s2) 居宅内での介助を行う方が有する資格等についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士 2. 実務者研修修了者 3. 介護職員基礎研修課程修了者 4. ホームヘルパー1級課程修了者 5. 介護職員初任者研修修了者(2級課程修了者を含む。) 6. 看護職員 7. 機能訓練指導員 8. 当該事業所における勤続年数と同一法人の経営する他の介護サービス事業所、医療機関、社会福祉施設等において、サービスを利用者に直接提供する職員としての勤続年数の合計が3年以上の介護職員 9. その他職員()
<p>【Q22で「1.」を選択した場合】 Q22-2(Q22s3) 居宅内での介助に要する時間についてお答えください。(数字記入)</p>	<p>利用者1人あたり、1日()分 ※居宅内での介助が必要な利用者が複数いる場合は、平均所要時間を記入してください。</p>
<p>【Q22で「1.」を選択した場合】 Q22-3(Q22s4) 居宅内での介助を希望されたのは、どなたであったかお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者本人 2. 利用者の家族等 3. 利用者の担当介護支援専門員 4. その他()

<p>【Q22で「1.」を選択した場合】 Q22-4(Q22s5)居宅内での介助を行うこととした理由についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者が独居であり、自身で通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)に行くための準備等を行うことができないため 2. 利用者と同居する家族等がいるが、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)に行くための準備等の介助を行うことができないため 3. 近隣の訪問介護事業所に空きがなく、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)に行くための準備等の介助を受けることができないため 4. 訪問介護事業所を利用するよりも、利用者の金銭的負担が少ないと考えたため 5. 通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)に行くための準備等の介助は、他の介護サービス事業所の職員等よりも、自事業所の顔なじみの職員が行うべきだと思ったため 6. その他()
<p>【Q22で「2.」を選択した場合】 Q22-5(Q22s6)居宅内での介助を行っていない理由についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 居宅内での介助が必要な身体状況の利用者がいないため 2. 居宅内での介助が必要な利用者は、訪問介護事業所から居宅内での介助を受けており、居宅内での介助を行うことを希望していないため 3. 利用者が、居宅内に事業所の職員が入ることを拒んだため 4. 利用者と同居する家族等が、居宅内に事業所の職員が入ることを拒んだため 5. 居宅内での介助を行うことができる有資格者を、送迎時間帯に確保することができないため 6. 居宅内での介助を行っている時間は、他の利用者を送迎車内で待たせることになるため 7. 通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所でも、居宅内での介助を行ってよいことを知らなかったため 8. その他()
<p>訪問によるサービス提供について</p>	
<p>Q23 訪問によるサービス提供(※)に対する考え方についてお伺いします。 (※ここでの訪問によるサービス提供とは、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所に現在配置されている職員が、居宅を訪問し、身体介護・機能訓練・生活援助といったサービスを提供することを指します。)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護報酬の算定対象となるなら、提供してみたい 2. 介護報酬の算定対象とならなくても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい 3. 介護報酬の算定対象となったとしても、保険外(自費)サービス等として提供してみたい 4. 介護報酬の算定対象となるか否かに関わらず、提供するつもりはない
<p>【Q23で「1.」を選択した場合】 Q23-1(Q23s2)訪問によるサービス提供を行うにあたって必要と考えられることについてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士等の有資格者の確保 2. 自事業所職員の、訪問によるサービス提供を行うことへの理解 3. 訪問によるサービス提供を行うための設備・備品の確保 4. 訪問によるサービス提供対象者の限定(通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)利用者に限定する) 5. 訪問時間帯の限定(通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)のサービス提供時間帯以外に限定する) 6. 訪問により提供するサービスの限定(機能訓練のみ、身体介護のみ等) 7. 通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)の提供時間中に、訪問によるサービス提供を行う場合の通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)の人員配置基準等の緩和 8. 事業所周辺地域における、訪問によるサービスニーズの把握 9. その他() 10. 新たに必要になると考えられることはない

<p>【Q23で「4.」を選択した場合】 Q23-2(Q23s3)訪問によるサービスを提供するつもりはない理由についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所は、通いによるサービス提供に注力すべきだから 2. 通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所の運営で手一杯であり、新たなサービスを提供する精神的余裕がないから 3. 訪問によるサービス提供は、介護福祉士等の有資格者が提供すべきだから 4. 自事業所の職員には、居宅内での身体介護や、生活援助を行うための技術や経験がないから 5. 自事業所の職員は、居宅内でのサービス提供はやりたがらないと思うから 6. 訪問によるサービス提供に必要な設備・備品がないから 7. 自事業所の利用者は、訪問によるサービス提供を必要としていないから 8. 近隣に十分な数の訪問介護事業所や小規模多機能型居宅介護事業所等があり、訪問によるサービスニーズは満たされていると感じるから 9. 訪問によるサービスを開始しても、経営状態は改善しないと思うから 10. その他()
---	--

Ⅲ 職員の状況について

通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護においては、サービス創設時の目的・社会から求められる役割をふまえ、生活相談員・看護職員・介護職員・機能訓練指導員といった職種の配置が基準上義務づけられています。ここでは、各事業所においてサービス提供にあたり、どのような職員配置を行っているのかを把握するため、基準に定める職種について、雇用形態別の職員数や1営業日あたりの勤務人数をおうかがいします。

Q24 貴事業所で雇用等している職員について、職種別・雇用形態別に人数をうかがいます。該当する欄にそれぞれ人数を記入してください。**常勤兼務、非常勤、人材派遣は常勤換算数をお答えください。**

(数字記入、令和3年12月31日時点で雇用等している職員)

職種	実人数	常勤専従	常勤兼務 (常勤換算数)	非常勤専従 (常勤換算数)	非常勤兼務 (常勤換算数)	人材派遣 (常勤換算数)
管理者	人	人	人			
生活相談員	人	人	人	人	人	人
看護職員	人	人	人	人	人	人
介護職員	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:看護師	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:准看護師	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:理学療法士	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:作業療法士	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:言語聴覚士	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:柔道整復師	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:あん摩マッサージ指圧師	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員:はり師又はきゆう師	人	人	人	人	人	人

※実人数:整数となり、小数点のついた数字とはなりません。複数の職種を兼務している場合、それぞれ1人とカウントしてください。例えば、Aさんが生活相談員と介護職員を兼務している場合、それぞれ1人とカウントします。

従事者の1週間の勤務延べ時間数(残業は除く)

※常勤換算数=

当該事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)

- ・なお、常勤換算数は、小数点以下第1位まで記入してください(小数点以下第2位を四捨五入)。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と記入してください。
- ・複数の職種を兼務している場合、大よその勤務割合で案分した常勤換算数をカウントしてください。

Q25 12月1日(水)に勤務した職員について、職種別・雇用形態別に人数をうかがいます。該当する欄にそれぞれ常勤換算数の合計を記入してください。

(数字記入、令和3年12月1日に勤務した職員)

管理者	生活相談員	看護職員	介護職員	機能訓練指導員							
				看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あん摩マッサージ指圧師	はり師又はきゆう師
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※令和3年12月1日が通常営業日ではない場合、最も近い通常営業日でご回答ください。

IV 貴事業所のサービス提供状況について

通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護においては、前述のとおり、利用者の自立支援に資するよう、その心身の状況や生活課題等にあわせて、様々なサービスを提供することが求められています。

ここでは、求められている役割のうち、各事業所がどのようなことに力を入れて取り組んでいるか、役割を達成するための手段として、どのようなサービスをどのような工夫のもとに行っているか、保険外サービスの提供状況も含めておうかがいします。また、事業所のサービス内容等を居宅介護支援事業所に情報提供し、要介護高齢者のニーズにあわせた事業所選択の促進に寄与しているかや、利用者へのサービス提供開始後、利用者へのケアの質の向上のため、利用者を担当するケアマネジャーとどのような連携を行っているかについておうかがいします。

(1) 貴事業所で力を入れている機能について

Q26 以下の 1)~7)の各機能について、貴事業所での取組状況や、各機能に対して関わっている職員、実施している場所について、おうかがいします。

	①(Q26) 力を入れているもの 力を入れているものにいくつでも○をつけてください。 そのうち、特に力を入れているもの 1 つに◎をつけてください。	→①で○◎をつけたものについて②③もお答えください。	②(Q26s2) 主に関わっている職員 (○はいくつでも) 1.生活相談員 2.介護職員 3.看護職員 4.機能訓練指導員 (PT・OT・ST) 5.機能訓練指導員 (上記以外) 6.その他職員	③(Q26s3) 実施している場所 (○はいくつでも) 1.事業所内 2.事業所の隣接地域 3.事業所の周辺地域 4.利用者の自宅内、自宅周辺 5.その他
1)心身機能の維持向上		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
2)生活行為力向上		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
3)社会参加支援		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
4)認知症対応		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
5)重度者対応		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
6)地域支援・交流拠点		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
7)家族介護者支援		→	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

(2) 新規利用者の着目(評価)が高まっているサービス内容について

設問	回答欄
Q27 ここ半年の間(令和3年7月~12月)に、新たに貴事業所を利用することになった利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたことや、サービス内容に含めたことについておうかがいします。 (○はいくつでも)	1. 生活意欲の向上 2. 身体機能の維持・向上 3. 生活機能の維持・向上 4. 食事の提供 5. 入浴、清拭の実施 6. 他の利用者や職員とのコミュニケーション 7. 地域住民との交流 8. レクリエーション(アクティビティ)への参加 9. ボランティア活動(有償・無償)への参加 10. 送迎の実施 11. 延長サービスの実施 12. 健康状態の把握 13. 医療的ケアの実施 14. 認知症状への介入 15. 自助具・福祉用具・介護ロボットの活用 16. 保険外(自費)サービスの提供 17. その他()

(3) 食事提供・介助の実施について

<p>Q28 サービス提供時間中の食事の提供状況についてうかがいます。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朝食の提供を行っている 2. 昼食の提供を行っている 3. 間食の提供を行っている 4. 夕食の提供を行っている 5. 夜食の提供を行っている 6. 食事提供は行っていない
<p>Q29 延長サービス中の食事の提供状況についてうかがいます。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朝食の提供を行っている 2. 昼食の提供を行っている 3. 間食の提供を行っている 4. 夕食の提供を行っている 5. 夜食の提供を行っている 6. 延長サービスは行っているが、食事提供は行っていない 7. 延長サービス自体を行っていない
<p>【Q28 で「6.」を選択していない、かつ Q29 で「6.」または「7.」を選択していない場合】 Q29-1(Q29s2) 提供する食事の調理場所についてうかがいます。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自事業所 2. 同一敷地内の他の介護保険サービス事業所・施設 3. 同一法人の他の介護保険サービス事業所・施設 4. 同一法人が運営する調理施設 5. 同一法人以外が運営する調理施設 6. その他()
<p>【Q29-1 で「1.」を選択した場合】 Q29-2(Q29s3) 提供する食事の調理を行う方についてうかがいます。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調理のみを行う職員 2. 看護職員 3. 介護職員 4. 生活相談員 5. 機能訓練指導員 6. 管理者 7. その他()
<p>【Q28 で「6.」を選択していない、かつ Q29 で「6.」または「7.」を選択していない場合】 Q29-3(Q29s4) 食事提供を行う上での工夫についてうかがいます。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の食の好みを考慮して、提供するメニューを決定している 2. 利用者が楽しんで食事できるよう、見た目や季節感等にこだわったメニューを提供している 3. 利用者の自宅での食事内容や心身の状況を把握し、栄養状態を考慮して提供するメニューを決定している 4. 利用者の身体状況を考慮して、通常食以外のメニュー(きざみ食、ミキサー食等)も提供している 5. 利用者が食の好みや体調にあわせて、自身でメニューを選択できるようにしている 6. 利用者が楽しんで食事できるよう、食事を行う際の配席を工夫している 7. 利用者が安全に食事できるよう、食中毒や感染症対策を徹底している 8. 利用者が食事を行う際の留意点について、医師や看護師、栄養士等の専門職から指示を受けている 9. 利用者の自立度に応じた食事介助を行っている 10. 利用者が自立して食事することができるよう、食事に必要な機能の訓練を行っている 11. 食事時の誤嚥等を防ぐため、食事開始前に口腔体操等を行っている 12. その他() 13. 工夫していることはない

(4)機能訓練について

設問	回答欄	
<p>Q30 機能訓練を行うことにより、利用者のどのような身体機能・生活課題の改善を図ることとされているかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<p><身体機能></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸機能 2. 体力 3. 浮腫等 4. 関節可動域 5. 筋力 6. 筋緊張 7. 筋持久力 8. 運動機能 9. 痛み 10. 姿勢 11. 起居 12. 歩行・移動 13. 階段昇降 14. その他の身体機能の改善 () 	<p><生活課題></p> <ol style="list-style-type: none"> 15. 生活意欲の向上 16. 食事 17. 調理 18. 排泄 19. 更衣 20. 整容 21. 入浴 22. 掃除・整理整頓 23. 洗濯 24. 起床・就寝の準備 25. 買い物 26. コミュニケーション 27. 余暇活動 28. 仕事 29. 外出 30. 公共交通機関の利用 31. その他の生活課題の改善 ()
<p>Q31 機能訓練について、工夫して実施していることはありますか。 (○はいくつでも)</p> <p>※本設問での機能訓練とは、個別機能訓練以外に事業所として行う機能訓練も含む。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に機能訓練に参加するよう、開始前に利用者に声かけを行っている 2. 曜日ごと、時間帯ごとに異なる機能訓練項目を提供している 3. 同一時間帯に複数の種類の機能訓練項目を提供している 4. 個々の利用者の身体機能を把握し、それに応じた機能訓練を実施している 5. 個々の利用者の生活課題を把握し、それに応じた機能訓練を実施している 6. 個々の利用者の身体機能や生活課題を把握するために、利用者の居宅を訪問している 7. 利用者ごとに機能訓練計画を作成している 8. 利用者ごとに機能訓練の実施状況や効果の評価を行っている 9. 利用者ごとの機能訓練の実施状況や効果をふまえ、機能訓練項目の変更等を行っている 10. 利用者が自宅でも自身で訓練を行うよう促している 11. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を活用している 12. 集団訓練を取り入れている 13. その他() 14. 工夫していることはない <p>(Q31s2) 【上記で選択したものについて、取組内容や工夫点、心がけていることなど、具体的に記入してください】</p>	

(5)福祉用具・介護ロボットの活用について

設問	回答欄	
<p>Q32 貴事業所において、利用者の自立支援のために活用している福祉用具や自助具についてうかがいます。 (○はいくつでも) ※貴事業所の利用者が事業所に持参して活用する福祉用具や自助具は含まないものとします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歩行補助つえ 2. 歩行器 3. 車いす 4. 手すり 5. スロープ 6. 移動用リフト 7. 特殊寝台 8. 床ずれ防止用具 9. 体位変換器 10. 自動排泄処理装置 11. 認知症老人徘徊感知機器 12. 食事の際に使用する自助具(持ちやすく加工された箸やスプーン、返りのついた皿等) 13. 調理の際に使用する自助具(柄の角度が変わる包丁、持ちやすい鍋等) 	<ol style="list-style-type: none"> 14. 排泄の際に使用する自助具(ペーパーホルダー等) 15. 更衣の際に使用する自助具(ボタンエイド、ソックスエイド等) 16. 整容の際に使用する自助具(柄の角度が変わる歯ブラシ、柄の長いヘアブラシ等) 17. 入浴の際に使用する自助具(ヘアウォッシャー等) 18. 清掃・整理整頓の際に使用する自助具(リ一チャー、雑巾絞り補助具) 19. 洗濯の際に使用する自助具(片手で使用できるハンガーや洗濯ばさみ等) 20. コミュニケーションの際に使用する自助具(拡大鏡、拡聴器、握りやすい筆記具等) 21. その他() 22. 活用している福祉用具や自助具はない
<p>【Q32 で「22.」以外を選択した場合】 Q32-1(Q32s2) 福祉用具や自助具の活用にあたって工夫していることについてうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の体格や身体機能に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している 2. 利用者の生活課題に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している 3. 利用者の居宅の環境に応じて、使用する福祉用具や自助具を選定している 4. 利用者が事業所を利用している以外の時間帯に使用している福祉用具や自助具を把握し、事業所でも同様又は類似する福祉用具や自助具を使用している 5. 利用者が使用する福祉用具や自助具の選定はリハビリテーション専門職や福祉用具専門相談員の資格をもつ職員が行っている 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 利用者が居宅でも福祉用具や自助具を活用できるよう、使用方法を同居する家族等にも伝えている 7. 利用者の状態等にあわせた福祉用具や自助具を選定できるよう、新しい用具等の販売状況等について情報収集している 8. 利用者の状態等にあわせて、新たな福祉用具や自助具を導入している 9. その他() 10. 福祉用具や自助具の活用にあたって工夫していることはない
<p>Q33 貴事業所において、利用者の自立支援のために活用している介護ロボットについてうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 屋外での移動を支援する介護ロボット 2. 屋内での移動を支援する介護ロボット 3. 利用者の身体に装着して移動を支援する介護ロボット 4. トイレ誘導を行う介護ロボット 5. 衣類の着脱等、トイレ内での動作を支援する介護ロボット 	<ol style="list-style-type: none"> 6. コミュニケーションを支援する介護ロボット 7. 浴槽の出入り等、浴室での動作を支援するロボット 8. その他() 9. 活用している介護ロボットはない
<p>【Q33 で「9.」以外を選択した場合】 Q33-1(Q33s2) 介護ロボットの活用にあたって工夫していることについてうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の体格や身体機能に応じて、使用する介護ロボットを選定している 2. 利用者の生活課題に応じて、使用する介護ロボットを選定している 3. 利用者が使用する介護ロボットの選定はリハビリテーション専門職や福祉用具専門相談員の資格をもつ職員が行っている 4. 利用者の状態等にあわせた介護ロボットを選定できるよう、新しい用具等の販売状況等について情報収集している 	<ol style="list-style-type: none"> 5. 利用者の状態等にあわせて、新たな介護ロボットを導入している 6. その他() 7. 介護ロボットの活用にあたって工夫していることはない

(6)レクリエーション(アクティビティ)について

設問	回答欄	
Q34 レクリエーション(アクティビティ)の実施状況についてうかがいます。 (○は1つ)	1. すべての営業日において実施している 2. 特定の営業日のみ実施している 3. いずれの営業日においても実施していない	
【Q34 で「1.」「2.」を選択した場合】 Q34-1(Q34s2) レクリエーション(アクティビティ)を行う上で工夫していることについてうかがいます。 (○はいくつでも) ※機能訓練に位置付けられているものは除く。	1. 積極的にレクリエーション(アクティビティ)に参加するよう、開始前に利用者に声をかけを行っている 2. 曜日ごと、時間帯ごとに異なるプログラムを提供している 3. 同一時間帯に複数の種類のプログラムを提供している 4. 体操や合唱等、楽しんで身体機能を向上させることができるようなプログラムを提供している 5. 料理等、楽しんで生活機能を向上させることができるようなプログラムを提供している	6. 事業所周辺での散歩等、地域との交流を意識したプログラムを提供している 7. レクリエーション(アクティビティ)で作った作品を事業所内に展示している 8. 利用者自身に参加するプログラムを選んでいただいている 9. 仲のよい利用者同士を近くの席にする等、実施時の配席を工夫している 10. その他 () 11. 工夫していることはない
【Q34 で「1.」「2.」を選択した場合】 Q34-2(Q34s3) レクリエーション(アクティビティ)を行う上での課題についてうかがいます。 (○はいくつでも)	1. 利用者のレクリエーション(アクティビティ)に参加するモチベーションを維持することが難しい 2. 利用者の身体状況にあわせたプログラムを提供することが難しい 3. 利用者の生活課題の改善に資するようなプログラムを提供することが難しい 4. どのようなプログラムを提供すれば、利用者に資するのか、わからない 5. 似たようなプログラムばかり提供してしまい、マンネリ化している	6. 現状の職員数では、レクリエーション(アクティビティ)を実施するための人員が確保することが難しい 7. レクリエーション(アクティビティ)に必要な材料等を購入するための金銭的負担が大きい 8. レクリエーション(アクティビティ)を実施する場所を確保することが難しい 9. その他 () 10. 課題となっていることはない

(7)家族介護者支援について

設問	回答欄	
Q35 利用者と同居する家族等に対して、貴事業所が特に行っている相談支援についてうかがいます。 (○はいくつでも)	1. 利用日ごとに、利用者に提供したサービス内容や事業所での様子を伝えている 2. 利用者の心身の状態や居宅の環境にあわせた身体介護方法を教えている 3. 利用者の口腔機能等にあわせた食事の作り方を教えている 4. 利用者が自宅において自身で行うことができる機能訓練方法を教えている 5. 予定されていたサービス提供日以外でも、利用者と同居する家族等の都合により急遽利用が必要となった場合は、柔軟に受入を行っている 6. 利用者と同居する家族等が抱える、利用者の介護を続ける上での悩み等を伺う 7. 利用者と同居する家族等が抱える悩み等を解決するため、適切な機関等を紹介する 8. 利用者と同居する家族等が抱える悩み等を解決するため、通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)として実施できないサービスを、介護保険外サービスとして提供する 9. その他 () 10. 事業所を利用する全ての利用者には、同居する家族等がない 11. 利用者と同居する家族等に対して行っていることはない	

(8)介護保険外サービス・自費サービスについて

設問	回答欄
<p>Q36 貴事業所では、保険外(自費)で実施しているサービスはありますか。(〇はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物販・移動販売やレンタルサービス 2. 利用者の買い物代行 3. 利用者の配食サービス 4. 利用者の自宅での食事支援(調理、配膳・下膳) 5. 利用者宅の清掃 6. 利用者の衣類の洗濯 7. 利用者の通院支援 8. 利用者のその他の外出支援(買い物、社会参加その他) 9. 利用者の理美容サービス 10. 利用者の巡回健診等(健康診断、予防接種もしくは採血) 11. 薬剤師が事業所を訪問しての服薬管理・服薬指導等 12. 利用者の家族に対する生活支援サービス (具体的に:) 13. その他保険外(自費)の生活支援サービス (具体的に:) 14. 地域の商工・流通サービス事業者の紹介や仲介業務 (具体的に:) 15. 保険外の自宅生活に関する相談サービス 16. 保険外(自費)サービスは実施していない
<p>【貴事業所が所属する法人本部の意向についてうかがいます。】 Q37 貴事業所の所属する法人が、通所介護事業所において、今後新たに組み込みたいと考えている保険外(自費)サービスはありますか。(新規立ち上げのみ) (〇はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物販・移動販売やレンタルサービス 2. 利用者の買い物代行 3. 利用者の配食サービス 4. 利用者の自宅での食事支援(調理、配膳・下膳) 5. 利用者宅の清掃 6. 利用者の衣類の洗濯 7. 利用者の通院支援 8. 利用者のその他の外出支援(買い物、社会参加その他) 9. 利用者の理美容サービス 10. 利用者の巡回健診等(健康診断、予防接種もしくは採血) 11. 薬剤師が事業所を訪問しての服薬管理・服薬指導等 12. 利用者の家族に対する生活支援サービス (具体的に:) 13. その他保険外(自費)の生活支援サービス (具体的に:) 14. 地域の商工・流通サービス事業者の紹介や仲介業務 (具体的に:) 15. 保険外の自宅生活に関する相談サービス 16. 新たに保険外(自費)サービスに取り組む予定はない

(9) 宿泊サービス※について

- ※ この場合の「宿泊サービス」とは、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)の指定を受けた事業者が、当該指定を受けた事業所の営業時間外に、その設備を利用し、当該事業所の利用者に対し、夜間及び深夜に通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)以外のサービスとして提供するものを指します。
- ※ 通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)事業所以外の設備を利用する場合や、事業所の利用者以外の方のみにサービス提供を行う場合は、これに含まないこととします。

設問	回答欄	
Q38 宿泊サービスの実施の有無についてうかがいます。 (○は1つ)	1. 実施している 2. 実施していない	
【Q38 で「1.」を選択した場合】 Q38-1(Q38s2) 宿泊サービスの定員は何人で すか。 (数字記入)	()人	
【Q38 で「1.」を選択した場合】 Q38-2(Q38s3,4) 宿泊サービスの利用料金(1泊当たり)についてうかがいます。(数字記入)	(Q38s3) 宿泊料 ()円 食事代 ()円 ※夕食・朝食・おやつ等、全て合わせた金額を記入してください。 その他料金()円 (Q38s4) →その他料金で設定している内容について、以下に記入してください ()	
【Q38 で「1.」を選択した場合】 Q38-3(Q38s5) 該当する宿泊室の環境についてうかがいます。 (○はいくつでも)	1. 個室 2. 2人部屋 3. 3-4人部屋 4. 5人部屋以上	
【Q38 で「1.」を選択した場合】 Q38-4(Q38s6) どのようなことがきっかけとなって宿泊サービスを始めましたか。 (○はいくつでも)	1. 利用者や家族から要望や依頼があったため 2. ケアマネジャーから要望や依頼があったため 3. 自治体や地域包括支援センターから要望や依頼があったため 4. 利用者にとってなじみの職員が宿泊サービスを提供した方が、利用者の状態が安定すると考えたため 5. 宿泊サービスを実施したほうが、通所介護(地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護)の利用者増加につながると判断したため 6. 介護保険サービスとして宿泊サービスを提供したかったが、短期入所生活介護の指定基準をみたすことができなかったため 7. 近隣の短期入所生活介護事業所の空きがなかったため 8. 近隣の小規模多機能型居宅介護事業所の空きがなかったため 9. 近隣の特別養護老人ホームの空きがなかったため 10. その他()	
【Q38 で「1.」を選択した場合】 【Q38-4 で「6.」を選択した場合】 Q38-5(Q38s7) 指定基準中、具体的にどのような基準をみたすことができなかったかについてうかがいます。 (○はいくつでも)	1. 医師が確保できなかった 2. 生活相談員を必要数確保することができなかった 3. 介護職員又は看護職員を必要数確保することができなかった 4. 栄養士が確保できなかった 5. 調理員その他の従業者が確保できなかった 6. 居室が確保できなかった 7. 浴室が確保できなかった 8. 洗面設備が確保できなかった 9. 介護職員室が確保できなかった	10. 看護職員室が確保できなかった 11. 調理室が確保できなかった 12. 洗濯室又は洗濯場が確保できなかった 13. 汚物処理室が確保できなかった 14. 介護材料室が確保できなかった 15. 廊下幅の基準をみたすことができなかった 16. (食堂等が2階以上にある場合)傾斜路又はエレベータを設けることができなかった 17. 1週間に2回以上、入浴又は清拭を行うための体制を確保できなかった 18. 食事提供を行うための体制を確保できなかった 19. その他()

<p>【Q38 で「1.」を選択した場合】</p> <p>Q38-6 (Q38s8,9) 宿泊サービスの利用日数について、制限を行っているかかかいます。</p> <p>(○は1つ・数字記入)</p>	<p>(Q38s8)</p> <p>1.連続利用日数に制限を設けている → 連続利用日数の上限は何泊ですか。 ()泊</p> <p>2.1月あたりの利用日数に制限を設けている → 1月あたりの利用日数の上限は何泊ですか。 ()泊</p> <p>(Q38s9)</p> <p>3. その他()</p>
<p>【Q38 で「1.」を選択した場合】</p> <p>Q38-7 (Q38s10) 宿泊サービスを利用していた利用者が利用しなくなった理由にはどのようなものがありますか。</p> <p>(○はいくつでも)</p> <p>※貴事業所の利用登録者についてお答えください。</p>	<p>1. 入院したため</p> <p>2. 特別養護老人ホームに入所することになったため</p> <p>3. 特定施設入居者生活介護を利用することになったため</p> <p>4. 認知症対応型共同生活介護を利用することになったため</p> <p>5. 短期入所生活介護を利用することになったため</p> <p>6. 小規模多機能型居宅介護を利用することになったため</p> <p>7. 介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院に入所することになったため</p> <p>8. 短期入所療養介護を利用することになったため</p> <p>9. 看護小規模多機能型居宅介護を利用することになったため</p> <p>10. 他の通所介護等事業所の宿泊サービスを利用することになったため</p> <p>11. その他()</p> <p>12. わからない</p> <p>13. 該当する人はいない</p>
<p>【Q38 で「1.」を選択した場合】</p> <p>Q38-8 (Q38s11) 宿泊サービスを提供するための職員の確保方法についてうかがいます。</p> <p>(○はいくつでも)</p>	<p>1.職員の勤務体制を、遅番・早番のシフト制にして対応している</p> <p>2.宿泊サービス専門の職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護の提供は行わない職員)を雇用して対応している</p> <p>3.宿泊サービス専門の派遣職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護の提供は行わない派遣職員)により対応している</p> <p>4.同一法人の介護保険施設・事業所等から派遣された職員にて対応している</p> <p>5.その他()</p>
<p>Q38 で「2.」を選択した場合】</p> <p>Q38-9 (Q38s12) 今後の宿泊サービスの提供意向についてうかがいます。</p> <p>(○は1つ)</p>	<p>1. 提供するつもりがある</p> <p>2. 提供するつもりはない</p>

(10)延長サービスについて

設問	回答欄	
<p>Q39 貴事業所では、サービス提供時間の延長を行っていますか。</p> <p>(○は1つ)</p>	<p>1. 延長を行っている(延長加算取得)</p> <p>2. 延長を行っている(自費負担)</p> <p>3. サービス提供時間の延長は行っていない</p>	
<p>【Q39 で「1.」「2.」を選択した場合】</p> <p>Q39-1 (Q39s2,3) 延長時間は、何時から何時までに対応していますか。それぞれ時間を記入してください。(数字記入)</p>	<p>(Q39s2)</p> <p>①サービス提供時間前</p>	<p>1. 行っている →(Q39s3) (: ~ :)</p> <p>2. 行っていない</p>
	<p>(Q39s2)</p> <p>②サービス提供時間後</p>	<p>1. 行っている →(Q39s3) (: ~ :)</p> <p>2. 行っていない</p>
<p>【Q39 で「1.」「2.」を選択した場合】</p> <p>Q39-2 (Q39s4) 延長サービスで対応している支援等についてうかがいます。</p> <p>(○はいくつでも)</p>	<p>1.食事の提供・介助</p> <p>2.機能訓練</p> <p>3.レクリエーション(アクティビティ)</p> <p>4.入浴介助</p> <p>5.その他()</p>	
<p>【Q39 で「1.」「2.」を選択した場合】</p> <p>Q39-3 (Q39s5) サービス時間延長に対応するために、職員の確保や配置等で対応していることについてうかがいます。</p>	<p>1.職員の勤務体制を、遅番・早番のシフト制にして対応している</p> <p>2.延長サービス専門の職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護のサービス提供時間中は勤務しない職員)を雇用して対応している</p> <p>3.延長サービス専門の派遣職員(通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護のサービス提供時間中は勤務しない派遣職員)により対応している</p> <p>4.同一法人の介護保険施設・事業所等から派遣された職員にて対応している</p>	

(○はいくつでも)	5.その他()
-----------	----------

(11)ケアマネジャーとの情報提供等の実態について

設問	回答欄
<p>Q40 近隣の居宅介護支援事業所に対し、貴事業所が日頃行っている情報提供についておうかがいします。</p> <p>※ 情報提供の対象は、貴事業所の利用者が現在利用している居宅介護支援事業所に加えて、貴事業所の利用者が利用していない居宅介護支援事業所も含むものとします。(Q40-1についても同じ)</p> <p>(○はいくつでも)</p>	<p>1. 営業日・営業時間</p> <p>2. 通常の事業の実施地域</p> <p>3. 利用定員</p> <p>4. 利用料</p> <p>5. サービス提供にあたっての理念</p> <p>6. 加算・減算(入浴介助加算、延長加算、送迎減算等)の取得状況</p> <p>7. 職員配置</p> <p>8. 食事内容・1営業日あたり提供回数</p> <p>9. 機能訓練内容・1営業日あたり提供回数</p> <p>10. レクリエーション(アクティビティ)内容・1営業日あたり提供回数</p> <p>11. 自助具・福祉用具・介護ロボットの活用状況</p> <p>12. 医療的ケアの実施状況</p> <p>13. 認知症への対応状況</p> <p>14. 自事業所の利用により自立支援に繋がった具体的事例</p> <p>15. 地域等との交流状況</p> <p>16. 緊急時等における対応方法</p> <p>17. 非常災害対策</p> <p>18. 保険外サービスの提供状況</p> <p>19. その他()</p> <p>20. 積極的な情報提供は行っていない</p>
<p>Q40-1(Q40s2) 要介護者(認知症対応型通所介護の場合は、要支援者を含む。)が利用する事業所を選択するにあたり近隣の居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、貴事業所のサービス内容等を理解した上で、要介護者に伝えてくれていると思いますか。</p> <p>※居宅介護支援事業所やケアマネジャーにより異なる場合は、一番多いパターンについて回答してください。</p> <p>(○は1つ)</p>	<p>1. 理解して、要介護者に伝えてくれていると思う</p> <p>2. 理解してもらっていると思うが、要介護者に伝えてくれているかはわからない</p> <p>3. 理解してもらっていると思うが、要介護者に伝えてくれないと思う</p> <p>4. 理解していないように思うので、要介護者にも伝わっていないと思う</p> <p>5. 理解してもらっているかも、要介護者に伝えてくれているかもわからない</p>
<p>Q41 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーへの情報提供を行う頻度についておうかがいします。</p> <p>※利用者ごとに頻度が異なる場合は、一番多いパターンについて回答してください。</p> <p>(○は1つ)</p>	<p>1. サービス提供日ごと</p> <p>2. 週に1回程度</p> <p>3. 2週に1回程度</p> <p>4. 月に1回程度</p> <p>5. その他()</p> <p>6. 担当ケアマネジャーから求めがない限りは、情報提供は行わない</p>
<p>【Q41で「6.」以外を選択した場合】</p> <p>Q41-1(Q41s2) 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーに情報提供を行う内容についておうかがいします。</p> <p>※ サービス担当者会議において、情報提供を行う内容は除いて回答してください。</p> <p>(○はいくつでも)</p>	<p>1. 通所介護(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)事業所での様子</p> <p>2. 生活意欲の変化</p> <p>3. 身体状況の変化</p> <p>4. 生活課題の変化</p> <p>5. 家族介護者の状況の変化</p> <p>6. 当該利用者にとって有効と考えられるサービスプログラム(機能訓練・レクリエーションメニュー等)</p> <p>7. その他()</p>
<p>Q42 利用者へのサービス提供開始後、利用者の担当ケアマネジャーから情報提供を受けた内容についておうかがいします。</p> <p>(○はいくつでも)</p>	<p>1. 他サービスの利用状況</p> <p>2. 生活意欲の変化</p> <p>3. 身体状況の変化</p> <p>4. 生活課題の変化</p> <p>5. 家族介護者の状況の変化</p> <p>6. 当該利用者にとって有効と考えられるサービスプログラム(機能訓練・レクリエーションメニュー等)</p> <p>7. 貴事業所を利用することにより得られたと思われる効果</p> <p>8. その他()</p>

V 認知症への対応について

認知症対応型通所介護は、通所介護・地域密着型通所介護とは異なり、認知症の利用者のみの受入を行うこととされている一方、通所介護・地域密着型通所介護においても、多くの認知症の利用者の受入が行われています。

ここでは、各事業所が認知症状のある利用者やその家族のニーズに応じたサービスをどのように提供しているかを把握するため、認知症状のある利用者の受入状況や、アセスメント・ケア・モニタリングの方法、利用者の家族への支援、地域貢献活動の実施状況等についておうかがいします。

設問	回答欄
Q43 貴事業所では、認知症状のある利用者へのサービス提供を行っていますか。 (○は1つ)	1. 行っている 2. 行っていない 【Q43 で「2.」を選択した場合】 以降 Q44～Q59 の回答は不要です。
Q44 貴事業所では、認知症状のある利用者に対して、どのようなアセスメントを行っていますか。 (○はいくつでも)	1. 機能的自立度評価表(FIM) 2. Barthel Index 3. 認知症高齢者の日常生活自立度 ※「3.」について、主治医意見書、認定調査票とは別途貴事業所独自で実施している場合選択してください 4. 認知症行動障害尺度(DBD13:Dementia Behavior turbance Scale) 5. Vitarty Index 6. その他() 7. アセスメントは行っていない
【Q44 で「7.」以外を選択した場合】 Q45 貴事業所では、認知症状のある利用者に対してアセスメントを行うにあたり、参考としている評価指標がありますか。 (○はいくつでも)	1. 改訂長谷川式認知症スケール(Hasegawa's Dementia Scale-Revised:HDS-R) 2. Mini-Cog 3. MoCA(Montreal Cognitive Assessment) 4. DASK-21(Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-21 items) 5. MMSE(Mini-Mental State Examination) 6. ABC dementia scale 7. NPI(Nuropsychiatric inventory) 8. その他()
【Q44 で「7.」以外を選択した場合】 Q45-1(Q45s2) 参考としている評価指標及び評価結果について実際に評価を行ったのは誰ですか。 (○はいくつでも)	1. かかりつけ医 2. 認知症疾患医療センター 3. 1. 2.以外の医療機関 4. 初期集中支援チーム 5. 他の介護保険サービス事業所等 6. その他()
Q46 貴事業所では、認知症状のある利用者のアセスメントを行う際、どのような方に対して聞き取りを行っていますか。 (○はいくつでも)	1. 本人 2. 家族 3. ケアマネジャー 4. 他の介護保険サービス事業所 5. かかりつけ医 6. 医療機関(かかりつけ医以外) 7. その他() 8. 特に聞き取りは行っていない
【Q46 で「8.」以外を選択した場合】 Q47 貴事業所では、認知症状のある利用者のアセスメントを行う際、どのような内容について情報収集を行っていますか。 (○はいくつでも)	1. BPSDの改善、増悪時の状況 2. これまでの既往歴(認知症を除く)や生活歴について 3. 認知症症状の初期から現在までの経過 4. 自宅での利用者の生活の様子や、生活課題について 5. 家族等が対応に苦慮している症状や、家族の生活状況について 6. 自宅での利用者の生活の様子や家族等の対応について 7. 介護に伴う家族の負担度 8. 医療機関での鑑別診断の結果や処方されている薬等について 9. これまでの介護保険サービスの利用状況について 10. 若年性認知症特有の生活課題(就労意向の有無、経済基盤の確保方法、子どもの養育等)について 11. 若年性認知症コールセンター、若年性認知症コーディネーターへの相談状況等について

<p>Q48 貴事業所では、認知症状のある利用者に対するケアについてどのような配慮を行っていますか。 (○はいくつでも)</p>	<p>12. その他()</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の話を、頭ごなしに否定したりせず、受け入れるようにしている 2. 話しかける時は、目線の高さをあわせるようにしている 3. 話しかける時は、ゆっくりしたペースではっきり話すようにしている 4. 行動を促す時は、利用者に意思を確認し、同意を得るようにしている 5. 利用者の利用当日の心身の状況にあわせて、見守りや積極的な介入など対応方法を変えるようにしている 6. 職員配置について、なじみの関係を重視し、利用者が慣れている職員がケアを行うようにしている 7. 職員配置について、サービス提供時間中でも、場面転換を目的とした配置換えを行っている 8. 事業所の環境について、見当識障害に配慮した表示や照明の工夫、スペース作り等を行っている 9. 事業所の環境について、誤飲や異食を防ぐため、清潔保持・整理整頓を行っている 10. その他() 11. 特に配慮していることはない
<p>Q49 貴事業所では、認知症状のある利用者に対して、どのようなアプローチを行っていますか。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生理学に基づいたケア 2. 理学療法 3. 作業療法 4. 言語聴覚療法 5. 学習療法 6. 音楽療法 7. 回想療法 8. 園芸療法 9. 料理療法 10. アニマルセラピー 11. アロマセラピー 12. ユマニチュード 13. タクティールケア 14. バリデーション 15. リアリティーオリエンテーション 16. コミュニケーションロボットの導入 17. その他() 18. 特にアプローチは行っていない
<p>Q50 貴事業所では、若年性認知症利用者の受入を行っていますか。行っている場合は、人数を記入してください。 (○は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている → ()人 2. 行っていない
<p>【Q50で「1.」を選択した場合】 Q50-1(Q50s2) 若年性認知症の利用者へのサポートについて教えてください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の利用者とは異なるケアや活動プログラムを準備している 2. 利用者本人の社会参加の機会を提供している 3. 若年性認知症利用者に特化した家族へのサポートを行っている 4. 認知症地域支援推進員と連携している 5. 若年性認知症コーディネーターと連携している 6. 専門医療、相談機関への紹介を行っている 7. 地域の社会資源の紹介、情報提供を行っている 8. その他() 9. 特にサポートしていることはない
<p>Q51 貴事業所では、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際、どのような方に対して聞き取りを行っていますか。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人 2. 家族 3. ケアマネジャー 4. 他の介護保険サービス事業所 5. かかりつけ医 6. 医療機関(かかりつけ医以外) 7. その他() 8. 特に聞き取りは行っていない

<p>【Q51 で「8.」以外を選択した場合】 Q52 貴事業所では、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行う際、どのような内容について情報収集を行っていますか。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービス提供の実施状況 2. 通所介護計画書やケアプラン等に基づく目標の達成状況 3. BPSDの改善、増悪時の状況 4. 自宅での利用者の生活の様子や、生活課題について 5. 家族等が対応に苦慮している症状や、家族の生活状況 6. 介護に伴う家族の負担度 7. 自宅での利用者の生活の様子や家族等の対応状況 8. 医療機関での鑑別診断の結果や処方されている薬等について 9. 他の介護保険サービスの利用状況について 10. 若年性認知症特有の生活課題(就労意向の有無、経済基盤の確保方法、子どもの養育等)について 11. 若年性認知症コールセンター、若年性認知症コーディネーターへの相談状況等 12. その他()
<p>【Q51 で「8.」以外を選択した場合】 Q52-1(Q52s2) 貴事業所では、認知症状のある利用者に対してモニタリングを行った内容を踏まえ、どのようにケア等へ反映を行っていますか。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価指標等を使用して再アセスメントを行っている 2. 家族等との情報共有や要因分析を行っている 3. 通所介護計画書の見直しを行っている 4. ケアマネジャーへの情報提供や、ケアプランの見直しを相談している 5. その他() 6. 特にケアへの反映は行っていない
<p>Q53 貴事業所の認知症ケアに携わる職員の認知症介護実践研修受講状況についてうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症介護実践者研修を受講している 2. 認知症介護実践リーダー研修を受講している 3. 認知症介護指導者養成研修を受講している 4. その他() 5. 上記「1～3」の認知症介護に係る研修は受講していない
<p>Q54 貴事業所の認知症ケア力向上の取組についてうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所内で研修会やセミナーを実施している 2. 事業所内で個別のカンファレンスやケアの検証を行っている 3. 事業所外の研修会やセミナーへ職員が参加している 4. 他の事業所への見学や職員の交流を行っている 5. その他() 6. 認知症ケア力向上の取組は行っていない
<p>Q55 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、認知症状への対応が困難である等との理由で、貴事業所の利用を断ったことはありませんか。ある場合は事例数もご記載ください。 (○は1つ) ※令和3年7月から12月の状況について、お答えください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用を断ったことがある(事例) 2. 利用を断ったことはない
<p>【Q55 で「1.」を選択した場合】 Q55-1(Q55s2) 貴事業所の利用を断った事例について、状況の詳細をうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者のBPSDへの対応が困難と判断したため 2. 若年性認知症への対応が困難と判断したため 3. すでに認知症ケアが必要な方が多く利用しており、配置している職員だけでは人手不足で対応できないと考えられたため 4. 配置している職員には、当該認知症ケアを行う知識や経験が不足していたため 5. 当該認知症ケアを行うための環境の安全性が確保できないため 6. その他()
<p>【Q55 で「1.」を選択した場合】 Q55-2(Q55s3) 貴事業所の利用を断った対象者のBPSDについて教えてください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 暴力 2. 暴言 3. 徘徊 4. 拒絶 5. 不潔行為 6. 抑うつ 7. 不安 8. 幻覚 9. 妄想 10. 睡眠障害 11. その他()

<p>Q56 新たに貴事業所を利用したいとの希望があった際、他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことはありますか。ある場合は事例数もご記載ください。 (○は1つ) ※令和3年7月から12月の状況について、お答えください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことがある(事例) 2. 他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れたことはない
<p>【Q56で「1.」を選択した場合】 Q56-1(Q56s2) 他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた事例について、状況の詳細をうかがいます。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用を受け入れた対象者のBPSDへの対応が可能と判断したため 2. 若年性認知症への対応が可能であるため 3. すでに認知症ケアが必要な方が多く利用しているが、配置している職員で対応できると考えられたため 4. 配置している職員に当該認知症ケアを行う知識や経験があったため 5. 当該認知症ケアを行うための環境の安全性を確保できるため 6. その他()
<p>【Q56-1で「1.」を選択した場合】 Q56-2(Q56s3) 1. 他の介護保険事業所の利用を断られた方を受け入れた対象者のBPSDについて教えてください。(○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 暴力 2. 暴言 3. 徘徊 4. 拒絶 5. 不潔行為 6. 抑うつ 7. 不安 8. 幻覚 9. 妄想 10. 睡眠障害 11. その他()
<p>Q57 貴事業所にて、認知症の人を地域で支援するために実施している取組についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症カフェの開設 2. 認知症の人やその家族向けの相談窓口の設置 3. 認知症サポーター養成講座の開催 4. 認知症サポーター養成講座以外の、地域住民向けの認知症対応講習会等の実施 5. 認知症の人の見守りネットワークの構築 6. 認知症の人を支援するボランティア団体の構築 7. その他() 8. 実施している取組はない
<p>【Q57で「8」以外を選択した場合】 Q57-1(Q57s2) Q57の取組を実施することとした理由についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者やその家族等から要望があったため 2. 地域住民から要望があったため 3. 自治体から要請があったため 4. 認知症の人やその家族の地域での生活をよりよいものにするため 5. 自事業所のもつ知見を地域に還元するべきだと考えたため 6. 自事業所の利用者やサービス内容を地域住民にも知ってほしいと考えたため 7. その他()
<p>Q58 貴事業所にて、連携している認知症の人を支援する団体や事業についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族等が主体的に構成している団体や組織 2. 認知症カフェ 3. 認知症サポーター養成 4. 自治体の見守りネットワーク 5. 地域住民主体のグループ、活動団体 6. 福祉系大学、専門学校、高等学校等教育機関(認知症介護実践研修主催を含む) 7. その他() 8. 連携している団体や事業はない
<p>【Q58で「8」以外を選択した場合】 Q58-1(Q58s2) 貴事業所にて認知症の人を支援する団体や事業と連携している取組についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症カフェ 2. 認知症の人やその家族向けの相談窓口 3. 認知症サポーター養成 4. 地域住民向けの認知症対応講習会等 5. 認知症の人の見守りネットワーク 6. 認知症の人を支援するボランティア 7. 大学、専門学校、高等学校、中学校、小学校等教育機関における福祉教育への協力

	8. その他()
<p>【Q58 で「8」以外を選択した場合】 Q58-2(Q58s3) 貴事業所にて認知症の人を支援する団体や事業と連携を行うこととした理由についてお答えください。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取組の実施者から依頼があったため 2. 利用者やその家族等から要望があったため 3. 地域住民から要望があったため 4. 自治体から要請があったため 5. 認知症の人やその家族の地域での生活をよりよいものにするため 6. 自事業所のもつ知見を地域に還元するべきだと考えたため 7. 自事業所の利用者やサービス内容を地域住民にも知ってほしいと考えたため 8. その他()
<p>Q59 貴事業所では、認知症状のある利用者の家族等介護者への支援を行っていますか。 (○は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている 2. 行っていない
<p>【Q59 で「1」を選択した場合】 Q59-1(Q59s2) どのような支援を行っていますか。 (○はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅における認知症ケアのアドバイスをしている 2. 専門医療、相談機関への紹介を行っている 3. 送迎時に家族の介護負担の状況や生活上の課題等について相談に応じている 4. 認知症の人を支援する団体や事業の紹介を行っている 5. 地域の社会資源の紹介、情報提供を行っている 6. 保険外サービスによる別途サービス提供を行っている 7. その他()

VI 業務効率化に向けた取組について

設問	回答欄
Q60 貴事業所では業務効率化の取組を行っていますか。(○は1つ)	1. 業務効率化の取組を行っている 2. 業務効率化の取組は行っていない
【Q60で「1.」を選択した場合】 Q60-1(Q60s2) 業務効率化の取組を行うための準備として行ったものについてお答えください。 (○はいくつでも)	1. 貴事業所において、業務を行う上での課題を把握している 2. 業務効率化に取り組むプロジェクトチームを設置している 3. 経営層から事業所全体に対して、業務効率化の取組を行うことを説明している 4. 課題解決のために必要な取組や職員の役割について、整理している 5. 業務効率化に取り組む期間を決めて、業務効率化計画を策定している 6. その他() 7. 業務効率化の取組を行うための準備として行ったものはない
【Q60で「1.」を選択した場合】 Q60-2(Q60s3) 業務効率化の取組を行うにあたって参考としたものについてお答えください。 (○はいくつでも)	1. 厚生労働省が実施する、業務効率化に関するセミナー(※)への参加 2. 厚生労働省が発行した、介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン(※)の活用 3. 厚生労働省が提供する、介護分野における生産性向上の取組を促進するツール等(※)の活用 (※) https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei.html 4. 関係団体が実施する、業務効率化に関するセミナーへの参加 5. 関係団体が発行した、業務効率化に関するガイドラインやツール等の活用 6. その他() 7. 業務効率化の取組を行うにあたって参考としたものはない
【Q60で「1.」を選択した場合】 Q60-3(Q60s4) 業務効率化の具体的な取組として行ったものについてお答えください。 (○はいくつでも)	1. 職場環境の整備(事業所内の整理整頓、物品管理のルール作成等) 2. 業務の明確化と役割分担(サービス提供の流れや配置される職種に応じたシフト管理等) 3. 手順書の作成(サービス提供の質の平準化等) 4. 記録・報告様式の工夫(記録の目的の明確化、情報伝達の手段やルールの統一化等) 5. 情報共有の工夫(業務の引継、他事業所との連携の効率化等) 6. OJTの仕組み作り(キャリアパスの具体化、他職種の業務理解促進等) 7. 理念・行動方針の徹底(職員への法人理念やケアの目標の伝達等) 8. その他()
【Q60で「1.」を選択した場合】 Q60-4(Q60s5) 業務効率化のために新たに導入したツールについてお答えください。 (○はいくつでも)	1. パソコン 2. スマートフォン 3. タブレット型端末 4. インカム 5. 音声入力用マイク 6. 棚、机、椅子等の備品 7. 大容量記録装置(HDD、クラウド契約等) 8. 勤務管理表作成支援ソフト 9. 通所介護計画書作成支援ソフト 10. 個別機能訓練計画書作成支援ソフト 11. 送迎ルート作成支援ソフト 12. チャットソフト 13. その他() 14. 業務効率化のために新たに導入したツールはない

<p>【Q60で「1.」を選択した場合】 Q60-5(Q60s6) 業務効率化の更なる促進のための取組として行ったものについてお答えください。 (〇はいくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行った業務改善の取組について、上手くいった点・上手くいかなかった点を整理している 2. 行った業務改善の取組について、取組前に設定した目標が達成できているか、評価している 3. 行った業務改善の取組について、上手くいかなかった点の改善や達成できなかった目標を達成するための方策を検討し、実行している 4. その他() 5. 業務効率化の更なる促進のために行った取組はない
---	---

Q12.通所介護サービスの一週間あたりの利用頻度	回/週(令和3年11月実績)	
Q13.延長サービスの利用状況(ひとつに○)	1. 延長サービスを利用している 2. 利用していない	
Q14.宿泊サービスの利用状況(ひとつに○)	1. 宿泊サービスを利用している 2. 利用していない	
Q15.貴事業所の利用前に利用していた介護保険サービス等(○はいくつでも)※選択肢「12.」「13.」「14.」については、貴事業所が通所介護事業所の場合は「13.」「14.」の(貴事業所以外)の文言を抜いて回答ください(地域密着型通所介護の場合は「12.」「14.」、認知症対応型通所介護の場合は「12.」「13.」)。	1. 病院等の医療機関に入院 2. 介護老人保健施設に入所 3. 介護医療院、介護療養型医療施設に入所 4. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所 5. グループホームに入居 6. 訪問介護 7. 訪問看護 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 9. 看護小規模多機能	10. 小規模多機能 11. 訪問リハビリテーション 12. 通所介護(貴事業所以外) 13. 地域密着型通所介護(貴事業所以外) 14. 認知症対応型通所介護(貴事業所以外) 15. 通所リハビリテーション 16. 2～15以外の介護保険サービス 17. 介護保険サービスは利用していなかった 18. 介護予防・日常生活支援総合事業 19. わからない、把握していない
Q16.現在、貴事業所以外に利用している介護保険サービス(○はいくつでも)※選択肢「5.」「6.」「7.」については、貴事業所が通所介護事業所の場合は「6.」「7.」の(貴事業所以外)の文言を抜いて回答ください(地域密着型通所介護の場合は「5.」「7.」、認知症対応型通所介護の場合は「5.」「6.」)。	1. 訪問介護 2. 訪問看護 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 通所介護(貴事業所以外) 6. 地域密着型通所介護(貴事業所以外) 7. 認知症対応型通所介護(貴事業所以外) 8. 通所リハビリテーション	9. 短期入所生活介護 10. 短期入所療養介護 11. 居宅療養管理指導 12. 福祉用具貸与 13. 特定福祉用具販売 14. 住宅改修 15. その他() 16. 貴事業所以外のサービスは利用していない 17. わからない、把握していない
Q17.現在、利用している介護保険外のサービス(○はいくつでも)	1. 物販・移動販売やレンタルサービス 2. 利用者の買い物代行 3. 利用者の配食サービス 4. 利用者の自宅での食事支援(調理、配膳・下膳) 5. 利用者宅の清掃 6. 利用者の衣類の洗濯 7. 利用者の通院支援 8. 利用者のその他の外出支援(買い物、社会参加その他) 9. 利用者の理美容サービス	10. 利用者の巡回健診等(健康診断、予防接種もしくは採血) 11. 薬剤師が事業所を訪問しての服薬管理・服薬指導等 12. 利用者の家族に対する生活支援サービス 13. 保険外(自費)のリハビリテーションサービス 14. その他保険外(自費)の生活支援サービス(具体的に:) 15. 地域の商工・流通サービス事業者の紹介や仲介業務 16. 保険外の自宅生活に関する相談サービス 17. 保険外(自費)サービスは利用していない
Q18.貴事業所の利用日以外の日の過ごし方(○はいくつでも)	1. 何もせずに過ごす 2. 自宅でテレビを観て過ごす 3. 家で、家事や庭・畑仕事、子守、軽体練 4. 家で、趣味・娯楽、友人との交流 5. 外出して買い物 6. スポーツジムに行く 7. カルチャーセンターに行く	8. 老人クラブの会合や活動に参加 9. 地域での付き合い、交流・健康づくりの場に参加 10. 地域の各種の仕事(町内会の活動含め)やボランティアに行く 11. その他の過ごし方() 12. わからない、把握していない

<p>Q19.加算の算定状況 (令和3年12月31日時点) (○はいくつでも)</p>	<p>1. 個別機能訓練加算(Ⅰ) 2. 個別機能訓練加算(Ⅱ) 3. 生活機能向上連携加算 4. ADL 維持等加算(Ⅰ) 5. ADL 維持等加算(Ⅱ)</p>	<p>6. 口腔機能向上加算 7. 栄養改善加算 8. 栄養スクリーニング加算 9. 入浴介助加算 10. 認知症加算</p>	<p>11. 延長加算(9~10 時間) 12. 延長加算(10~11 時間) 13. 延長加算(11~12 時間) 14. 延長加算(12~13 時間) 15. 延長加算(13~14 時間)</p>
<p>Q20. :当該利用者について、通所介護計画等においてサービス利用の目標としたことや、サービス内容に含めたことについてうかがいます。 (○はいくつでも)</p>	<p>1. 生活意欲の向上 2. 身体機能の維持・向上 3. 生活機能の維持・向上 4. 食事の提供 5. 入浴、清拭の実施 6. 他の利用者や職員とのコミュニケーション 7. 地域住民との交流 8. レクリエーションへの参加 9. ボランティア活動(有償・無償)への参加</p>	<p>10. 送迎の実施 11. 延長サービスの実施 12. 健康状態の把握 13. 医療的ケアの実施 14. 認知症状への介入 15. 自助具・福祉用具・介護ロボットの活用 16. 保険外(自費)サービスの提供 17. その他 ()</p>	
<p>Q21.現在、利用者に必要な医療的ケア(貴事業所で実施しているかどうかは問わない) (○はいくつでも)</p>	<p>1. 看取り期のケア 2. 胃ろう、腸ろうによる栄養管理 3. 経鼻経管栄養 4. 中心静脈栄養の管理 5. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理 6. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理 7. たんの吸引 8. ネブライザー 9. 酸素療法(酸素吸入) 10. 気管切開のケア 11. 人工呼吸器の管理 12. 注射・点滴 13. 簡易血糖測定 14. インスリン注射</p>	<p>15. 創傷処置 16. 褥瘡の処置 17. 服薬管理 18. 透析(在宅自己腹膜灌流含む) 19. 導尿 20. 疼痛の看護 21. 浣腸 22. 摘便 23. リハビリテーション 24. 口腔の健康管理(口腔衛生状態、摂食機能の管理) 25. その他() 26. なし 27. わからない、把握していない</p>	
<p>Q22.現在、利用者に実施している機能訓練内容(※) (○はいくつでも)</p>	<p><身体機能> 1. 呼吸機能 2. 体力 3. 浮腫等 4. 関節可動域 5. 筋力 6. 筋緊張 7. 筋持久力 8. 運動機能 9. 痛み 10. 姿勢 11. 起居 12. 歩行・移動 13. 階段昇降 14. その他の身体機能の改善 ()</p>	<p><生活課題> 15. 生活意欲の向上 16. 食事 17. 調理 18. 排泄 19. 更衣 20. 整容 21. 入浴 22. 掃除・整理整頓 23. 洗濯 24. 起床・就寝の準備 25. 買い物 26. コミュニケーション 27. 余暇活動 28. 仕事 29. 外出 30. 公共交通機関の利用 31. その他の生活課題の改善 ()</p>	

利用者の方にお答えいただくページ(Q1～Q10) (利用者・家族回答票)

デイサービスご利用者各位

- 当事務局は、現在、厚生労働省補助事業により、全国のデイサービスの利用者の方を対象に「利用に関するアンケート」を実施しております。このアンケートは、今後のデイサービスの質の向上に必要なことを明らかにするために、現在デイサービスを利用している方を対象に実施するものです。
- 本アンケート票の返信を以って、調査協力ならびご回答に同意いただいたものとみなします。
なお、本アンケートに回答しない場合の不利益は一切発生しません(ご回答は任意です)。
- 回答いただいた本アンケート票は、回答いただいたページを内側にして、ホチキス留めの上、令和4年2月15日(火)までに、利用しているデイサービス事業所担当者に提出してください。

本調査事務局：一般社団法人全国介護事業者連盟

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

Q1～Q10は、利用者の方におうかがいします。

設問	選択肢等		
Q1.デイサービスに通い始めたきっかけについて、おうかがいします。 (ひとつに○)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> 1. 自分の希望 2. 家族の希望 3. かかりつけ医のすすめ </td> <td style="width: 50%; border: none;"> 4. ケアマネジャーのすすめ 5. 知人・友人のすすめ 6. その他 () </td> </tr> </table>	1. 自分の希望 2. 家族の希望 3. かかりつけ医のすすめ	4. ケアマネジャーのすすめ 5. 知人・友人のすすめ 6. その他 ()
1. 自分の希望 2. 家族の希望 3. かかりつけ医のすすめ	4. ケアマネジャーのすすめ 5. 知人・友人のすすめ 6. その他 ()		
Q2.現在、通っているデイサービスに通い始めるにあたって、ケアマネジャーからデイサービス事業所の特色について、説明を受けましたか。 (ひとつに○)	1. 説明を受けた 2. 説明を受けていない		
【Q2で1と回答した方のみ】 Q2-1. 実際にデイサービス事業所に通っている中で、ケアマネジャーからのデイサービス事業所の特色の説明と異なると思うことはありましたか。 (ひとつに○)	1. しばしばあった 2. たまにあった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった		
Q3.現在、通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由を教えてください。(○はいくつでも)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <事業所のサービス内容> 1. 事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから 2. お風呂に入ることができるから 3. 食事のメニューが充実しているから 4. 機能訓練(体操や歩行練習など)が充実しているから 5. レクリエーション(カラオケや手芸など)が充実しているから 6. ボランティア活動ができるから 7. 利用時間中に、事業所の外に外出できるから 8. 他の利用者や職員と話したかったから <事業所の雰囲気> 9. 事業所の設備がきれいだったから 10.一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせると思ったから 11.一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員が目が行き届きやすいと思ったから </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <事業所の体制> 12.自宅の近くに事業所があったから 13.朝早くから利用することができるから 14.夜遅くまで利用することができるから 15.利用申し込みの際、すぐに利用できると聞いたから 16.他の事業所と比べて、利用料が安かったから 17.他の事業所と比べて、1月に使うことができる回数が多いと聞いたから <本人の意向・家族等からの勧め> 18.元気になると思ったから 19.家族が安心するから 20.かかりつけ医から勧められたから 21.ケアマネジャーから勧められたから 22.家族から勧められたから 23.知り合いから勧められたから 24.その他 () </td> </tr> </table>	<事業所のサービス内容> 1. 事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから 2. お風呂に入ることができるから 3. 食事のメニューが充実しているから 4. 機能訓練(体操や歩行練習など)が充実しているから 5. レクリエーション(カラオケや手芸など)が充実しているから 6. ボランティア活動ができるから 7. 利用時間中に、事業所の外に外出できるから 8. 他の利用者や職員と話したかったから <事業所の雰囲気> 9. 事業所の設備がきれいだったから 10.一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせると思ったから 11.一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員が目が行き届きやすいと思ったから	<事業所の体制> 12.自宅の近くに事業所があったから 13.朝早くから利用することができるから 14.夜遅くまで利用することができるから 15.利用申し込みの際、すぐに利用できると聞いたから 16.他の事業所と比べて、利用料が安かったから 17.他の事業所と比べて、1月に使うことができる回数が多いと聞いたから <本人の意向・家族等からの勧め> 18.元気になると思ったから 19.家族が安心するから 20.かかりつけ医から勧められたから 21.ケアマネジャーから勧められたから 22.家族から勧められたから 23.知り合いから勧められたから 24.その他 ()
<事業所のサービス内容> 1. 事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから 2. お風呂に入ることができるから 3. 食事のメニューが充実しているから 4. 機能訓練(体操や歩行練習など)が充実しているから 5. レクリエーション(カラオケや手芸など)が充実しているから 6. ボランティア活動ができるから 7. 利用時間中に、事業所の外に外出できるから 8. 他の利用者や職員と話したかったから <事業所の雰囲気> 9. 事業所の設備がきれいだったから 10.一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせると思ったから 11.一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員が目が行き届きやすいと思ったから	<事業所の体制> 12.自宅の近くに事業所があったから 13.朝早くから利用することができるから 14.夜遅くまで利用することができるから 15.利用申し込みの際、すぐに利用できると聞いたから 16.他の事業所と比べて、利用料が安かったから 17.他の事業所と比べて、1月に使うことができる回数が多いと聞いたから <本人の意向・家族等からの勧め> 18.元気になると思ったから 19.家族が安心するから 20.かかりつけ医から勧められたから 21.ケアマネジャーから勧められたから 22.家族から勧められたから 23.知り合いから勧められたから 24.その他 ()		

<p>Q4. 現在、通っているデイサービスの事業所に通うにあたり、見学に行きましたか。 (ひとつに○)</p>	<p>1. 見学に行った 2. 見学に行かなかった</p>		
<p>Q5. デイサービスに通い始めて、以前より①食事、②入浴、③トイレが、自分でできるようになりましたか。それぞれ、あてはまるものを一つずつ選んでください。 (それぞれ、ひとつに○)</p>	<p>【①食事】</p> <p>1. 以前より自分でできるようになった 2. 変わらない 3. 以前より自分でできなくなった 4. わからない</p>	<p>【②入浴】</p> <p>1. 以前より自分でできるようになった 2. 変わらない 3. 以前より自分でできなくなった 4. わからない</p>	<p>【③トイレ】</p> <p>1. 以前より自分でできるようになった 2. 変わらない 3. 以前より自分でできなくなった 4. わからない</p>
<p>Q6. デイサービスに通い始めて、それまでかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会は変わりましたか。(ひとつに○)</p>	<p>1. 以前より増えた 2. 変わらない 3. 以前より減った 4. わからない</p>		
<p>Q7. デイサービスに通い始めて、家族や地域の中での役割は変わりましたか。(ひとつに○)</p>	<p>1. 役割が増えた 2. 変わらない 3. 役割が減った 4. わからない</p>		
<p>Q8. デイサービスに通い始めて、以前より気分が晴れたり、体調が安定するようになりましたか。 (ひとつに○)</p>	<p>1. 以前より気分が晴れたり、体調が安定するようになった 2. 変わらない 3. 以前より気分が落ち込んだり、体調が不安定になった 4. わからない</p>		
<p>Q9. デイサービスに通い始めて、家族との関係に変化がありましたか。 (ひとつに○)</p>	<p>1. 良くなった 2. 変わらない 3. 悪くなった 4. わからない</p>		
<p>Q10. デイサービスの利用は、あなたの助けになっていると思いますか。 (ひとつに○)</p>	<p>1. なくてはならないものだ 2. 利用できて助かっている 3. もし利用できなくても他のサービスでなんとかなる 4. もし利用できなくても家族や親族の介護でなんとかなる 5. わからない</p>		

<p>Q19.現在、利用者が通っているデイサービスの事業所に通うことを決めた理由を教えてください。(〇はいくつでも)</p>	<p><事業所のサービス内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所と自宅の間の送り迎えをしてくれるから 2. お風呂に入れてもらうことができるから 3. 食事のメニューが充実しているから 4. 機能訓練(体操や歩行練習など)が充実しているから 5. 医療的ケア(服薬管理など)を受けることができるから 6. 認知症ケアが充実しているから 7. レクリエーション(カラオケや手芸など)が充実しているから 8. ボランティア活動の機会が設けられているから 9. 利用時間中に、事業所の外に外出する機会が設けられているから 10.他の利用者や職員とのコミュニケーションを楽しんでもらえそうだったから <p><事業所の雰囲気></p> <ol style="list-style-type: none"> 11.事業所の設備がきれいだったから 12.一緒に過ごす利用者の人数が多く、賑やかに過ごせそうだったから 13.一緒に過ごす利用者の人数が少なく、職員の目が行き届きやすいと思ったから 	<p><事業所の体制></p> <ol style="list-style-type: none"> 14.自宅の近くに事業所があったから 15.朝早くから利用することができるから 16.夜遅くまで利用することができるから 17.利用申し込みの際、すぐに利用できると聞いたから 18.他の事業所と比べて、利用料が安かったから 19.他の事業所と比べて、1月に使うことができる回数が多いと聞いたから <p><本人の意向・医師等からの勧め></p> <ol style="list-style-type: none"> 20.本人が利用することを希望したから 21.本人が元気になれると思ったから 22.本人がデイサービスに行っている間、自分が仕事や育児などに専念できるから 23.本人がデイサービスに行っている間、仕事や育児以外の自分のことができるから 24.かかりつけ医から勧められたから 25.ケアマネジャーから勧められたから 26.知り合いから勧められたから 27.その他 <p>()</p>	
<p>Q20. デイサービスの利用は、介護を担うあなた自身の助けになっていると思いますか。(ひとつに〇)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. なくてはならないものだ 2. 利用できて助かっている 3. もし利用できなくても他のサービスでなんとかなる 	<ol style="list-style-type: none"> 4. もし利用できなくても家族や親族の介護でなんとかなる 5. わからない 	
<p>Q21.デイサービスに通い始めて、あなたの介護の負担は軽減されましたか。(ひとつに〇)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護負担が軽減された 2. 変わらない 3. 介護負担が重くなった 		
<p>Q22.あなたのお仕事についてうかがいます。(ひとつに〇)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム就労 2. パートタイム就労 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 自営、個人経営 4. 仕事には就いていない 	
<p>【Q22 で1~3 に回答した方のみ】 Q22-1.利用者がデイサービスに通い始めて、あなた自身は以前よりも、介護と仕事や家庭を両立しやすくなりましたか。(ひとつに〇)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 両立しやすくなった 2. 変わらない 3. 両立しにくくなった⇒主な理由() 4. わからない 		
<p>Q23.デイサービスに通い始めて、利用者は、以前より①食事、②入浴、③トイレが、自分でできるようになりましたか。それぞれ、あてはまるものを一つずつ選んでください。(それぞれ、ひとつに〇)</p>	<p>【①食事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以前より自分でできるようになった 2. 変わらない 3. 以前より自分でできなくなった 4. わからない 	<p>【②入浴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以前より自分でできるようになった 2. 変わらない 3. 以前より自分でできなくなった 4. わからない 	<p>【③トイレ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以前より自分でできるようになった 2. 変わらない 3. 以前より自分でできなくなった 4. わからない
<p>Q24.デイサービスに通い始めて、それまで利用者がかかわりのあった友人や地域の人とかかわる機会は変わりましたか。(ひとつに〇)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以前より増えた 2. 変わらない 3. 以前より減った 4. わからない 		

令和3年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

在宅生活継続にあたり通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護が果たす役割に関する
調査研究事業
報告書

令和4年（2022年）3月

発行 一般社団法人全国介護事業者連盟
住所 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル4階
Tel 03-5215-5063
FAX 03-5215-5064